ふじみ野市埋蔵文化財調査報告　第９集

埼玉県ふじみ野市

市内遺跡群８

２０１３,３

ふじみ野市教育委員会

ふじみ野市埋蔵文化財調査報告　第９集

埼玉県ふじみ野市

市内遺跡群８

２０１３,３

ふじみ野市教育委員会

はじめに

ふじみ野市は平成１７年１０月の合併により新たな歴史を歩みはじめました。

市内には、権現山古墳群や福岡河岸記念館、復元大井戸跡や旧大井村役場庁舎など、多くの文化財が存在し、２万数千年前の旧石器時代から現代までの永い歴史をみることができます。それぞれに特色のある地域の歴史も、一つの大きな流れとして捉えると、改めてこの地域の繋がりや関係の深さを感じます。そして、現在のふじみ野市も歴史的に大きな画期にあるといえます。

ふじみ野市は、都心から30㎞圏内という立地条件にあるため、昭和30年代ごろから急激な開発の波が押し寄せ、企業の工場や研究所の進出、住宅の建設ラッシュ、大規模都市基盤整備事業が計画・実施されました。人口の増加も伴って周辺の自然・社会の環境は大きな変化をしてきました。そして今、合併により更なる変貌を遂げようとしています。

今回、市内で発掘調査された成果を一冊の冊子にまとめることが出来ました。発掘調査の成果は、近年の開発ラッシュに伴う店舗や住宅建設によるものが主体です。永い歴史の中で繰り返し住まいの地として利用されるということは、いつの時代でも、ふじみ野の地が住み良い土地であることの証明ともいえます。

本報告書は、国・県からの補助金と民間開発に伴い各事業者の皆様からの費用負担を受けて実施した、「市内遺跡発掘調査」の成果を記録した報告書です。将来にわたってこれらの資料を、地域の文化・歴史を学ぶ糧として広く皆様方に活用していただければ幸いです。

おわりに、土地所有者、開発関係者の皆様には多大なご負担と、ご協力を賜りました。地域の文化財保護・保存についてのご理解をいただいたことに対し深甚なる敬意と感謝を申し上げます。

また、調査から本書刊行に至るまで、文化庁・埼玉県教育委員会生涯学習文化財保護課・市関係各課・調査関係者、各事業者の多くの皆様から、ご指導やご協力をいただきました。誌上をもって厚くお礼と感謝を申し上げます。

平成２５年３月

ふじみ野市教育委員会

教育長　矢島　秀一

例　言

1．本書は、埼玉県ふじみ野市内に所在する遺跡群の2009（平成21）年度の試掘調査と発掘調査の報告書である。

2．2009（平成21）年度に行った試掘調査および整理作業は、総経費12,004,544円に対し、国庫（6,000,000円）、県費（3,000,000円）の補助金の交付を受け、2009（平成21）年４月１日から2010（平成22）年３月31日まで実施したものである。

3．調査組織

調査主体者	ふじみ野市教育委員会	文化財保護係	
担当課	生涯学習課文化財保護係	調査担当者	髙﨑直成
教育長	松下勇司（2008.12.12～2009.11.30）	調査担当者	鍋島直久
	矢島秀一（2010.3.19～）	庶務担当	橋本鶴人
生涯学習部長	田中節子（2009.4.9～2010.3.31）		国分英良
	高梨眞太郎（2010.4.1～2012.3.31）		柳澤健司
	綾部　誠（2012.4.1～）	発掘調査員補	越村　篤
生涯学習課長兼参事	綾部　誠（2010.4.1～2012.3.31）	嘱託員	藤牧守絵（2003.4.1～2012.3.31）
生涯学習課長兼副参事	桜井信枝（2012.4.1～）		配島結華（2012.4.1～）
文化財保護係長	坪田幹男（2007.4.1～2011.3.31）	臨時的任用職員	高橋京子
	橋本鶴人（2011.4.1～）		

4．本書作成の作業分担は執筆を鍋島、近世遺物の観察表作成は越村が行った。また図版作成の一部を㈱東京航業研究所、土器実測の一部を㈲文化財ＣＯＭに委託した。報告書作成全般にわたり、髙﨑、越村の協力を得た。
本文・挿図割付：高橋けい子　　遺物接合・復元：中田藤子　　土器実測・拓本：石垣ゆき子
石器実測・トレース：大久保明子　　遺構・遺物トレース：小林登喜江　　遺構写真：鍋島直久、髙﨑直成、越村篤
遺物写真：大久保明子　　図版作成：石垣ゆき子、須藤さち子、髙橋けい子、丹治つや子、鈴木千恵子、青山奈保美

5．各遺跡の調査から報告書刊行にいたるまで下記の諸氏・機関より御指導・ご協力を賜った。（敬称略）
会田明、阿部常樹、天ヶ嶋岳、荒井幹夫、上田寛、越前谷理、大久保淳、大柴英雄、岡田賢治、加藤秀之、梶原勝、梶原喜世子、神木繁嘉、國見徹、隈本健介、小出輝雄、酒井智晴、笹森健一、佐藤啓子、佐藤良博、塩野賀一、鈴木清、田中信、丹治剛、角田史雄、中村愛、原口雅樹、早坂廣人、比嘉洋子、平野寛之、藤波啓容、堀善之、松本富雄、柳井章宏、和田晋治、埼玉県教育局生涯学習文化財課、上福岡歴史民俗資料館、大井郷土資料館
陸上自衛隊東部方面後方支援隊第102不発弾処理隊、東入間警察署、独立行政法人都市再生機構

6．発掘調査ならびに整理作業参加者は下記の皆様である。記して厚く感謝の意を表したい。
〈発掘調査参加者〉（敬称略）明石千とせ、新井和枝、飯塚泰子、壹岐久子、井上晴江、井上麻美子、岩城英子、
臼井孝、大野英理子、長田弘毅、金子君子、川中ひろみ、菊口繁子、小林こずい、西城満期子、坂本民子、
佐久間ひろ子、佐竹里佳、篠崎忠三、清水公子、杉本佳久、鈴木勝弘、関田成美、高貝しづ子、高橋智也、
滝沢久嘉、寺井美和子、沼澤岩男、野岡由紀子、比嘉洋子、福田美枝子、増沢勝実、宮崎達夫、山内康代、
米田昇三、若林紀美代
〈整理作業参加者〉（敬称略）青山奈保美、石垣ゆき子、大久保明子、小林登喜江、鈴木千恵子、須藤さち子、
髙橋けい子、丹治つや子、中田藤子

凡　例

1．本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。

(1) 縮尺は原則として以下のとおりとしたが例外的に変更したものもある。

遺構配置図　1:300または1:500　　遺構平面図・遺物出土状況図　1:60、1:30　　炉などの詳細図　1:30

土器実測図・土器拓影図　1:4　　石器実測図　1:4、2:3、1:6　　銭貨　1:1

(2) 遺構断面図の水糸高は海抜高を示す。明記していないものは同図版中の前遺構の海抜高に同じ。

(3) 遺構図におけるscreen-toneの指示、遺物出土状況のドットの指示。

撹乱　地山（ローム）　焼土

土器　●　　石器　★　　黒曜石・チャート　▲　　礫　○

(4) 土器断面図は、■が繊維含有、●が雲母粒を含有する縄文土器を表わす。

(5) 縄文土器実測図におけるscreen-toneの指示。

地文縄文　　撚糸文

(6) 土器・陶磁器実測図の中心線が破線の場合は、180度回転させて復元実測したことを示す。

(7) 遺構・遺物実測図中の（▼▲三角マーク）は図の連続、接合を示す。

2．住居跡名は、遺跡内の通し番号である。整理作業時に遺構名称を変更したものについては、新旧の名称を表等に記している。

3．本文中の各表内におけるカッコ（　）付の数値は残存値を示す。

4．本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括してふじみ野市教育委員会生涯学習課に保管してある。

埼玉県ふじみ野市

市内遺跡群８目次

はじめに …… i
例言 …… ii
凡例 …… iii
目次 …… iv
挿図目次 …… v
表目次、写真目次 …… vi

第１章　遺跡と調査の概要 …… １頁
Ⅰ　調査に至る経過 …… １頁
Ⅱ　立地と環境 …… ３頁
Ⅲ　市内の遺跡 …… ４頁
第２章　北野遺跡の調査 …… ８頁
Ⅰ　遺跡の立地と環境 …… ８頁
Ⅱ　北野遺跡第16地点 …… ８頁
Ⅲ　北野遺跡第17地点 …… 10頁
Ⅳ　北野遺跡第18地点 …… 10頁
第３章　川崎遺跡の調査 …… 14頁
Ⅰ　遺跡の立地と環境 …… 14頁
Ⅱ　川崎遺跡第31地点 …… 17頁
第４章　ハケ遺跡の調査 …… 27頁
Ⅰ　遺跡の立地と環境 …… 27頁
Ⅱ　ハケ遺跡第９地点 …… 27頁
第５章　滝遺跡の調査 …… 29頁
Ⅰ　遺跡の立地と環境 …… 29頁
Ⅱ　滝遺跡第15地点 …… 29頁
Ⅲ　滝遺跡第16地点 …… 30頁
第６章　富士見台横穴墓群遺跡の調査 …… 34頁
Ⅰ　遺跡の立地と環境 …… 34頁
Ⅱ　富士見台横穴墓群遺跡第７地点 …… 34頁
第７章　長宮遺跡の調査 …… 35頁
Ⅰ　遺跡の立地と環境 …… 35頁
Ⅱ　長宮遺跡第30地点 …… 35頁
Ⅲ　長宮遺跡第32地点 …… 36頁
第８章　松山遺跡の調査 …… 37頁
Ⅰ　遺跡の立地と環境 …… 37頁
Ⅱ　松山遺跡第47地点 …… 37頁
Ⅲ　松山遺跡第48地点 …… 39頁
Ⅳ　松山遺跡第49地点 …… 39頁
Ⅴ　松山遺跡第50地点 …… 39頁
第９章　江川南遺跡の調査 …… 42頁
Ⅰ遺跡の立地と環境 …… 42頁
Ⅱ　江川南遺跡第24地点 …… 42頁
第10章　江川東遺跡の調査 …… 43頁
Ⅰ遺跡の立地と環境 …… 43頁
Ⅱ江川東遺跡第16地点 …… 43頁
Ⅲ江川東遺跡第17地点 …… 43頁
第11章　東久保遺跡の調査 …… 45頁
Ⅰ遺跡の立地と環境 …… 45頁
Ⅱ　東久保遺跡第67地点 …… 45頁
第12章　駒林遺跡の調査 …… 46頁
Ⅰ　遺跡の立地と環境 …… 46頁
Ⅱ　駒林遺跡第８地点 …… 46頁
Ⅲ　駒林遺跡第９地点 …… 47頁
Ⅳ　駒林遺跡第10地点 …… 47頁
第13章　西ノ原遺跡の調査 …… 48頁
Ⅰ　遺跡の立地と環境 …… 48頁
Ⅱ　西ノ原遺跡第144地点 …… 48頁
第14章　中沢前遺跡の調査 …… 50頁
Ⅰ遺跡の立地と環境 …… 50頁
Ⅱ　中沢前遺跡第27地点 …… 50頁
第15章　神明後遺跡の調査 …… 51頁
Ⅰ　遺跡の立地と環境 …… 51頁
Ⅱ　神明後遺跡第37地点 …… 51頁
Ⅲ　神明後遺跡第38地点 …… 56頁
Ⅳ　神明後遺跡第39地点 …… 57頁
Ⅴ　神明後遺跡第40地点 …… 59頁
第16章　小田久保遺跡の調査 …… 65頁
Ⅰ　遺跡の立地と環境 …… 65頁
Ⅱ　小田久保遺跡第８地点 …… 65頁
第17章　大井宿遺跡の調査 …… 69頁
Ⅰ　遺跡の立地と環境 …… 69頁
Ⅱ　大井宿遺跡第16地点 …… 69頁
第18章　本村遺跡の調査 …… 88頁
Ⅰ　遺跡の立地と環境 …… 88頁
Ⅱ　本村遺跡第121地点 …… 88頁
Ⅲ　本村遺跡第122地点 …… 89頁
第19章　西台遺跡の調査 …… 91頁
Ⅰ　遺跡の立地と環境 …… 91頁
Ⅱ　西台遺跡第７地点 …… 91頁
第20章　東台遺跡の調査 …… 92頁
Ⅰ　遺跡の立地と環境 …… 92頁
Ⅱ　東台遺跡第52地点 …… 96頁
第21章　造兵廠（火工廠）跡の調査 …… 99頁
Ⅰ　立地と周辺の遺跡 …… 99頁
Ⅱ　造兵廠（火工廠）跡の概要 …… 100頁
Ⅲ　造兵廠（火工廠）跡第１地点 …… 101頁
第22章　まとめ …… 110頁
附編　遺跡調査一覧 …… 111頁
抄録 …… 157・158頁

挿図目次

第1図 ふじみ野市の位置と周辺の地形 …… 5頁
第2図 ふじみ野市遺跡分布図(1/30,000) …… 6頁
第3図 北野遺跡の地形と調査区(1/4,000) …… 8頁
第4図 北野遺跡第16地点遺構配置図(1/600)、土層図(1/150)、ピット(1/60)、出土遺物(1/4) …… 9頁
第5図 北野遺跡第17・18地点遺構配置図(1/300)、土層図(1/150)、土坑(1/60)、出土土器(1/4) …… 11頁
第6図 北野遺跡第18地点J1号・H1号住居跡(1/60)、J1号住居跡炉(1/30) …… 12頁
第7図 北野遺跡第18地点土坑(1/60)、J1号・H1号住居跡・土坑・遺構外出土遺物(1/4) …… 13頁
第8図 川崎遺跡の地形と調査区(1/4,000) …… 14頁
第9図 川崎遺跡の遺構分布図(1/2,500) …… 16頁
第10図 川崎遺跡第31地点遺構配置図(1/300) …… 17頁
第11図 川崎遺跡第31地点J21号住居跡・遺物出土状況図(1/60) …… 19頁
第12図 川崎遺跡第31地点J21号住居跡炉・埋甕・ピット(1/30) …… 20頁
第13図 川崎遺跡第31地点J22号住居跡(1/60)、炉・炉穴1(1/30) …… 21頁
第14図 川崎遺跡第31地点H63号住居跡・遺物出土状況図(1/60) …… 22頁
第15図 川崎遺跡第31地点H63号住居跡竈(1/30) …… 23頁
第16図 川崎遺跡第31地点H64号住居跡・ピット(1/60)、竈(1/30) …… 24頁
第17図 川崎遺跡第31地点J21号・22号住居跡出土遺物(1/4・2/3) …… 25頁
第18図 川崎遺跡第31地点H63号・H64号住居跡・ピット・遺構外出土遺物(1/4・2/3) …… 26頁
第19図 ハケ遺跡の地形と調査区(1/4,000) …… 27頁
第20図 ハケ遺跡第9地点遺構配置図(1/300)、土坑(1/60)出土土器(1/4) …… 28頁
第21図 滝遺跡の地形と調査区(1/4,000) …… 29頁
第22図 滝遺跡第16地点遺構配置図(1/300)、土層図(1/150) …… 31頁
第23図 滝遺跡第16地点H21号住居跡・井戸・土坑・ピット・溝(1/60) …… 32頁
第24図 滝遺跡第16地点井戸・土坑・溝・遺構外出土遺物(1/4) …… 33頁
第25図 富士見台横穴墓群遺跡の地形と調査区(1/4,000) …… 34頁
第26図 富士見台横穴墓群遺跡第7地点調査区域図(1/300)、土層図(1/150) …… 34頁
第27図 長宮遺跡の地形と調査区(1/4,000) …… 35頁
第28図 長宮遺跡第30地点遺構配置図(1/300) …… 36頁
第29図 長宮遺跡第32地点遺構配置図(1/300) …… 36頁
第30図 松山遺跡の地形と調査区(1/4,000) …… 37頁
第31図 松山遺跡第47地点調査区域図、第48・49地点遺構配置図(1/300)、土層図(1/150)、ピット(1/60) …… 40頁
第32図 松山遺跡第50地点遺構配置図(1/300)、土層図(1/150)、ピット(1/60)、出土遺物(1/4) …… 41頁
第33図 江川南遺跡の地形と調査区(1/4,000)、第24地点遺構配置図(1/300) …… 42頁
第34図 江川東遺跡の地形と調査区(1/4,000) …… 43頁
第35図 江川東遺跡第16地点遺構配置図・第17地点調査区域図(1/300)、土層図(1/150)、集石土坑(1/30)、出土土器(1/4) …… 44頁
第36図 東久保遺跡の地形と調査区(1/4,000)、東久保遺跡第67地点調査区域図(1/300) …… 45頁
第37図 駒林遺跡の地形と調査区(1/5,000) …… 46頁
第38図 駒林遺跡第8・10地点調査区域図(1/300)、土層図(1/150)、出土土器(1/4) …… 47頁
第39図 西ノ原遺跡の地形と調査区(1/4,000) …… 48頁
第40図 西ノ原遺跡第144地点遺構配置図(1/300)、土層図(1/150)、出土遺物(1/4) …… 49頁
第41図 中沢前遺跡の地形と調査区(1/4,000)、第27地点調査区域図(1/300)、土層図(1/150) …… 50頁
第42図 神明後遺跡の地形と調査区(1/4,000) …… 51頁
第43図 神明後遺跡第37地点遺構配置図(1/200) …… 51頁
第44図 神明後遺跡第37地点J27号住居跡(1/60) …… 53頁
第45図 神明後遺跡第37地点J27号住居跡遺物出土状況図(1/60)、炉(1/30) …… 54頁
第46図 神明後遺跡第37地点J27号住居跡出土遺物①(1/4) …… 55頁
第47図 神明後遺跡第37地点J27号住居跡出土遺物②(2/3・1/4) …… 56頁
第48図 神明後遺跡第38・39地点遺構配置図(1/300)、土層図(1/150) …… 57頁
第49図 神明後遺跡第38地点ピット・溝(1/60)、出土遺物(1/4) …… 58頁
第50図 神明後遺跡第40地点遺構配置図(1/300) …… 59頁
第51図 神明後遺跡第40地点集石土坑(1/30)、土坑①・ピット①(1/60) …… 60頁
第52図 神明後遺跡第40地点堅穴状遺構・土坑②・ピット②(1/60) …… 61頁
第53図 神明後遺跡第40地点地下式坑(1/60) …… 62頁
第54図 神明後遺跡第40地点出土遺物(1/3・1/4) …… 64頁
第55図 小田久保遺跡の地形と調査区(1/4,000) …… 65頁
第56図 小田久保遺跡第8地点遺構配置図(1/300)、土層図(1/150)、土坑・ピット(1/60) …… 67頁
第57図 小田久保遺跡第8地点溝(1/60)、出土遺物(1/4) …… 68頁
第58図 大井宿遺跡の地形と調査区(1/4,000) …… 69頁
第59図 大井宿遺跡第16地点遺構配置図(1/300)、土層図(1/150) …… 70頁
第60図 大井宿遺跡第16地点礎石(1/30)、土坑①・ピット①(1/50) …… 74頁
第61図 大井宿遺跡第16地点土坑①土層図・ピット①土層図(1/50) …… 75頁
第62図 大井宿遺跡第16地点土坑②・ピット②(1/50) …… 76頁
第63図 大井宿遺跡第16地点土坑②土層図・ピット②土層図(1/50) …… 77頁
第64図 大井宿遺跡第16地点土坑②土層図2・ピット②土層図2(1/50) …… 78頁
第65図 大井宿遺跡第16地点土坑③・ピット③(1/50) …… 79頁
第66図 大井宿遺跡第16地点土坑③土層図・ピット③土層図(1/50) …… 80頁
第67図 大井宿遺跡第16地点土坑③土層図2・ピット③土層図2(1/50) …… 81頁
第68図 大井宿遺跡第16地点溝①(1/60) …… 82頁
第69図 大井宿遺跡第16地点溝②(1/60) …… 83頁
第70図 大井宿遺跡第16地点出土遺物①(1/1・1/4) …… 86頁
第71図 大井宿遺跡第16地点出土遺物②(1/1・1/4) …… 87頁
第72図 本村遺跡の地形と調査区(1/5,000) …… 88頁
第73図 本村遺跡第121・122地点遺構配置図(1/300)、土層図(1/150) …… 89頁
第74図 本村遺跡第122地点地下式坑(1/60)、出土遺物(1/4) …… 90頁
第75図 西台遺跡の地形と調査区(1/4,000)第7地点調査区域図(1/300)、土層図(1/150) …… 91頁
第76図 東台遺跡の地形と調査区(1/4,000) …… 92頁
第77図 東台遺跡の調査区と遺構分布図(1/2,000) …… 95頁
第78図 東台遺跡第52地点遺構配置図(1/300)、98号住居跡・ピット(1/60) …… 97頁
第79図 東台遺跡第52地点98・183号住居跡出土遺物(1/4・2/3) …… 98頁
第80図 火工廠跡の地形と調査区(1/6,000) …… 99頁
第81図 火工廠跡防空壕1・2(1/300・1/80)、土層図(1/80) …… 102頁
第82図 火工廠跡防空壕3(1/80)、土層図(1/80) …… 103頁
第83図 火工廠跡水溜1・2・3(1/80) …… 104頁
第84図 火工廠跡穴蔵・土坑(1/80)、ヒューム管(1/300・1/80) …… 105頁
第85図 火工廠跡出土遺物①(1/4・1/12) …… 106頁
第86図 火工廠跡出土遺物②(1/4・1/3・1/12) …… 107頁
第87図 旧第2小学校跡防空壕出土手榴弾(1/4) …… 109頁

表目次

第1表　過去3年間の調査件数と面積一覧表 …… 1頁
第2表　2009(平成21)年度埋蔵文化財調査一覧表 …… 2頁
第3表　2009(平成21)年度立会い調査一覧表1
(埋蔵文化財包蔵地内) …… 3頁
第4表　2009(平成21)年度立会い調査一覧表2
(埋蔵文化財包蔵地外) …… 3頁
第5表　ふじみ野市遺跡一覧表 …… 7頁
第6表　縄文時代中期時期細分対比表 …… 7頁
第7表　北野遺跡第18地点遺構一覧表 …… 10頁
第8表　川崎遺跡調査一覧表 …… 15頁
第9表　川崎遺跡第31地点J21号住居跡ピット一覧表 …… 17頁
第10表　川崎遺跡第31地点J22号住居跡ピット一覧表 …… 17頁
第11表　川崎遺跡第31地点ピット一覧表 …… 26頁
第12表　ハケ遺跡調査一覧表 …… 28頁
第13表　滝遺跡調査一覧表 …… 30頁
第14表　滝遺跡第16地点遺構一覧表 …… 33頁
第15表　松山遺跡調査一覧表 …… 38頁
第16表　松山遺跡第50地点遺構一覧表 …… 39頁
第17表　江川東遺跡第16地点集石土坑・出土礫観察表 …… 43頁
第18表　西ノ原遺跡第144地点出土遺物観察表 …… 49頁
第19表　神明後遺跡第37地点J27号住居跡内ピット一覧表
…… 52頁
第20表　神明後遺跡第37地点石器・石製品・泥面子観察表
…… 56頁
第21表　神明後遺跡第40地点集石土坑・出土礫観察表 …… 63頁
第22表　神明後遺跡第40地点土坑・ピット一覧表 …… 63頁
第23表　小田久保遺跡調査一覧表 …… 66頁
第24表　小田久保遺跡第8地点土坑・ピット・溝一覧表 …… 66頁
第25表　大井宿遺跡第16地点土坑一覧表 …… 70頁
第26表　大井宿遺跡第16地点ピット一覧表① …… 71頁
第27表　大井宿遺跡第16地点ピット一覧表② …… 72頁
第28表　大井宿遺跡第16地点ピット一覧表③ …… 73頁
第29表　大井宿遺跡第16地点溝一覧表 …… 78頁
第30表　大井宿遺跡第16地点出土遺物観察表 …… 87頁
第31表　東台遺跡調査一覧表 …… 93頁
第32表　東台遺跡住居跡一覧表 …… 94頁
第33表　遠兵厳(火工廠)跡調査一覧表 …… 100頁
第34表　遠兵厳(火工廠)跡水溜一覧表 …… 104頁
第35表　遠兵厳(火工廠)跡第1地点出土遺物観察表 …… 108頁
第36表　遠兵厳(火工廠)跡第1地点出土銃弾類一覧表 …… 109頁
第37表　遠兵厳(火工廠)跡旧第2小学校跡防空壕出土手
榴弾観察表 …… 109頁
第38表　北野遺跡調査一覧表 …… 111頁
第39表　富士見台横穴墓群遺跡調査一覧表 …… 111頁
第40表　大井宿遺跡調査一覧表 …… 111頁
第41表　長宮遺跡調査一覧表 …… 112頁
第42表　江川南遺跡調査一覧表 …… 113頁
第43表　江川東遺跡調査一覧表 …… 113頁
第44表　東久保遺跡調査一覧表 …… 114頁
第45表　駒林遺跡調査一覧表 …… 115頁
第46表　西ノ原遺跡調査一覧表 …… 116頁
第47表　中沢前遺跡調査一覧表 …… 117頁
第48表　西台遺跡調査一覧表 …… 117頁
第49表　神明後遺跡調査一覧表 …… 118頁

写真目次

写真図版1　北野遺跡第16・17地点 …… 119頁
写真図版2　北野遺跡第18地点 …… 120頁
写真図版3　川崎遺跡第31地点(1) …… 121頁
写真図版4　川崎遺跡第31地点(2) …… 122頁
写真図版5　川崎遺跡第31地点(3) …… 123頁
写真図版6　川崎遺跡第31地点(4) …… 124頁
写真図版7　ハケ遺跡第9地点、滝遺跡第15地点 …… 125頁
写真図版8　滝遺跡第16地点(1) …… 126頁
写真図版9　滝遺跡第16地点(2) …… 127頁
写真図版10　富士見台横穴墓群遺跡第7地点、
長宮遺跡第30地点(1) …… 128頁
写真図版11　長宮遺跡第30地点(2) …… 129頁
写真図版12　長宮遺跡第32地点 …… 130頁
写真図版13　松山遺跡第47・48・49地点(1) …… 131頁
写真図版14　松山遺跡第49地点(2) …… 132頁
写真図版15　松山遺跡第50地点 …… 133頁
写真図版16　江川南遺跡第24地点、江川東遺跡第16・17地点
…… 134頁
写真図版17　駒林遺跡第8・9・10地点 …… 135頁
写真図版18　西ノ原遺跡第144地点、中沢前遺跡第27地点
…… 136頁
写真図版19　神明後遺跡第37地点(1) …… 137頁
写真図版20　神明後遺跡第37地点(2) …… 138頁
写真図版21　神明後遺跡第38・39地点 …… 139頁
写真図版22　神明後遺跡第40地点(1) …… 140頁
写真図版23　神明後遺跡第40地点(2) …… 141頁
写真図版24　神明後遺跡第40地点(3) …… 142頁
写真図版25　小田久保遺跡第8地点(1) …… 143頁
写真図版26　小田久保遺跡第8地点(2) …… 144頁
写真図版27　大井宿遺跡第16地点(1) …… 145頁
写真図版28　大井宿遺跡第16地点(2) …… 146頁
写真図版29　大井宿遺跡第16地点(3) …… 147頁
写真図版30　本村遺跡第121・122地点 …… 148頁
写真図版31　西台遺跡第7地点、東台遺跡第52地点(1) …… 149頁
写真図版32　東台遺跡第52地点(2) …… 150頁
写真図版33　造兵厳(火工廠)跡(1) …… 151頁
写真図版34　造兵厳(火工廠)跡(2) …… 152頁
写真図版35　造兵厳(火工廠)跡(3) …… 153頁
写真図版36　造兵厳(火工廠)跡(4) …… 154頁
写真図版37　造兵厳(火工廠)跡(5) …… 155頁
写真図版38　造兵厳(火工廠)跡(6) …… 156頁

第１章　遺跡と調査の概要

Ⅰ　調査に至る経過

埼玉県ふじみ野市は、首都圏30㎞圏内の県南西部に位置する。2005（平成17）年10月１日に、上福岡市と大井町が合併して誕生した。面積14.67㎢、人口は2012（平成24）年12月現在108,825人である。

旧上福岡市地域では明治・大正時代頃までは畑作と稲作、旧大井町地域では畑作を中心とする農村地帯であった。また、近世以降は川越街道（大井宿）や新河岸川（福岡河岸）、東武東上線（上福岡駅）などの交通網が発達した交通の要所でもあった。

昭和初期の太平洋戦争時には、旧福岡村に通信施設や旧日本陸軍造兵廠東京工廠福岡工場（火工廠）が建設され、戦後の昭和30年代以降には各市町で中・小の宅地開発や大規模な団地が誕生し人口が急増した。また企業の工場や研究所も多数進出してきた。昭和60年代以降、旧大井町地域では大規模な土地区画整理事業が進み、埋蔵文化財の発掘調査も行われた。現在は上福岡駅周辺の再開発と、ふじみ野駅周辺の民間開発が活発に行われている。

ふじみ野市では平成17年から国庫・県費の補助を受けて、「市内遺跡群発掘調査事業」（旧上福岡市、旧大井町では昭和53年度から合併まで）として試掘・確認調査及び個人住宅建設に伴う発掘調査を実施してきた。また民間の開発に伴う本調査も原因者と協議の上、協定書並びに契約書を締結し原因者負担のもと、市教育委員会が主体となって本調査を実施している。

埋蔵文化財の調査は、庁内関係各課と連絡調整を行い、農業委員会事務局からの農地転用許可申請段階、建設課（民間の指定確認検査機関含む）への建築確認申請段階、都市整備課からの開発行為の事前申請段階等でそれぞれチェックされる。その後、教育委員会では開発主体者または土地所有者から「埋蔵文化財包蔵地の開発事前協議書」（以下「埋蔵文化財事前協議書」）の提出を受けて事前協議を行った。埋蔵文化財包蔵地内及びその縁辺部の申請に対して遺跡地図と照合のうえ、現地踏査を実施し現地の状況を確認の上、遺跡に影響を及ぼすとみなされる開発行為に対して申請者に連絡をして協議を行った。

協議後、文化財保護法第99条第５項にもとづき、民間・公共事業を問わず確認調査については全て公費で対応し、埋蔵文化財包蔵地の詳細な範囲の把握を積極的に実施している。また専その個人の用に供する住宅（個人住宅）の建設に伴う発掘調査についても、教育委員会が発掘調査主体者となって調査を実施した。

2009年度の試掘及び発掘調査は第２表のとおりで、国庫・県費補助事業対象の調査は30件である。また、試掘調査の結果、個人住宅建設に伴う本調査７件（内１件は個人住宅兼共同住宅）、民間開発に伴う本調査８件（内１件は個人宅兼）を行った。開発面積は13,121㎡で、そのうち実質調査面積は試掘4,044（本調査面積1,608）㎡である。過去３年間の調査件数と調査面積を第１表にあげてみる。

今後、中小規模の再開発を含む民間開発の増加が見込まれる中で、埋蔵文化財の保存及び活用と、調査体制の強化が求められるところである。

第１表　過去３年間の調査件数と面積一覧表

件数・内訳 / 年度	試掘件数 開発面積㎡	個人住宅本調査件数 開発面積㎡	原因者負担本調査件数 開発面積㎡	調査原因の内訳
2007（平成19）年度	33件	4件	9件	個人住宅11、共同住宅6、分譲住宅4、共同住宅及び分譲住宅1、消防分団車庫1、変電所1、公民館分館1、小学校2、寺院・庫裏2、駐車場1、学習塾1、店舗兼事務所1、道路築造1
	69,902	1,580	55,564	
2008（平成20）年度	38件	8件	4件	個人住宅24、共同住宅1、分譲住宅5、分譲及び店舗1、モデルルーム1、道路築造2、寄宿舎2、プール1、公園整備1
	18,016	3,208	2,592	
2009（平成21）年度	5件	7件	8件	個人住宅17（内１件は前年度継続）、共同住宅4、分譲住宅5、宅地造成5、老人福祉施設1、地下調査1、個人住宅兼共同住宅1、個人住宅兼店舗1
	13,121	3,714.97	3,365	

第2表 2009（平成21）年度埋蔵文化財調査一覧表

	遺跡・地点名	申請地住所	開発面積（㎡）	試掘面積（㎡）	個人住宅本調査面積(㎡) 民間開発本調査面積(㎡)	原因	試掘期間 本調査期間	調査措置
1	北野遺跡第16地点	大原1丁目2070-1,2071-1	1,888.0	296.0	－	宅地造成	4/8～10	試掘調査
2	北野遺跡第17地点	大原2丁目2079-1･6	412.0	122.5	－	共同住宅	10/13～17	試掘調査
3	北野遺跡第18地点	北野2丁目1828-2・12,1829-1・2	507.9	178.0	－	分譲住宅	3/9～18	試掘調査
4	川崎遺跡第31地点	川崎字宮後161-1・5・6	304.8	103.0	103.0 －	個人住宅	10/28 10/28～11/27	試掘調査、本調査
5	ハケ遺跡第9地点	福岡3丁目1257-7、1259-1	120.0	30.0	－	個人住宅	2/2～4	試掘調査
6	滝遺跡第15地点	滝3丁目3-84	100.0	50.0	－ 52.5	分譲住宅	9/2～14 10/23～11/9	試掘調査、本調査
7	滝遺跡第16地点	滝3丁目3-145	434.0	129.0	－	宅地造成	12/2～14	試掘調査
8	富士見台横穴墓群第7地点	富士見台610-7	92.8	4.5	－	個人住宅	8/26	試掘調査
9	長宮遺跡第30地点	長宮2丁目4-6	1,362.1	542.0	－ 445.0	デイサービス・ショートステイ	9/28～11/2 11/4～12/8	試掘調査、本調査
10	長宮遺跡第32地点	長宮2丁目1-18	271.0	75.0	－ 134.0	分譲住宅	1/15～25 2/4～26	試掘調査、本調査
11	松山遺跡第47地点	築地3丁目1-52	121.0	30.0	－	個人住宅	5/11～12	試掘調査
12	松山遺跡第48地点	仲2丁目2-34	67.7	21.7	－	個人住宅	7/1	試掘調査
13	松山遺跡第49地点	松山2丁目6-1・14・22の一部	449.0	158.8	－ 30.0	共同住宅	10/17～22 10/27～11/18	試掘調査、本調査
14	松山遺跡第50地点	松山2丁目5-3・17	797.1	160.0	－	宅地造成	11/27～12/1	試掘調査
15	江川南遺跡第24地点	東久保1丁目122-5	178.0	51.0	－ 66.0	分譲住宅	12/4～10 12/14～28	試掘調査、本調査
16	江川東遺跡第16地点	東久保1丁目176-13～16	148.5	63.0	63.0 －	個人住宅	9/14～15 9/16～18	試掘調査、本調査
17	江川東遺跡第17地点	東久保1丁目177-1	556.0	156.0	－	地下埋設物調査	12/10～18	試掘調査
18	東久保遺跡第67地点	ふじみ野2丁目25-10・11	492.5	4.0	－	個人住宅	11/9	試掘調査
19	駒林遺跡第8地点	駒林字新田前245-5(21街区5画地)	132.0	42.0	－	個人住宅	6/8	試掘調査
20	駒林遺跡第9地点	駒林字新田前284(19街区9画地)	627.0	246.2	－ 100.0	共同住宅	7/22～30 7/30～8/5	試掘調査、本調査
21	駒林遺跡第10地点	新田前288-1の一部(17街区11画地)	400.0	66.0	－	個人住宅	2/17～18	試掘調査
22	西ノ原遺跡第144地点	旭1丁目8-11	155.0	73.6	－	個人住宅	9/18～25	試掘調査
23	中沢前遺跡第27地点	苗間1-11-4	170.2	50.0	－	個人住宅	2/9～10	試掘調査
24	神明後遺跡第37地点	苗間258-1の一部	120.4	27.0	32.5 －	個人住宅	4/13 4/15～30	試掘調査、本調査
25	神明後遺跡第38地点	苗間字神明後292-13,293-1	265.4	118.0	30.0 －	個人住宅	7/6～7 7/8～14	試掘調査、本調査
26	神明後遺跡第39地点	苗間字神明後264-1	378.0	114.0	－ 105.0	共同住宅	8/5～12 8/24～9/1	試掘調査、本調査
27	神明後遺跡第40地点	苗間309-1	156.7	47.0	77.0 －	個人住宅	11/9～16 12/18～1/15	試掘調査、本調査
28	小田久保遺跡第8地点	大井字小田久保1211-1	421.4	174.7	－	個人住宅	3/3～9	試掘調査
29	大井宿遺跡第16地点	大井1丁目5-11	500.4	218.0	93.0 57.0	個人住宅兼共同住宅	3/15～18 3/19～4/30	試掘調査、本調査(一部民間開発本調査)
30	本村遺跡第121地点	市沢2丁目11-9	150.0	15.0	－	個人住宅	4/22	試掘調査
31	本村遺跡第122地点	市沢2丁目11-26・27	300.0	121.0	－	宅地造成	5/25～6/3	試掘調査
32	西台遺跡第7地点	大字西台854-1の一部	246.2	7.0	－	個人住宅兼店舗	3/5	試掘調査
33	東台遺跡第51地点	大井字東台648-2	296.6	114.2	220.0 －	個人住宅	3/10～18 4/7～5/7	前年度試掘調査後本調査
34	東台遺跡第52地点	大井字東台626-8・14	100.0	36.5	－	分譲住宅	5/12～19	試掘調査
35	造兵廠(火工廠)跡	上野台1～3丁目	400.0	400.0	－	宅地造成	6/5～1/27	遺跡範囲確認調査
	合計		13,121.7	4,044.7	618.5 989.5			

第３表　2009（平成21）年度立会い調査一覧表１（埋蔵文化財包蔵地内）

	遺跡・地点名	申請地住所	開発面積(㎡)	原　因	立会い日	調査の成果、備考
1	東台遺跡	大井字東台638-7	51.00	個人住宅	4/7	斜面直下で地山ローム層確認できず、遺構・遺物なし
2	西ノ原遺跡	旭１丁目13番21,22	114.99	個人住宅	7/15	地山ローム層を削平、遺構・遺物なし
3	西ノ原遺跡	旭１丁目12番４	188.24	個人住宅	6/6・8	斜面地で地山ローム確認できず、遺構・遺物なし
4	江川東遺跡	東久保１丁目146-13	68.43	個人住宅	5/15	現地表面下50～70cmで地山ローム層確認、遺構・遺物なし、慎重工事
5	木村遺跡第32地点	市沢３丁目１-２	14310.00	駐車場	8/6	1993.11.9～25試掘調査済み
6	鶴ヶ舞遺跡第13地点	鶴ヶ舞１丁目69番13	102.66	分譲住宅	9/30	現地表面下80cmまで確認、遺構・遺物なし、慎重工事
7	北野遺跡	北野１丁目3065番10	148.00	分譲住宅	9/8	現地表面下50cmで地山ローム層確認、遺構・遺物なし、慎重工事
8	中沢前遺跡	笛間１丁目８番13	89.00	個人住宅	8/31	遺構・遺物なし
9	鶴ヶ岡外遺跡	亀久保字大野原1637番2の一部	1034.92	個人住宅	9/29	現地表面下80cmで地山ローム層確認、遺構・遺物なし
10	北野遺跡	北野２丁目1850番15,2115番7	72.96	個人住宅	3/16	地山ローム層が全面でている現状、遺構遺物なし
11	長宮遺跡	中丸１丁目５-11	265.00	個人住宅	11/9	現地表面下110cmで地山ローム確認、遺構・遺物なし
12	亀久保堀跡遺跡第31地点	ふじみ野２丁目15番22	165.44	個人住宅	－	2009.2.10～13確認調査済み
13	鶴ヶ岡遺跡	鶴ヶ岡３丁目14番３	198.36	個人住宅	3/8	現地表面下約～45cmで地山ローム層確認、遺構・遺物なし
14	権現山遺跡（古墳群）	滝１丁目５番４・８号	1995.00	史跡整備	1/12～2/26	地下掘削狭小なため工事立会、遺構・遺物なし
15	笛間東久保遺跡	笛間字東久保652-26	103.65	個人住宅	6/3	遺構確認可能性低い、遺構・遺物なし
16	江川東遺跡	東久保１丁目174番８	125.00	個人住宅	12/18・21	遺構・遺物なし
17	亀居遺跡	亀久保３丁目988-6,989-1	150.00	個人住宅	－	保護層あり、遺構・遺物なし
18	木村遺跡第122地点	市沢２丁目11-26	150.00	個人住宅	－	2009.5.25試掘調査済み
19	東久保南遺跡第22地点	ふじみ野４-９-１	1524.88	店舗	－	1999.2試掘調査済み
20	笛間東久保遺跡第9地点	笛間字東久保642番24	143.63	個人住宅	8/31	183.11試掘調査済み
21	長宮遺跡	長宮２丁目３-34	120.00	個人住宅	－	1997.4.8・9試掘調査済み、時期不明溝状遺構調査
22	大井戸上遺跡	大井字東原223-1	77.99	事務所・倉庫	2/17	現地表面下150cmで地山確認できず、遺構・遺物なし
23	駒林遺跡	駒林字新田前259番５の一部	110.10	個人住宅	－	試掘調査不可能、遺構・遺物なし
24	東久保西遺跡	ふじみ野２丁目10番３の一部	115.00	個人住宅	4/1	遺構・遺物なし
合計			5,317.01			

第４表　2009（平成21）年度立会い調査一覧表２（埋蔵文化財包蔵地外）

1	東中学校西遺跡縁辺	ふじみ野４丁目4-3,8,9,10,11,12,14	1072.31	分譲住宅	5/25	約30～40cmで地山ローム層確認、遺構・遺物なし
2	鶴ヶ岡外遺跡縁辺	亀久保字大野原1630-6	1285.66	工場	12/11・17、1/10	遺構・遺物なし
3	西ノ原遺跡縁辺	うれし野１丁目１-８～11	2203.73	共同住宅	11/13	地山ローム層を約50cm削平、遺構・遺物なし
4	西遺跡縁辺	西２丁目5923-1	3446.97	共同住宅	2/22～	遺構・遺物なし
合計			8,008.67			

Ⅱ　立地と環境

ふじみ野市は埼玉県の南西部に位置し、市内には国道254号バイパス、東武東上線、川越街道（国道254号線）、関越自動車道といった、交通の幹線が北西から南東方向に平行して存在する。市内の開発はこうした幹線沿いや、東武東上線上福岡駅周辺、ふじみ野駅周辺を中心に進んでいるが、郊外には畑地や田園風景も多くみられる。

ふじみ野市を地形的にみると、武蔵野台地と荒川低地に大きく分かれ、旧大井町域は武蔵野台地縁辺部に位置し、旧上福岡市域は台地縁辺部から荒川低地の沖積地に広がる。

武蔵野台地は古多摩川が形成した扇状地で、扇頂部で標高180ｍ、扇端部は標高15～20ｍで比高差10ｍ前後の急斜面となって荒川低地と接している。台地には柳瀬川、黒目川、石神井川等の中河川が荒川低地へ向かって流れ、深い谷と沖積地を形成し、河川に沿って多くの遺跡が分布している。他にも多数の小河川が流れ、台地縁辺を縦横状に開析することが多いが、中には急崖もなく、緩斜面のまま低地に接していくことがある。この緩斜面はもともと低位の段丘面で、低位台地と呼ばれる。旧大井町地域を南北方向の断面図で見ると、北と南に高台が続き、その中間に低位台地（大井台）がある。この大井台の中を３本の河川が東流し、河川の流域に遺跡が集中している。中でも砂川堀は狭山丘陵に流れを発する中河川で、本来大井台はこの砂川の段丘面と捉えることができる。また、福岡江川や富士見市との境を流れるさかい川、浄禅寺川などの小河川は市内に湧水源をもつ。湧水源は浅い窪地から発しており、こうした窪地の形成は従来から伏流水が再湧出したことによるものと、宙水からの流出によるものとの二通りが考えられている。

荒川低地は、荒川により形成された沖積地で、ふじみ野市の北東部から東部にかけて広がる。荒川の支流であった新河岸川は川越市周辺に水源を発しその流れはふじみ野市、富士見市、志木市、朝霞市を経て東京都にまたがる。武蔵野台地縁辺部を縫うように流れ、不老川、九十川、福岡江川、砂川堀、柳瀬川、黒目川、越戸川、白子川などの支川と合流し、現在は東京都北区で隅田川に合流する。低地部は平坦にみえるが、荒川や新河岸川の河川改修等で取り残された沼や、氾濫でできた旧河道（埋没河川）、自然堤防、後背湿地などの地形が存在する。

Ⅲ　市内の遺跡

ふじみ野市の遺跡分布をみると、台地上の中小河川沿いと荒川低地部を望む縁辺部、低地部分に分かれる。

市内の主な遺跡を時代順に河川ごとに概観する。

【旧石器時代・縄文時代】市の北側を流れる川越江川では、右岸高台に鶴ヶ岡外遺跡、鶴ヶ岡遺跡、八幡神社遺跡（川越市）が位置し、縄文時代中期の集落である西遺跡へ続く。鶴ヶ岡外遺跡では旧石器時代の石器群と礫群が出土し、八幡神社遺跡では縄文時代中期の住居跡などが検出されている。

藤間江川・川越江川が新河岸川に合流する部分、荒川低地に張り出した舌状台地上に、川崎貝塚として著名な川崎遺跡が立地する。本遺跡ではローム層中からではないが旧石器時代の石器が出土し、縄文時代早期から後期の住居跡などを検出する。新河岸川は川崎遺跡を回り込み、低地部で台地東縁を沿うように流れる。台地東端は急峻を成し、崖線上には縄文時代中期のハケ遺跡、学史上著名な前期集落の上福岡貝塚が形成され権現山遺跡へと続く。台地の南端、市立福岡中学校周辺はかつて「熊野山」と呼ばれ、湧出した水が丘上から流れ落ち滝となっていたため「滝地区」の名称が付いたとされる。清水は長宮氷川神社の裏手（北側）を北に流れていたが現在は道路となっており、新河岸川との合流部でその面影を残すのみである。滝遺跡、長宮遺跡はこの小河川に対峙して立地し、滝遺跡では前期の遺構と遺物を、長宮遺跡では前期関山期の集落跡が確認されている。

川越江川の1㎞南には福岡江川が流れ、新河岸川へ注ぐ。福岡江川の湧水地周辺域に縄文時代中期前半の集落である亀居遺跡が存在し、対岸にも中期前半の江川南遺跡がある。この2遺跡と鶴ヶ舞遺跡では、旧石器時代立川ローム第Ⅳ層の礫群と石器群を検出している。さらに市立亀久保小学校周辺では福岡江川に注ぐ埋没谷がみられ、東久保遺跡、亀久保堀跡遺跡、東久保西遺跡、東中学校西遺跡で旧石器時代から縄文時代中期の遺構と遺物が確認されている。川越江川最下流の新河岸川との合流部域には、前期集落の鷺森遺跡が存在する。

福岡江川の900ｍ南には、富士見市との境にさかい川が流れ、3㎞下流で砂川堀と合流する。流域には縄文時代中期の拠点集落である西ノ原遺跡の他、10遺跡が存在する。旧石器時代の遺跡は西ノ原遺跡、中沢前遺跡、中沢遺跡・外記塚遺跡（富士見市）で立川ロームⅢ層～Ⅹ層の遺物が確認されている。縄文時代中期～後期の集落は時代を追うごとに、上流から下流域へ集落の拠点を移していく傾向がみられる。

さかい川の800ｍ南に、都市下水道と化した砂川堀が流れる。砂川流域は大きく3ヶ所の地域で遺跡分布がみられる。砂川最上流域の狭山丘陵裾部、伏流水となりはじめる中流域、一旦地中に姿を消したあと再び湧水してくる下流域である。下流域のふじみ野市地域では、砂川右岸が段丘となり5～6ｍの急崖を形成する。この高台上には縄文時代中期の拠点集落である東台遺跡があり、旧石器時代の遺跡も西台遺跡から東台遺跡まで連綿と続く。一方砂川左岸の低位台地では、市内で最古の時期であるＡＴ降灰前（立川ローム第Ⅶ層）の石器を本村遺跡の微高地上から検出する。縄文時代中期には上流の小田久保遺跡で小規模な集落がみられ、本村遺跡では炉穴、落とし穴が散在する。

【弥生・古墳時代】荒川低地を流れる新河岸川の自然堤防上に、弥生時代後期の環濠集落である伊佐島遺跡が立地する。新河岸川右岸、舌状台地崖線上の東端に立地する権現山遺跡は、縄文時代から中世までの複合遺跡で、縄文時代の住居跡も存在するが、主体は遺跡北東部と北西端に築造された古墳群と、古墳時代前期から奈良・平安時代にかけての集落跡である。北東部に築造された古墳時代前期の古墳群（埼玉県指定史跡権現山古墳群）は、方墳11基の他に古墳時代初期の前方後方墳（2号墳）1基である。また権現山古墳群北西端の台地縁辺部には、古墳時代中期の古墳群（通称権現山北古墳群）3基がある。他に古墳時代の集落は川崎遺跡と上福岡貝塚、滝遺跡で確認されている。

【飛鳥・奈良・平安時代】7世紀には、前述の舌状台地の西側、川崎遺跡の南西隣に川崎横穴墓群、さらに

南約1.5㎞の台地南側の崖線に、富士見台横穴墓群が存在する。集落は川崎遺跡、滝遺跡、松山遺跡、長宮遺跡など一段低い段丘面に展開し、川崎遺跡は10世紀前半まで、滝遺跡、松山遺跡は9世紀後半ごろまで続く。

8世紀代には前述の他、ハケ遺跡、上福岡貝塚、権現山遺跡、神明後遺跡、東久保南遺跡などで住居跡を検出する。8世紀中葉から9世紀前半まで、砂川堀右岸の台地縁辺部に東台遺跡の大規模な製鉄遺跡が現われ、周辺の遺跡でも木炭窯などが確認されている。さらに9世紀以降10世紀までは伊佐島遺跡、東台遺跡、西ノ原遺跡などで住居跡を検出している。

またハケ遺跡からは銙帯金具が、川崎遺跡からは瓦塔片と布目瓦などが出土しており注目される。

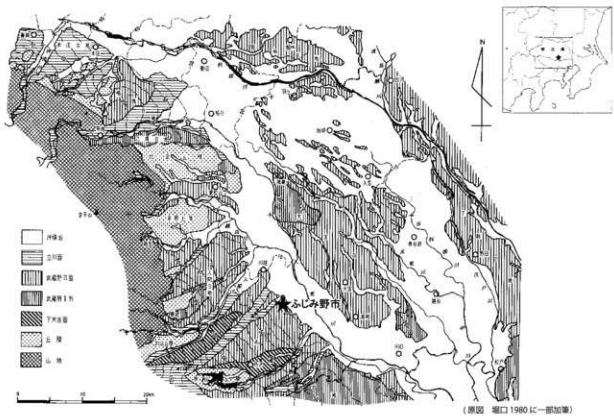
【中世】駒林遺跡では14世紀代に造立された板碑の下に、蔵骨器が埋納された算石墳墓を検出した。また本遺跡を囲む堀跡状の溝覆土層中から、茶毘跡などが確認されている。長宮遺跡、松山遺跡、木村遺跡などでは13～16世紀代の遺物を伴う遺構を検出する。特に木村遺跡では遺構を多数検出し、15世紀以降中世集落が発展したと思われる。

16世紀後半から17世紀前半では川崎遺跡、長宮遺跡、松山遺跡、神明後遺跡、浄禅寺跡遺跡などで屋敷地とみられる遺構を検出し、「新田」といった地名と共に開発の歴史を偲ばせる。特に城山遺跡は荒川低地の自然堤防上に立地し、周囲を方形に堀跡で囲む中世から近世の居館跡と思われる。

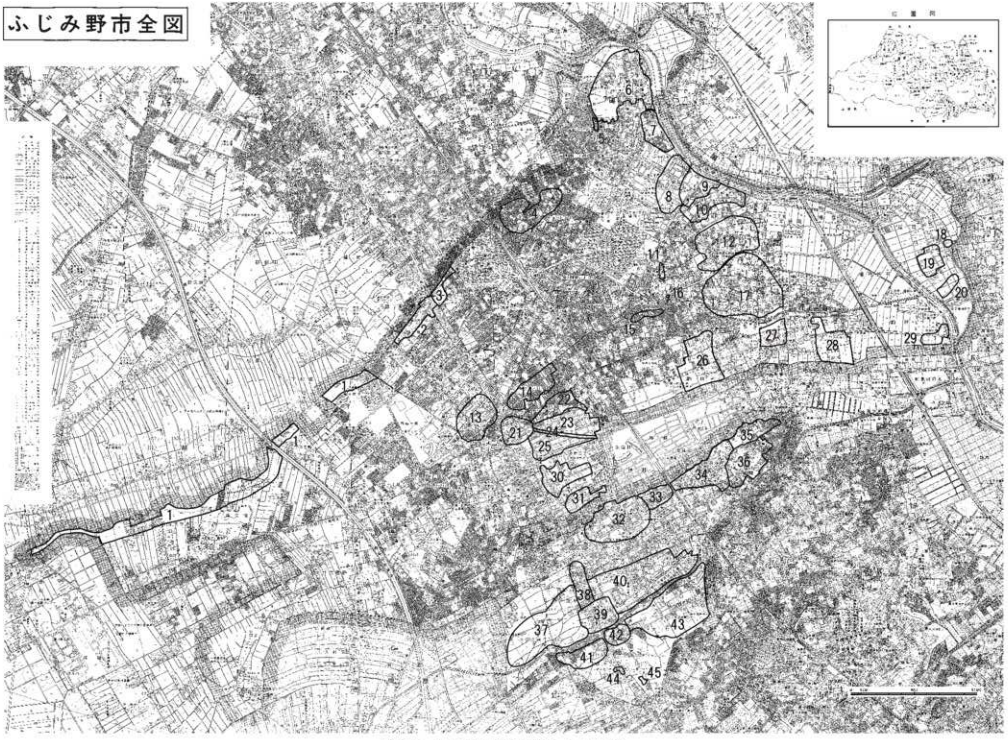
また、松山遺跡、駒林遺跡、亀久保堀跡遺跡、神明後遺跡では時期不詳の長大な堀跡が検出されている。

【近世】近世以降の遺跡は、多数の遺跡で遺物などが確認されている。主な近世遺跡の分布は中世村落から続く集落跡や、街道沿いの宿場や新河岸川の河岸跡、寺院跡などにみられる。中でも、川越街道沿い大井宿の範囲にある大井氏館跡遺跡、大井戸上遺跡や大井宿遺跡、亀久保村地蔵院の江川南遺跡、旧苗間村の寺院跡である浄禅寺跡遺跡、長宮氷川神社周辺の長宮遺跡、新河岸舟運で栄えた福岡河岸の福田屋などでまとまった遺構と遺物が確認されている。また鷲森遺跡で、近・現代の盛り土の中から陶磁器が多数出土しているが、埋め立ての為に他から持ち込まれた可能性がある。

近世以降では、昭和初期の旧日本陸軍の軍需工場である東京第一陸軍造兵廠川越製造所（通称造兵廠「火工廠」）の跡地で、防爆土塁・防空壕・水溜・消火栓・排水枡などの遺構や遺物が、近年の調査で確認されている。



第1図　ふじみ野市の位置と周辺の地形



第２図　ふじみ野市遺跡分布図（1/30,000）

第５表　ふじみ野市遺跡一覧表

No.	遺跡名	主な時代	遺跡番号
1	鶴ヶ岡外遺跡	旧石器、縄文早期の集落跡	30-036
2	鶴ヶ岡遺跡	旧石器、縄文早期・中期の集落跡	30-047
3	西遺跡	縄文中期の集落跡	25-001
4	北野遺跡	縄文中期、奈良・平安の集落	25-002
5	川崎横穴墓群	古墳後期の横穴墓	25-004
6	川崎遺跡	旧石器、縄文前期・中期、古墳前期・中期、奈良・平安の集落跡	25-003
7	ハケ遺跡	縄文中期の集落跡、奈良・平安の集落跡	25-005
8	上福岡貝塚	縄文前期、古墳前期、奈良・平安の集落跡	25-006
9	権現山遺跡群（古墳群）	古墳前期の集落跡・古墳群、縄文中期、奈良・平安の集落	25-007
10	滝遺跡	縄文時代、古墳前期・中期、奈良・平安、近世の集落跡	25-008
11	西原遺跡	縄文の散布地	25-025
12	長宮遺跡	縄文前期、中・近世の集落跡	25-009
13	亀居遺跡	旧石器、縄文前期・中期の集落跡	30-030
14	鶴ヶ舞遺跡	旧石器、縄文中期、奈良・平安の集落跡	30-046
15	富士見台横穴墓群	古墳後期の横穴墓	25-011
16	福遺跡	古墳後期の横穴墓	25-023
17	松山遺跡	奈良・平安、中・近世の集落跡	25-010
18	天神廻遺跡	古墳中期の散布地	25-018
19	城山遺跡	中・近世の館跡	25-019
20	川袋遺跡	奈良・平安の散布地	25-020
21	江川南遺跡	旧石器、縄文中期、中・近世の集落跡	30-007
22	江川東遺跡	奈良・平安、近世の集落跡	30-045
23	東久保遺跡	旧石器、縄文中期、近世の集落跡	30-009
24	亀久保堀跡遺跡	中世の堀跡	30-006
25	東久保西遺跡	旧石器、縄文早期・中期、近世の集落跡	30-042
26	駒林遺跡	近世の堀跡・中世の墳墓	25-013
27	福岡新田遺跡	縄文時代の散布地、中・近世寺院	25-015
28	鷺森遺跡	縄文前期の集落跡	25-017
29	伊佐島遺跡	古墳前期、平安の集落跡	25-021
30	東中学校西遺跡	縄文早期・中期、近世の集落跡	30-008
31	東久保南遺跡	旧石器、縄文早期・中期、近世の集落跡	30-032
32	西ノ原遺跡	旧石器、縄文早期・中期・後期、奈良・平安～近世の集落跡	30-001
33	中沢前遺跡	旧石器、縄文早期・中期、近世の集落跡	30-044
34	神明後遺跡	旧石器、縄文早期～後期、奈良・平安～近世の集落跡	30-041
35	苗間東久保遺跡	旧石器、縄文早期～後期	30-020
36	浄禅寺跡遺跡	旧石器、縄文早期・中期、中・近世の集落跡、近世寺院跡	30-022
37	小田久保遺跡	旧石器、縄文早期～中期、中・近世の集落跡	30-040
38	大井宿遺跡	近世～近代の宿場跡	30-010
39	大井氏館跡遺跡・大井戸遺跡	旧石器、縄文前期・中期、中・近世の集落跡	30-037
40	本村遺跡	旧石器、縄文早期～後期、中・近世の集落跡	30-034
41	西台遺跡	旧石器、縄文中期、奈良・平安、近世の集落跡	30-039
42	大井戸上遺跡	旧石器、縄文前期・中期、近世の集落跡	30-014
43	東台遺跡	旧石器、縄文早期～後期、奈良・平安～近世の集落跡、製鉄遺跡	30-024
44	大井宿本戸跡	近世～近代の宿場跡	30-
45	石塔畑	中世の散布地	30-027

第６表　縄文時代中期時期細分対比表

本書　2013 ①	安孫子昭二　1988 鈴木・山本　1988 ②	植木弘　1994 ③	黒尾和久　1995 ④			谷井他　1982 ⑤		考古学協会　1981 ⑥
狢沢・阿玉台Ⅰb古	狢沢・阿玉台Ⅰb古	狢沢・阿玉台Ⅰb			1a中	阿玉台Ⅰb前Ⅳb		Ⅱ期 阿玉台出現期
勝坂Ⅰ古・新道古・阿玉台Ⅰb新	勝坂第Ⅰ様式	勝坂Ⅰ様式	中期中葉	前半	1a新	阿玉台Ⅰb前Ⅳa		Ⅲ期
勝坂Ⅰ新・新道新・阿玉台Ⅱ古	Ⅱ様式	Ⅱ様式			1b		Ⅴb	（勝坂最古段階）
勝坂Ⅱ古・藤内古・阿玉台Ⅱ新	Ⅲ様式	Ⅲ様式			2a古	勝坂式	Ⅵ	Ⅳ期
勝坂Ⅱ新・藤内新	Ⅳ様式	Ⅳ様式			2a新		Ⅶ	（勝坂盛時段階）
勝坂Ⅲ古・井戸尻・阿玉台Ⅲ古	Ⅴ様式	Ⅴ様式		後半	2b		Ⅷ	Ⅴ期
勝坂Ⅲ新・　阿玉台Ⅲ新	Ⅵ様式	Ⅵ様式			3a			（勝坂終末）
加曽利ＥⅠ古	加曽利Ｅ1様式	加曽利ＥⅠ直前	勝坂		3b古			加曽利ＥⅠ古
					3b新			
加曽利ＥⅠ新　古相	加曽利Ｅ2様式	加曽利ＥⅠ式	中期後半	Ⅰ期	1a	加曽利Ｅ式	Ⅸa	加曽利ＥⅠ新
中相					1b		Ⅸb	
新相					1c		Ⅹ	
加曽利ＥⅡ　古相	加曽利Ｅ3様式	加曽利ＥⅡ式		Ⅱ期	2a		ⅩⅠ	加曽利ＥⅡ
中相					2b		ⅩⅡa	
新相					2c古		ⅩⅡb	
加曽利ＥⅢ　a	加曽利Ｅ4様式　a	加曽利ＥⅢ式			2c新		ⅩⅢ	加曽利ＥⅢ
b	b			Ⅲ期	3a			
加曽利ＥⅣ					3b		ⅩⅣ	加曽利ＥⅣ
					3c			
				Ⅳ期	4			

第２章　北野遺跡の調査

Ⅰ　遺跡の立地と環境

北野遺跡は、藤間江川に面した標高17～18ｍの台地縁辺にあり、開析した小支谷を囲うように立地する南北250ｍ、東西650ｍ以上の遺跡である。上福岡駅まで600ｍに位置する利便性のため、昭和30年代から宅地開発され、ほとんど空き地は残っていない。

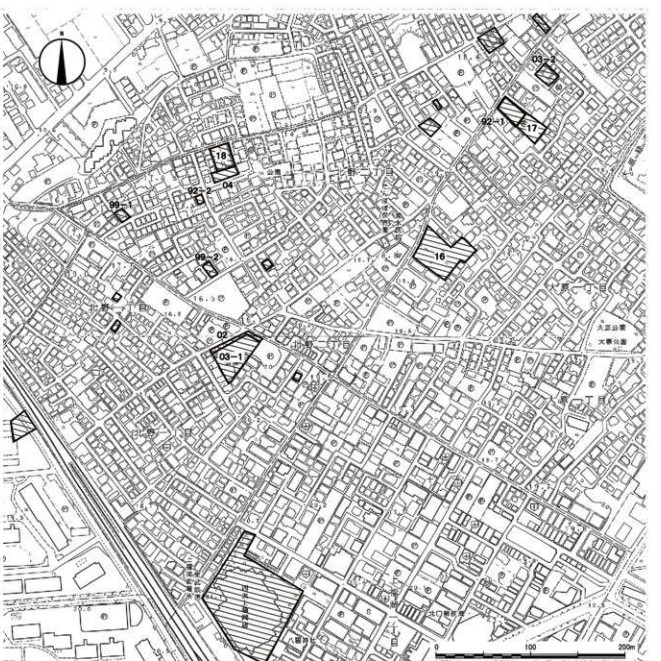
周辺の遺跡は、１㎞上流に縄文集落の西遺跡、下流に旧石器時代から縄文、古代、中近世にわたる複合遺跡の川崎遺跡、川崎横穴墓群がある。

1965年の分布調査、1970年代後半の宅地開発で縄文時代早～中期の土器片が採集され、1980年以来24ヶ所で試掘調査が行われている。縄文時代中期と平安時代の住居跡各１軒、中世以前とみられる溝等を検出、縄文時代中期深鉢土器の顔面把手等も採集されている。

Ⅱ　北野遺跡第16地点

（１）調査の概要

調査は宅地造成に伴うもので、原因者より2009年３月10日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ



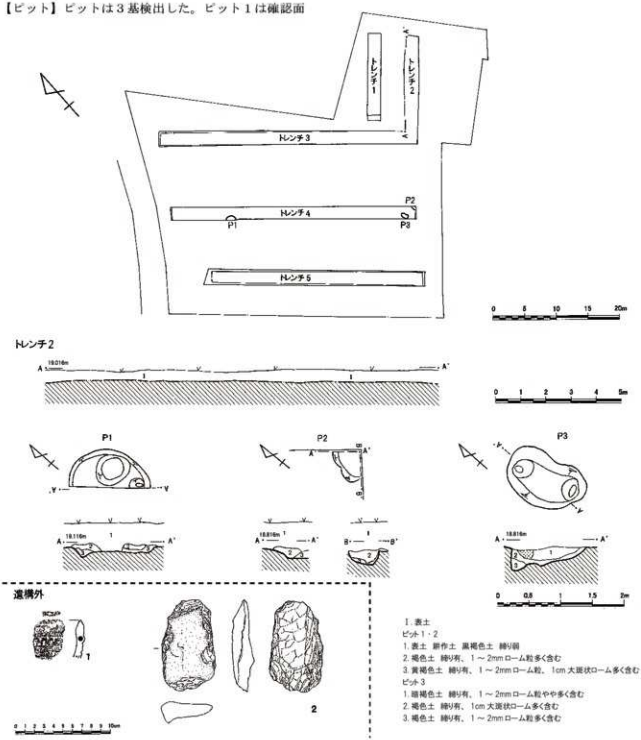
第３図　北野遺跡の地形と調査区（1/4,000）

野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央部に位置するため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。試掘調査は2009年4月8日から、幅約2ｍのトレンチを5本設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行い、時期不明のピット3基を検出した。旧石器時代の確認調査は行っていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。

（2）遺構と遺物

【ピット】ピットは3基検出した。ピット1は確認面径128×(62)cm、底径113×(55)cm、深さ23.3cmである。ピット2は確認面径(47)×(44)cm、底径(40×34)cm、深さ22.9cmである。ピット3は楕円形で確認面径129×78cm、底径110×47cm、深さ36.9cmである。

【出土遺物】1は胎土に雲母を含む。口唇部に押圧の刻みをもち、交互刺突の隆帯脇に角押文を施す。中期初頭。2は珪質黒色細粒砂岩の打製石斧で、重さ130.79ｇ。1はトレンチ一括出土、2は表採遺物。



第4図　北野遺跡第16地点遺構配置図（1/600）、土層図（1/150）、ピット（1/60）、出土遺物（1/4）

Ⅲ　北野遺跡第17地点

(1) 調査の概要

調査は共同住宅の建設に伴うもので、原因者より2009年６月30日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の東部に位置する。開発区域の北側2/3は、1992年８月に試掘調査を行っているため、申請者と協議の結果、南側の約1/3について試掘調査を実施した。

調査は10月13日から幅約1.5ｍのトレンチを５本設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。縄文時代とみられる土坑２基を検出、旧石器時代の確認調査は行っていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

【土坑】土坑１は楕円形で、確認面径172×(150)㎝、底径155×133㎝、深さ40.9㎝である。土層の観察から、土坑１は土坑２より古い。

土坑２は円形で、確認面径185×(172)㎝、底径158×155㎝、深さ33.1㎝である。

【出土土器】１は土坑２の底部付近から出土した阿玉台Ⅳ式土器である。胎土に雲母を含む波状口縁の波頂部で、口唇部に押圧沈線、外面隆帯の区画脇に渦巻状の沈線文を施す。

Ⅳ　北野遺跡第18地点

調査は分譲住宅の建設に伴うもので、原因者より2010年１月５日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の北部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2010年３月９日から幅約1.5ｍのトレンチを５本設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。縄文時代と古代とみられる遺構を確認したため一部トレンチを拡張した。旧石器時代の確認調査は行っていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

①Ｊ１号住居跡

【形状・時期】調査区中央部に位置する。平面形態はほぼ円形を呈するが、耕作により断面は僅かに掘り込みが確認できる程度である。規模については第７表のとおりである。加曽利ＥⅠ新期。

【炉】地床炉で住居中央部に位置する。平面は不整形を呈し底面が焼けている。規模は確認面径(60)×51㎝、底径43×39㎝、深さ6.6㎝である。

【柱穴】住居跡に伴うものはＰ１～３・７・８で、Ｐ４・５は自然の窪みの可能性が高い。Ｐ６は住居外に位置する。詳細については第７表のとおりである。

②Ｈ１号住居跡

【形状・時期】調査区北部に位置する。平面形態はほぼ方形を呈する。住居跡の約1/2と周溝の一部を検出したが、竈は未検出である。

③土坑

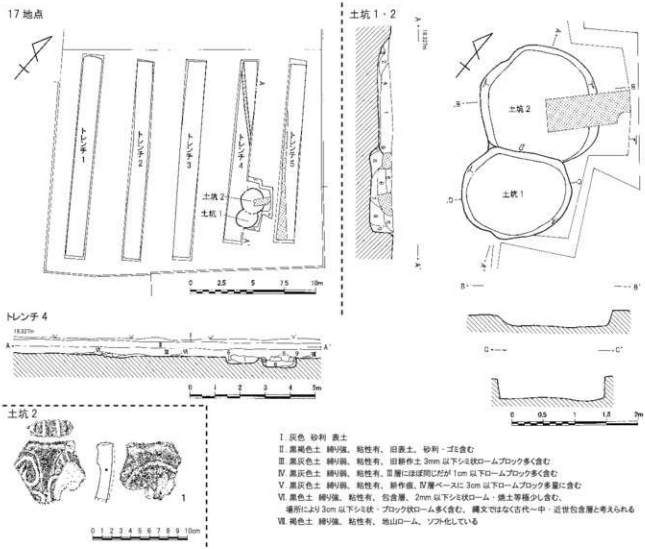
土坑の詳細は第７表のとおりである。土坑１も風倒木の可能性がある。時期は土層の観察から全て縄文時代とみられる。

④北野遺跡第18地点出土遺物（第７図１～24）

１は無文口縁部、２は隆帯の区画内に地文Ｌｒ縄文、３は尖底土器底部、４・５は無文、６はピット６出土で無文である。７は胎土に繊維を含み、表裏に貝殻条痕文を施す。８は隆帯脇に半截竹管の刺突と隆帯区画内に角押文を施す。９～11は無文、12・13は底部で13は網代痕有り。14は須恵器の蓋である。15は繊維を含み表裏条痕文、16は細かい燃糸文、17～19は無文である。20は口縁部突起に隆帯と沈線を施す。21は胎土に雲母を含みヒダ状指頭圧痕文を、22は幅広キャタピラー文と大型三角押文、23・24は沈線文を施す。１・３・７・15・16は縄文時代早期、24は縄文時代後期、14は平安時代、それ以外は縄文時代中期とみられる。

第７表　北野遺跡第18地点遺構一覧表　(単位cm)

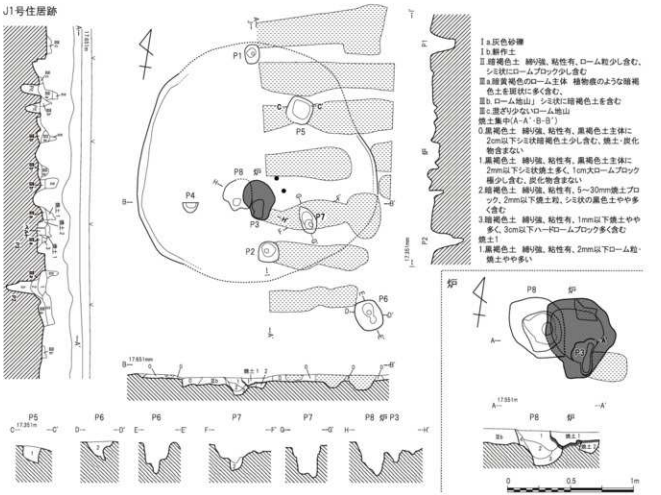
遺構名	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
Ｊ１住	円形	380×(380)	356	7	地床炉有り
Ｈ１住	方形	350×320	327×(310)	33.4	竈未検出
	周溝	20～35	7～20	4.6～24	
土坑１	不整形	289×145	226×75	76.8	
土坑２	(円形)	(150)×(106)	－	57.3	
土坑３	(円形)	80×(55)	48×(47)	28.5	
Ｐ１	方形	31×23	5×5	47.6	Ｊ１住
Ｐ２	方形	33×32	7×6	52.1	Ｊ１住
Ｐ３	不整形	30×17	24×6	27.4	Ｊ１住
Ｐ４	不明	25×(18)	17×(11)	14	自然窪み
Ｐ５	方形	40×40	26×26	19.6	自然窪み
Ｐ６	方形	50×40	7×7	36.1	
Ｐ７	楕円形	49×24	10×6	48.6	Ｊ１住
Ｐ８	不明	48×43	11×9	54.4	Ｊ１住



Ⅰ 灰色 砂利 表土
Ⅱ 黒褐色土 締り強、粘性有、旧表土、砂利・ゴミ含む
Ⅲ 黒灰色土 締り弱、粘性有、旧耕作土 3mm 以下シミ状ロームブロック多く含む
Ⅳ 黒灰色土 締り弱、粘性有、Ⅲ層にほぼ同じだが 1cm 以下ロームブロック多く含む
Ⅴ 黒灰色土 締り弱、粘性有、耕作痕、Ⅳ層ベースに 3cm 以下ロームブロック多量に含む
Ⅵ 黒色土 締り強、粘性有、包含層、2mm 以下シミ状ローム・焼土等極少し含む、
場所により 3cm 以下シミ状・ブロック状ローム多く含む、縄文ではなく古代～中・近世包含層と考えられる
Ⅶ 褐色土 締り強、粘性有、地山ローム、ソフト化している

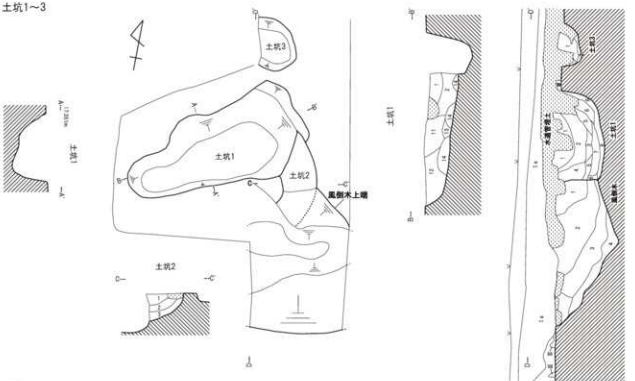
土坑
1. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒少し、同焼土極少し含む
2. 暗褐色土 締り強、粘性有、ロームベースに 2cm 以下シミ状黒褐色土少し含む
3. 褐色土 締り強、粘性有、ロームブロックとシミ状黒褐色土少し含む
4. 暗褐色土 締り強、粘性有、2 ～ 3cm 大ロームブロックと黒褐色土の混合、2mm 以下ローム粒少し含む
5. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒やや多く、同焼土粒極少し含む
6. 暗褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下シミ状黒褐色土多く、2mm 以下ローム粒やや多く含む
7. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒やや多く、同炭化物極少し、2cm 以下シミ状ローム少し含む、
8. 暗褐色土 締りやや弱、粘性有、3mm 以下ローム粒やや多く、同炭化物・焼土極少し含む、1 ～ 4 層に比べやや締り弱くボロボロする感じ
9. 暗褐色土 締り強、粘性有、2 層にほぼ同じ

第５図　北野遺跡第 17・18 地点遺構配置図（1/300）、土層図（1/150）、土坑（1/60）、出土土器（1/4）

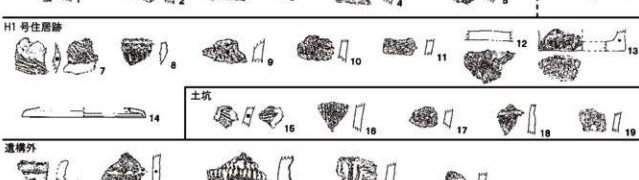


第６図　北野遺跡第18地点Ｊ１号・Ｈ１号住居跡（1/60）、Ｊ１号住居跡炉（1/30）

土坑1～3



土坑1
1.黒褐色土　締り強、粘性有、2mm以下シミ状焼土少し、1cm以下シミ状暗褐色土少し、1mm以下黒色土極少し、同ローム粒少し含む
2.黒褐色土　締り強、粘性有、3mm以下焼土・ローム粒多く、1mm以下黒色粒少し含む、1cm次ロームブロック極少し含む
3.黒褐色土　締り強、粘性有、1mm以下ローム粒少し、2cm以下ロームブロック少し含む、焼土含まない
4.暗褐色土　締り強、粘性有、ソフトローム～シミ状黒褐色土含む、焼土含まない
5.黒褐色土　締り強、粘性有、2mm以下ローム粒少し、1mm以下焼土粒極少し含む
6.暗褐色土　締り強、粘性有、2mm以下ローム粒多く、1mm以下黒色粒少し、1cm以下ローム粒極少し含む、焼土含まない
7.黒褐色土　締り強、粘性有、1mm以下ローム極少し、2cm大ロームブロック極少し含む
8.暗褐色土　締り弱、粘性有、1cm以下シミ状・ブロック状ローム多く、1mm以下ローム粒極少し含む(旧溝)
9.暗褐色土　締り強、粘性有、ロームベースに1cmスロームブロック多く、2mm以下黒色土粒少し含む、全体的にシミ状に黒褐色土含む
10.暗褐色土　締り強、粘性有、9層より明るくローム主体で、シミ状に暗褐色土をやし含む
11.黒褐色土　締り強、粘性有、2mm以下ローム粒多く、1mm以下焼土粒・炭化物粒極少し含む
12.暗褐色土　締り強、粘性有、1cm以下シミ状ロームを斑状に多く含む
13.黒褐色土　締り強、粘性有、11層より明るく2mm以下ローム粒多く含む、焼土・炭化物含まない
14.褐色土　締り強、粘性有、ロームベースに2cm以下シミ状暗褐色土少し含む
土坑2
1.暗褐色土　締り強、粘性有、シミ状のロームブロック(3cm以下)やや多く含む
2.黒褐色土　締り強、粘性有、ローム粒(3mm以下)やや多く含む
3.暗褐色土　締り強、粘性有、シミ状にロームブロック(2cm以下)少し含む
風倒木
1.褐色土　締り強、粘性有、ほぼソフトローム地山
2.褐色土　締りやや弱、粘性有、ボロボロするローム (3cm以下)多く含む
3.褐色土　締りやや弱、粘性有、2層より暗いローム (3cm以下)多く含む
4.褐色土　締りやや弱、粘性有、3層にほぼ同じだが明るいロームブロック (5cm以下)少し含む



第 7 図　北野遺跡第18地点土坑（1/60）、J 1号・H 1号住居跡・土坑・遺構外出土遺物（1/4）

第３章　川崎遺跡の調査

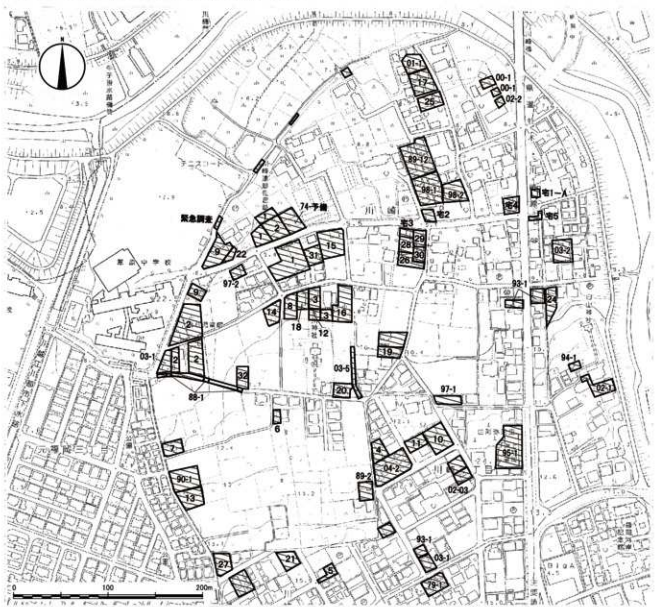
Ⅰ　遺跡の立地と環境

川崎遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面の、いわゆる川崎台に立地している。台地の北側を東流してきた藤間江川は舌状台地の西側で新河岸川に合流し、かつては台地の先端より北東方向へ大きく蛇行していた新河岸川は、現在は台地東縁をなめるように流れる。

台地の幅は400～500ｍ、台地の基部から先端へ１㎞にわたり緩やかに傾斜しており、標高は最南部で18ｍ、最北部では８ｍを測る。遺跡の範囲は南北600ｍ、東西500ｍ以上ある。虫食い状に宅地開発されるが、畑も良く残っている。

周辺の遺跡は、舌状台地の西側基部の急斜面上部に川崎横穴墓群が隣接し、東側に縄文時代、古墳、奈良・平安時代のハケ遺跡がある。

1917（大正６）年頃、台地の先端部で貝層が確認され1928（昭和３）年の調査では川崎貝塚として報告された。1967年以降宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、1980年以来2012年12月末現在36ヶ所で調査を行っている。主たる時代と遺構は、縄文時代早期の炉穴、早期から前期及び後期の住居跡、古墳時代住居跡、飛鳥時代住居跡、奈良時代住居跡、平安時代住居跡・掘立柱建物跡、中世以降の溝跡、地下式坑である。またローム層中からではないが、旧石器時代の遺物も出土している。

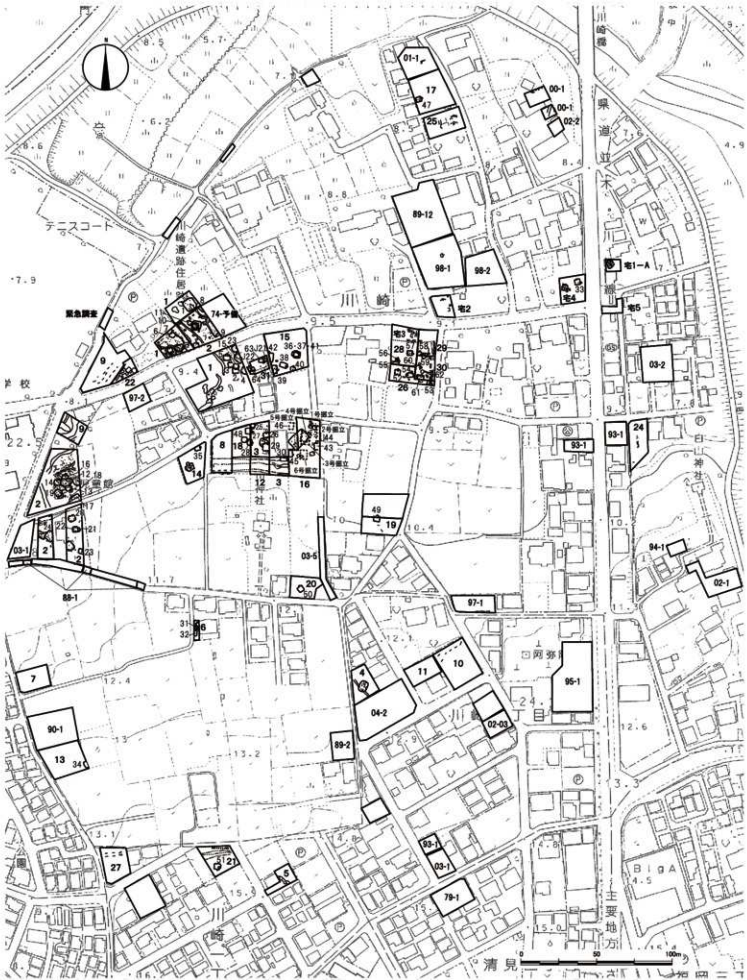


第８図　川崎遺跡の地形と調査区（1/4,000）

第８表　川崎遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ( )は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
予備発掘調査	川崎160	(1974.3.25～4.4)	84	事前調査	炉穴3、土坑2、ピット群、縄文土器、石器	上遺調
1次	川崎162～176	1974.7.20～9.19	1,800	事前調査	住居跡11軒(縄文前期3、古墳前期1、国分7)、溝3、堀2、土坑5、地下式坑6、集石1	川崎遺跡 第1次調査概報
緊急発掘調査	大字川崎字宮後168-3	1975.3.30～5.10	198	個人住宅	溝3、縄文土器、石器、平安土師器・須恵器・灰釉陶器・布目瓦・瓦塔	上遺調
宅地添1次(A地区)	大字川崎字宅地添122	1975.6.8～29	50	個人住宅	縄文早期住居跡1軒、縄文土器、石器、礫	上遺調
2次	川崎137～174	1975.9.4～12.5	3055	事前調査	縄文住居跡9軒、古墳住居跡6軒、奈良平安住居跡10軒、中世遺構他	川崎遺跡 第2次調査概報
3次	川崎149-6	1977.11.1～12.3	300	住宅建設	縄文住居跡2軒(7,8)、奈良平安住居跡6軒(1,2,4～6,9)、焼土散布、柱穴、溝	川崎遺跡(第3次)・長宮遺跡
宅地添2次(B地区)	川崎198	1978.5.15～25	170	宅地造成	土坑3、ピット	埋(Ⅰ)
宅地添3次(C地区)	川崎230	1978.5.23～31	130	宅地造成	井戸跡2、地下坑1、溝1	埋(Ⅰ)
4次	川崎2-5-2	1979.4.19～5.11	304	宅地造成	縄文前期住居跡1軒、溝1、黒浜式土器、貝類	埋(Ⅱ)(Ⅳ)
5次	川崎1-1-4	1979.9.26～10.10	152	宅地造成	溝状遺構	埋(Ⅱ)
79年度試掘(清見)	清見4-3-11	(1979.11.12～19)	260	宅地造成	溝1	埋(Ⅱ)
6次	川崎102-5	1979.12.3～8	30	プレハブ家屋	縄文前期住居跡2軒、縄文土器片、平安住居跡2軒	埋(Ⅱ)
7次	川崎124-3	1981.11.27～30	316	個人住宅	遺構なし、平安土器片	埋(Ⅳ)
8次	大字川崎字宮脇148-1	1984.1.17～26	400	住宅建設	溝1	埋(Ⅵ)
宅地添4次	川崎宅地添219	1984.9.25～10.9	301	住宅建設	縄文住居跡1軒、平安住居跡1軒	埋(Ⅶ)
9次	川崎字宮後口172-1,2	1986.9.11～20	495	個人住宅	溝2、縄文後・晩期、平安土器散布	埋(Ⅸ)
10次	川崎224-1	1987.11.24～30	603	個人住宅	溝1	埋(Ⅹ)
11次	川崎2-6-2	1988.5.10～17	289	住宅建設	なし	埋(11)
88試	市道402号線	(1988.9.19～21)	60	下水道設置	住居跡1軒	埋(11)
89試(1)	川崎字宅地添196-1	(1989.4.10～18)	1045	住宅建設	なし	埋(12)
89試(2)	川崎字宮前98-2	(1989.10.3～6)	264	住宅建設	なし	埋(12)
12次	川崎字宮前149-4,5	1990.4.20～27	311	住宅建設	溝2	埋(13)
13次	大字川崎字宮前122	1990.5.1～17	480	住宅建設	奈良住居跡1軒	埋(13)
90試(1)	大字川崎字宮前122	(1990.5.18～23)	530	範囲確認	なし	埋(13)
14次	大字川崎字宮前145	1990.10.1～31	499	住宅建設	縄文前期住居跡1軒、貝塚、平安住居跡1軒	埋(13)
15次	川崎字宮後口160-1	1991.10.23～11.20	499	個人住宅	平安住居跡7軒、土坑1	埋(14)
92試(1)	大字川崎字山向9-5	(1993.2.18～19)	168	店舗併用住宅	なし	埋(15)
93試(1)	川崎2-2-10,11	(1993.8.24)	131	個人住宅	なし	埋(16)
93試(2)	川崎1-1-1の一部	(1993.9.10～13)	422	個人住宅	なし	埋(16)
94試(1)	川崎字台258他1筆	(1994.11.17～24)	230	機材置場敷設	なし	埋(17)
95試(1)	川崎2-7-2,3	(1995.10.13～16)	1126	消防署	なし	埋(18)
16次	川崎字宮脇150-2,3	1995.12.11～1996.3.8	828	駐車場及び資材置場敷設	縄文前期(黒浜期)大形住居跡1、同期住居跡2・土坑2、平安住居跡4軒・掘立柱建物跡6棟、中世竪穴状遺構2	7年教要
17次	川崎字宅地添204の一部	1996.7.15～23	779	個人住宅	平安住居跡1	埋(19)
18次	川崎字宮脇148-3	1996.11.18～25	198	個人住宅	平安住居跡1	埋(19)
97試(1)	川崎字山向21	(1997.4.14)	367	宅地造成	溝1(時期不明)	埋(20)
97試(2)	川崎字宮後口165-6	(1997.10.20)	204	個人住宅	なし	埋(20)
97試(3)	川崎字宅地添199-1,2,5	(1998.2.12～16)	780	個人住宅	なし	9年教要
98試(1)	川崎字宅地添197-1	(1998.10.27～11.6)	996	宅地造成	縄文前期土坑1他	埋(21)
市道402号線2次	川崎字宮前，宮脇地内	2000.2.21～25	496	道路築造	縄文前期住居跡1	11年教要
00試(1)	川崎大字宅地添209の一部	(2000.6.19～22)	123.3	個人住宅	貝塚の一部	埋(23)
範囲確認調査	川崎字宅地添209	(2001.6.12～25)	100	車庫	溝1	埋(24)
19次	川崎字宮脇157の一部	2001.9.18～10.4	289	個人住宅	平安初頭住居跡1	埋(24)
01試(1)	川崎字宅地添204-1	(2001.10.29,30)	825	宅地造成	なし	埋(24)
02試(1)	川崎249-1の一部	(2002.5.13)	341	倉庫	なし	埋(25)
02試(2)	川崎210-1,2の一部	(2002.10.28,29)	551	共同住宅	溝1【盛土保存】	埋(25)
02試(3)	川崎2-4-16	(2002.12.24)	228	個人住宅	なし	14年教要
02試(4)	川崎2-2-12	(2003.3.13)	165	個人住宅	なし	14年教要
02試(5)	川崎字宮脇155先	(2003.3.26)	164	市道401号線舗装工事	なし	14年教要
03試(1)	川崎137-1の一部	(2003.8.6,7)	257	個人住宅	なし	埋(26)
03試(2)	川崎字宅地添226-14	(2003.12.8,19)	381	個人住宅	なし	埋(26)
宅地添地区5次	川崎字宅地添222-3先	2004.2.16～18	88		古墳初頭竪穴住居跡1軒【調査実施】	15年教要
04試(1)	川崎字宮脇157-1の一部	(2004.6.14,15)	421	個人住宅	平安時代竪穴住居のカマドの一部	埋(27)
04試(2)	川崎2-5-1	(2004.11.1～4)	881	宅地造成	なし	埋(27)
20次	川崎字宮脇153-5	2005.11.28～12.2 (11.22～27)	257	個人住宅	古墳住居跡1	市内1
21	川崎1-6-10	(2006.4.11) 2006.4.14～20	298	個人住宅	奈良住居跡1、溝	市内3
22	川崎171-1,174-10	(2007.4.16～23)	104	消防分団倉庫	炉穴4、地下式坑2、穴蔵1、土坑2	市内4
24	川崎字宅地添225-3	(2007.10.4)	319	共同住宅	なし	市内4
25	川崎字宅地添203番1の一部，203番3の一部	(2008.4.14) 2008.4.15～17	1033	個人住宅	奈良時代掘立柱建物跡1棟、溝、近代以降の地下室1基	市内6
26	川崎字宅地添230番5	(2008.4.21) 2008.4.22～5.17	228	個人住宅	奈良・平安時代竪穴住居跡4軒、土坑、ピット、近代以降の井戸1	市内6
27	川崎1-7-1	(2008.5.15～5.21)	350	分譲住宅	時期不明の溝1、土坑1	市内6
28	川崎字宅地添230-7	(2008.7.4～7.9) 2008.7.10～8.8	434	個人住宅	奈良・平安時代竪穴住居跡2軒、土坑、ピット	市内6
29	川崎字宅地添230番1	(2008.7.9～7.11) 2008.7.14～8.22	203	個人住宅	奈良・平安時代竪穴住居跡2軒、溝3	市内6
30	川崎字宅地添230番6	(2008.7.17) 2008.7.18～9.5	200	個人住宅	奈良・平安時代竪穴住居跡4軒、井戸3、土坑、溝5	市内6
31	川崎字宮後161番5の一部，161番地6	(2009.10.28) 2009.10.28～11.27	304	個人住宅	縄文時代中期～後期住居跡2軒、奈良・平安時代竪穴住居跡2軒、ピット12	市内8
32	川崎字宮脇140の一部	(2011.2.24～25) 2011.3.2～25	396	個人住宅	奈良・平安時代竪穴住居跡3軒、土坑2、建物部分本調査	未報告
33	川崎字宅地添226-5	(2011.4.14～21)	438	共同住宅	なし	未報告
34	川崎2丁目5-4	(2011.7.25～26)	117.8	分譲住宅	なし	未報告
35	川崎2丁目6-4～7、9	(2011.9.27～11.24)	1924	分譲住宅	縄文時代前期(黒浜期)住居跡1軒、奈良平安時代住居跡1軒他	未報告
36	川崎字宮前100-1	(2011.12.15～26) 2011.12.26～2012.1.17	1096	公園整備	奈良平安時代住居跡6軒他	未報告

※埋：上福岡市教育委員会埋蔵文化財の調査報告書、上遺調：上福岡市遺跡調査会報告書、教要：上福岡市教育要覧、市内：ふじみ野市市内遺跡群報告書



第９図　川崎遺跡の遺構分布図（1/2,500）

Ⅱ　川崎遺跡第31地点

（1）調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2009年8月19日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は台地の北西部に位置している。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するための試掘調査を実施した。

試掘調査は2009年10月28日から、調査区の北側半分に幅約1.5ｍのトレンチ１本を設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行った。その結果、現地表面から約40㎝の深さで縄文時代から平安時代の住居跡を確認した。再度協議の結果、工事による掘削が遺構に影響を与えるため、本調査を行った。

本調査は同日から11月27日まで行った。本調査の結果、縄文時代中期末から後期初頭の住居跡２軒、９世紀の住居跡２軒などを検出し、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、本調査を終了した。

（2）遺構と遺物

①Ｊ21号住居跡

【形状・規模・時期】調査区北東隅に位置するため北側1/4は未検出で、Ｈ63号住居跡と重複する。また西側約7.7ｍにＪ22号住居跡が位置する。

平面形態は柄鏡形を呈する。規模は上端（5.0）ｍ×4.2ｍ、深さは12.5㎝を測る。住居跡の主軸は埋甕１・２と炉を結ぶ線である。称名寺Ⅰ。

第10図　川崎遺跡第31地点遺構配置図（1/300）

【炉】住居中央部に位置し平面は不整形を呈し、底部が良く焼けている。規模は確認面径54×50㎝、底径17×15㎝、深さ20㎝である。掘り方の規模は83×74㎝、底径70×69㎝、底部の周囲に深さ7.7～12.5㎝の小ピットがみられる。

【埋甕１・２】住居内の北東から南西方向に、炉・埋甕１・埋甕２が直線状に並ぶ。埋甕は共に底部を下にした正位置の状態で出土する。

埋甕１は柄鏡形住居の柄の部分（張り出し部）に位置する。平面形態は楕円形で上端41×36㎝、下端径12㎝深さ57㎝を測る。

埋甕２は炉と埋甕１を結ぶ線上、炉から85㎝の距離に位置する。平面形態は楕円形で上端23×19㎝、下端6×5㎝、深さ12.2㎝を測る。

【柱穴】主柱穴はＰ１・２で、埋甕１・２周辺にもピットが集中する。詳細は第９表ピット一覧表のとおりである。

【遺物出土状況】埋甕２周辺の覆土層に土器片や焼けた石の集中がみられ、また埋甕１周辺の覆土層にも僅かに遺物の出土がみられる。

第９表　川崎遺跡第31地点Ｊ21号住居跡ピット一覧表

（単位cm）

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
1	方形	33×26	22×15	24.6	
2	円形	34×28	13×9	40.6	
3	円形	30×26	20×13	52.6	
4	方形	45×23	21×16	32.7	
5	（円形）	33×29	13×13	48.6	
6	円形	39×38	23×16	35.7	
7	方形	27×22	16×11	33.8	
8	円形	23×22	10×7	22.6	
9	円形	29×28	12×8	63.2	
10	（円形）	41×33	17×16	28.2	
11	（円形）	30×27	（16）×8	22.3	
12	（円形）	（26）×25	（10）×8	32.2	

第10表　川崎遺跡第31地点Ｊ22号住居跡ピット一覧表

（単位cm）

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
1	不明	（33）×（17）	（14）×（6）	48.8	
2	楕円形	37×34	11×9	54.4	
3	円形	40×34	12×12	38.6	
4	円形	43×37	10×7	80	

②J22号住居跡

【形状・規模・時期】調査区西端に位置するため、炉と周辺の一部を検出した。炉穴1、ピット11と重複する。住居跡は炉穴1より新しく、ピット11より古い。

平面形態は不明で、検出部の規模は確認面径（3.53×2.4）m、深さは19.2㎝を測る。加曽利EⅣ。

【炉】土器の底部を下にする正位置の状態で埋設し、周囲に礫を配する石囲埋甕炉である。土器の北側に大型の礫3点が残存する。掘り方の規模は確認面径35×33㎝、底径11×9㎝、深さ27㎝である。

【柱穴】主柱穴はP4である。ピット11は住居跡に伴わないピット（通し番号）である。J22号住居跡ピットの詳細は第10表ピット一覧表のとおりである。

【遺物出土状況】炉南東の覆土層からややまとまって出土する。

③H63号住居跡

【位置・形状】調査区の北部に位置しJ21号住居跡と重複する。平面形態は長方形で主軸方位はE-7°-Sである。規模は主軸が東西3.1m×南北2.76m、深さ29㎝である。

【竈】住居跡東壁のほぼ中央部に構築される。竈は灰色の粘土で構築され、天井部は崩落し袖の一部が残る。袖部と煙道の一部に焼土面が残る。

焚口から煙道端までの長軸105㎝、袖部の最大幅90㎝である。焚口幅32㎝、竈内部は幅40㎝、奥行き82㎝で床面からの深さは約21.4㎝である。

【貼り床・周溝】周溝はほぼ住居跡全体に巡り、上幅12～30㎝、下幅5～17㎝、深さ6.1～14.5㎝である。貼床は床面全体に厚さは2～20㎝で薄く貼られる。

【遺物出土状況】遺物は竈周辺部から住居跡中央部の床面から覆土層にかけてやや集中する。

【時期】9世紀。

④H64号住居跡

【位置・形状】調査区の西部に位置しJ22号住居跡、P2・3と重複する。平面形態は不整の長方形で主軸方位はN-88°-Eである。規模は主軸が南北2.65m×東西2.15m、深さ15㎝である。

【竈】住居跡東壁の南寄りに構築される。竈は灰色の粘土で構築される。耕作により天井部は崩落し袖の一部が残る。焚口から煙道部に焼土面が残る。

焚口から煙道端までの長軸82㎝、竈内部は幅（40）㎝、奥行き65㎝で床面からの深さは約6㎝である。

【貼り床・周溝】周溝はなく、貼床とみられる層が厚さ4～5㎝で広くみられる。

【遺物出土状況】遺物は極僅かに出土する。

【時期】9世紀。

⑤J21・22号住居跡、H63・64号住居跡、ピット2・4出土遺物（第17・18図1～27）

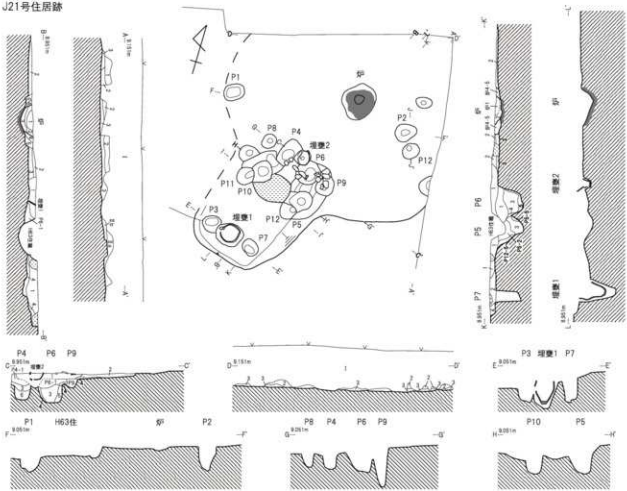
1～10はJ21号住居跡出土遺物。1は埋甕1で口縁部から胴部を欠損し、地文無節縄文で胴部に沈線文を施す。胴上半部最大径33.1㎝、残存部高37.8㎝、底径7㎝、器厚1～1.3㎝である。2は埋甕2で口縁部から胴上半部を欠損する。地文Lr縄文に微隆帯で「J」字文を配し、中を磨消す。胴部最大径21㎝、残存部高27.1㎝、底径7.5㎝器厚6～8㎜である。3・4は波状口縁で地文Lr縄文に沈線文と磨消しを、5～8は地文Lr縄文に沈線文と磨消しを施す。9は無文丸底の浅鉢で穿孔を施す。10は黒曜石のナイフ形石器で左側縁と右側縁の基部に細部調整、長さ4.1㎝、幅1.57㎝、厚さ0.56㎝、重さ2.64ｇ。

11～14はJ22号住居跡出土遺物。11は炉体土器（炉内埋設土器）で一対の環状把手（耳）をもつ広口壺（両耳壺）形土器である。口縁部無文帯と胴部の地文縄文を頸部に巡らせた隆帯で分ける。口径25.5㎝、残存部高34.2㎝、底径7㎝、器厚9～11㎜である。12は地文Lr縄文、13は口唇直下に横位の隆帯を巡らせLr縄文を押圧する。14は黒曜石製の石鏃で重さ0.33ｇである。

15～20はH63号住居跡出土遺物である。15は須恵器の坏で3/4残存、口縁部横撫で、内面撫で、底部回転糸切で焼成不良。16は須恵器の坏で1/4残存、口縁部横撫で、内面撫で、底部回転糸切で胎土に海綿状骨針を含む。口径11.2㎝、底径5.5㎝、器高3.2㎝である。17は須恵器の杯で1/5残存。18は須恵器の甕で轆轤調整、輪積痕・指頭調整有り、胎土に海綿状骨針を含む。19・20は須恵器の蓋で同一個体とみられる。推定径約12㎝で海綿状骨針は含まない。

21～24はH64号住居跡出土遺物である。21は土師器で碗か。22は土師器甕の口縁部で口唇部外面に沈線が巡る9世紀前半。23は縄文時代中期勝坂式の深鉢形土器。口縁部突起で隆帯脇にLr縄の押圧と爪形文を施す。24は早期後葉の打越式土器で内面は横位の条痕文、外面は貝殻条痕文を磨消し貝殻腹縁による連続山形文を施文。25・26は須恵器の坏で胎土に海綿状骨針を含まない。25の焼成は良好だが、26は焼成不良。27はピット4出土の縄文土器で前期前半。

J21号住居跡



J21号住居跡

Ⅰ 表土　主に黒褐色の耕作土

Ⅱa.黒褐色土　ローム粒・焼土(1mm以下)少し含む

Ⅱb.暗褐色土　漸移層。ローム粒(1mm以下)少し含む、シミ状に黒褐色土が入りする

A-A'

1.黒褐色土　締り強、粘性有、ローム粒・酸化土(2mm以下)少し含む

2.黒褐色土　締り強、粘性有、うっすら斑状にローム土を多く含み、色調明るめ、ローム粒・酸化土(1mm以下)多く、全体に橙褐色味がある

3.黒褐色土ベース　締り強、粘性有、硬化している、ロームブロックを斑状に多く含む

C-C'

1.黒褐色土　締り強、粘性有、ローム粒・焼土(1mm以下)少し含む

2.黒褐色土　締り強、粘性有、ロームブロック(1cm)・ローム粒・黒色土粒・焼土(2mm以下)少し含む、色調やや明るい

3.暗褐色土　締り強、粘性有、うっすら斑状にローム土を多く、ローム粒(3mm以下)やや多く、焼土少し含む

4.暗褐色土　締り強、粘性有、うっすら斑状にローム土を多く含み色調明るい、ローム粒(3mm以下)少し含む

5.地山　暗褐色土　締り強、粘性有、ローム土を多く含み、色調明るい、明瞭な粒形のローム粒は少ない、地山崩い

ピット3～9・12

1.暗褐色土　締り強、粘性有、ローム粒(5mm以下)少し含む

2.黒褐色土　締り強、粘性有、ロームブロック(2cm以下)多く含む

3.黒褐色土　締り強、粘性有、ローム粒(5mm以下)やや多く含む

4.暗褐色土　締り強、粘性有、ローム粒(5mm以下)多く含む

5.黒・暗褐色土　締り強、粘性有、ロームブロック(1.5cm以下)多く含む

6.黒褐色土　締り強、粘性有、ローム粒(3mm以下)少し含む

7.黄褐色土　締り強、粘性有、ローム土主体

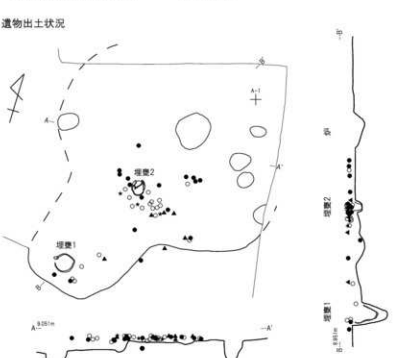
D-D'

1.黒褐色土　締り強、粘性有、ローム粒・酸化土(2mm以下)少し含む

2.黒褐色土　締り強、粘性有、うっすら斑状にローム土を多く含み色調明るめ、ローム粒・酸化土(1mm以下)多く、全体に橙褐色味がある

3.黒褐色土ベース　締り強、粘性有、硬化している、ロームブロックを斑状に多く含む

遺物出土状況

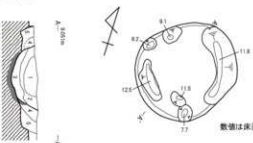


0　0.5　1　1.5　2m

第11図　川崎遺跡第31地点Ｊ21号住居跡・遺物出土状況図（1/60）

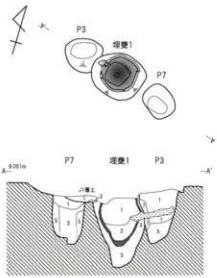
炉

炉掘方

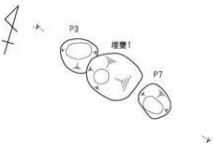


炉
1.黒褐色土　締り強、粘性有、焼土(赤褐色・黄白色、3mm以下)少し含む
2.黒褐色土　締り強、粘性有、焼土(赤褐色・黄白色、2mm以下)やや多く含む、1層より色調明るい
3.黒褐色土　締り強、粘性有、焼土(3mm以下)多く、黄白色土(3mm以下)やや多く含む
4.黒褐色土　締り強、粘性有、ローム粒(3mm以下)やや多く、焼土(3mm以下)少し含む
5.黒褐色土　締り強、粘性有、ローム粒(3mm以下)多く含む

埋甕1、P3・7

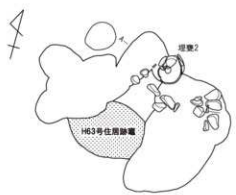


埋甕1掘方

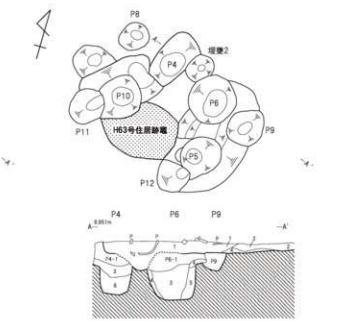


埋甕1
1.黒褐色土　締り強、粘性有、1mm以下ローム粒少し含む
2.黒褐色土　締り強、粘性有、2mm以下ローム粒少し含む、1層より色調明るい
3.暗褐色土　締り強、粘性有、掘方の土、3mm以下ローム粒やや多く含む
J1覆土
1.黒褐色土　締り強、粘性有、色調明るい、3mm以下ローム粒やや多く含む
2.暗褐色土　締り強、粘性有、5mm以下ローム粒多く含む

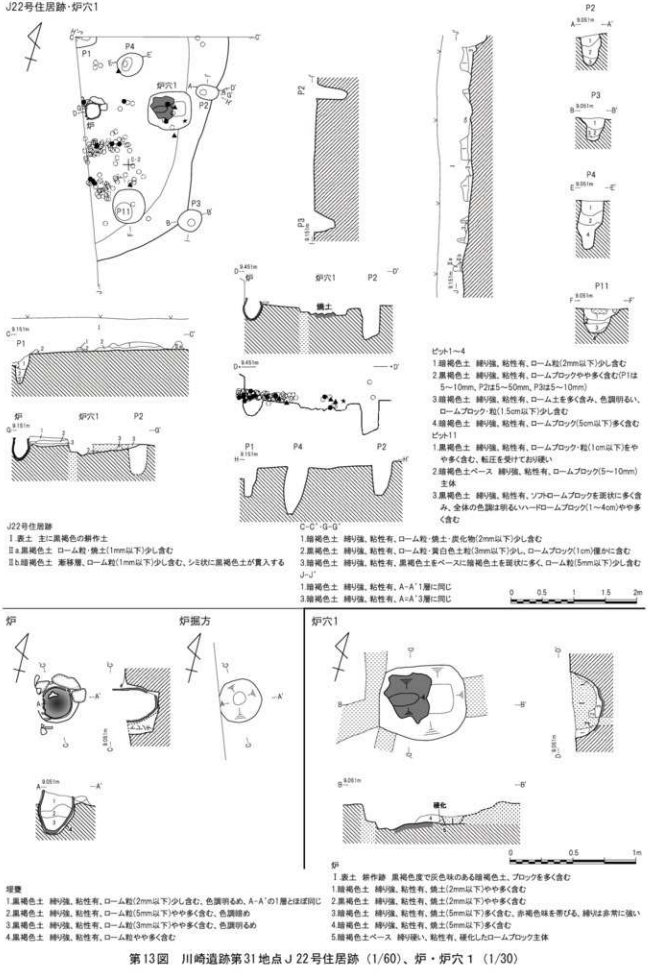
埋甕2、P4～6・8～11



埋甕2掘方

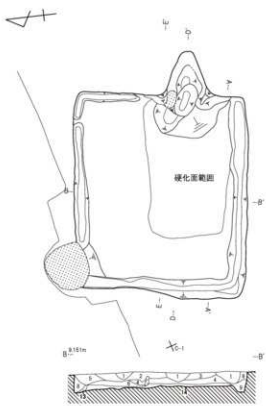


第12図　川崎遺跡第31地点Ｊ21号住居跡炉・埋甕・ピット（1/30）

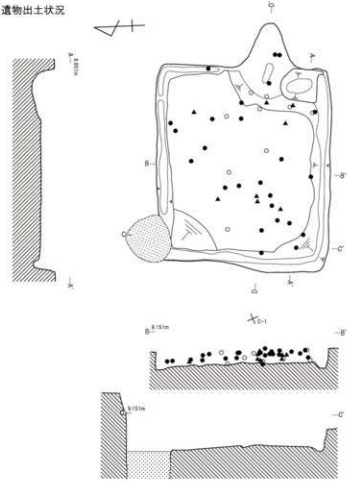


第13図　川崎遺跡第31地点J 22号住居跡（1/60）、炉・炉穴１（1/30）

H63号住居跡



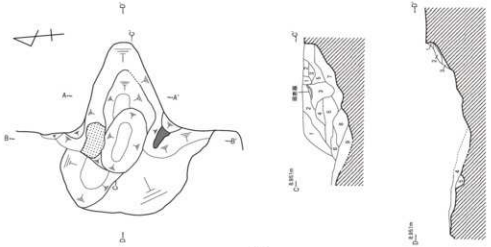
遺物出土状況

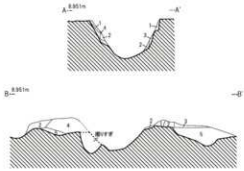


H63号住居跡
1.黒褐色土　締り強、粘性有、斑状に黒灰色土を多く含む、耕作による撹乱
2.黒褐色土　締り強、粘性有、ローム粒(2mm以下)少し含む
3.黒褐色土　締り強、粘性有、焼土・炭化物(5～10mm)が目立ち、ローム粒(1mm以下)少し含む
4.黒褐色土　締り強、粘性有、斑状に暗褐色土・ローム粒(3mm以下)少し含む
5.黒褐色土　締り強、粘性有、ローム粒(3mm以下)やや多く含む
6.黒褐色土　締り強、粘性有、ローム粒(5mm以下)やや多く、ロームブロック(1cm以下)・焼土(3mm以下)少し含む、若干締り弱め
7.暗褐色土　締り強、粘性有、ローム粒(5mm以下)を多量に含む、ロームブロック(1～4cm)少し含む
8.黒褐色土　締り強、粘性有、ローム粒(2mm以下)を多く、ロームブロック(5mm)やや含む
9.黒褐色土　締り強、粘性有、若干締り弱め、ロームブロック(1cm)・ローム粒少し含む
10.黒褐色土　締り強、粘性有、ローム粒(1mm以下)少し含む
11.黒褐色土　締り強、粘性有、ローム粒(3mm以下)やや多く含む
12.黒褐色土　締り強、粘性有、ローム粒・焼土(5mm以下)をやや多量に含む
13.黒褐色土　締り硬い、粘性有、ロームブロック(1cm)やや多く含む
14.貼床　黒褐色土ベース　締り硬い、ロームブロック主体

0　0.5　1　1.5　2m

第14図　川崎遺跡第31地点H63号住居跡・遺物出土状況図（1/60）





A-A'
1.黒褐色土　締り強、粘性有、5mm大焼土ロームブロック多く含む
2.暗褐色土　締り強、粘性有、ローム粒(5mm以下)を多く含む、ベースは灰色粘土を多く含む
3.暗褐色土　締り硬い、粘性有、ロームブロック(1cm以下)を多く含む
4.暗褐色土　締り硬い、粘性有、縄文時代覆土を掘り込んでいるためロームブロックは見られない、ローム粒(1mm以下)少し含む

B-B'
1.黒褐色土ベース　締り強、粘性有、焼土ブロック・粒(2cm以下)主体
2.暗褐色土　締り強、粘性有、被熱して硬化したローム粒を多く含む
3.黒褐色土　締り強、粘性有、ローム粒(2mm以下)やや多く、焼土少し含む
4.暗褐色土　締り強、粘性有、北側の袖を構成する土、粘土では無く、縄文時代の土質に似る、ローム粒・焼土(2mm以下)をやや多く含む
5.黒褐色土ベース　締り硬い、粘性有、ロームブロック主体、ローム粒(5mm以下)多く含む、貼床を構成する土

C-C'
1.黒褐色土　締り強、粘性有、焼土(2mm以下)・灰色粘土(1mm以下)をやや多く含む、1cm大焼土少し含む
2.黒褐色土　締り強、粘性有、焼土・灰色粘土(1mm以下)・5mm大焼土を少し含む
3.黒褐色土　締り強、粘性有、焼土(5mm以下)をやや多く、灰色粘土少し含む
4.黄灰色粘土　締り強、粘性有、焼土(1cm以下)をやや多く、黒褐色土 (5～10mm)を少し含む
5.黒褐色土ベース　締り強、粘性有、灰色粘土と焼土(3mm以下)を多く含む、焼土ブロック(5～10mm)やや多く含む
6.黒褐色土　締り硬い、粘性有、硬質のロームブロック(1cm以下)やや多く含む
7.黒褐色土　締り強、粘性有、色調8層に似るがロームブロックは含まず、ローム粒(3mm以下)少し含む
8.黒褐色土　締り強、粘性有、ロームブロック(5～20mm)・ローム粒(3mm以下)をやや多く含む
9.黒褐色土ベース　締り硬い、粘性有、貼床の土、ロームブロック主体

D-D'
1.黒褐色土　締り強、粘性有、焼土(1cm以下)を多く含む
2.黒褐色土ベース　締り強、粘性有、灰色粘土主体
3.黒褐色土　締り強、粘性有、1cm大ロームブロック・ローム粒少し含む
4.黒褐色土ベース　締り硬い、粘性有、貼床の土、ロームブロック主体
5.暗褐色土　締り強、粘性有、ローム粒多く含む

0　0.5　1m

H64号住居跡ピット

ピット1
Ⅰ.表土
1.黒褐色土　締り有、粘性有、暗褐色土 (1cm以下)やや多く含み、色調明るめ
2.黒褐色土　締り強、粘性有、ロームブロック(1～4cm)をやや多く含む
3.黒褐色土ベース　締り強、粘性有、ロームブロック(1cm)を多く含む

ピット2
1.黒褐色土　締り有、粘性有、ロームブロック・粒(1cm以下)やや多く含む
2.黒褐色土　締り有、粘性有、ローム粒少し含む
3.黒褐色土　締り強、粘性有、ロームブロック(4cm以下) やや多く、ローム粒少し含む
4.黒褐色土　締り有、粘性有、ローム粒(5mm以下)やや多く含む
5.暗褐色土　締り強、粘性有、ロームブロック・粒(1cm以下)多く含む
6.黒褐色土　締り強、粘性有、ロームブロック (2cm以下)やや多く含む

ピット3
1.黒褐色土　締り有、粘性有、ローム粒(5mm以下)多く含み、色調明るめ
2.黒褐色土　締り強、粘性有、ロームブロック(4cm以下)多く、ローム粒(5mm以下)やや多く含む
3.黒褐色土　締り強、粘性有、ロームブロック (2cm大)を斑状に多く含む

ピット4
1.黒褐色土　締り強、粘性有、ローム粒(3mm以下)少し含む
2.ピット6の3層に似る(ロームブロックは15mm以下)
3. ピット6の3層に似るが(ロームではなく)暗褐色土ブロック、ローム粒を多く含む
4.黒褐色土　締り強、粘性有、暗褐色土を多く含み、色調明るめ
5.暗褐色土　締り強、粘性有、

ピット5
1.黒褐色土　締り強、粘性有、ロームブロック・粒(1cm以下)多く含む
2.ピット6の1層に同じ
3.ピット6の2層に同じ
4.ピット6の3層に同じ
5.暗褐色土　締り強、粘性有、ローム土を含み、色調明るめ

ピット6
1.黒褐色土　締り強、粘性有、ローム粒(5mm以下)やや多く含む
2.黒褐色土　締り強、粘性有、ローム粒(3mm以下)少し含む
3.黒褐色土　締り強、粘性有、ロームブロック・粒(1cm以下)多く含む

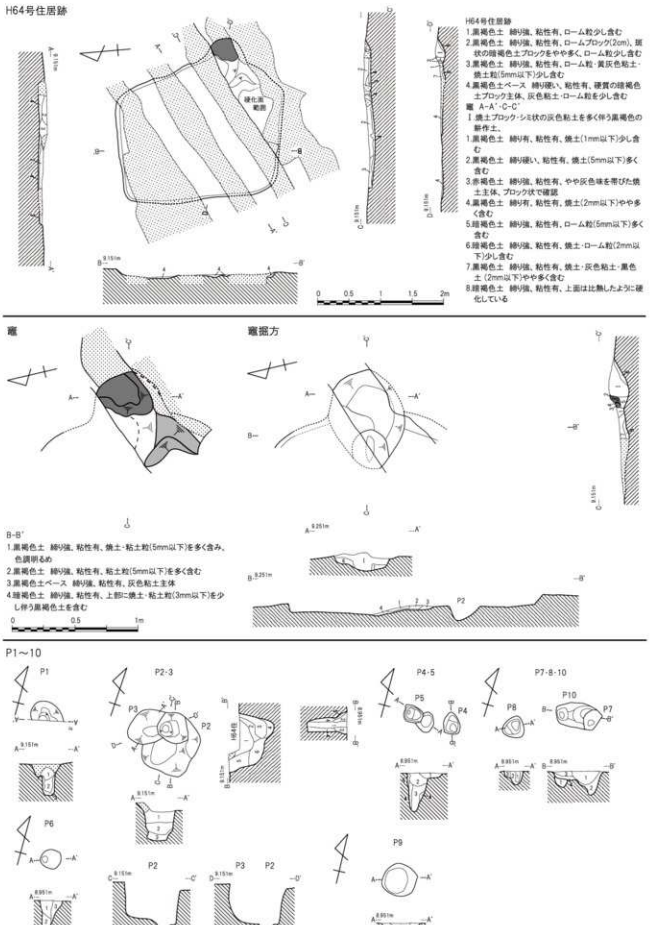
ピット7
1.黒褐色土　締り強、粘性有、ローム粒(2mm以下)少し含む、色調明るめ
2.暗褐色土　締り強、粘性有、斑状にロームブロックを多く含む
3.黒褐色土　締り強、粘性有、ローム粒(1mm以下)少し、焼土僅かに含む
4.暗褐色土　締り強、粘性有、ローム土を含み、色調明るい

ピット8
1.黒褐色土　締り強、粘性有、ローム粒(2mm以下)少し含む
2.黒褐色土　締り強、粘性有、うっすら斑状にロームブロック(2cm以下)少し含む
3.暗褐色土　締り強、粘性有、ロームを含み、色調明るめ

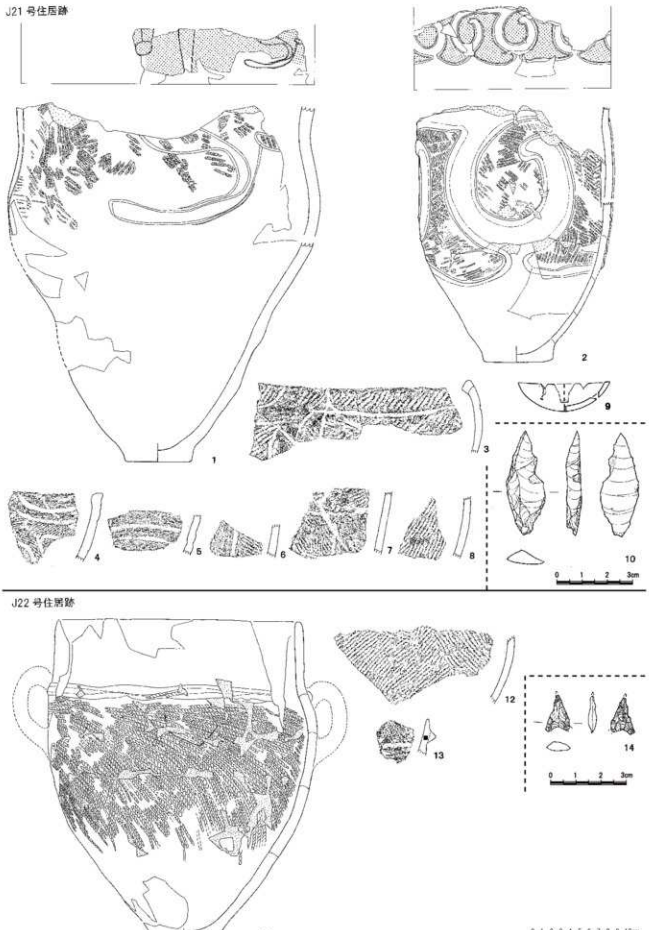
ピット9
1.黒褐色土　締り強、粘性有、うっすら斑状にローム粒(5mm以下)少し含む
2.黒褐色土　締り強、粘性有、うっすら斑状にローム粒(5mm以下)やや多く含み、1層より色調明るめ

ピット10
1.暗褐色土　締り強、粘性有、ローム粒(5mm以下)やや多く含む

第15図　川崎遺跡第31地点H63号住居跡竈（1/30）



第16図　川崎遺跡第31地点Ｈ64号住居跡・ピット（1/60)、竈（1/30)



第17図　川崎遺跡第31地点Ｊ21・22号住居跡出土遺物（1/4・2/3）

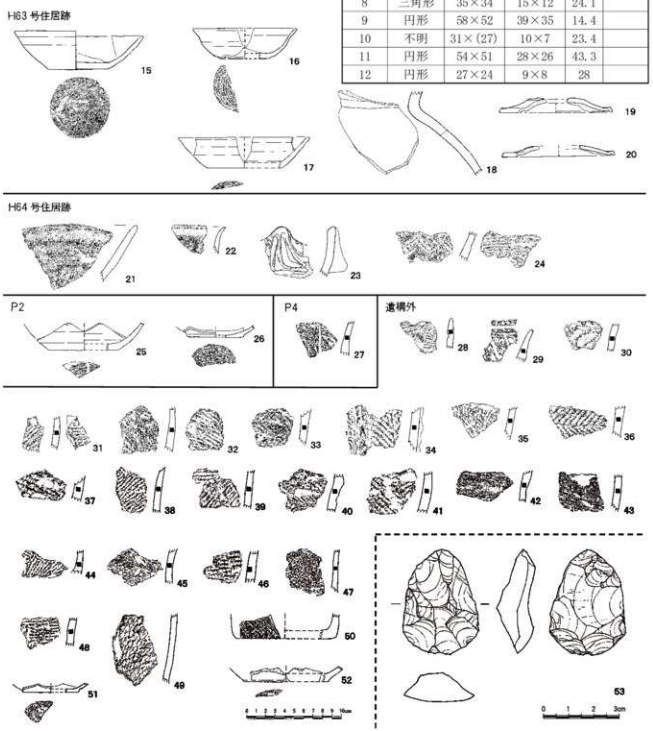
⑥遺構外出土遺物（第18図28～53）

28～53は遺構外出土遺物である。28・29は沈線文（刺し切状）、29は口縁部に同様の工具で刻目を施す。30は無節縄文を施す。31は表裏に32は内面に条痕文、33は無文、34は刻目隆帯を境にＬＲ縄文と撚糸文＋刺突文を施す。35・39・40は無節Ｌｒ縄文、36は単節の羽状縄文、37・41はＲＬ縄文、38・44・49・50はＬＲ縄文、45～48は貝殻背圧痕文。42無文、43は無節縄文である。51は焼成良好、52は焼成不良の須恵器の坏底部で海綿状骨針は含まない。53はチャート製の掻器で重さ14.72ｇ。31は早期末、49は中期、それ以外は縄文時代前期中葉とみられる。

第11表　川崎遺跡第31地点ピット一覧表

（単位cm）

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
1	不明	50×(31)	14×(8)	56.4	
2	円形	51×47	11×11	70	
3	不明	53×(48)	(24)×15	63.7	
4	三角形	34×26	15×10	64.1	
5	瓢箪形	55×27	6×4	61.4	
6	円形	33×30	10×9	53.1	
7	不整形	46×36	10×9	35.2	
8	三角形	35×34	15×12	24.1	
9	円形	58×52	39×35	14.4	
10	不明	31×(27)	10×7	23.4	
11	円形	54×51	28×26	43.3	
12	円形	27×24	9×8	28	



第18図　川崎遺跡第31地点Ｈ63・Ｈ64号住居跡・ピット・遺構外出土遺物（1/4・2/3）

第４章　ハケ遺跡の調査

Ⅰ　遺跡の立地と環境

ハケ遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面のいわゆる川崎台の東側付け根に立地している。遺跡の東側を新河岸川が台地東縁をなめるように流れ、東方は新河岸川に臨む急峻な崖が形成されている。遺跡の北側は落差２ｍ程度のゆるい斜面を形成し、小支谷が入る。標高は14～16ｍで、遺跡の範囲は南北360ｍ、東西160ｍ以上ある。宅地開発される遺跡中央に畑が残る。

周辺の遺跡は、舌状台地の北側に旧石器、縄文、古墳～奈良・平安時代、中近世の川崎遺跡が隣接し、台地続きの南東側に縄文時代前期、中期、晩期、古墳時代の著名な上福岡貝塚、権現山遺跡がある。

1976年以降宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、以来12ヶ所で調査が行われている。主たる時代と遺構は縄文時代前期から後期の住居跡、古墳時代から奈良・平安時代の住居跡・掘立柱建物跡、近世鍛冶遺構（旧福田屋跡）である。なお、本遺跡は便宜上東西に走る道路によって３区分され、南側からＡ区、Ｂ区、Ｃ区と呼称されている。

Ⅱ　ハケ遺跡第９地点

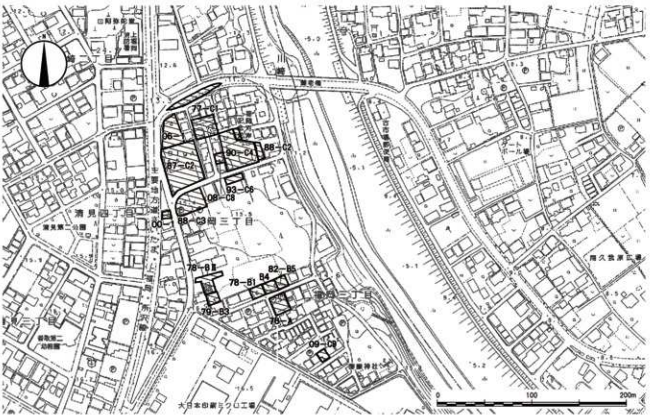
（１）調査の概要

調査は個人住宅の建替えに伴うもので、原因者より2009年11月24日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡南端に位置するため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2010年２月２日から幅約50㎝と1.5ｍのトレンチ３本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。トレンチ１で中近世以降の土坑の掘り込みを確認した。

土坑１は長方形状を呈する。検出部の規模は（116）×87㎝、深さ22.1㎝で時期は不明、出土遺物はない。土坑１が遺構であるか否かは不明である。

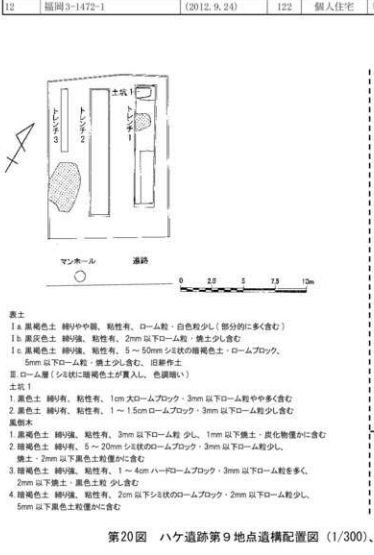
本地点出土の遺物は全て表採の縄文土器である。１はＬｒの結節縄文、２は連続する山形の沈線文である。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。



第19図　ハケ遺跡の地形と調査区（1/4,000）

第12表　ハケ遺跡調査一覧表

地区 地点	所在地	調査期間 （ ）は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
A－1次	大字中福岡字道見1228～2021	1976.9.11～16	306	個人住宅	古墳住居跡１軒、竪穴状遺構3、縄文土器	上福岡市遺跡調査報告書
C－1次	大字中福岡字清見1480番地	1977.8.2～27	1794	宅地造成	縄文住居跡5軒、奈良平安住居跡2軒、竪穴状遺構、土坑、炉跡	ハケ遺跡調査会 ハケ遺跡C地区
B－1次	中福岡1228-40	1978.8.28～9.10	165	個人住宅	遺構なし、縄文中期土器片	埋蔵文化財の調査(I)
B－2次	中福岡1181-2	1978.9.11～25	360	貸家建設	土坑４、炉跡1、土器	埋蔵文化財の調査(I)
B－3次	中福岡1228-37	1979.7.20～31	166		土坑3、縄文土器	埋蔵文化財の調査(II)
B－5次	大字中福岡字道見1228-46	1982.5.10～17	165		溝1、縄文中期土器	埋蔵文化財の調査(V)
C－2次	福岡3-2068の1,2	1987.4.16～5.29	1900	倉庫付住宅改築	縄文中期住居跡11軒、奈良平安住居４軒、掘立1棟	埋蔵文化財の調査(X)
C－3次	福岡2-2-1	1988.8.15～20	627	駐車場	縄文中期住居跡4軒、平安住居跡2軒	埋蔵文化財の調査(11)
C－試	福岡3-4-2	1988.10.24～28	60	擁壁改修工事	縄文前期住居跡1軒	埋蔵文化財の調査(11)
C－4次	旧福田屋敷地内	1990.6.20～9.6 H3.1月末～継続調査予定	500		旧福田屋住礎石跡、鍛冶屋建物跡、（礎石・火処3・物置跡・粘土貼りつけ円形小竪穴）・江戸前期～中期長方形土坑12・溝1・平安住居跡3・縄文中期住居跡2、縄文後・晩期住居跡3軒	2年度教育要覧 市史資料編
C－6次	福岡3-1189, 2056-2	1993.5.6～18	141.91	個人住宅	縄文中期土坑6	埋蔵文化財の調査(16)
C－4次	福岡3-2069-1の一部	1994.6.10～1.31	54	河岸記念館管理棟・庭造成工事	縄文中期住居跡5軒、土坑30	埋蔵文化財の調査(17)
C－試	福岡3-1184-8	2000.1.26	100	個人住宅	なし	埋蔵文化財の調査(22)
C－7次	福岡3-2	(2006.7.10～22)	666	宅地造成	縄文・奈良平安遺構検出	市内遺跡群3
C区8	福岡3-2069-9	(2009.3.17)	99	個人住宅	住居跡確認	市内遺跡群6
C区9	福岡3-1257-7, 1259-1	(2010.2.2～4)	120	個人住宅	土坑1、風倒木1	市内遺跡群8
10	福岡3-1363-14	(2011.4.22～25)	122.06	個人住宅	時期不明溝1本	未報告
11	福岡3-1363-11	(2011.4.21～22)	157.68	分譲住宅	縄文時代埋甕1基	未報告
12	福岡3-1472-1	(2012.9.24)	122	個人住宅	ピット	未報告



第20図　ハケ遺跡第９地点遺構配置図（1/300）、土坑（1/60）、出土土器（1/4）

第5章　滝遺跡の調査

Ⅰ　遺跡の立地と環境

滝遺跡は武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面の台地東側の一段低い立川段丘面の縁に立地している。

「滝」の地名は、近年までこの段丘上から滝が落ちていたことに由来する。北西側は段丘面、北東側は新河岸川を挟んで荒川低地の沖積地と接し、南側は排水溝として利用される緩やかな小支谷を流れる旧清水に挟まれ、標高9～12m前後の微高地を形成する。遺跡の範囲は南北250m、東西500m以上ある。宅地開発が進むが部分的に畑が残っている。

周辺の遺跡は、北西側の段丘上に縄文時代前期、中期、晩期、古墳時代の遺跡である著名な上福岡貝塚と権現山遺跡群が新河岸川沿いに並び、旧清水を挟んだ南側には、縄文時代、飛鳥時代、中近世の長宮遺跡が広がる。

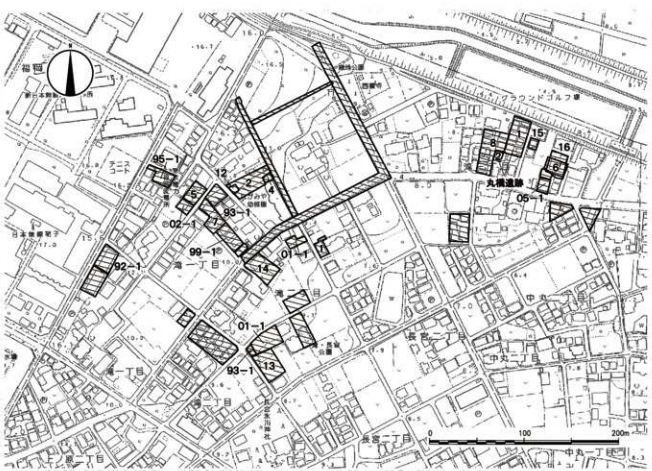
1976年以降宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、遺跡の谷口に当たる旧丸穂遺跡（1981年の変更増補で滝遺跡と合併）で古墳時代前期と後期の住居跡を検出以来35ヶ所で調査を行っている。なお、本遺跡の第3・5・9～11次調査、1995年度試掘調査・2002年度試掘調査（1）は権現山遺跡の範囲に入っているため、今後は本遺跡では欠番とし、権現山遺跡1・2・5～7・14・17地点とする。

遺跡の主たる時代と遺構は、縄文時代早期・前期の土坑、古墳時代から奈良・平安時代の住居跡、近世の段切り遺構（集石を伴なう）である。

Ⅱ　滝遺跡第15地点

（1）調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2009年7月24日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲内に位置するため、原因者と協議の結果、遺構などの存



第21図　滝遺跡の地形と調査区（1/4,000）

第13表 滝遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ( )は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書	備考
丸橋1次	滝3-3-77～81	(1976.6.26・27) 1976.7.24～8.12	543	建売住宅	古墳前期住居1・後期住居1	上福岡市遺跡調査報告書	丸橋遺跡は滝遺跡へ統合
丸橋2次	滝3-3-13	1978.7.26～8.6	210	住宅建設	古墳前期土坑1、現代溝1	埋蔵文化財の調査(Ⅰ)	
1次	滝2-6-11	1978.10.2～13	129	住宅建設	住居跡1、土師器	埋蔵文化財の調査(Ⅰ)	
2次	滝1-4-2	1979.4.15～5.7	278	幼稚園プール	住居跡5、周溝、土坑、長甕、土器	埋蔵文化財の調査(Ⅱ)	
3次	滝1-4-15	1980.6.27～7.3	76	住宅建設	権現山遺跡1地点に変更、欠番とする。	埋蔵文化財の調査(Ⅲ)	権現山遺跡へ変更
4次	滝1-4-15	1980.7.7～12	105	住宅建設	遺構なし、平安土師器片	埋蔵文化財の調査(Ⅲ)	
5次	滝1-3-21	1980.7.20～31	330	住宅建設	権現山遺跡2地点に変更。欠番とする。	埋蔵文化財の調査(Ⅲ)	権現山遺跡へ変更
6次	滝3-3-6	1980.11.20～12.2	166	住宅建設	縄文土坑、奈良住居跡2、縄文早期土器、石器、奈良土器他	埋蔵文化財の調査(Ⅲ)	
7次	滝1-1-19	1981.7.30～31	400	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	埋蔵文化財の調査(Ⅳ)	
8次	滝3-3-15他	1983.11.14～26	990	住宅建設	古墳住居2	埋蔵文化財の調査(Ⅵ)	
9次	滝1-4-4	1984.5.11～22	466	住宅建設	権現山遺跡5地点に変更。欠番とする。	埋蔵文化財の調査(Ⅶ)	権現山遺跡へ変更
10次	滝1-3-17	1984.6.1～12	363	住宅建設	権現山遺跡6地点に変更。欠番とする。	埋蔵文化財の調査(Ⅶ)	権現山遺跡へ変更
11次	滝1-4-2	1984.6.28～30	33.12	物置建設	権現山遺跡7地点に変更。欠番とする。	埋蔵文化財の調査(Ⅶ)	権現山遺跡へ変更
12次	滝1-4-2	1984.12.22～24	94	住宅建設	なし	埋蔵文化財の調査(Ⅶ)	
92試(1)	滝1-2-14の一部	(1992.7.6～8)	400	倉庫建設	なし	埋蔵文化財の調査(15)	
93試(1)	滝1-1-4	(1993.4.23～28)	313.08	共同住宅	なし	埋蔵文化財の調査(16)	
93試(2)	滝2-2-7	(1993.8.25)	99	個人住宅	なし	埋蔵文化財の調査(16)	
95試(1)	滝1-3-13	(1995.11.27～30)	462	共同住宅	権現山遺跡14地点に変更。欠番とする。	埋蔵文化財の調査(18)	
99試(1)	滝1-1-6	(1999.10.21～26)	511.09	宅地造成 (土地分譲)	なし	埋蔵文化財の調査(22)	
00試(1)	滝2-5-20	(2001.1.23～24)	154.7	個人住宅	なし	埋蔵文化財の調査(23)	
01試(1)	滝2-2-8	(2001.4.17～20)	519.64	共同住宅	奈良初頭住居跡1	埋蔵文化財の調査(24)	
02試(1)	滝1-3-49	(2002.5.29～30)	165	個人住宅	権現山遺跡17地点に変更。欠番とする。	埋蔵文化財の調査(25)	
05試(1)	滝3-3-5・3-143	(2005.6.24～27)	350	個人住宅	なし	市内遺跡群1	
立会	滝1-4-1・26・27	(2006.4.15)	2,492	幼稚園	なし		
12	滝3-3-3の一部,5-4の一部	2007.2.6	472	個人住宅	なし	市内遺跡群3	
13	滝2-2-6	2007.10.24～11.1	737.7	共同住宅	焼土範囲2箇所、ピット8	市内遺跡群4	
14	滝2-5-11・17	(2007.11.8～19) 11.20～12.6	692	分譲住宅	住居跡7軒、溝3条、井戸1基、須恵器、土師器	市内遺跡群4	
15	滝3-3-84	(2009.9.2～14) 10.23～11.6	100	分譲住宅	8世紀住居跡1軒、井戸1、土坑8、ピット20、須恵器、土師器、紡錘車	市内遺跡群7	
16	滝3-145	(2009.12.2～14)	434	宅地造成	ピット3	市内遺跡群8	
17	滝3-3-6、3-144	(2010.5.6～6.18)	331	分譲住宅	奈良平安時代住居跡5軒、井戸1、土坑4、溝2、集石	未報告	
18	滝2-6-4、6-6	(2011.6.6～13) 6.14～7.6	1164	個人住宅	縄文時代落とし穴1、古墳時代住居跡2軒他、土師器、近世陶磁器等	未報告	
19	滝3-4-2	(2011.10.17～24)	1277.16	分譲住宅	なし	未報告	
20	滝1-8、1-9	(2012.5.9～11)	124.45	道路築造	住居跡1軒、時期不明井戸、土坑、ピット	未報告	
21	滝1-1-7、1-26、1-31	(2012.5.11～21) 7.17～8.25	1176.25	共同住宅	奈良平安時代鍛冶炉付住居跡1軒(H31)・奈良平安時代住居跡1軒(H32)、掘立柱建物跡、井戸、溝、土坑、ピット、須恵器、土師器、鍛冶関連遺物他	未報告	

在を確認するための試掘調査を実施した。

試掘調査は2009年9月2日から14日まで行った。幅約3mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った結果、平安時代の住居跡、近世以降の土坑、井戸、ピット等を確認した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

地表面から遺構確認面までの深さは約40cmであり、開発による遺跡への影響が避けられないため原因者と再度協議の結果、原因者負担による本調査を実施した。

本調査は2009年10月23日から11月6日まで行い、奈良・平安時代住居跡1軒、近世以降の土坑8基、井戸1基、ピット20基を検出した。

本調査についての報告は2012年3月刊行、ふじみ野市埋蔵文化財調査報告第8集『市内遺跡群7』で行っている。

Ⅲ 滝遺跡第16地点

(1) 調査の概要

調査は宅地造成に伴うもので、原因者より2009年11月11日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の北東部に位置する。今回申請地の南側半分は、昭和55年11月19日～30日まで試掘・本調査を行い、7世紀の住居跡1軒、土坑4基の他、ピット55基、焼土遺構1基と遺物多数が出土している。

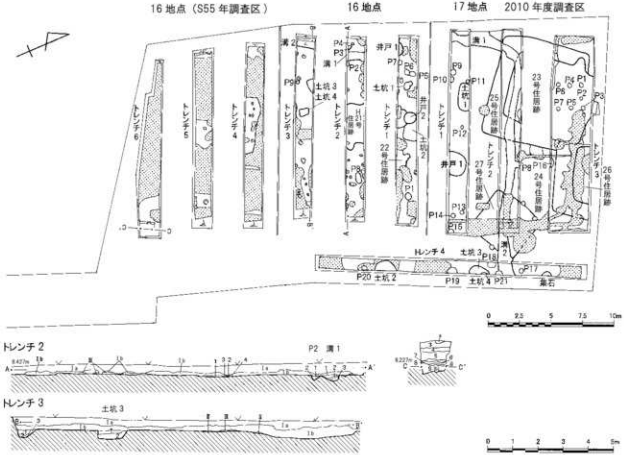
申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。試掘調査は同年12月2日から幅約2mのトレンチを4本設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行い、時期不明のピット3基を検出した。旧石器時代の確認調査は行っていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

昭和55年に調査した遺構のうち、今回確認出来たのはトレンチ4・5で、旧ピット17・23・24・32・34～37・46を確認したが再検出はしていない。7号住居跡を含む他の遺構は攪乱のため確認出来なかった。

今回新たに確認した各遺構の詳細は第14表のとおりである。

【H21号住居跡】トレンチ2に位置し、住居跡の竈



Ⅰa. 暗褐色土　締り強、粘性有、ロームブロック・粒を少し含む、現代盛土
Ⅰb. 褐灰色土　締り強、粘性有、5mm 以下焼土・炭化物、1mmローム粒少し含む、混入物が少なく、色調灰色味が強い、旧耕作土
Ⅱ. 褐灰色土　締り強、粘性有、1cm 以下ロームブロック・粒を多く含む、旧耕作土
Ⅲ. 黄褐色ローム土　締り強、粘性強、やや白色味が有り、粘性強い地山

1. 現代の盛り土、土質は多様　褐灰色土ベースに瞬・現代遺物を含む、下部にローム土を含み、その下に焼土・炭化物が目立つ
2. 褐灰色土　混入物の少ない灰色味が強いまで、水田などの旧耕作土と考えられる、5mm 以下焼土・炭化物少量、1mmローム粒を僅かに含む、トレンチ1では井戸1(明治前期頃)を覆う
3. 明黄褐色土　粘性が強いローム主体層、1mm 赤色粒・黒色粒少し含む、今回の調査では本層上面を遺構確認面とした
4. 暗褐色土　3mm 以下黄褐色土粒をやや多く、3mm 以下黒色粒少し含む、土器片を伴う、うっすら 1cm 以下茶褐色土を多く締うため、全体の色調は褐色味がある
5. 黒褐色土　うっすら斑状に 1cm 以下茶褐色土を含み、全体に褐色味がある、土器片状の 5 ～ 10mm 程褐色焼土や 3cm 棚を少し含む
6. 黒褐色土　5 層に似るが、よりシルト質で灰色味がある、うっすら斑状に茶褐色土をやや多く、1mm 程褐色粒少し含む
7. 黒褐色土　5・6 層に比べ、黒色土を多く含む、5mm 以下程褐色粒をやや多く含む
8. 暗褐色土　ローム土を含み、黄灰色味がある、うっすら斑状に 2cm 黒褐色土と 3mm 以下程褐色粒少し含む
9. 黄褐色土　ローム主体層、3mm 以下黒色粒が目立ち、粒形が不明瞭な 5mm 以下程褐色粒もやや多く含む

a. 黒褐色土　5 ～ 15mmロームブロック少し、3mm 焼土少し含む、土師器片を伴う
b. 黒褐色土　新面がピット状に確認される、ほっき礼た黒褐色土の堆積、3mm 以下程褐色粒・黄褐色粒を少し含む

トレンチ2
21 号住居跡

1. 黒褐色土　締り強、粘性有、5mm 大ローム粒やや多く含む
2. 黒褐色土　締り有、色調やや茶褐色味が有り、2mm 以下ローム粒少し含む、住居内ピットか？
3. 黒褐色土　締り強、粘性有、1cm 以下ロームブロック・粒を多く含み、色調明るい
4. 黒褐色土　締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒やや多く含み、3 層より細かなローム粒が多い

溝1

1. 暗褐色土　締り強、粘性有、5 ～ 15mmロームブロック・3mm 以下ローム粒少し含む
2. 暗褐色土　締り強、粘性有、5 ～ 15mmロームブロック多く含む
3. 黒褐色土　締り強、粘性有、5 ～ 20mmロームブロック・3mm 以下ローム粒少し含む

トレンチ3
土坑3

1. 暗褐色土　締り強、粘性有、1cm 以下ロームブロック・粒をやや多く、焼土少し含む
2. 黒褐色土　締り強、粘性有、斑状に 5cm 以下ロームブロックを多く含む

P2

1. 黒褐色土　締り強、粘性有、色調灰色味有り、斑状 5cm 以下ロームブロックを多く含む
2. 黒褐色土　締り強、粘性有、色調灰色味有り、斑状 3cm 以下ロームブロック主体
3. 暗褐色土　締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒・焼土僅かに含む

ピット1

1. 黒褐色土　締り強、粘性有、5 ～ 10mmロームブロック・3mm 以下ローム粒やや多く
2. 黒色土　締り強、粘性有、5 ～ 10mm 焼土ブロック少し、同ロームブロックやや多く含む

ピット2

1. 褐灰色土　締り強、粘性有、5mm 大ローム粒やや多く含む
2. 黒褐色土　締り強、粘性有、うっすら斑状に 1cm 以下ロームブロック・粒をやや多く含む

ピット3

1. 黒褐色土　締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒少し 2 層より灰色味が有る
2. 黒褐色土　締り強、粘性有、うっすら斑状に 5 ～ 10mmロームブロック少し含む

ピット4

1. 黒褐色土　締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒やや多い、2 層より灰色味がある
2. 黒褐色土　締り強、粘性有、5 ～ 10mmロームブロックやや多く・3mm 大焼土少し含む

ピット5

1. 黒褐色土　締り強、粘性有、1cm 以下焼土多く、3mm 以下ローム粒少し含む
2. 暗褐色土　締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒多く、焼土少し含む

ピット6

1. 黒褐色土　締り強、粘性有、1cm 以下焼土多く、5mm 以下ローム粒やや多く、炭化物(5mm)少し含む
2. 赤褐色土　締り強、粘性有、ロームエベース に 5mm 以下焼土をうっすら斑状に多く含む

ピット7

1. 褐灰色土　締り強、粘性有、1cm 以下黒褐色土少し、3mm 以下ローム粒少し、近世以降と思われる
2. 褐灰色土　締り強、粘性有、うっすら斑状に 1cm 以下ロームブロック多く、黒褐色土少し含む、5mm 大焼土・炭化物少し含む

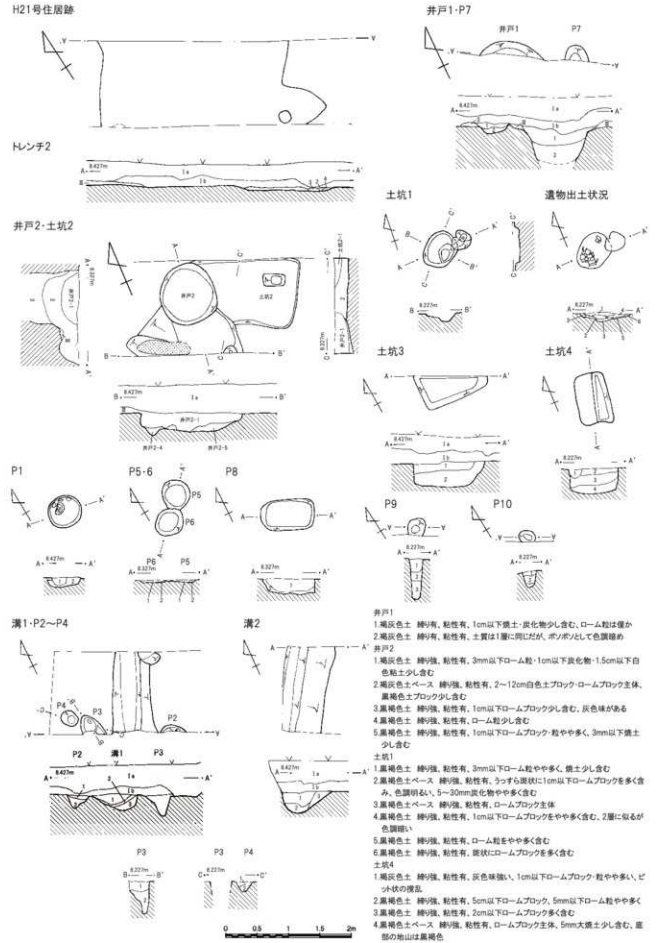
ピット8

1. 褐灰色土　締り強、粘性有、1cm 以下ロームブロック・粒をやや多く含む
2. 黒褐色土　締り強、粘性有、5 ～ 20mm 以下ロームブロック少し含む

ピット9・10

1. 暗褐色土　締り強、粘性有、うっすら斑状に 1.5mm 以下ロームブロック多く含む、炭色味有
2. 黒褐色土　締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒やや多い
3. 黒褐色土　締り強、粘性有、ロームブロックを多く含む、地山（黒褐色土）に比べ灰色味がある

第22図　滝遺跡第16地点遺構配置図（1/300）、土層図（1/150）



第23図　滝遺跡第16地点Ｈ21号住居跡・井戸・土坑・ピット・溝（1/60）

を含む一部のプランのみを確認した。確認面径2.85×(1.35)m、竈は住居の東壁から外に80㎝広がる。

【井戸、土坑、ピット、溝】井戸2基はトレンチ1に位置する。井戸1は一部を確認したのみ、井戸2も底部までは完掘していない。土坑は4基、ピットは8基を検出した。溝1・2はつながる可能性もある。

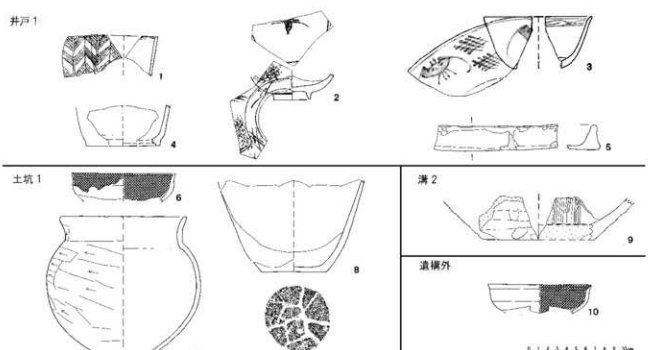
【出土遺物】（第24図1～10）1～5は井戸1の覆土層出土である。1は磁器の瀬戸猪口、軸幅成形、染付矢箸文、肥前産で1780～1860年代。2は磁器のコバルト染付碗、軸幅成形、外面草花文、見込み一重圏線・寿文、瀬戸・美濃で1870年代以降。3は磁器の端反碗、軸幅成形、外面染付蝙蝠文、口縁内連鎖文・見込み一重圏線、瀬戸・美濃で1850～60年代。4は陶器の灰釉徳利、瀬戸・美濃で1770～1840年代。5は土器の焙烙、型打軸幅成形、底部縮れ目・口縁外面に煤付着、在地産。

6～8は土坑1出土。9は溝2、10は遺構外出土。6・10は土師器の続比企型坏で、推定口径10.9㎝、内・外面に赤彩を施し口唇部に沈線が巡る、7世紀後半。7は土師器の壺形土器で口縁部は短く横撫で、胴部は丸く篦削り、口径13.4㎝、胴部最大径16.3㎝、7世紀後半。8は土師器の甕、篦削りで底部に木葉痕を有す、7世紀。

9は陶器製の擂鉢で軸幅成形、鉄（錆）釉、外面に指頭圧痕、内面櫛目、瀬戸・美濃産。

第14表　滝遺跡第16地点遺構一覧表　（単位㎝）

遺構名	平面・断面形態	確認面径	底径	深さ
H21号住居	不明	285×(135)	—	—
井戸1	不明	(105×20)	(57×11)	(70)
井戸2	円形	98×88	80×83	(65)
土坑1	円形	60×50	20×14	15.5
土坑2	(方形)	(174)×109	(158)×104	34.6
土坑3	(方形)	108×(55)	85×(40)	43.7
土坑4	(方形)	80×53	71×15	4.07
P1	円形	53×49	7×2	30.8
P2	不明	(40)×9	(16)×(8)	24
P3	不明	(38)×30	8×4	47.5
P4	円形	27×24	13×11	16.8
P5	円形	45×44	34×32	5.4
P6	円形	44×43	30×30	2.9
P7	不明	(39)×(23)	(19)×(12)	13.8
P8	楕円形	85×49	72×39	23.7
P9	(円形)	27×(25)	12×12	64
P10	(楕円形)	26×(18)	14×9	31.1
溝1	広い「U」字状	66～70	15～25	22.6
溝2	広い「U」字状	(76)	16	34.3



第24図　滝遺跡第16地点井戸・土坑・溝・遺構外出土遺物（1/4）

第6章　富士見台横穴墓群遺跡の調査

Ⅰ　遺跡の立地と環境

富士見台横穴墓群遺跡は東武東上線ふじみ野駅の南東約800～1,100m、福岡江川左岸の武蔵野台地縁辺部に位置する。福岡江川はかつて標高23m付近に湧水があり、左岸は急傾斜をなし、右岸は緩やかな斜面を形成する。本遺跡周辺でも南側の福岡江川に向かって急傾斜を成すが、標高18m付近を境に東側の立川段丘に緩やかに傾斜する。遺構の分布も南側の急傾斜部分から東緩斜面に移る部分までが確認されている。

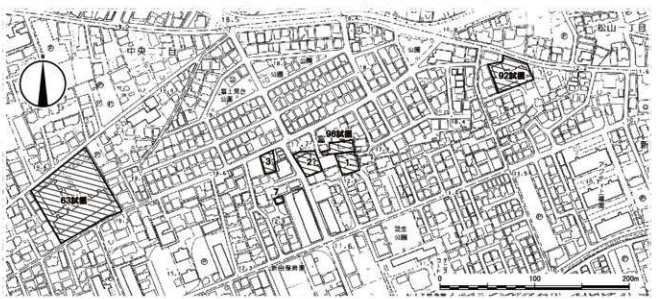
本遺跡の発見は、1949（昭和24）年頃、横穴の発見とともに人骨が出土、当時の町教育委員会に提出されている。1965年には分布調査で前述の横穴墓とみられる穴が2ヶ所確認されている。発掘調査により遺構が確認されたのは、1979年の第1次調査で2基の横穴墓が検出された。1号横穴墓は全長6.3m、玄室最大幅1.8mで、2号横穴墓は全長8m、玄室最大幅2.03m、高さ90cmで玄室から人骨片と人歯牙が出土した。1・2号横穴墓ともに墓道、羨道部、玄室の保存状況は比較的よい。1982・1987・1988・1992・1998年の試掘調査では遺構遺物は確認されていない。

Ⅱ　富士見台横穴墓群遺跡第7地点

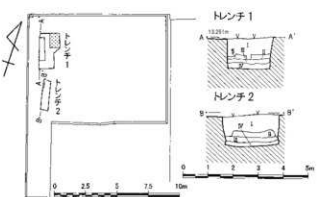
（1）調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2009年7月31日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は台地縁辺から下がった標高12～13m付近に位置する。

申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。試掘調査は同年8月26日に幅約1mと50cmのトレンチを2本設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行い、遺構遺物は確認されなかった。旧石器時代の確認調査は行っていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。



第25図　富士見台横穴墓群遺跡の地形と調査区（1/4,000）



第26図　富士見台横穴墓群遺跡第7地点調査区域図（1/300）、土層図（1/150）

第7章　長宮遺跡の調査

Ⅰ　遺跡の立地と環境

長宮遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面の台地東側をおりた一段低い立川段丘面に立地している。この低位の段丘面には「熊の山」と呼ばれた山林を湧水源とする清水が流れ(現在は排水溝として利用)、幅100ｍほどの緩い小支谷を形成し、清水の北側左岸に滝遺跡、南側右岸に長宮遺跡が分布する。北東側は荒川低地の沖積地と接し、500ｍ南側には福岡江川が流れ、標高９～10ｍ前後の微高地を形成する。遺跡の範囲は南北300ｍ、東西500ｍ以上ある。宅地開発が進むが部分的に畑が残っている。

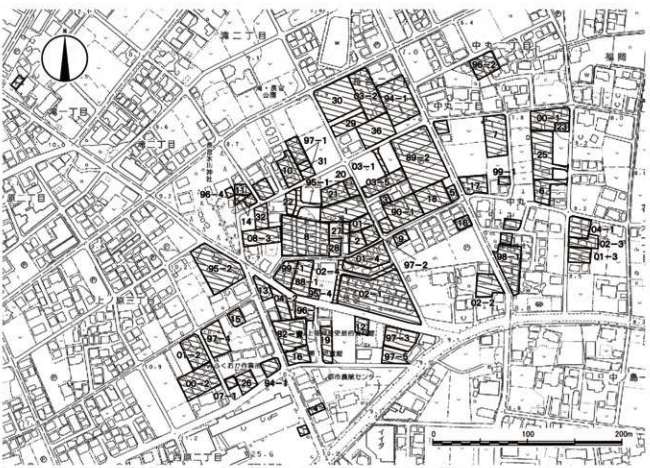
遺跡の西方には長宮氷川神社があり、この神社の縁起伝承には「長宮千軒町」として繁盛したが、戦国期に壊滅した旨が記されている。周辺の遺跡は、北側に縄文時代早・前期、古墳時代前・後期から奈良・平安時代の遺跡である滝遺跡、南側には飛鳥・奈良・平安時代、中近世の松山遺跡が隣接する。1977年の保育園建設に伴う緊急調査で中世の屋敷地と思われる遺構群を検出したのをはじめ、宅地造成などにより2012年12月現在42ヶ所で調査を行っている。主たる時代と遺構は縄文時代早期後葉から前期・中期・後期前葉までの集落跡、南側の松山遺跡寄りに飛鳥時代の住居跡、中世末から近世初頭の屋敷跡や長宮氷川神社参道に関係のある溝跡などである。

Ⅱ　長宮遺跡第30地点

調査は老人福祉施設建設に伴うもので、原因者より2009年８月19日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲内に位置するため、原因者と協議の結果、遺構などの存在を確認するための試掘調査を実施した。

試掘調査は2009年９月28日から11月２日まで行った。幅約２ｍのトレンチ７本、幅約1.5ｍのトレンチ１本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った結果、土坑、ピット、井戸、溝などを確認した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

建物建設予定地の、遺跡確認面までの深さは約30



第27図　長宮遺跡の地形と調査区（1/4,000）

～40㎝であり、遺跡への影響が避けられないため原因者と再度協議の結果、原因者負担による本調査を実施した。

本調査は2009年11月4日から12月8日まで行い、井戸7基、土坑8基、ピット8基、溝2本などを検出した。

本調査の報告は、2012年3月刊行のふじみ野市埋蔵文化財調査報告第8集『市内遺跡群7』に掲載。

Ⅲ　長宮遺跡第32地点

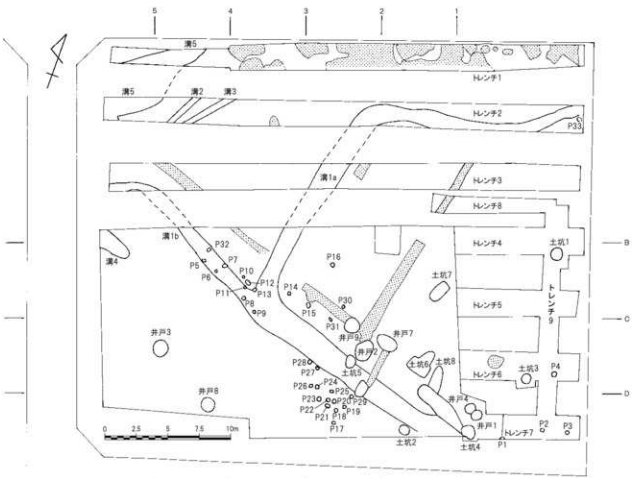
調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2009年12月3日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の範囲内に位置するため、原因者と協議の結果、遺構などの存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2010年1月15日から25日まで行った。幅約1.5ｍのトレンチ3本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った結果、土坑、ピット、溝などを確認した。遺跡確認面までの深さは約50㎝であり、遺跡への影響が避けられない建物建設部分について、原因者と再度協議の結果、原因者負担による本調査を実施した。

本調査は2010年2月4日から26日まで行い、土坑20基、ピット142基、溝3本を検出した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

本調査の報告は、2012年3月刊行のふじみ野市埋蔵文化財調査報告第8集『市内遺跡群7』に掲載。

第29図　長宮遺跡第32地点遺構配置図（1/300）



第28図　長宮遺跡第30地点遺構配置図（1/300）

第8章　松山遺跡の調査

Ⅰ　遺跡の立地と環境

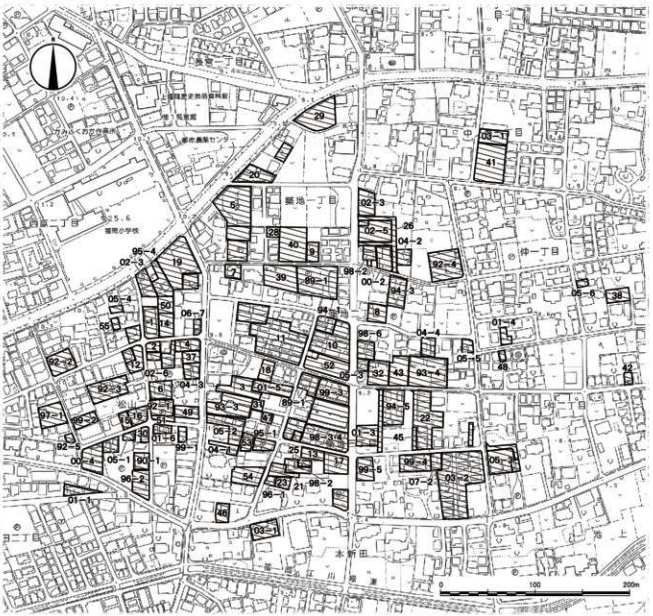
松山遺跡は、亀居遺跡付近を湧水源とする福岡江川の左岸、武蔵野台地の一段低い立川段丘面に立地している。東側は荒川低地の沖積地と接し、標高9～10m前後の微高地を形成する。遺跡の範囲は南北500m、東西600m以上である。宅地開発されるが部分的に畑が残っている。

周辺の遺跡は、すぐ北側に縄文時代早期～後期、飛鳥時代および中近世にわたる長宮遺跡、福岡江川を挟んだ対岸には福岡新田遺跡、同じく対岸の250m南東側には、縄文時代前期集落の鷺森遺跡がある。また、西方約350mの比高差9mを持ってそびえる台地の南東崖面には富士見台横穴墓群が望まれる。

1978年の宅地造成に伴う緊急調査で奈良時代の住居跡を検出したのをはじめ、宅地造成などにより約100ヶ所で調査が行われている。主たる時代と遺構は、長宮遺跡と接した北寄りに飛鳥時代の住居跡、遺跡中央の東西240m、南北210m程度の範囲に奈良平安時代の住居跡・掘立柱建物跡・井戸跡、中近世以降の溝・井戸跡などである。特に溝・井戸等の中近世の遺構は東側の低地へも広がりを見せており、遺跡範囲の変更増補を行った。

Ⅱ　松山遺跡第47地点

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2009年4月1日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ



第30図　松山遺跡の地形と調査区（1/4,000）

第15表　松山遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ( )は試掘調査	面積(㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1次	松山2-5-4	1978.10.14～11.6	479		住居跡2軒	埋(Ⅰ)
2次	松山2-6-7	1979.4.26～5.1	161		住居跡1、土師器	埋(Ⅱ)
3次	駒林2-1-20	1979.8.7～16	733		住居跡1、土器	埋(Ⅲ)
4次	松山2丁目6-9	1982.9.13～24	277		遺構なし、平安土器	埋(Ⅴ)
5次	駒林1丁目1-16	1983.4.20～28	1461	住宅建設	なし	埋(Ⅵ)
6次	松山2-6-16	1984.8.13～28	330	住宅建設	溝1、土坑5	埋(Ⅶ)
7次	駒林2-3-19	1986.1.13～21	237	個人住宅	溝1	埋(Ⅷ)
8次	駒林2-4-12	1986.7.1～8	319	個人資材置場	平安土器散布地	埋(Ⅸ)
9次	駒林1-1-50	1987.10.1～3	288	個人住宅	なし	埋(Ⅹ)
88試	駒林3-3-4	(1989.1.9,10)	379	住宅建設	なし	埋(11)
89試	駒林2-3-11	(1989.6.27～30)	1342	共同住宅	なし	埋(12)
90試	松山2-2-9	(1990.9.7～12)	304	個人住宅	なし	埋(13)
10次	駒林2-2-6	1991.10.14～19	450	個人住宅	平安住居跡(国分期2)、溝1	埋(14)
11次	駒林2-1-10	1991.10.18～23	2029	宅地造成	平安住居跡(国分期1)、溝1、土坑2、井戸状遺構1	埋(14)
92試(1)	松山2-6-22,23	(1992.4.17～24)	567	駐車場	なし	埋(15)
92試(2)	松山2-4-7	(1992.5.6～11)	371	駐車場	なし	埋(15)
12次	松山2-3-11	1992.5.12～20	393	宅地造成	平安井戸跡1	埋(15)
13次	駒林3-2-18	1992.5.18～30	234	宅地造成	平安住居跡1	埋(15)
14次	松山2-5-17	(1992.5.21～30)	432	宅地造成	中世井戸跡2	埋(15)
92試(3)	松山2-3-31,13	(1992.6.12～16)	871.9	宅地造成	なし	埋(15)
92試(4)	駒林1-3-17	(1992.6.3～11)	998	共同住宅	溝遺構、井戸状遺構	埋(15)
92試(5)	松山1-4-32	(1992.10.30)	79.4	共同住宅	なし	埋(15)
93試(1)	松山2-3-1	(1993.4.5～16)	509.19	宅地造成	なし	埋(16)
15次	松山2-3-41	1993.4.19～28	148	個人住宅	平安住居跡1	埋(16)
17次	駒林3-2-19	1993.5.10～24	597	駐車場	古墳末期住居跡1	埋(16)
16次	松山2-3-43,44	1993.7.2～15	156.76	個人住宅	平安住居跡1	埋(16)
93試(3)	駒林3-1-17,31	(1993.10.15～20)	994.22	共同住宅	なし	埋(16)
93試(4)	駒林2-5-2の一部	(1993.10.22～26)	1246.63	共同住宅	なし	埋(16)
18次	駒林3-1-16	1993.12.1～7	290	駐車場	奈良末～平安住居跡1	5年教要
19次	松山2-5-9	1994.1.17～2.3	1531.38	貸店舗	平安住居跡2、溝跡1	上遺調3集 松山遺跡第19次調査報告
94試(1)	駒林2-2-3	(1994.5.30)	310.48	分譲住宅	なし	埋(17)
20次	駒林1-2-4	1994.6.24～7.1	559.17	共同住宅	古墳末期竪穴住居跡1、土師器、須恵器破片	埋(17)、上遺調5集
94試(3)	駒林2-4-7	(1994.8.3～12)	532.36	宅地造成	なし	埋(17)
95試(1)	駒林3-1-9,10	(1995.5.10～19)	303	宅地造成	なし	埋(18)
95試(2)	駒林3-3-2	(1995.5.22～6.15)	542	宅地造成	古墳末期住居跡1	埋(18)
95試(3)	駒林3-2-23	(1995.10.17～20)	133.25	個人住宅	なし	埋(18)
21次	駒林3-2-23	1995.10.17～20	378.53	市道敷設	古墳末期住居跡1	埋(18)
95試(4)	松山2-5-6,16	(1995.12.22)	413	宅地造成	なし	埋(18)
96試(2)	松山2-2-1	(1996.7.22～24)	409	宅地造成	溝1(時期不明)	埋(19)
97試(1)	松山1-4-17	(1997.9.11～18)	391	個人住宅	なし	埋(20)
22次	駒林3-4-15,23	1997.12.15～24	419	個人住宅	平安期住居跡1、奈良末期掘立柱建物1、縄文後期土坑7、土師器、須恵器、縄文土器、墨書土器1	埋(20)
98試(1)	駒林3-2-13,24	(1998.4.16)	240	宅地造成	22次調査参照	埋(21)
98試(2)	駒林3-2-23外2筆	(1998.4.17、5.20～22)	450	宅地造成	なし	埋(21)
98試(3,4)	駒林3-3-1	(1998.4.20～5.20)	922	宅地造成	中近世溝1(1基)	埋(21)
23次	駒林3-2-24の一部	1998.5.11～14	120	個人住宅	奈良後半住居跡1	埋(21)
98試(5)	駒林1-3-18	(1998.7.1)	167.06	個人住宅	なし	埋(21)
24次	駒林3-2-4の一部	1998.9.8～21	50	農地改良	飛鳥住居跡1	埋(21)
98試(6)	駒林2-5-6	(1998.9.1～4)	363	個人住宅	なし	埋(21)
25次	駒林3-2-23外2筆	1999.3.3～12	240	個人住宅	奈良前期住居跡2	埋(21)
99試(1)	松山2-1-10	(1999.4.16)	166	個人住宅	なし	埋(22)
99試(2)	松山2-3-3	(1999.5.6～12)	340	宅地造成(分譲)	溝1(時期不明)	埋(22)
99試(3)	駒林3-3-14,15	(1999.6.22～24)	778.29		なし	埋(22)
99試(4)	駒林3-5-15の一部,24,27	(1999.8.2～6)	745.58		ピット3(平安?)	埋(22)
99試(5)	駒林3-5-28	(1999.8.26～9.1)	331.3	個人住宅	溝1(時期不明)	埋(22)
26次	駒林1-3-21	2000.5.15～6.2 (2000.4.27～5.12)	627.9	市道設置	井戸2、竪穴住居跡1、土師器、須恵器、陶磁器片	埋(23)
00試(2)	駒林1-3-5,25,27,35	(2000.5.17～25)	687.3	共同住宅	土坑1	埋(23)
27次	仲2-1-10の一部	2000.6.12～7.3 (2000.5.22～6.8)	912	共同住宅建設及び市道設置	奈良竪穴住居跡1、土師器、須恵器、陶磁器片	埋(23)
00試(4)	松山2-2-5	(2000.10.30)	392	共同住宅	なし	埋(23)
28次	駒林1-1-28	2001.2.8～21	165.6	個人住宅	奈良住居跡1	埋(23)
00試(5)	駒林3-1-28	(2001.2.2～12)	614	宅地造成(分譲)	飛鳥～奈良住居跡1	埋(23)
00試(6)	松山2-1-8,17	(2001.3.21)	174.9		なし	12年教要
01試(1)	新田2-430-1	(2001.4.12～13)	204.15	個人住宅	なし	埋(24)
01試(2)	仲2-1-10	(2001.5～10)	168	地区計画道路	近代以降溝3	埋(24)
01試(3)	駒林2-4-10	(2001.5.10～15)	434.59	共同住宅	なし	埋(24)
01試(4)	仲1-1-2,3,14	(2001.9.12)	694.68	個人住宅	なし	埋(24)
02試(1)	駒林1-2-8	(2002.5.20～23)	978	遺構所在確認	竪穴住居跡1	埋(25)
02試(2)	駒林3-5-35,36	(2002.7.11)	248.09	宅地造成(分譲)	なし	埋(25)
29次	駒林1-2-8の一部	2002.7.2～8.9	36	個人住宅	竪穴住居跡1	埋(25)
02試(3)	松山2-5-7	(2002.8.5)	358.57	宅地造成(分譲)	なし	埋(25)
02試(4)	駒林1-3-28	(2002.8.20～21)	479	共同住宅	なし	埋(25)
02試(5)	駒林1-3-22,25,30	(2002.8.22～26)	640.68	遺構所在確認	竪穴住居跡1【盛土保存】	埋(25)
02試(6)	松山2-6-5	(2002.9.10)	147	個人住宅	なし	埋(25)
03試(1)	本新田1-23	(2003.4.16～21)	1080.48	共同住宅	なし	埋(26)
03試(2)	駒林3-5-3他6筆	(2003.8.19～30)	2578.02	宅地造成	飛鳥竪穴住居跡2【盛土保存】	埋(26)
30次	松山2-2-3	2003.10.3～10	142.47	個人住宅	奈良竪穴住居跡1【調査実施】	埋(26)
04試(1)	駒林3-1-16,32	(2004.4.22～23)	976	宅地造成	なし	埋(27)
04試(2)	駒林1-3-37	(2004.4.30)	165	個人住宅	なし	埋(27)
04試(3)	松山2-6-11	(2004.6.16)	309	宅地造成	なし	埋(27)
04試(4)	駒林2-5-14,25,27	(2004.8.5)	280	個人住宅	なし	埋(27)
04試(5)	駒林3-4-12	(2004.9.6～8)	911	宅地造成	溝1	埋(27)
05試(1)	松山2-2-4の一部	(2005.4.6～7)	313	土地分譲	なし	市内1
05試(2)	駒林3-1-32,34,43	(2005.4.19～21)	549	土地分譲	なし	市内1
05試(3)	駒林2-5-32	(2005.4.28)	132	個人住宅	なし	市内1
31次	駒林3-1-69	2005.6.14～23 (2005.6.9～13)	120	個人住宅	古墳住居跡1	市内1
05試(8)	駒林2-5-3	(2005.8.30～9.13)	567	宅地造成	平安住居跡1	市内1
32次	駒林2-5-3の一部	2005.9.8～13 (2005.8.30～9.7)	132	個人住宅	平安住居跡2	市内1
05試(5)	駒林2-5-36	(2005.10.31)	125	個人住宅	なし	市内1
05試(4)	松山2-4-23	(2005.10.20～21)	161	個人住宅	なし	市内1
05試(6)	仲1-4-26	(2005.11.14)	108	個人住宅	なし	市内1
05試(7)	松山2-5-21	(2006.2.28)	100	個人住宅	なし	市内2
37	松山2-6-10,13	(2006.4.13)	228	個人住宅	なし	市内3
38	仲1-4-3,9,12,13,24	(2006.5.29)	2176	宅地造成	なし	市内3
39	駒林2-3-10	(2007.1.10～20)	937	宅地造成	なし	市内3
40	駒林1-1-5	2007.2.21～3.9 (2007.2.2～8)	1047	宅地造成	奈良住居跡1、中世遺構検出	市内3
41	中ノ島1-2-5	2007.2.21～3.5 (2007.2.7～9)	1281	宅地造成	中世遺構遺物検出	市内3
42	仲2-3-13	(2007.2.13)	109	個人住宅	なし	市内3
43	駒林2丁目5番2	(2007.4.11～24)	668.13	分譲住宅	堀跡1、土坑1、旧石器ナイフ1点	市内4
44	駒林3-2-10,2-14	(2008.6.9～11)	132	個人住宅	遺構遺物なし	市内6
45	駒林3-4-7の一部外	2008.10.1～23 (2008.9.4～30)	390	道路(上下水道)	奈良・平安時代竪穴住居跡2軒、掘立柱建物跡2棟、竪穴状遺構1、時期不明の溝10、土坑、ピット	市内6
46	駒林3-1-33の一部,1-35の一部	(2009.2.17)	309	個人住宅	遺構遺物なし	市内6
47	駒林3-1-52	(2009.5.11,12)	121	個人住宅	ピット	未報告
48	仲2-2-34	(2009.7.1)	67	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
49	松山2-6-1,14,22の一部	(2009.10.17～22) 2009.10.27～11.18	449	宅地造成	平安時代竪穴住居跡1軒(住居内鍛冶炉検出)、土坑1、溝1、ピット1	未報告
50	松山2-5-3,17	(2009.11.27～12.1)	797	分譲住宅	溝1、ピット7	未報告
51	松山2-6-22,23,26の一部	(2010.5.10～15)	360	分譲住宅	遺構遺物なし	未報告
52	駒林2-2-1	(2010.8.26～9.3)	694	分譲住宅	溝1、落とし穴1、工事立会	未報告
53	駒林3-1-11	(2010.9.10～21)	265	個人住宅	近代以降の溝2、ブナグラ1、慎重工事	未報告
54	駒林3-1-6,76～83	(10/4～11/5) 9/21～10/1	540	宅地造成	奈良・平安住居跡3軒確認、西側1軒の住居は盛土保存、他2軒は本調査	未報告
55	松山2-4-24の一部	(2011.1.17) 1.18～1.21	226	個人住宅	奈良平安時代の住居跡1軒、掘立柱建物跡1棟、本調査	未報告
56	駒林3丁目4-7、4-8の一部	(2011.4.4～14) 4.11～15	482.53	共同住宅	奈良平安時代掘立柱建物跡2他、本調査(一部工事立会)	未報告
57	駒林3丁目4番47	(20011.4.4～15)	241	分譲住宅	遺構遺物なし、慎重工事	未報告
58	仲2丁目2-31	(2011.6.6～8) 6.14	114.54	個人住宅	井戸跡1、本調査	未報告
59	仲2丁目3番6、3番9	(2011.8.8～11) 8.11	559.7	個人住宅	土坑2他、本調査	未報告
60	仲1丁目1番15	(2012.3.26･27)	165.31	個人住宅	堀跡1、工事立会	未報告

埋：上福岡市教育委員会埋蔵文化財の調査報告書、上遺調：上福岡市遺跡調査会報告書、教要：上福岡市教育要覧、市内：ふじみ野市市内遺跡群報告書

野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央部に位置するため、原因者と協議の結果、遺構などの存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2009年5月11・12日に行った。幅約2mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行い、遺構遺物は確認されなかった。旧石器時代の確認調査は行っていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。

Ⅲ　松山遺跡第48地点

（1）調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2009年6月29日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の東部に位置する。

申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。試掘調査は同年7月1日に幅約1.5mのトレンチを2本設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。時期不明のピット1基を検出したが遺物は出土しなかった。

ピットの平面形態は方形で、確認面径66×65cm、底径18×18cm、深さ45.2cmである。

旧石器時代の確認調査は行っていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。

Ⅳ　松山遺跡第49地点

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2009年9月25日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の範囲内に位置するため、申請者と協議の結果、遺構などの存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2009年10月17日から22日まで行った。幅約2mのトレンチ4本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行い、住居跡、土坑、溝などを確認した。遺跡確認面までの深さは約40cmで、遺跡への影響が避けられないため申請者と再度協議の結果、原因者負担による本調査を実施した。本調査は2009年10月27日から11月18日まで行い、8世紀後半の住居跡1軒、井戸1基、溝2本などを検出した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

本調査の報告については、2012年3月刊行のふじみ野市埋蔵文化財調査報告第8集『市内遺跡群7』に掲載。

Ⅴ　松山遺跡第50地点

（1）調査の概要

調査は宅地造成に伴うもので、原因者より2009年11月10日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の北西部に位置するため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。試掘調査は同年11月27日から幅約2mのトレンチを4本設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行い、時期不明のピット7基と溝1本を検出した。旧石器時代の確認調査は行っていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。

（2）遺構と遺物

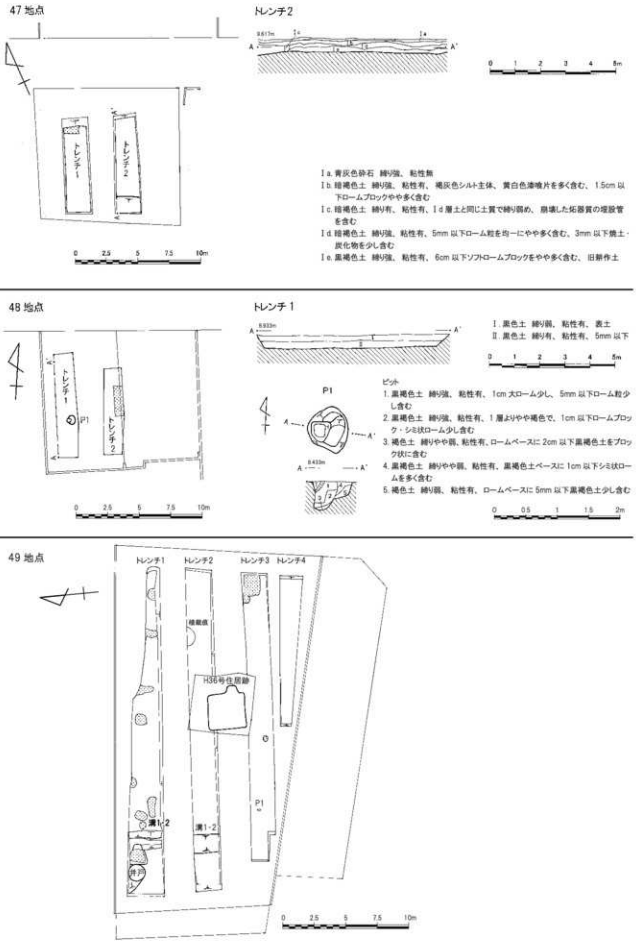
【ピット・溝】ピットは7基検出したが時期は不明である。

溝は調査区北側で東西方向に延び、トレンチ1～3では1本、トレンチ4では掘り直しのため2本が確認された。隣地境の溝とみられる。ピットと溝の詳細は第16表松山遺跡第50地点遺構一覧表のとおりである。

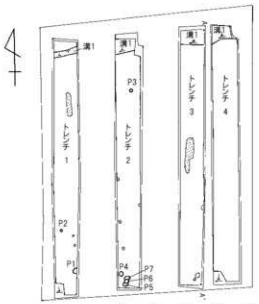
【遺物】1は須恵器の底部で輪轆成形、内面に自然釉が付着する。2は須恵器甕の口縁部。輪轆成形で胎土に海綿骨針を含む。1はトレンチ4の溝覆土層出土、2は表土一括出土である。

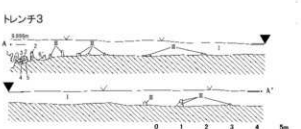
第16表　松山遺跡第50地点遺構一覧表　(単位cm)

遺構名	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
P1	楕円形	(50)×45	19×10	31.5	
P2	円形	26×24	8×5	62.2	
P3	方形	27×23	9×3	39.8	
P4	円形	36×35	11×9	28.5	
P5	(楕円形)	37×(24)	18×(10)	35.2	
P6	(楕円形)	33×27	24×15	34.9	
P7	(楕円形)	43×(25)	27×10	39	
溝1	「U」字状	50～60	10～20	60	



第31図　松山遺跡第47地点調査区域図、第48・49地点遺構配置図（1/300）、土層図（1/150）、ピット（1/60）





Ⅰ.表土　耕作土　暗褐色土　締り有、粘性有、ロームブロックを含まないトレンチャー痕とロームブロックを多く含む土に細分できる

Ⅱ.地山　ローム層

1.黒褐色土　締り強、粘性有、ソフトロームブロック主体、ローム粒ももやや多く含む

2.黒褐色土　締り強、粘性有、硬化した1cm以下ロームブロック・粒を少し含む

2'.黒褐色土　締り強、粘性有、2層に似るが2mm以下ローム粒をやや多く含み色調明るめ、硬化した5mm以下ロームブロック少し含む

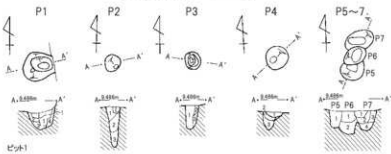
3.黒褐色土　締り有、粘性有、硬化した3cm以下ロームブロック・粒を多く含む

4.黒褐色土　締り有、粘性有、硬化した5～10mmロームブロック・粒を少し含む

5.暗褐色土　締り有、粘性有、硬化した5mm以下ローム粒ややや多く含む

6.黒褐色土　締り有、粘性有、硬化した5～15mmロームブロック少し、3mm以下ローム粒ややや多く含む

6'.黒褐色土　締り有、粘性有、6層に似るが黒色味強い、1.5cm以下ロームブロック少し、3mm以下ローム粒ややや多く含む



ピット1

Ⅰ.表土

1.黒褐色土　締り有、粘性有、5mm以下ローム粒をやや多く含む

2.黒褐色土　締り強、粘性有、2mm以下ローム粒、5～20mmロームブロック少し含む

3.暗褐色土　締り強、粘性有、1cm以下ロームブロック・粒多く含む

4.黒褐色土主体　締り有、粘性有、5～30mm ロームブロックを含む

ピット2

1.黒褐色土　締り有、粘性有、5mm以下ローム粒を部分的にやや多く含む

2.黒褐色土　締り有、粘性有、5mm以下ローム粒少し含むが部分的にブロック状に集中する、1層より黒色味強い

ピット3

1.黒褐色土　締り有、粘性有、3mm以下ローム粒少し含む

2.暗褐色土　締り強、粘性有、3mm以下ローム粒多く含む

3.黒褐色土主体　締り有、粘性有、1cm以下ロームブロック・粒多く含む

ピット4

1.黒褐色土　締り有、粘性有、5～20mmロームブロック、3mm以下ローム粒やや多く含む

2.黒褐色土　締り有、粘性有、3mm以下ローム粒少し含む

3.暗褐色土　締り強、粘性有、5mm大ロームブロック多く含む

ピット5

1.黒褐色土　締り有、粘性有、5mm以下ローム粒少し含む

ピット6

1.黒褐色土　締り有、粘性有、15mm以下ロームブロック・粒ややや多く含む

2.黒褐色土　締り有、粘性有、ローム粒少し含む

ピット7

1.黒褐色土　締り有、粘性有、5～20mmロームブロック、3mm以下ローム粒ややや多く

2.黒褐色土　締り有、粘性有、3mm以下ローム粒少し含む

3.黒褐色土　締り有、粘性有、5mm以下ローム粒多く含む

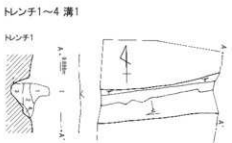
トレンチ1

1.黒褐色土　締り有、粘性有、5～20mmロームブロック、5mm以下ローム粒ややや多く含む

2.黒褐色土　締り有、粘性有、5mm以下硬化したローム粒を多く含む

3.黒褐色土　締り有、粘性有、5mm以下ローム粒を多く含む土と、ローム粒を含まないシルト質の土が約30mm厚ごとに互層をなす(水成堆積)

4.黒褐色土　締り有、粘性有、5～15mmの硬化したロームブロックを多く含む、ベースの土は、1～3層より黒色味強い



第32図　松山遺跡第50地点遺構配置図（1/300）、土層図（1/150）、ピット（1/60）、出土遺物（1/4）

第９章　江川南遺跡の調査

Ⅰ　遺跡の立地と環境

江川南遺跡は福岡江川の谷頭部から、約300～500ｍ程下った右岸に位置している。遺跡の標高は20～21ｍで、現谷底との比高差は１～２ｍを測る。福岡江川北側の左岸は急傾斜を成すが、本遺跡をのせる南側右岸の台地は緩やかに傾斜する。

遺跡の中央部を南北に川越街道がはしり、川越街道から東に県道東大久保・大井線が延びる。東武東上線上福岡駅から約１kmのため、昭和40年代から急激な開発による市街化がなされ現在に至っている。

周辺の遺跡は、福岡江川の対岸に亀居遺跡と鶴ヶ舞遺跡が位置し、東側に江川東遺跡が隣接する。

本遺跡は当初、地蔵院遺跡と江川南遺跡であったが、平成５年に遺跡の変更増補を行い統一した。また平成９年には亀久保堀跡遺跡と江川南遺跡に分ける変更増補を行った。

本遺跡では旧石器時代の石器集中・礫群、縄文時代中期の住居跡・土坑など、古代～中世の堀跡、地蔵院に関わる近世の遺構群で、また時期は多岐にわたる。

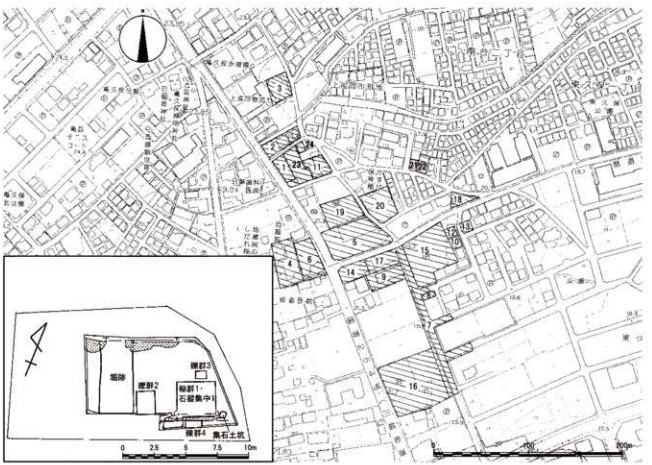
Ⅱ　江川南遺跡第24地点

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2009年10月20日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲内に位置するため、原因者と協議の結果、遺構の存在を確認するための試掘調査を実施した。

試掘調査は2009年12月４日から10日まで行った。幅２ｍのトレンチ２本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査の結果、堀跡の続きを確認した。さらに１ｍ四方の小トレンチ４ヶ所と１×２ｍの小トレンチ１ヶ所を掘り下げたところ、旧石器時代の遺物を検出した。

遺跡確認面までの深さは約30～40㎝で、遺跡への影響が避けられないため原因者と再度協議の結果、原因者負担による本調査を実施した。

本調査は2009年12月14日から28日まで行い、亀久保堀跡の続きと、旧石器時代の礫群と石器集中を検出し、2012年３月刊行のふじみ野市埋蔵文化財調査報告第８集『市内遺跡群７』に掲載した。



第33図　江川南遺跡の地形と調査区（1/4,000）、第24地点遺構配置図（1/300）

第10章　江川東遺跡の調査

Ⅰ　遺跡の立地と環境

江川東遺跡は、入間川の支流新河岸川に注ぐ福岡江川の谷頭部から、約700～1,000m程下った右岸に位置している。標高15～19mで現谷底との比高差は3mを測る。福岡江川の左岸は急傾斜をなし、右岸は緩やかな斜面を形成している。遺跡周辺は、急激な市街化によって商店や住宅が建ち僅かに畑地が残っている。

周辺の遺跡は谷頭部付近に亀居遺跡、対岸台地上に鶴ヶ舞遺跡、南側に東久保遺跡がある。

本遺跡は旧大井町の地域で最も早く市街化された区域内にあり、表面採取はほとんど不可能であるが、一部残された畑地には須恵器が散布する。第2地点の調査では、近世の土坑・ピットを検出している。2012年12月現在19地点で試掘及び発掘調査を行っている。

Ⅱ　江川東遺跡第16地点

（1）調査の概要

調査は個人住宅の建設に伴うもので、原因者より2009年7月31日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲内に位置するため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

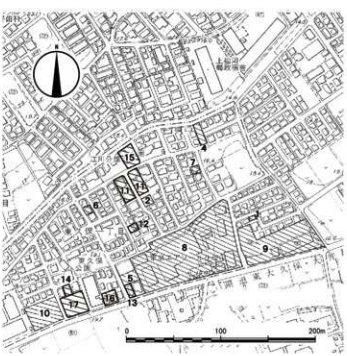
試掘調査は2009年9月14日から、幅約2mのトレンチ3本を設定し重機による表土除去後、人力による表面精査を行った。その結果、現地表面から約50～60cmの深さで縄文時代の集石土坑を確認した。再度協議の結果、工事による掘削が遺構に影響を与えるため、本調査を行った。

本調査は9月16日に行い、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、本調査を終了した。

（2）遺構と遺物

【集石土坑】調査区の南西隅で1基を検出した。本調査区に隣接する県道東大久保・大井線を挟んだ南側の東久保遺跡第9・10地点で6基の集石土坑を検出しており、今回検出したものも同時期に属するものとみられる。耕作による削平のため保存状況はあまり良くない。出土礫の詳細は第17表のとおりである。

【出土遺物】1は表土一括採取の縄文土器で半截竹管の外面による浅い沈線状の押引文を施す。中期前半から中葉。



第34図　江川東遺跡の地形と調査区（1/4,000）

Ⅲ　江川東遺跡第17地点

（1）調査の概要

調査は地下埋設物調査に伴うもので、原因者より2009年8月3日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。

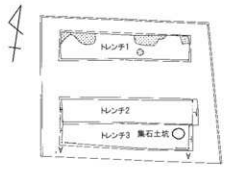
申請地は遺跡範囲内に位置するため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は同年12月10日から、幅約1.5mのトレンチ5本、幅2mのトレンチ1本を設定し重機による表土除去後、人力による表面精査を行った。調査区全体にガラ混じりの攪乱が多数みられたが、遺構遺物は確認されなかった。旧石器時代の確認調査は行っていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。

第17表　江川東遺跡第16地点集石土坑・出土礫観察表　（単位cm・個数・g（%））

集石No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	礫範囲	総点数	総重量	平均重量	破損個数	完形個数	焼成個数	未焼成個数	タール・煤付着数	タール・煤未付着数
1	円形	(70×70)	30×28	24	51×32	346	9,894.26	28.59	330 (95.3)	11 (3.1)	145 (41.9)	177 (51.1)	24 (6.9)	173 (50.0)

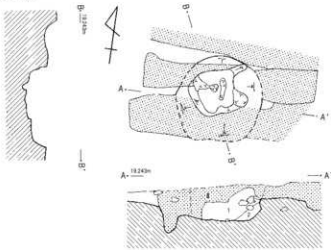
16地点



トレンチ2

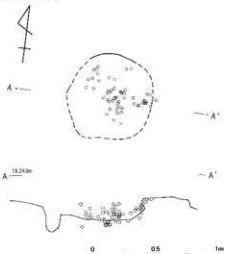
Ⅰ.暗褐色土＋黒色土　締り有、粘性有、上層約20cmは暗褐色土の表土層、下層は黒色土で旧耕作土層、1mm以下ローム粒少し含む
Ⅱ.暗褐色土　締り有、粘性有、暗褐色土ロームと黒色土を斑状に含む、トレンチ2北壁は耕作痕に関わるため、本土層は手掘り耕作の跡である
トレンチ2の西側は遺構確認面より12cm上が本来の遺構確認面、トレンチ2では本層より焼石数点と土器片1点が一括で取り上げられている
Ⅲ.褐色土　締り有、粘性有、地山ハードローム

集石土坑



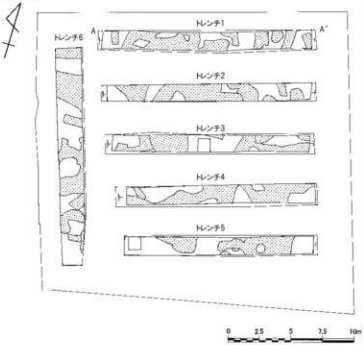
1.黒色土　締りやや弱、粘性有、1mm以下シミ状ローム極少し、礫多く含む
2.黒褐色土　締りやや弱、粘性有、全体的に1層よりシミ状ローム多く含むため、色調明るい

遺物出土状況

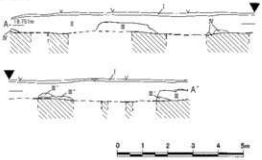


遺構外

17地点



トレンチ1



Ⅰ.灰色土　締り強、粘性弱、砂利
Ⅱ.灰色土　締り強、粘性有、ガラ・ゴミ含む埋土撹乱、礫・ビニール・コンクリブロック多く含む
Ⅲ.灰色土　締り強、粘性有
Ⅲ'.灰色土　締り強、粘性有、1mm以下ローム粒・炭化物粒少し、同焼土粒やや多く含む、縄文、古代包含層
Ⅲ''.灰色土　締り強、粘性有、ソフトローム土3層の漸移透、ほぼソフトロームに近い
Ⅳ.褐色土　締り強、粘性有、地山ローム、ややソフト化している

第35図　江川東遺跡第16地点遺構配置図・第17地点調査区域図 (1/300)、土層図 (1/150)、集石土坑 (1/30)、出土土器 (1/4)

第11章　東久保遺跡の調査

Ⅰ　遺跡の立地と環境

東久保遺跡は入間川の支流新河岸川に注ぐ福岡江川の谷頭部から、約500～1,000m程下った右岸に位置している。標高17～20mで現谷底との比高差は3～4mを測る。福岡江川の左岸の南面は急傾斜を成す。本遺跡をのせる右岸の台地は県道東久保・大井線を境に南北および西側に緩やかに傾斜する。遺跡の南側縁辺には用水路が流れており、用水路以前にも流水があったものと考えられる。

遺跡周辺は急激な市街化によって工場や住宅、市立亀久保小学校が建ち、区画整理事業が実施され今後更に開発が予想される。

周辺の遺跡は、本遺跡と福岡江川の間に平安時代の遺物を出土する江川東遺跡が位置する。西側約50mに江川南遺跡、南側に隣接して亀久保堀跡遺跡が位置する。本遺跡の調査は1976年以来2012年12月現在、69地点で試掘調査および発掘調査を行っている。これまでの調査で、旧石器時代礫群、縄文時代の落とし穴・土坑・集石土坑など、中近世は溝や柵跡が確認されている。

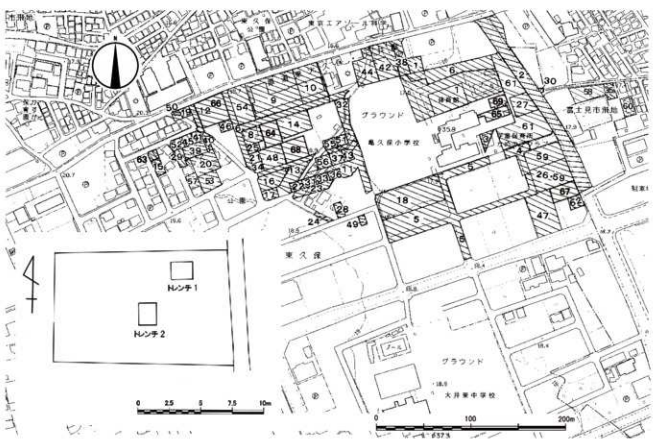
Ⅱ　東久保遺跡第67地点

（1）調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2009年10月29日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の南東部に位置するため、原因者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

緊急の事前協議・届出であったため、重機の手配がつかないため原因者より重機の提供を受け、試掘調査を同年11月9日に行った。幅約1×2mのトレンチ2ヶ所を設定し、重機で表土除去後に表面精査を行ったが遺構遺物は確認されなかった。

地表面から60～70cmが表土層、その下がロームブロック混じりの暗褐色土層で、さらに下層が地山ローム層である。旧石器時代の確認調査は行っていない。トレンチの配置図を建物配置図に記したうえ埋め戻し、調査を終了した。



第36図　東久保遺跡の地形と調査区（1/4,000）、東久保遺跡第67地点調査区域図（1/300）

第12章　駒林遺跡の調査

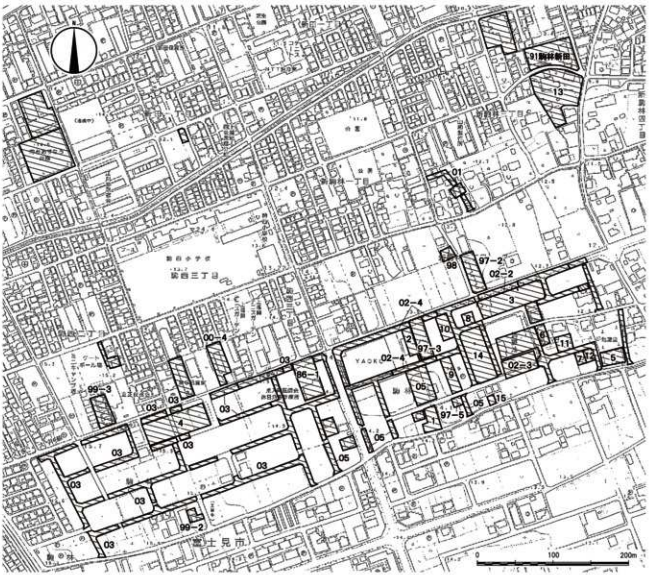
Ⅰ　遺跡の立地と環境

駒林遺跡は、亀居遺跡付近を湧水源とする福岡江川の右岸、武蔵野台地の一段低い立川段丘面に立地し、標高12～15m前後の平坦地を形成する。もともと遺跡の範囲は南北300m、東西800mの範囲であったが、2002年から2004年に行った駒林土地区画整理事業に伴う試掘調査の結果、大溝を検出した南北160m、東西80mの範囲に遺跡を縮小し、さらに地下式坑を検出した周辺を駒林新田前遺跡として独立させ、新たな包蔵地として2004年3月に追加した。第3地点で検出した溝と過去の試掘調査で検出した溝の配置を再検討した結果、一辺140～160mの台形区画に溝が巡る事が明らかとなり、2008年2月に遺跡範囲の変更増補を行った。区画整理後は開発が進み、宅地と商業地に変貌を遂げ部分的に畑が残っている。周辺の遺跡は、北側に脊石と板碑を検出した駒林中世墳墓、東側に地下式坑を検出した駒林新田前遺跡、500m下流に福岡新田遺跡、南側にも地下式坑を検出した富士見市の稲荷久保北遺跡がある。2002年以降の試掘調査の結果、幅5m、深さ2mの大溝や茶毘跡、縄文時代の集石土坑等を検出する。

Ⅱ　駒林遺跡第8地点

（1）調査の概要

調査は個人住宅の建設に伴うもので、原因者より2009年5月28日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が



第37図　駒林遺跡の地形と調査区（1/5,000）

ふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡中央部に位置するため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。試掘調査は同年6月8日に幅約2mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。調査区中央部の攪乱と調査区北隅の暗褐色土は自然の落ち込みとみられる。表土層から縄文時代中期前半の阿玉台式土器1点が出土した。胎土に金雲母を含み隆帯脇に細い竹管状工具による角押文を施す。写真撮影・全測図作成等記録保存を行い、埋め戻して調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

Ⅲ　駒林遺跡第9地点

（1）調査の概要

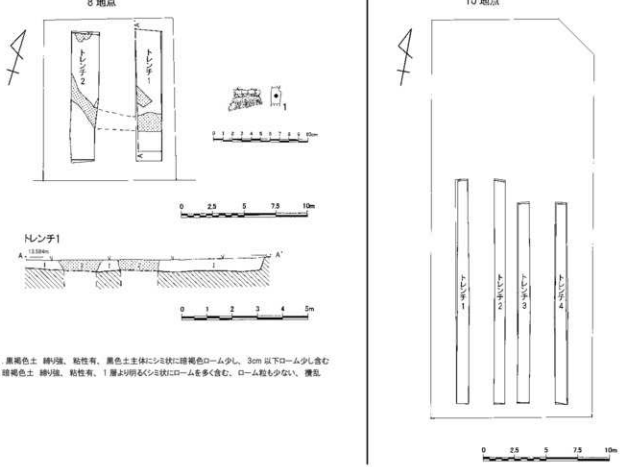
調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2009年6月27日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央部に位置するため原因者と協議の結果、遺構の存在を確認するための試掘調査を実施した。試掘調査は同年7月22日から30日まで行った。幅2mのトレンチ4本を設定し重機で表土除去後、人力による表面精査を行い縄文時代の集石土坑などを確認した。遺構確認面までの深さが約20cmで、開発による遺跡への影響が避けられないため、原因者負担による本調査を実施した。本調査は同年7月30日から8月5日まで行い、縄文時代集石土坑1基、土坑2基、ピット9基、時期不明の溝1本を検出、2012年3月刊行ふじみ野市埋蔵文化財調査報告第8集『市内遺跡群7』に掲載。

Ⅳ　駒林遺跡第10地点

（1）調査の概要

調査は個人住宅の建設に伴うもので、原因者より2010年2月16日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡中央部に位置するため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は同年2月17日に幅約1mのトレンチ4本を設定し、人力による表土除去と表面精査を行ったが、遺構遺物は確認されなかった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻して調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。



第38図　駒林遺跡第8・10地点調査区域図（1/300）、土層図（1/150）、出土土器（1/4）

第13章　西ノ原遺跡の調査

Ⅰ　遺跡の立地と環境

西ノ原遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南西約300m、さかい川の谷頭部から約500m下った右岸、標高18～21mに位置する。さかい川は現在の富士見市勝瀬字茶立久保付近に湧水源を持つ伏流水で、東から西へ流れて入間川の支流新河岸川に注ぐ。かつては水量も豊富であったと言われるが、現在は下水路となっている。西ノ原遺跡とさかい川との高低差は2～3mで、武蔵野台地縁辺で一段低い部分、さかい川が侵食によって作り出した低位台地上に立地する。

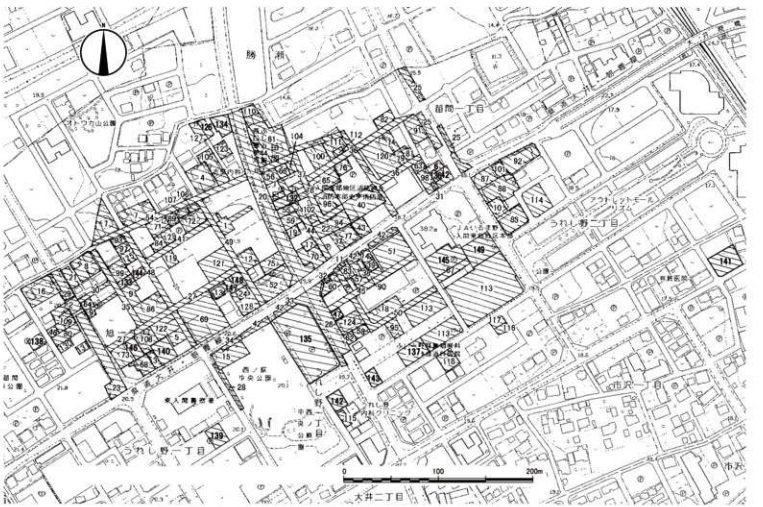
周辺の遺跡は、下流に中沢前遺跡が隣接し、さらに下流域には神明後遺跡、苗間東久保遺跡、浄禅寺跡遺跡等縄文時代の集落が存在する。さかい川対岸には東久保南遺跡と富士見市のオトウカ山があり、その下流には縄文時代中期後半集落の中沢遺跡が広がる。

本遺跡は昭和40年代頃までは武蔵野の面影を残す農村地帯であったが、区画整理事業とふじみ野駅の開設により、ここ数年開発の増加に伴い遺跡の破壊が進んでいる。同時に発掘調査も遺跡面積10haの約40％が調査されてきている。1971年以来2012年12月現在で152地点に及ぶ調査で明らかになった遺跡の時期は、旧石器時代、縄文時代早期・中期・後期、平安時代、中世、近世である。特に縄文時代中期には、180軒を超す住居跡が環状集落として形成され、市内において東台遺跡と共に中期全般を通した良好な大規模集落跡であったことがわかる。

Ⅱ　西ノ原遺跡第144地点

（1）調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2009年9月7日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の北西部に位置するため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。試掘調査は同年



第39図　西ノ原遺跡の地形と調査区（1/4,000）

9月18日から25日まで、幅約2ｍのトレンチを2本と幅約1.5ｍのトレンチ1本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行い、時期不明の溝2本を検出した。旧石器時代の確認調査は行っていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。

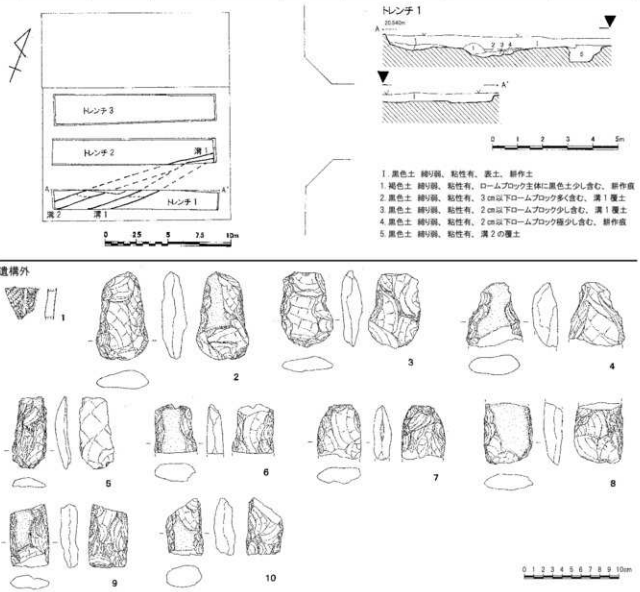
（2）遺構と遺物

【溝】溝は南西から北東方向に並行に延び、北側で1本に重なる。溝1の断面は浅い皿状で上幅は65㎝、深さ65㎝である。溝2の断面は箱状で上幅60㎝、深さ63㎝である。

【遺物】1は地文Ｌｒ縄文に沈線間を磨消す。2～10の打製石器については第18表のとおりである。

第18表　西ノ原遺跡第144地点出土遺物観察表　（単位㎝・ｇ）

No.	種別・型式	長さ	幅	厚さ	重量	石材	推定年代	残存・備考
1	縄文土器	－	－	－	－	－	加曽利ＥⅡ～Ⅲ式	胴部片
2	打製石斧	9.3	5.5	2.5	140.16	ホルンフェルス	縄文時代中期	完形
3	打製石斧	7.9	5.3	2.0	103.60	ホルンフェルス		完形
4	打製石斧	(6.7)	5.3	2.6	107.53	ホルンフェルス		刃部欠損
5	打製石斧	7.6	3.5	1.3	44.53	輝緑凝灰岩		完形
6	打製石斧	(5.2)	4.3	1.7	59.48	砂岩		刃部欠損
7	打製石斧	(5.7)	4.6	1.9	60.26	砂岩		刃部欠損
8	打製石斧	(6.5)	5.0	1.9	95.93	黒色細粒砂岩		上端欠損
9	打製石斧	(6.6)	4.1	1.7	62.96	中粒砂岩		両端欠損
10	打製石斧	6.0	3.6	2.1	59.75	砂岩		両端欠損



第40図　西ノ原遺跡第144地点遺構配置図（1/300）、土層図（1/150）、出土遺物（1/4）

第14章　中沢前遺跡の調査

Ⅰ　遺跡の立地と環境

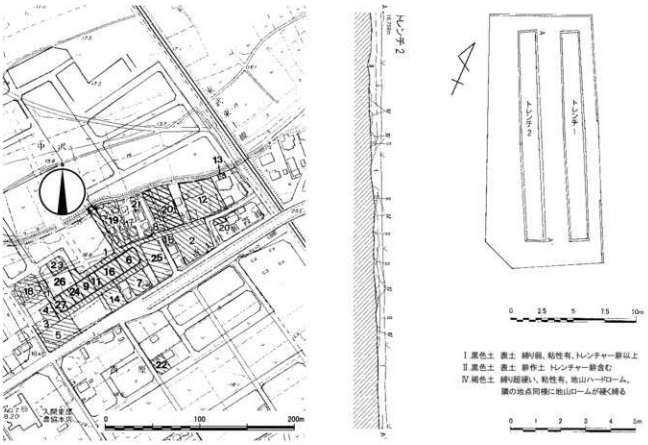
中沢前遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南約200ｍ、さかい川の谷頭部から約700ｍ下った右岸、標高17～18ｍに位置する。本遺跡の西側には西ノ原遺跡が隣接し、さかい川を挟んで北側には富士見市中沢遺跡がある。

2012年12月現在、29ヶ所で調査を行い、確認した遺構と遺物は旧石器時代（立川ローム層Ⅳ～Ⅲ層上面）の石器集中1ヶ所と、縄文時代とみられる土坑とピット、中近世の土坑・地下室・溝である。縄文時代の遺物は前期の黒浜式と中期の加曽利Ｅ式の土器片が遺構外から出土しているがごく僅かである。中近世の遺構からは陶磁器等が出土しており、その中に須恵器片等が含まれており、既期の遺構の存在も予想されるが、遺跡の範囲や内容については未だ確定していない。

Ⅱ　中沢前遺跡第27地点

（1）調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2010年1月28日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の西端に位置するため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。試掘調査は同年２月９日に幅約1.5ｍのトレンチを２本設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行い、遺構遺物は確認されなかった。地表面から地山ローム層までの深さは15～30㎝であった。旧石器時代の確認調査は行っていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。



第41図　中沢前遺跡の地形と調査区（1/4,000）、第27地点調査区域図（1/300）、土層図（1/150）

第15章　神明後遺跡の調査

Ⅰ　遺跡の立地と環境

神明後遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の東約300m、さかい川の谷頭部から約1,500m下った右岸に位置し、標高12～16m、現谷底との比高差は1.5mを測る。さかい川は本遺跡付近から崖を形成し始め、本遺跡をのせる南側台地は急斜面、対岸の北側は緩やかな斜面を形成している。

周辺の遺跡は、上流に中沢前遺跡、下流に浄禅寺跡遺跡、苗間東久保遺跡が隣接し、さかい川の対岸には富士見市の外記塚遺跡がある。

遺跡周辺は古くからの集落があり、現在でも大きな屋敷地が多く大きな開発もなかったが、ふじみ野駅の開設に伴い徐々に再開発が進みつつある。

本遺跡の最初の調査は1987年に大井町史編纂事業の一環として行われた。その後1993年に新駅へ延びる道路をはじめ、2012年12月現在48地点で試掘調査および発掘調査が行われている。

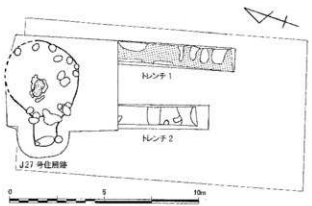
これまでの調査で縄文時代中期後半～後期前半の住居跡、奈良時代から平安時代の住居跡、中世の建物跡などの遺構を検出した。

Ⅱ　神明後遺跡第37地点

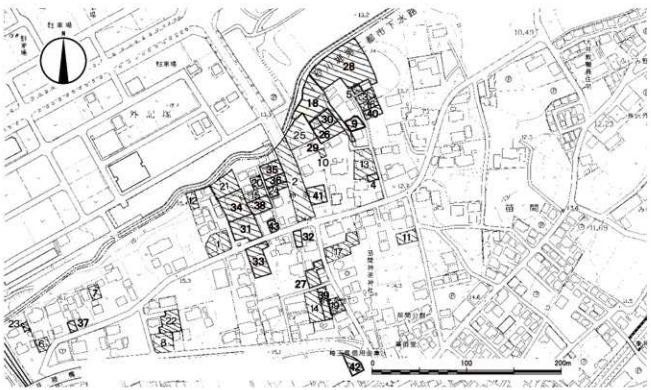
（1）調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2009年3月16日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は台地の西端部に位置している。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2009年4月13日から、幅約1.2mのトレンチ2本を設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行った。その結果、現地表面から約50cmの深さで縄文時代の住居跡を確認した。再度協



第43図　神明後遺跡第37地点遺構配置図（1/200）



第42図　神明後遺跡の地形と調査区（1/4,000）

議の結果、工事による掘削が遺構に影響を与える為、本調査を行った。

本調査は4月15日から30日まで行った。本調査の結果、縄文時代後期初頭の住居跡1軒を検出し、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、本調査を終了した。

（2）遺構と遺物

①J27号住居跡

【形状・規模・時期】調査区北端に位置するため北側の一部は未検出である。本住居跡は炉が2ヶ所存在するのとP5・11～13の新旧関係から、住居の拡張や建替えなどが考えられる。

平面形態は楕円形を呈する。規模は上端(5.5)×(3.9)m、深さは27.6cmを測る。

本住居跡から埋甕（埋設土器）は見つかっていない。ただし、柄部などの床面から覆土層にかけては大型の土器片も出土しており、抜き取られた埋甕の可能性も考えられる。

住居跡の主軸はP7と炉、P12・13の中間又はP13を結ぶ線である。住居跡の時期は称名寺Ⅰ新。

【炉】住居中央部に東西に2基が並んで位置する。土層の観察から炉1が新しい。

平面形態は炉1（東側）・炉2（西側）ともに不整の円形で底部は良く焼けている。

炉1の規模は確認面径76×50cm、底径32×26cmと26×19cm、深さは19.7cmである。

炉2の規模は確認面径(80)×70cm、底径26×19cm、深さ11.4cmである。

炉1・2の焼土範囲は楕円形で91×50cmである。

炉の周囲に深さ4.5～15.2cmの小ピットがみられ、礫または土器片が埋設されていた可能性がある。

【柱穴】主柱穴は配置と床面からの深さが50cm以上を超えるP5・7・8・11～13・18とP17でP5・11～13は対ピットである。P14は深さ的には50cm以上であるが主柱穴かは不明である。それ以外のピットについては壁際に位置する壁柱穴とみられる。ピットの詳細は第19表ピット一覧表のとおりである。

【遺物出土状況】住居床面の北壁から西壁際と柄部にかけて直径5～20cm大の礫がまとまって出土する。また、南東隅の壁際の床面に直径1～2cm大の小さな礫が集石状に出土し、住居の覆土層全体に礫が多く出土する。

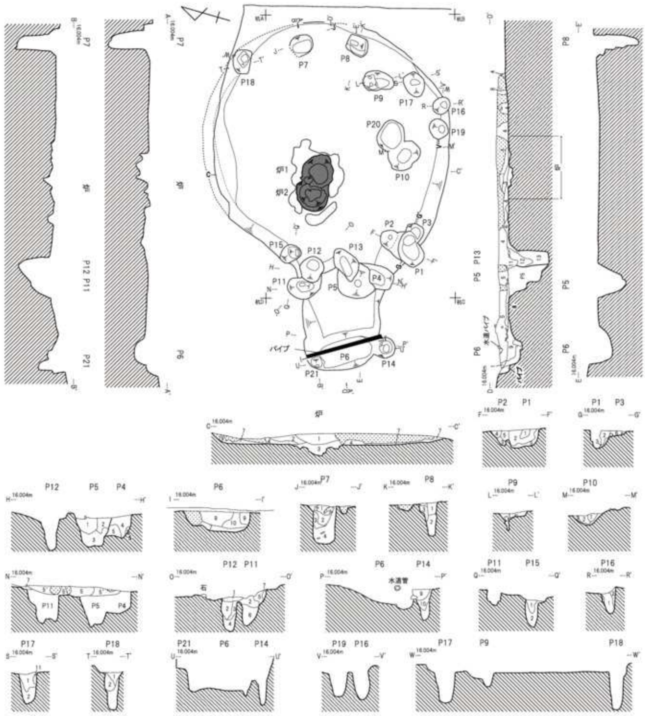
【遺物】（第46図1～35、第47図36～45）

1は平口縁の深鉢形土器で、口縁部の突起から斜位の刻目をもつ隆帯が垂下する。2は波状口縁の深鉢形土器で、波頂部の突起から、竹管状工具により円形刺突を施した隆帯が垂下する。1・2ともに2本の沈線による地文Lr帯縄文は複雑な文様モチーフを描く。

第19表神明後遺跡第37地点J27号住居跡内ピット一覧表

（単位cm）

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
1	楕円形	58×37	(24)×24 20×16	30.5 28.2	
2	楕円形	30×(25)	7×6	22.7	
3	半円形	28×(17)	17×(11)	10.9	
4	不明	(39)×37	(24)×22	33.3	
5	不明	59×55	12×11	42.9	主柱穴、対ピット
6	長楕円形	(105)×60	84×37	45.2	
7	楕円形	37×32	30×19	71.1	主柱穴
8	方形	35×29	13×17	69.9	主柱穴
9	楕円形	49×31	6×5 5×5	26.7 19.7	
10	（方形）	54×(36)	24×18	21.9	
11	楕円形	52×(33)	9×5	55.6	主柱穴、対ピット
12	円形	40×36	18×16	63.7	主柱穴、対ピット
13	楕円形	50×31	31×12	61.7	主柱穴、対ピット
14	円形	(32×34)	13×10	57.2	
15	不整形	33×26	11×4	49.3	
16	円形	29×27	12×10	54.1	
17	楕円形	40×31	15×9	52.7	主柱穴
18	方形	38×28	11×11	70.8	主柱穴
19	円形	31×27	12×10	43.5	
20	楕円形	48×(40)	36×32	10.7	
21	円形	18×17	6×3	46.4	



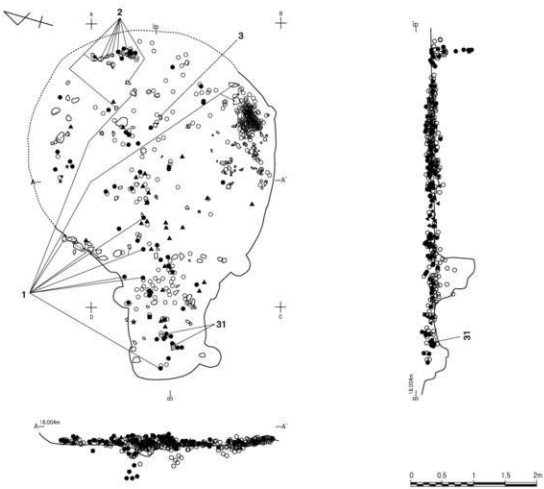
C-C'・D-D'・N-N'
1.黒褐色土　締り有、粘性やや有、ローム粒(1mm)多量、焼土粒(1mm)やや多量、炭(1mm)極少量
2.黒褐色土　締り有、粘性やや有、ローム粒(1～2mm)多量、焼土粒(1～2mm)多量、炭(1mm)やや　多量
3.黒褐色土　締り有、粘性やや有、ローム粒(1mm)少量、焼土粒(1mm)多量、炭(1mm)やや多量
4.暗褐色土　締り有、粘性やや有、ローム粒(1～2mm)やや多量、焼土粒(1mm)極少量、炭(1mm)　極少量
5.暗褐色土　締り有、粘性無、ローム粒(1mm)少量
5'.5層より色がやや明るい
6.褐色土　締り有、硬い、粘性やや有、ローム粒(1～2mm)極多量、ローム塊 (1cm大)少量
7.褐色土　締り有、粘性無、ソフトローム主体に暗褐色土・ローム粒が混入
8.褐色土　締り有、硬い、粘性無、ソフトローム塊(1cm大)が斑状に入る、ローム粒(1mm)多量
9.暗褐色土　締り有、粘性無、ローム粒(1～3mm)多量
10.褐色土　締り有、ローム粒主体
11.暗褐色土　締り有、粘性無、ローム粒(1～2mm)少量
12.褐色土　締り有、粘性無、ローム粒(1～3mm)極多量
13.褐色土　締り有、粘性無、ローム粒主体

ピット1～3
1.褐色土　締り有、ローム粒(1～2mm)少量、斑状ローム(1cm大)多量
2.暗褐色土　締り有、ローム粒(2～3mm)やや多量
3.褐色土　締り有、やや硬い、ローム粒(2～3mm)多量、斑状ローム(1cm大)多量4.暗褐色土　締り有、ローム粒(1～2mm)多量
5.褐色土　締り有、やや硬い、ローム粒(1～2mm)多量、斑状ローム(1cm大)少量
6.褐色土　締り有、ローム粒(1～2mm)少量、斑状ローム(1cm大)少量
ピット4・5
1.暗褐色土　締り有、やや硬い、ローム粒(1～2mm)やや多量
2.暗褐色土　締り有、ローム粒(1～2mm)少量
3.暗褐色土　締りやや有、ローム粒(2～3mm)極多量
4.暗褐色土　締り有、硬い、ローム粒(1～2mm)やや多量、斑状ローム(1cm大)極　少量
5.暗褐色土　締り有、硬い、ローム粒(2～5mm)多量

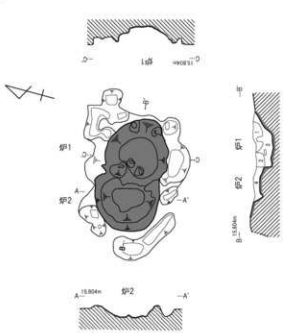
0　0.5　1　1.5　2m

第44図　神明後遺跡第37地点Ｊ27号住居跡（1/60）

遺物出土状況



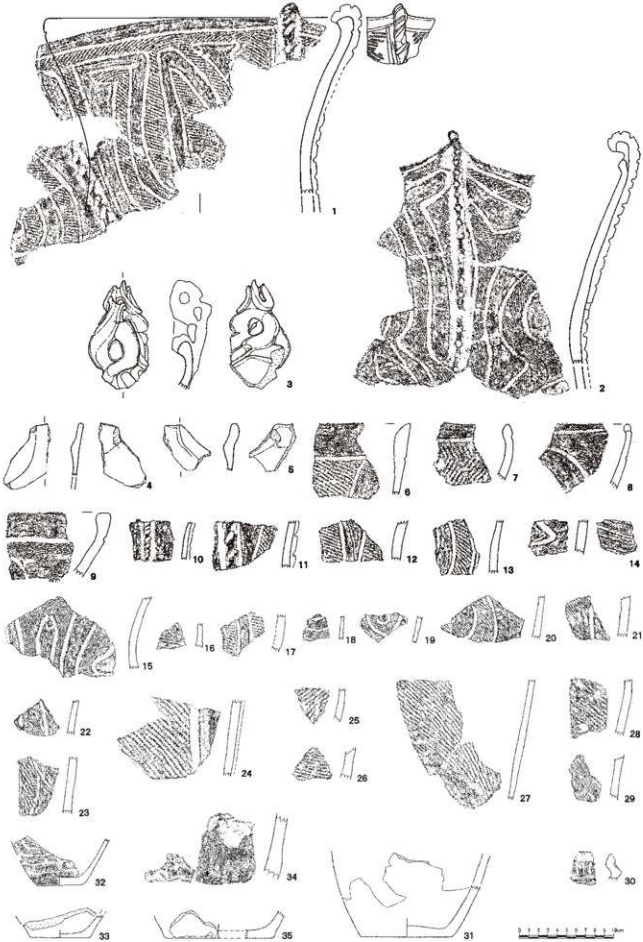
炉1・2



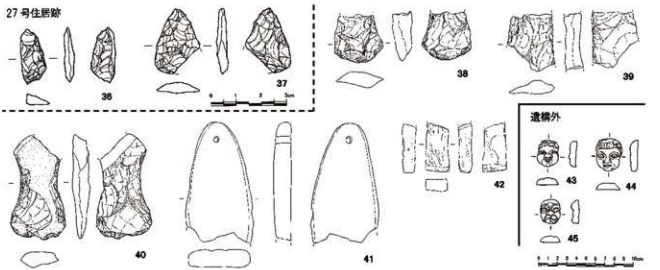
1.黒褐色土　締り有、焼土粒(1～2mm)多量
2.黒褐色土　締り有、硬い、焼土粒(2～3mm)多量、焼土塊(1cm大)少量
3.暗褐色土　締り有、やや硬い、焼土粒(2～3mm)極多量
4.褐色土　硬く締る、焼土粒(2～3mm)極多量、焼土塊(1cm大)少量

ピット6
1.褐色土　締り有、粘性無、ソフトローム主体に暗褐色土・ローム粒が混入
2.暗褐色土　締り有、粘性無、ローム粒(1～3mm)多量
3.暗褐色土　締り有、ローム粒(1～3mm)多量、斑状ローム(1～2cm大)少量
ピット7
1.暗褐色土　締り有、ローム粒(1～2mm)少量
2.暗褐色土　締り弱、ローム粒(2～3mm)少量
3.褐色土　締り有、ローム粒(2～5mm)極多量
4.黄褐色土　締り有、ローム粒主体
ピット8
1.暗褐色土　締り有、ローム粒(1mm)少量
2.暗褐色土　締りやや有、ローム粒(2～3mm)極多量
3.褐色土　締り弱、ローム粒(2～3mm)主体
ピット9
1.暗褐色土　締り有、ローム粒(1～2mm)少量、斑状ローム(1cm大)少量
ピット10
1.暗褐色土　締り有、ローム粒(2～3mm)多量
2.暗褐色土　締り有、ローム粒(1～2mm)少量
3.褐色土　締り有、硬い、ローム粒(2～3mm)多量、ローム塊(1cm大)多量
ピット11・12
1.暗褐色土　締りやや有、ローム粒(2～3mm)多量
2.褐色土　硬く締る、ローム粒(2～5mm)主体
3.褐色土　締り有、硬い、ローム粒(2～5mm)極多量
4.褐色土　硬く締る、ローム粒(2～5mm)主体、ローム粒(1cm)少量
5.暗褐色土　締り有、ローム粒(1～2mm)多量、炭(1mm)極少量、斑状ローム(2cm大)少量
6.褐色土　締り有、ローム粒主体
7.黒褐色土　締り有、硬い、ローム主体、暗褐色土混入
ピット14
1.暗褐色土　締り有、粘性無、ローム粒(1～3mm)多量
2.褐色土　締り有、ローム粒主体
ピット15
1.暗褐色土　締り有、ローム粒(1～3mm)多量
2.暗褐色土　締り弱、ローム粒(1～3mm)やや多量
ピット16
1.黄褐色土　締り有、ローム粒(1～2mm)少量、炭(1mm)極少量
2.暗褐色土　締り有、ローム粒(1～3mm)多量
3.褐色土　締り有、ローム塊(1cm大)少量
ピット17
1.暗褐色土　締り有、ローム粒(2～5mm)多量
2.褐色土　締り有、ローム粒主体

第45図　神明後遺跡第37地点Ｊ27号住居跡遺物出土状況図（1/60）、炉（1/30）



第46図　神明後遺跡第37地点Ｊ27号住居跡出土遺物①（1/4）



第47図　神明後遺跡第37地点J27号住居跡出土遺物②（2/3・1/4）

称名寺1式新相の大安寺タイプ。3は波状口縁の口縁部把手で精巧な透かしのJ字状または8字状を呈する。4・5は波状口縁の波頂部で同一個体の可能性がある。

6・7は2本の沈線による地文RL帯縄文と磨消し、8・9はLR縄文である。7は内面に赤彩を施す。10・11は垂下隆帯に刻目、11は沈線間に地文LR縄文と磨消しである。12～23は沈線間に縄文と磨消しを施す。12・13・15・17～19は地文LR縄文、14・20・21は地文RL縄文、16・22の縄文は不明。24は地文LR縄文に微隆帯を垂下させ磨消す。25～28は地文RL縄文、29は5本単位の条線文を施す。30は屈曲する口縁部に細い竹管状工具で円形刺突と刺突に続く沈線を施す。31は深鉢形土器の大型の底部で無文。32は底部で沈線による地文LR縄文と磨消を交互に施す。33は内外面ともに丁寧に磨く。31・34・35は削り・磨きを施す深鉢形土器である。24は加曽利EⅣ、29は堀之内1式、30は勝坂式で、32は後期前半で他は全て称名寺1式新相である。

36～45については第20表神明後遺跡第37地点出土石器・石製品・泥面子観察表のとおりである。

Ⅲ　神明後遺跡第38地点

（1）調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2009年6月4日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は台地の中央部に位置している。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2009年7月6日から、幅約2mのトレンチ1本、幅約1.5mのトレンチ3本を設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行った。その結果、現地表面から約35cmの深さで溝状の遺構を確認した。申請者と再度協議の結果、工事による掘削が遺構に影響を与えるため本調査を行った。

本調査は7月8日から14日まで行い、古代以降の溝1本を検出した。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、本調査を終了した。

第20表　神明後遺跡第37地点石器・石製品・泥面子観察表　（単位cm・g）

No.	出土遺構名	種別・型式	長さ	幅	厚さ	重量	石材	推定年代	残存・備考
36	J27号住居覆土	石器/削器	2.17	9.52	3.67	0.68	黒曜石	縄文時代	完形
37	J27号住居覆土	石器/石鏃	2.58	1.75	4.5	1.83	チャート	縄文時代	一部欠
38	J27号住居覆土	石器/打製石斧	(4.97)	5.23	2.18	61.7	フォルンフェルス	縄文時代	約1/2残
39	J27号住居覆土	石器/打製石斧	(5.9)	4.98	1.59	53.0	フォルンフェルス	縄文時代	上下端欠
40	J27号住居覆土	石器/打製石斧	(10.9)	5.8	1.78	113.0	砂岩	縄文時代	一部欠
41	J27号住居覆土	石器/浮子	(12.33)	7.0	1.93	57.8	軽石	縄文時代	先端部欠、孔有
42	J27号住居一括	石製品/砥石	5.25	2.59	1.39	33.44	凝灰岩	中近世	一部欠
43	表土一括	土製品/泥面子・茶子面	2.67	2.13	0.74	4.17		1790～1890	完形、人面
44	表土一括	土製品/泥面子・茶子面	3.39	2.78	0.83	7.28		1790～1890	完形、人面
45	表土一括	土製品/泥面子・茶子面	2.49	1.99	7.36	3.72		1790～1890	完形、山伏

（2）遺構と遺物

①遺構

調査区の南西隅で溝を2本検出した。溝1と溝2は重複しており、土層の観察から溝2が新しい。

【溝1】南北方向に延び溝2に切られる。溝の断面は逆台形で底部には凹凸がみられる。上幅1.12～1.43m、下幅0.84～0.88m、深さ55.6cmである。

【溝2】溝1が完全に埋まった後に東西方向に掘られる。断面形は逆台形で底部には凹凸がみられる。上幅1.7～2m、下幅1.18～1.28m、深さ76.4cmである。溝1と重複する部分の底部には、平面が長方形で上端1.91×1.32m、下端1.52×1.1m、溝の底面からの深さ37.8cmの掘り込みがある。

②遺物

1は溝2の覆土層から出土した縄文時代中期加曽利EⅡ式土器である。地文LR縄文に沈線間を磨消す。

2は遺構外から出土した泥面子である。摩滅のため意匠は不明である。重さは2.88gである。

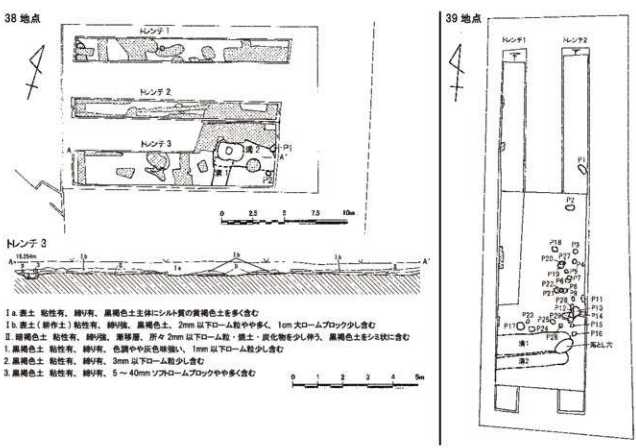
Ⅳ　神明後遺跡第39地点

（1）調査の概要

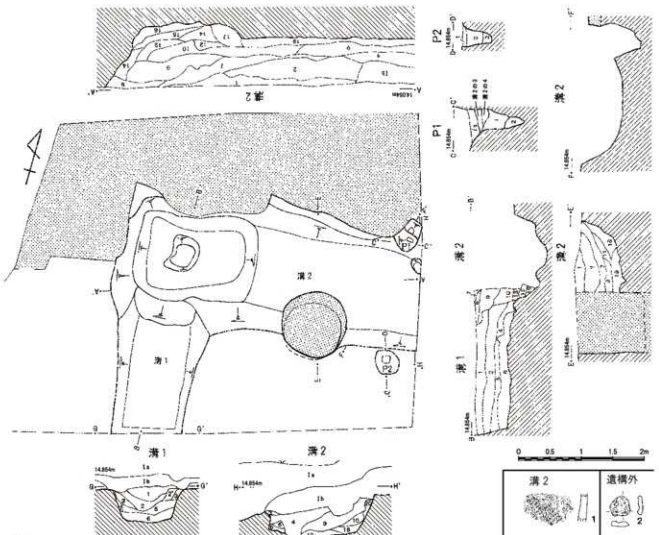
調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2009年6月29日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の南部に位置するため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2009年8月5日から12日まで行った。幅約2mのトレンチ2本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行い溝、土坑、ピット等を確認した。旧石器時代の確認調査は行っていない。地表面から遺構確認面までの深さは約40～50cmであり、開発による遺跡への影響が避けられないため申請者と再度協議の結果、原因者負担による本調査を実施した。本調査は2009年8月24日から9月1日まで行い、中世以降の溝2本、ピット28基、縄文時代落とし穴1基を検出した。

本調査の報告は、2012年3月刊行のふじみ野市埋蔵文化財調査報告第8集『市内遺跡群7』に掲載。



第48図　神明後遺跡第38・39地点遺構配置図（1/300）、土層図（1/150）



溝 1
1. 黒褐色土　粘性有、**締り強、色調褐色味有り、1 ～ 4cm ロームブロック混か、2mm 以下ローム粒**やや多く含む
2. 黒褐色土　粘性有、締り有、1cm 大ロームブロック・2mm 以下ローム粒少し含む
2'　黒褐色土　粘性有、締り有、2 層より 2mm 以下ローム粒やや多く含み、色調やや明るい
3. 暗褐色土　粘性有、締り有、3mm 以下ローム粒やや多く、5mm 大ロームブロック少し含む
4. 黒褐色土　粘性有、締り有、5 ～ 10mm ロームブロック少し、2mm 以下細かなローム粒を多く含み、色調褐色味強い
5. 黒褐色土　粘性有、締り有、5mm 以下ローム粒を多く、部分的にソフトロームブロックをやや多く含む
6. 黄褐色土　粘性有、締り有、ソフトローム土主体、6cm 以下ハードロームブロック多く含む
7. 暗褐色土　粘性有、締り有、5 ～ 20mm ロームブロック・2mm 以下ローム粒多く含む

溝 2
1a 表土　締り強、下部にロームブロック多く含む
1b 黒褐色土　粘性有、締り強、黒土、1cm 以下ロームブロック・粒をやや多く含む
1. 黒褐色土　粘性有、締り強、色調やや灰色味有り、5mm 大ロームブロック少し、2mm 以下ローム粒少し含む
2. 黒褐色土　粘性有、締り強、1cm 大ロームブロック・3mm 以下ローム粒少し含む
3. 黒褐色土　粘性有、締り強、5mm 以下ローム粒をやや多く含む、4 層が転圧を受けたような様相
4. 黒褐色土　粘性有、締り有、東の部分に 5 ～ 30mm ロームブロック集中して含む、5mm 以下ローム粒やや多く含む
5. 黒褐色土　粘性有、締り有、2mm 以下ローム粒をやや多く含む、褐色味がある
6. 暗褐色土　粘性有、締り有、5mm 以下ローム粒をやや多く含む
7. 黒褐色土　粘性有、締り有、5 ～ 10mm ロームブロック少し、5mm 以下ローム粒多く含む（ローム粒の混ざり方は均一ではない、4 層に似る）
8. 黒褐色土　粘性有、締り強、色調やや灰色味有り、5 ～ 10mm ロームブロック少し、5mm 以下ローム粒やや多く含む（うっすら斑状に暗褐色土を含む）
9. 黒褐色土　粘性有、締り有、1 ～ 2cm ロームブロック少し、5mm 以下ローム粒少し含む、色調黒色味強い
10. 黒褐色土　粘性有、締り有、5mm 以下ローム粒少し含む、9 層より色調明るい
11. 暗褐色土　粘性有、締り有、黒色味が有り、5mm 以下ローム粒をやや多く含む
12. 暗褐色土　粘性有、締り有、薄く斑状に黒褐色土を含む
13. 暗褐色土　粘性有、締り有、1 ～ 2cm ロームブロックやや多く含む
14. 黒褐色土　粘性有、締り有、崩落したようなソフトロームブロックを含み、色調明るい
15. 黄褐色土　粘性有、締り強、ハードロームブロック主体、崩落土と考えられる 10cm 大、大型のブロックを含む
16. 黒褐色土　粘性有、締り強、2cm 以下ロームブロック・粒をやや多く含む
17. 暗褐色土　粘性有、締り有、黒褐色土とソフトローム土が混ざり合った土、5 ～ 10mm ロームブロック少し含む
18. 暗褐色土　粘性有、締り有、5 ～ 10mm ロームブロックやや多く、3mm 以下ローム粒多く含む
19. 黒褐色土　粘性有、締り強、5 ～ 15mm ロームブロックやや多く、3mm 以下ローム粒多く含む（混ざり方は不均一）、18 層より黒色味強い
20. 暗褐色土　黒褐色土が斑状に混ざり、崩落したような 3cm 以下ロームブロックを多く含む

ピット 1
1. 黒褐色土　粘性有、締り有、1 ～ 6cm ロームブロック・5mm 以下ローム粒をやや多く含む
2. 黄褐色土　粘性有、締り有、黒褐色土をベースに 2cm 以下ロームブロックを多く含む

ピット 2
1. 黒褐色土　粘性有、締り有、色調灰色味強い、2mm 以下ローム粒少し含む
2. 黒褐色土　粘性有、締り有、黒色味強い、5 ～ 50mm ソフトロームブロックやや多く含む
3. 黄褐色土　粘性有、締り有、ソフト質ローム土主体

第 49 図　神明後遺跡第 38 地点ピット・溝（1/60）、出土遺物（1/4）

Ⅴ　神明後遺跡第40地点

（1）調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2009年10月5日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は台地の東部に位置し隣接地では縄文時代や中近世の遺構が検出されている。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2009年11月9日から、幅約1.5mのトレンチ2本を設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行った。その結果、現地表面から約50～60cmの深さで中近世の遺構を確認した。申請者と再度協議の結果、工事による掘削が遺構に影響を与えるため、本調査を行った。

本調査は12月18日から翌年の1月15日まで行った。本調査の結果、縄文時代の集石土坑1基、中世の地下式坑3基、土坑9基、溝1本、ピット11基を検出し、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、本調査を終了した。

（2）遺構と遺物

①集石土坑

調査区の南側に位置し、縄文時代中期とみられる。詳細については第21表神明後遺跡第40地点集石土坑・出土礫観察表のとおりである。

②地下式坑

【地下式坑1】方形の入口を南側に持ち、室部は北側の調査区外へ延びるため未検出である。入口部の底部は室部の底部より約40cm以上高い。入口部の規模は1.42×1.04m、底面幅1.14m×奥行き0.88m、深さ1.63～1.81mである。

【地下式坑2】平面形態は凸形で方形の入口を南西部に持ち、入口部は方形、室部は長方形である。室部の底面に3つのピットを持つ。入口部の底部は室部の底部より約16cm高いが、双方の底部とも平坦である。遺構長軸3.1m×室部短軸2.6m・入口部短軸1～1.4m、深さ1.85m、室部底面2.45×1.96m、入口部底面0.9×0.7mである。ピット1は長楕円形で規模は上端0.5×0.3m、下端0.40×0.11m、深さ20.5cm。ピット2は長方形で規模は上端0.84×0.55m、下端0.52×0.4m、深さ47.6cm。ピット3は長方形で規模は上端0.73×0.45m、下端0.52×0.30m、深さ47.5cm。

【地下式坑3】方形の入口を検出、室部は北側の調査区外へ延びるため未検出である。調査時は井戸と考えていたが深さや室部とみられる横穴を考慮し地下式坑3とする。入口部は長方形で規模は0.8×0.7m、底面幅0.72×奥行き(0.46)m、深さ1.63mである。入口部の南壁以外の側面に9ヶ所の足掛け穴とみられる横穴がある。幅13～18cm、奥行き6～21cm、底面から約1.25mの高さに6ヶ所と約0.9mの高さに2ヶ所である。

【竪穴状遺構】調査区北側に位置し調査区外に延びる。検出部は方形を呈し底部の隅に2ヶ所ピットを有する。規模は上端1.75×(1.12)m、下端1.64×(0.95)m、深さ1.48mである。ピット1は長方形で規模は上端0.4×0.4m、下端0.27×0.18m、深さ0.56cm。ピット2は長方形で規模は上端0.38×0.27m、下端0.17×0.1m、深さ0.25mである。

【土坑・ピット】土坑は9基、ピットは11基検出した。土坑1・2・10・11の新旧関係は不明である。土坑、ピットの詳細については第22表土坑・ピット一覧表のとおりである。

【溝】溝は調査区の東端を南北方向に延び、未検出であるが上幅40cm以上、深さはおよそ20cmである。土地境に伴うもので時期は近世以降とみられる。

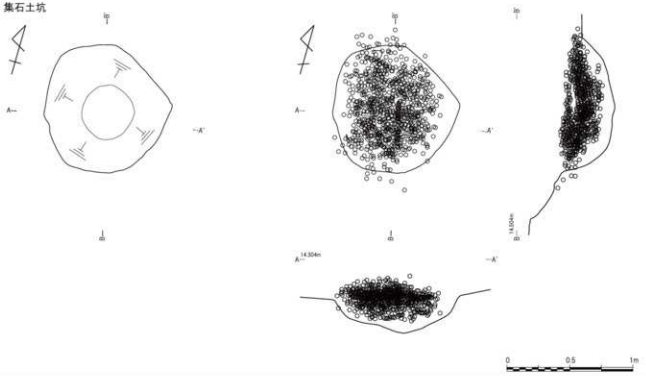
【出土遺物】（第54図1～50）1は無文口縁部、2は地文RL撚糸文に沈線文、3は地文縄文に2本組の微隆帯間を磨消す。4は沈線文と条線文。5は陶器の擂鉢片。6は陶器製甕で叩き締め痕有り。7・8は陶器の同一個体の捏鉢、9～11は平瓦片。

12は頸部無文帯に横位の波状隆帯と沈線、13は地文RL撚糸文に隆帯、14～16は地文LR撚糸文に2本組隆帯と垂下する蛇行隆帯を貼り付ける。17は地文LR撚糸文に横位の沈線、18はRL縄文に垂下する沈線間を磨消す、19は条線に垂下する隆帯を貼り付ける。

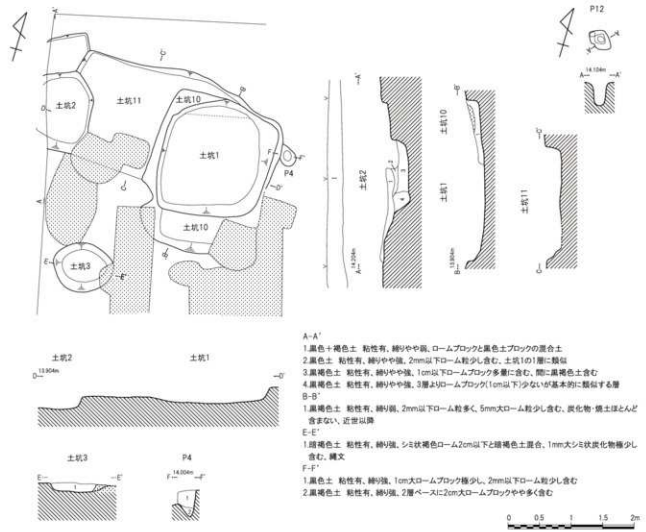
20は口縁部で隆帯の区画内に沈線文、21は口縁部で隆帯の区画内にLR縄文、22は地文LR撚糸文、23は無文、24は条線に隆帯を貼り付ける。25は地文

第50図　神明後遺跡第40地点遺構配置図（1/300）

集石土坑

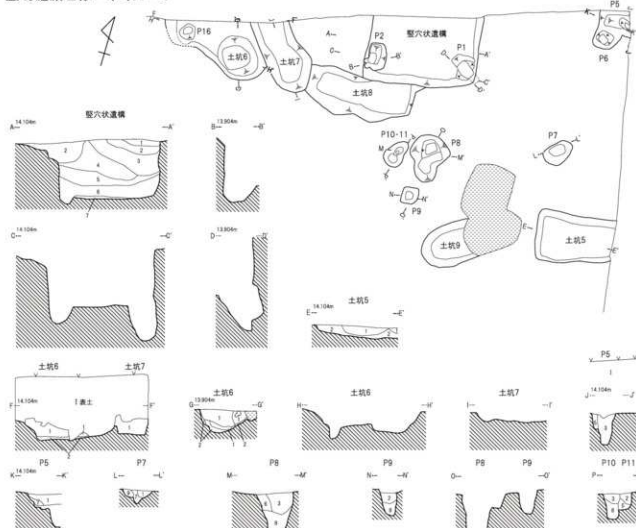


土坑1・2・3・10・11、ピット4・12

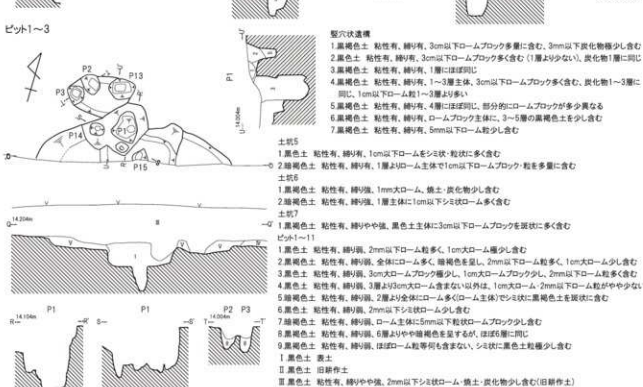


第51図　神明後遺跡第40地点集石土坑（1/30）、土坑①・ピット①（1/60）

竪穴状遺構、土坑5～9、ピット5～12



ピット1～3



竪穴状遺構
1.黒褐色土　粘性有、締り有、3cm以下ロームブロック多量に含む、3mm以下炭化物極少し含む
2.黒色土　粘性有、締り有、3cm以下ロームブロック多く含む（1層より少ない）、炭化物1層に同じ
3.黒褐色土　粘性有、締り有、1層にほぼ同じ
4.黒褐色土　粘性有、締り有、1～3層主体、3cm以下ロームブロック多く含む、炭化物1～3層に同じ、1cm以下ローム粒1～3層より多い
5.黒褐色土　粘性有、締り有、4層にほぼ同じ、部分的にロームブロックが多少異なる
6.黒褐色土　粘性有、締り有、ロームブロック主体に、3～5層の黒褐色土を少し含む
7.黒褐色土　粘性有、締り有、5mm以下ローム粒少し含む

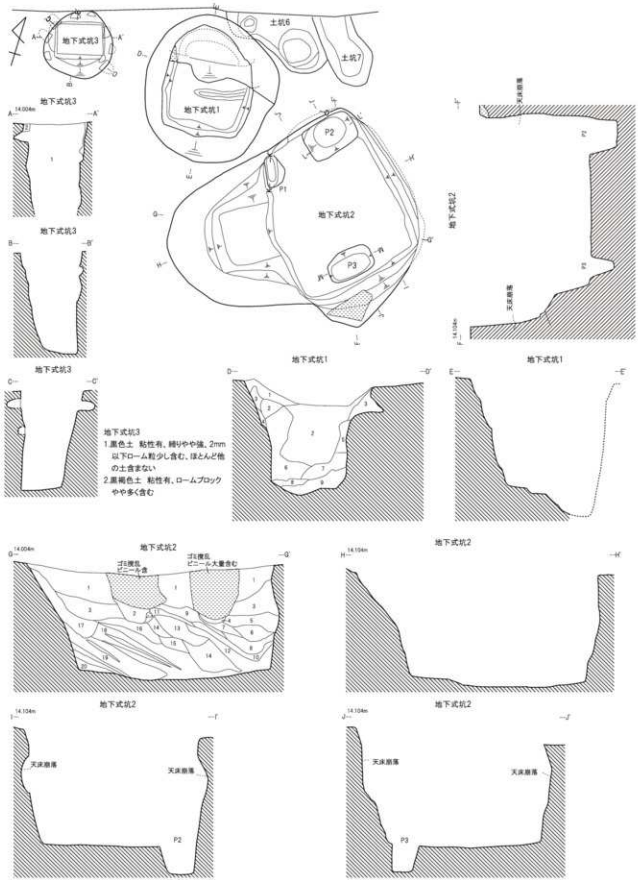
土坑5
1.黒色土　粘性有、締り有、1cm以下ロームをシミ状・粒状に多く含む
2.暗褐色土　粘性有、締り有、1層よりローム主体で1cm以下ロームブロック・粒を多量に含む

土坑6
1.黒褐色土　粘性有、締り強、1mm大ローム、焼土・炭化物少し含む
2.暗褐色土　粘性有、締り強、1層主体に1cm以下シミ状ローム多く含む

土坑7
1.黒褐色土　粘性有、締りやや強、黒色土主体に3cm以下ロームブロックを斑状に多く含む

ピット1～11
1.黒色土　粘性有、締り弱、2mm以下ローム粒多く、1cm大ローム極少し含む
2.黒褐色土　粘性有、締り弱、全体にローム多く、暗褐色を呈し、2mm以下ローム粒多く、1cm大ローム少し含む
3.黒色土　粘性有、締り弱、3cm大ロームブロック極少し、1cm大ロームブロック少し、2mm以下ローム粒多く含む
4.黒色土　粘性有、締り弱、3層より3cm大ローム含まない以外は、1cm大ローム・2mm以下ローム粒がやや少なくない
5.暗褐色土　粘性有、締り弱、2層より全体にローム多く（ローム主体）でシミ状に黒褐色土を斑状に含む
6.黒色土　粘性有、締り弱、2mm以下シミ状ローム少し含む
7.暗褐色土　粘性有、締り弱、ローム主体に5mm以下粒状ロームブロック少し含む
8.黒褐色土　粘性有、締り弱、6層よりやや暗褐色を呈するが、ほぼ6層に同じ
9.黒褐色土　粘性有、締り弱、ほぼローム粒等何も含まない、シミ状に黒色土粒極少し含む
Ⅰ.黒色土　表土
Ⅱ.黒色土　旧耕作土
Ⅲ.黒色土　粘性有、締りやや強、2mm以下シミ状ローム・焼土・炭化物少し含む（旧耕作土）
Ⅳ.黒褐色土　粘性有、締りやや強、黒褐色土と暗褐色土を斑状に含む、2mm以下ローム粒少し含む
Ⅴ.暗褐色土　粘性有、締り強1mm以下ローム粒 焼土粒 炭化物極少し含む

第52図　神明後遺跡第40地点竪穴状遺構・土坑②・ピット②（1/60）



第53図　神明後遺跡第40地点地下式坑（1/60）

Ｌｒ縄文に垂下する２本組の沈線間を磨消す。26・27は地文ＲＬ縄文に垂下する沈線間を磨消す。28・29は条線、30は条線文に２本組の連弧文、31は頸部無文帯に隆帯を貼り付ける。32は無文で磨きを施す。33は陶器の端反皿で口縁部内外面と内面見込みに長石釉をかける。推定口径13.4㎝、推定底径8.4㎝、器高2.5㎝、瀬戸・美濃、16世紀。34は砂岩製の打製石斧で上部欠損、重さ59.42ｇである。

35は口縁部隆帯の区画内に複節ＲＬ縄文、36は撚糸文、37はＲＬ縄文、38はＬＲ縄文に垂下する沈線、39は沈線文を施す。41は平瓦で櫛型文を引く、42は巴瓦の無文巴。43は沈線文と磨消し、44は地文ＬＲ縄文に垂下する沈線間を磨消す。

45は口縁部で沈線の区画内に太い沈線文、46は沈線文、48は斜位沈線文と垂下する沈線間を磨消す、49は条線文。47は浅鉢で口縁部は隆帯の円形区画内に沈線文を施す。

50は黒曜石製の大型剥片で重さ58.8ｇである。

１・32は縄文時代中期、２・12～17は加曽利ＥⅠ新、３は加曽利ＥⅣ、18・20～30・35・38・39・43～46は加曽利ＥⅡ～Ⅲ式・曽利式。28・29・49は曽利式、48は曽利４式である。

第21表　神明後遺跡第40地点集石土坑・出土礫観察表　（単位㎝・個数・ｇ（%））

集石No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	礫範囲	総点数	総重量	平均重量	破損個数	完形個数	焼成個数	未焼成個数	タール・煤付着数	タール・煤未付着数
1	円形	100×100	42×40	32.6	108×70	866	20,590	23.77	770 (88.9)	96 (11.0)	442 (51.0)	237 (27.36)	224 (25.86)	237 (27.36)

第22表　神明後遺跡第40地点土坑・ピット一覧表　（単位㎝）

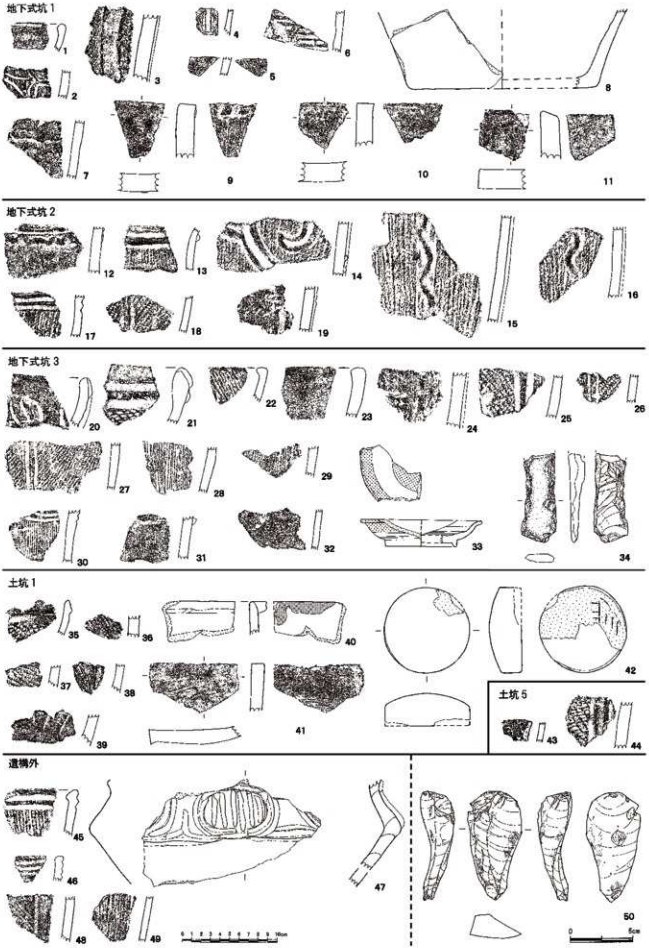
遺構名	平面形態	確認面径	底径	深さ
土坑1	方形	186×176	155×149	30.6
土坑2	不明	129×(75)	104×(68)	31.8
土坑3	楕円形	(96)×78	(71)×51	14.1
土坑5	(長方形)	(123)×82	(114)×65	21.8
土坑6	不整形	(170)×90	45×40	32.3
土坑7	(楕円形)	(114)×68	(96)×38	19.2
土坑8	長方形	168×71	146×(49)	34.3
土坑9	(楕円形)	(71)×64	(55)×42	8.9
土坑10	(長方形)	249×191	(154×42)	28.2
土坑11	(長方形)	350×(180)	(245×170)	25.8
P1	不整形	46×40	13×12	105.2
P2	方形	35×28	17×13	37.3
P3	方形	30×30	12×11	44.3

遺構名	平面形態	確認面径	底径	深さ
P4	楕円形	(26)×(24)	15×12	41.2
P5	長方形	(48)×(40)	(8)×7	51.6
P6	方形	36×20	14×10	39.3
P7	楕円形	49×33	26×16	16.2
P8	方形	33×24	18×15	76
P9	方形	26×26	14×12	41.4
P10	円形	33×26	6×5	40.8
P11	楕円形	31×(22)	(22×19)	33.4
P12	方形	30×30	12×8	39.2
P13	長方形	42×35	17×13	47.2
P14	方形	23×20	8×7	66.8
P15	不明	26×(20)	(18)×10	65
P16	方形	26×25	18×10	44.8

地下式坑１
1. 黒色土　粘性有、締り強、2mm 以下ローム粒少し含む
2. 黒色土　粘性有、締り弱、全体にローム多く、暗褐色を呈し、2mm 以下ローム粒多く、1cm 大ローム少し含む
3. 黒褐色土　粘性有、締り弱、全体にローム多く、暗褐色を呈し、2mm 以下ローム粒多く、1cm 大ローム少し含む
4. 暗褐色土　粘性有、締り強、ロームと黒褐色土の混合土（斑状を呈す）
5. 黒褐色土　粘性有、締り強、4 層に同じ、ロームと黒褐色土の混合土（斑状を呈す）
6. 黒褐色土　粘性有、締り強、1cm 大ロームブロック極少し、2mm 以下ローム粒少し含む
7. 黒褐色土　粘性有、締り強、2 層ベースに 2cm 大ロームブロックやや多く含む
8. 黒褐色土　粘性有、締り強、7 層より更にローム多く含む、ベースは 7 層に同じ
9. 暗褐色土　粘性有、締り強、ロームブロックベースに 2cm 以下黒褐色土ブロック少し含む

地下式坑２
1. 黒色土　粘性有、締り強、5mm 大ローム少し、2mm 以下ローム粒やや多く含む、焼土・炭化物含まない
2. 黒色土　粘性有、締り強、1mm 大ローム粒少し含むのみ、1 層主体
3. 暗褐色土　粘性有、締り強、シミ状黒褐色土と暗褐色ロームを斑状に含む
4. 黒色土　粘性有、締り強、2 層に同じ
5. 褐色土　粘性有、締り強、ローム崩落土、シミ状に黒褐色土少し含む
6. 黒色土　粘性有、締り強、2・4 層に同じ、やや 1cm 大ローム少し含む
7. 黒褐色土　粘性有、締り強、2・4・6 層の黒色土とシミ状ロームを多く含む
8. 褐色土　粘性有、締り強、ローム崩落土、ややボロボロする
9. 黒褐色土　粘性有、締り強、縄文の遺構包含層、覆土層に類似（東壁Ⅳ層）、シミ状に黒褐色と黒黄褐色土の混合
10. 褐色土　粘性有、締り強、ローム崩落土、5mm 以下シミ状黒褐色土極少し含む
11. 黒褐色土　粘性有、締り強、2・4・6・7 層に類似する
12. 暗褐色土　粘性有、締り強、ロームブロックとやや黒褐色を帯びた暗褐色土の混合土（主体ローム）
13. 暗褐色土　粘性有、締り強、2cm 以下シミ状暗褐色ローム少し含む（縄文遺構覆土）
14. 褐色土　粘性有、締り強、ローム崩落土主体に、1cm 以下シミ状黒褐色土少し含む
15. 暗褐色土　粘性有、締り強、10cm 大ロームブロック主体で間に 5cm 以下黒色土少し含む
16. 黒色土　粘性有、締り強、黒色土主体に 2cm 以下シミ状ローム極少し含む
17. 暗褐色土　粘性有、締り強、暗褐色土主体にⅡcm 以下ロームブロック少し、1cm 以下ローム粒やや多く含む
18. 暗＋黒褐色土　粘性有、締り強、ローム主体に縞状に黒褐色土を 2 枚含む
19. 暗＋黒褐色土　粘性有、締り強、18 層より暗いローム主体で、縞状に黒褐色土を 2 枚含む
20. 黒褐色土　粘性有、締り強、18・19 層より黒いが、ほぼ 19 層と同一の層と見られる

神明後遺跡第40地点地下式坑１・２土層説明



第54図　神明後遺跡第40地点出土遺物（1/3・1/4）

第16章　小田久保遺跡の調査

Ⅰ　遺跡の立地と環境

小田久保遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南西約1.3㎞、砂川堀の左岸、標高23～28ｍに位置する。本遺跡をのせる台地は緩やかな斜面を形成するが、対岸の南側台地は急傾斜をなす。

周辺の遺跡は、砂川堀を挟んだ南側台地上に旧石器時代の石器・礫群を検出した西台遺跡が、本遺跡の東側、微高地の突端には縄文時代前期住居を検出した大井氏館跡遺跡がある。

本遺跡は市街化調整区域のため比較的武蔵野の面影を残す農村地帯だが、区画整理事業とふじみ野駅の開設により、ここ数年開発の波が押し寄せつつある。

1990年に最初の試掘調査が行われて以来、過去の調査では数点の縄文土器片を確認しているだけであったが、2003年と2004年の調査において本遺跡では初の住居跡を検出したことにより、本遺跡が縄文時代中期の集落である事が明らかとなりつつある。今後は集落の分布や範囲の解明が待たれる。分布調査や発掘調査から遺跡の時期は旧石器時代、縄文時代早期から中期、中近世である。2012年12月現在、９ヶ所で調査を行っている。

Ⅱ　小田久保遺跡第８地点

（1）調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2010年２月16日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は台地の中央部に位置している。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

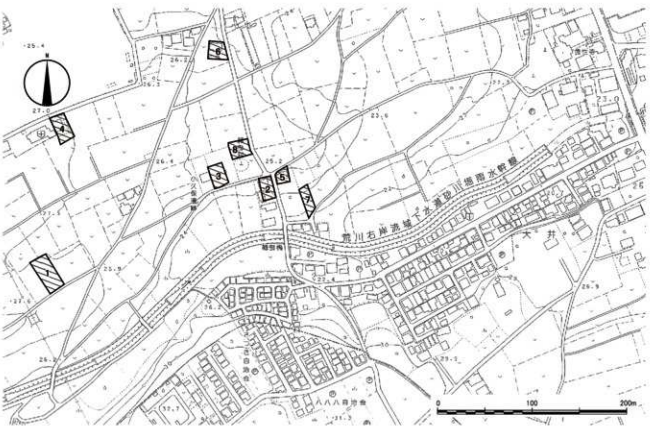
試掘調査は2010年３月３日から、幅約1.5ｍのトレンチ５本、幅約2.5ｍのトレンチ１本を設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行った。その結果、現地表面から約30㎝の深さで縄文時代の土坑とピット、近世以降とみられる根切り溝を確認した。

建物の配置を再確認し、工事による掘削が遺構に影響を与えないため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。なお旧石器時代の確認調査は行っていない。

（2）遺構と遺物

①遺構

【土坑・ピット】土坑５基、ピット７基を確認した。覆土層の観察から縄文時代と考えられる。詳細については第24表小田久保遺跡第８地点土坑・ピット・溝



第55図　小田久保遺跡の地形と調査区（1/4,000）

一覧表のとおりである。

【根切り溝】溝は調査区の南側で東西方向に延びる9本の溝状の遺構を確認した。本調査区の南に隣接する織部塚との境界に掘られた根切り溝と考えられる。

土層の観察から溝5→溝8→溝4→溝3→溝2→溝1（溝5が最も古く、溝1が最も新しい）、溝8→溝7→溝6（溝8が古く、溝6が新しい）、溝9→溝2の関係が確認出来る。

②遺物（第57図1～4）

1は深鉢形土器の口縁部山形突起で、隆帯の区画内に太い沈線を充填する勝坂Ⅲ式。2は隆帯脇にキャタピラー文と横に押引文を施す勝坂Ⅱ式。4は土坑4出土のフォルンフェルス製の石匙で長さ7.83㎝、幅(7.91)㎝、厚さ1.14㎝、重さ65.01ｇである。3は土製品の泥面子・茶子面で人面とみられる。重さ3.74ｇである。1は根切り溝の覆土層、2・3はトレンチの表土層出土である。

第23表　小田久保遺跡調査一覧表

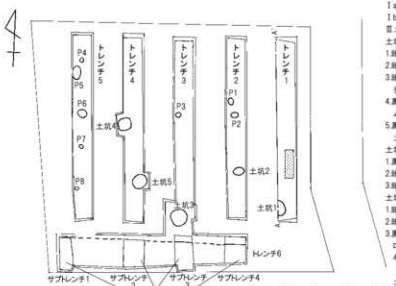
地点	所在地	調査期間（ ）は試掘調査	面積(㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	大井1223-3	(1990.10.12～18)	694	資材置場	遺構なし、縄文中期土器片	東XI
2	大井1249-1	(1993.9.21～10.1)	498	個人住宅	遺構なし、縄文中期土器片、石器	町III
3	大井1214-3	(1994.6.7)	330	個人住宅	遺構なし、縄文中期土器片、石器	町IV
4	大井1185-5	(1997.6.24～26)	271	分譲住宅	土坑1	町VII
5	大井字西原1023	(2003.8.18,19) 2003.8.20～9.2	165	個人住宅	縄文中期住居跡1、縄文土器・石器	町XII
6	大井字小田久保1207-5	(2004.10.26～27) 2004.10.28～11.13	306	個人住宅	縄文中期住居跡1、集石土坑1、土坑2、ピット8、縄文土器・石器	町XII
7	大井字西原1023-9,8	(2008.5.19～21)	333	個人住宅	遺構・遺物なし	市6
8	大井字小田久保1211-1	(2010.3.3～9)	421	個人住宅	縄文時代土坑5、ピット8、近世以降根切り溝9、縄文土器・石器、泥面子	市8

※東：大井町東部遺跡群、町：大井町町内遺跡群、町資：大井町史資料編Ⅰ、調査：大井町遺跡調査会報告、市：ふじみ野市市内遺跡群

第24表　小田久保遺跡第8地点土坑・ピット・溝一覧表

（単位cm）

遺構名	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
土坑1	不明	124×(64)	88×42	34.2	縄文
土坑2	円形	100×92	76×75	18.7	縄文
土坑3	円形	132×124	100×87	38	縄文
土坑4	円形	123×100	100×80	18.7	縄文
土坑5	円形	110×108	88×75	32	縄文
P1	楕円形	66×47	42×31	20.9	縄文
P2	楕円形	62×45	29×15	28.1	縄文
P3	楕円形	58×45	12×11	34.1	縄文
P4	円形	33×30	13×12	27.2	縄文
P5	楕円形	110×(50)	77×(45)	28.2	縄文
P6	楕円形	80×60	34×32	23.2	縄文
P7	円形	40×40	10×8	29.8	縄文
溝1	「U」字状	48	22	62	近世以降
溝2	「U」字状	32～35	6～18	82	近世以降
溝3	「U」字状	26～40	16～26	80	近世以降
溝4	「U」字状	(50)	(32～40)	(55)	近世以降
溝5	不明	—	(30)	(20)	近世以降
溝6	「U」字状	30～45	20～28	32	近世以降
溝7	「U」字状	—	(27～35)	22	近世以降
溝8	「U」字状	32～45	8～27	36	近世以降
溝9	薬研状？	(47)	(12)	125	近世以降



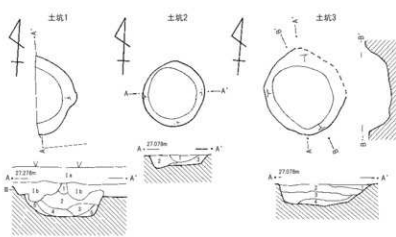
Ⅰa.黒褐色土　締り有、粘性有、ローム粒少し含む、耕作土(客土と思われる)
Ⅰb.黒褐色土　締り有、粘性有、ソフトロームブロックを多く含む、旧耕作土
Ⅱ.地山ローム

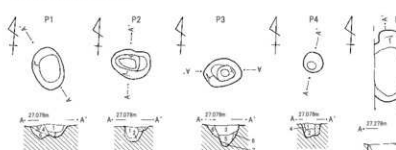
土坑1
1.暗褐色土　締り強、粘性有、黄色味強い、3mm以下ローム粒少し含む
2.暗褐色土　締り強、粘性有、1層より暗い、3mm以下ローム粒少し含む
3.暗褐色土　締り強、粘性有、黒色味がある、2mm以下ローム粒・炭化物やや多く、5mm以下焼土少し含む
4.黒色土　締り強、粘性有、3mm以下炭化物・焼土やや多く含む、1～3cmロームブロック少し含む
5.黒褐色土　締り強、粘性有、斑状にロームブロック多く、3mm以下炭化物・焼土少し含む

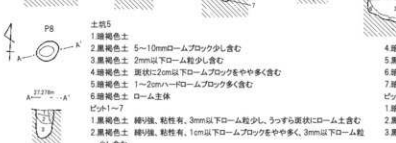
土坑2
1.黒褐色土　締り強、粘性有、明るい黒褐色土、3mm以下ローム粒少し含む
2.暗褐色土　締り強、粘性有、黄色味のある、2mm以下ローム粒少し含む
3.暗褐色土　締り強、粘性有、斑状に2cm以下ロームブロック多く含む

土坑3
1.暗褐色土　締り強、粘性有、2mm以下ローム粒少し、2層より色調明るい
2.暗褐色土　締り強、粘性有、3mm以下ローム粒少し含む
3.黒褐色土　締り強、粘性有、色調は明るい、うっすら斑状に2cm以下ロームブロックを多く、3mm以下ローム粒少し含む
4.暗褐色土　締り強、粘性有、うっすら斑状に2cm以下ロームブロックを多く含む

土坑4
1.黒褐色土　締り強、粘性有、色調明るい、3mm以下ローム粒少し、2mm以下焼土・炭化物僅かに含む
2.黒褐色土　締り強、粘性有、色調明るい、斑状に3cm以下ロームブロック多く、2mm以下炭化物僅かに含む
3.暗褐色土　締り強、粘性有、5mm以下ソフトローム粒少し含む、打製石斧出土
4.暗褐色土　締り強、粘性有、5～10mm以下ハードロームブロックやや多く含む
5.暗褐色土　締り強、粘性有、ローム分を多く含み、色調明るい







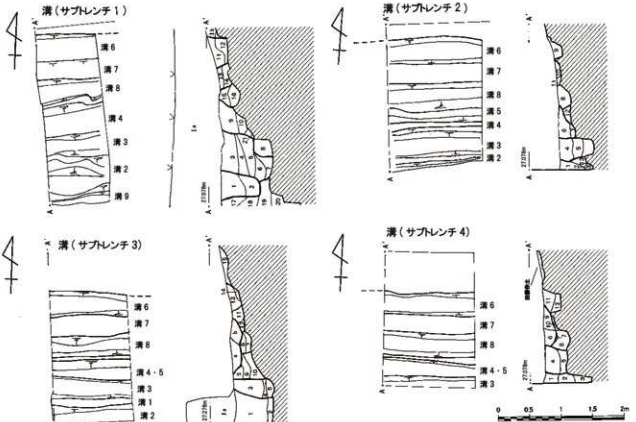
土坑5
1.暗褐色土
2.黒褐色土　5～10mmロームブロック少し含む
3.黒褐色土　2mm以下ローム粒少し含む
4.暗褐色土　斑状に2cm以下ロームブロックをやや多く含む
5.暗褐色土　1～2cmハードロームブロック多く含む
6.暗褐色土　ローム主体

ピット1～7
1.黒褐色土　締り強、粘性有、3mm以下ローム粒少し、うっすら斑状にローム土含む
2.黒褐色土　締り強、粘性有、1cm以下ロームブロックをやや多く、3mm以下ローム粒少し含む
3.1層に似る、色調明るめ
4.暗褐色土　締り強、粘性有、5mm以下ローム粒やや多く含む
5.黒褐色土　締り強、粘性有、3mm以下ローム粒少し含む
6.暗褐色土　締り強、粘性有、斑状に1cm以下ロームブロックを多く含む
7.暗褐色土　締り強、粘性有、ハードロームブロック主体

ピット8
1.暗褐色土　締り強、粘性有、2mm以下ローム粒少し含む、全体に黒色味強い
2.黒褐色土　締り強、粘性有、2mm以下ローム粒少し含む
3.黒褐色土　締り強、粘性有、1cm以下ロームブロックをやや多く含む

0　0.5　1　1.5　2m

第56図　小田久保遺跡第８地点遺構配置図（1/300）、土層図（1/150）、土坑・ピット（1/60）



サブトレンチ1
1. 黒褐色土　締りやや弱、粘性有、1cm以下ロームブロック・粒少し含む
2. 黒褐色土　締りやや弱、粘性有、5mm以下ローム粒少し含む
3. 黒褐色土　締り有、粘性有、色調1層より明るい、3cm以下ロームブロック少し、3mm以下ローム粒ややる含む
4. 黒褐色土　締り有、粘性有、1cm以下ロームブロック・粒少し含む
5. 黒褐色土　締り有、粘性有、1cm以下ロームブロック・粒ややる含む
6. 黒褐色土　締り有、粘性有、5mm以下ローム粒少し含む
7. 黒褐色土ベース　締り有、粘性弱、6cm以下ロームブロック主体
8. 黒褐色土ベース　締り有、粘性弱、6cm以下ロームブロック主体、7層より黒褐色土少なめ
9. 黒褐色土　締り有、粘性有、5～20mmロームブロックややる含む
10. 黒褐色土ベース　締り有、粘性有、3mm以下ローム粒多く、全体の色調暗褐色、ロームブロックややる含む
11. 黒褐色土　締り有、粘性有、黒色味強い、5～15mmロームブロックややる含む
12. 黒褐色土　締り有、粘性有、ローム主体、7cm以下ロームブロック主体
13. 黒褐色土　締り有、粘性有、1cm以下ロームブロック・粒少し含む
14. 黒褐色土　締り有、粘性有、5mm以下ローム粒ややる含む
15. 黒褐色土　締り有、粘性有、5mm以下ローム粒少し含む
16. 黒褐色土ベース　締り有、粘性弱、7cm以下ロームブロック・粒ややる含む
17. 黒褐色土　締り有、粘性有、2cm以下ロームブロック・5mm以下ローム粒少し含む
18. 黒褐色土　締り強、粘性有、2cm以下ロームブロック多く、ローム粒ややる含む
19. 暗褐色土　締り強、粘性有、3mm以下ローム粒少し含む
20. 暗褐色土　締り有、粘性有、2cm以下ロームブロック少し、3mm以下ローム粒ややる含む
21. 暗褐色土　締り有、粘性有、3mm以下ローム粒少し含む

サブトレンチ2
1. 黒褐色土　締り有、粘性有、1cm以下ロームブロック・粒少し含む
2. 黒褐色土　締り強、粘性有、2mm以下ローム粒ややる含む
3. 黒褐色土ベース　締り強、粘性有、2cm以下ロームブロック主体
4. 黒褐色土　締り有、粘性有、1cm以下ロームブロック・粒ややる含む
5. 黒褐色土　締り有、粘性やや弱、大型の10cm以下ロームブロック多く、上半に5mm以下ローム粒ややる含む
6. 暗褐色土　締り有、粘性有、黒ベース比5mm以下ローム粒主体
7. 黄褐色土　締り強、粘性有、ロームベース、ローム粒主体
8. 黒褐色土ベース　締り有、粘性弱、3cm以下ロームブロック主体
9. 暗褐色土ベース　締り有、粘性有、6cm以下ロームブロック主体
10. 黒褐色土　締り有、粘性有、5～10mmロームブロック多く含む
11. 黄褐色土　締り有、粘性有、ロームベース、1cm以下ロームブロック主体
12. 暗褐色土ベース　締り有、粘性弱、3cm以下ロームブロック・5mm以下ローム粒ややる含む
13. 暗褐色土　締り強、粘性有、3mm以下ローム粒ややる含む

サブトレンチ3
1. 黒褐色土　締り有、粘性有、1cm以下ロームブロック・粒少し含む
2. 黒褐色土　締り有、粘性弱、3cm以下ロームブロック多く含む
3. 黒褐色土　締り有、粘性有、4cm以下ロームブロックややる、3mm以下ローム粒多く含む
4. 黒褐色土　締り有、粘性有、5mm以下ローム2粒少し含む
5. 暗褐色土　締り有、粘性弱、5cm以下ロームブロック主体
6. 黒褐色土　締り有、粘性有、1cm以下ロームブロック・粒ややる含む
7. 黄褐色土　締り有、粘性弱、ソフトロームベース、3cm以下ロームブロック主体
8. 黒褐色土ベース　締り有、粘性弱、1cm以下ロームブロック・粒ややる含む
9. 暗褐色土ベース　締り有、粘性弱、2cm以下ロームブロック多く含む
10. 暗褐色土ベース　締り有、粘性弱、2cm以下ロームブロックややる、3mm以下ローム粒多く含む
11. 黒褐色土　締り有、粘性弱、2cm以下ロームブロックややる、5mm以下ローム粒ややる含む
12. 暗褐色土　締り有、粘性弱、2cm以下ロームブロックややる含む
13. 黒褐色土ベース　締り有、粘性弱、6cm以下ロームブロック主体
14. 黄褐色土　ハードロームブロック
15. 旧耕作土　暗褐色土、ローム粒多く含む
a. 黒褐色土　締り有、粘性有、1cm以下ロームブロック・粒ややる含む
b. 黄褐色土　締り有、粘性有、ソフトロームベース、4cm以下ロームブロック主体、黒褐色土少し含む

サブトレンチ4
1. 黒褐色土　締り有、粘性有、1cm以下ロームブロック・粒少し含む
2. 暗褐色土　締り強、粘性やや弱、5mm以下ローム粒多く、2cm以下ロームブロック多く含む
3. 黒褐色土　締り有、粘性弱、5cm以下ロームブロック多く含む
4. 黒褐色土　締り有、粘性有、2cm以下ロームブロック・粒ややる含む
5. 黒褐色土ベース　締り有、粘性有、1cm以下ロームブロック主体
6. 黒褐色土　締り有、粘性有、5～10mmロームブロックややる含む
7. 黒褐色土　締り有、粘性有、5mm以下ローム粒ややる含む
8. 黒褐色土ベース　締り有、粘性有、1～12cmロームブロック主体
9. 黒褐色土　締り有、粘性有、1cmロームブロック、3mm以下ローム粒少し含む
10. 黒褐色土　締り有、粘性有、ロームブロック少し含む
11. 黒褐色土ベース　締り有、粘性有、7cm以下ロームブロック主体
12. 黄褐色土　締り有、粘性弱、ロームベース、6cm以下ロームブロック主体

第57図　小田久保遺跡第8地点溝（1/60）、出土遺物（1/4）

第17章　大井宿遺跡の調査

Ⅰ　遺跡の立地と環境

大井宿遺跡は国道254号線川越街道沿いの旧大井宿の宿場範囲内にある。大井宿は全長約1.5kmで、砂川堀右岸の標高27mの台地上から始まり、砂川堀を渡って左岸の標高21～22mの低位台地上に位置する。

大井宿の南側約半分は大井氏館跡遺跡に含まれており、既に遺跡の登録がされている。2000年に遺跡範囲外の2ヶ所の試掘調査により、多数の遺構と遺物が確認されたため、2000年4月24日付けで大井宿の北側部分を新たに遺跡の範囲とし遺跡名を設けた。

川越街道は江戸時代の寛永年間（1624～1643）に整備された日本橋から川越に至る11里（約44km）の道の呼称で、街道に存在した6つの宿駅（上板橋・下練馬・白子・膝折・大和田・大井）の1つが大井宿である。

大井宿遺跡では2012年12月現在、16地点で調査が行われ、中世～近代の遺構・遺物が検出されている。

Ⅱ　大井宿遺跡第16地点

（1）調査の概要

調査は共同住宅兼用個人住宅建設に伴うもので、原因者より2010年2月17日付で「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は大井宿の中央部に位置している。申請者と協議の結果、遺構の存在確認と本調査にむけての試掘調査を実施した。

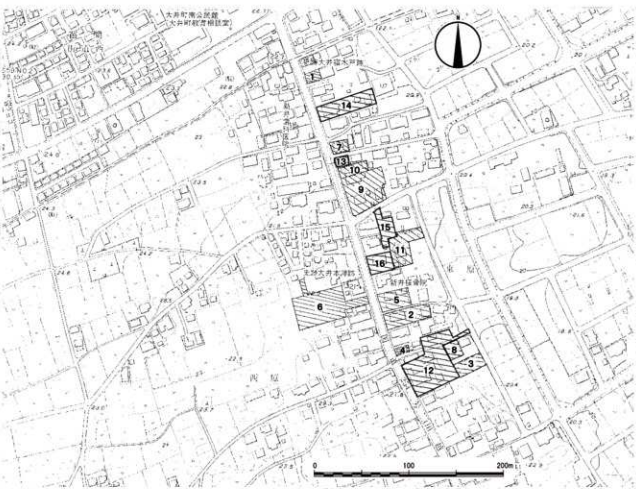
試掘調査は2010年3月15日から、建物建設予定範囲の調査区北側半分を重機による表土除去後、人力による表面精査を行った。

その結果、現地表面から約60cmの深さで近世以降の土坑や溝、ピットなどを確認した。再度協議の結果、工事による掘削が遺構に影響を与えるため、建物建設予定部分について本調査を実施した。発掘調査に係わる費用について、共同住宅に係る部分については原因者負担で実施した。

本調査は3月19日から4月30日まで行った。

調査区に任意の1m方眼の区画を設定し、東から西へ0・1・2～、北から南へA・B・C～の番号を付した。

本調査の結果、近世以降の土坑16基、礎石1基、



第58図　大井宿遺跡の地形と調査区（1/4,000）

溝29本、ピット413基などを検出し、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、本調査を終了した。

（2）遺構と遺物

調査区全体に遺構が存在し重複関係、時期など不明なものも多い。土坑、ピット、溝の詳細は第25～28表一覧表のとおりである。

①　礎石

調査区東端に位置し、土坑11・溝25・ピット324と重複する。新旧関係は不明である。土坑部分の平面形態は隅丸方形に近く底部は円形で、底部近くに15～25cm大の礫7点を配する。土坑確認面径81×66cm、底径50cm、深さ55cmである。

②　土坑

調査区全体で16基を検出したが、土坑4・10・13は欠番である。土坑3・5・6～8・11・15・18は一部未検出で土坑15・18は溝の可能性もある。

③　ピット

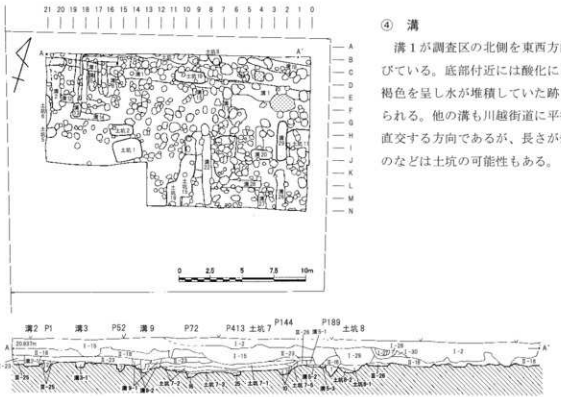
ピットは413基を検出した。調査区全体に分布しており建物の柱跡の判別が難しいが、覆土層の観察から幾つかのグループ分けが可能である。詳細については第26～28表ピット一覧表のとおりである。

ピットについて建物跡などの柱穴としての配置を検証できなかったため、形態・規模・覆土層の観察から便宜的にA～Ⅰの9群に分類し一覧表に記した。

A群、白色土粒を含む。B群、硬質土を含む。C群、灰色味がありマットな印象。D群、ソフトロームが混ざる。E群、規模が大きめ。F群、深くて下部が黒褐色。G群、マーブル状の転圧土。H群、中層の締りが強い。Ⅰ群、黒褐色土の単層で含有物が少ない。

第25表　大井宿遺跡第16地点土坑一覧表　（単位cm）

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
1	方形	213×163	192×14.0	26.3	
2	方形	180×87	147×66	36.9	
3	不明	115×(97)	95×(63)	38.8	
5	不明	(79)×77	(69)×50	28.3	
6	不明	(360×39)	(345×24)	14.6	
7	不明	540×(85)	515×(72)	41.1	溝？P72・413より新
8	楕円形	(95)×92	28×26	28.8	
9	不明	(70×30)	(58×17)	21.6	
11	(長方形)	(150)×155	(150)×133	33.7	溝29より新
12	隅丸方形	85×65	65×45	46.1	溝1より古
14	不明	83×(35)	50×(30)	25.7	P234→土坑14→P217
15	長方形	329×121	309×100	44.8	土坑15→溝21→溝23
16	不明	184×(66)	165×(66)	13.6	
17	不明(方形)	320×170	308×143	33.5	P386・390より古
18	(長方形)	(195×115)	(183×107)	35.4	土坑15→溝24→土坑18
19	長方形	245×100	210×82	34.7	土坑13と同一



第59図　大井宿遺跡第16地点遺構配置図（1/300）、土層図（1/150）

④　溝

溝1が調査区の北側を東西方向に延びている。底部付近には酸化により赤褐色を呈し水が堆積していた跡と考えられる。他の溝も川越街道に平行又は直交する方向であるが、長さが短いものなどは土坑の可能性もある。

第26表　大井宿遺跡第16地点ピット一覧表①

（単位cm）

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
1	不明	31×(16)	8×7	35.3	B
2	楕円形	30×24	15×13	29.3	D
3	楕円形	33×25	8×5	45.2	C
4	円形	19×18	7×6	14.8	B
5	(方形)	17×(14)	5×3	9.6	D
6	(楕円)	(38)×26	10×5	21.8	D
7	(楕円形)	(40×20)	32×7	19.4	B
8	不明	(42×22)	38×(9)	21.4	B
9	(楕円形)	(45)×36	2×2 8×5	62.6 36.9	H
10	不整形	42×28	23×17	10.9	D
11	円形	25×23	15×12	27.6	I
12	(楕円)	(37)×32	20×(20)	22.1	I
13	三角形	20×20	7×4	33.9	F
14	円形	39×32	20×20	37.1	B
15	円形	37×31	8×7	44.4	F
16	方形	25×25	9×4	32.8	B
17	不整形	50×48	15×10	48.8	B
18	円形	32×28	18×15	84.2	I
19	方形	32×27	17×10	—	B
20	不明(円形)	(30×21)	11×5	27.8	D
21	楕円形	47×35	19×9	64.2	B
22	不明(円形)	29×(29)	13×11	62	B
23	円形	68×53	14×13	80	E
24	円形	44×36	8×7	52.8	B
25	円形	41×40	35×29	76	H
26	円形	44×42	20×13	71	B
27	方形	44×43	5×4	62.8	F
28	楕円形	53×40	12×11	54.8	B
29	楕円形	30×25	7×5	75.8	E
30	不明(二角形)	(33)×28	11×6	70.8	B
31	楕円形	30×23	8×5	38	B
32	楕円形	48×32	20×20	62.4	B
33	不整形	43×29	15×13	25.4	D
34	円形	46×43	15×10	34.6	F
35	方形	44×32	15×12	36	D
36	方形	26×21	15×15	34.9	B
37	円形	35×31	15×12	35.1	D
38	楕円形	38×31	14×7	65.6	B
39	方形	24×21	13×12	38	B
40	円形	40×35	14×13	52.1	F
41	方形	50×50	20×14	60.8	
42	不整形	31×30	23×19	66.5	B
43	円形	37×36	12×10	58	D
44	方形	55×40	29×28	57.8	B
45	方形	37×26	4×(3)	19.9	B
46	楕円形	36×31	22×14	40	D
47	不明	(29×15)	(10×6)	25.6	I
48	不明	(22)×20	(11×11)	33.4	B
49	不明	(35×24)	4×3	33.2	H
50	円形	25×23	4×4	25.9	B
51	三角形	30×23	12×12	26.1	F
52	不明(方形)	14×12	9×5	6.8	C
53	方形	22×18	9×6	31	F
54	不整形	55×42	38×27	27.1	B
55	楕円形	25×20	7×5	32	D
56	円形	42×40	19×16	29.5	H
57	不明(楕円形)	19×(17)	13×(9)	8.4	F
58	楕円形	35×22	12×12	13.7	D
59	不明(方形)	35×(25)	10×9	39.3	G
60	不明(楕円形)	40×(38)	17×17	59.4	C
61	楕円形	52×37	18×(10)	25.7	H
62	円形	26×25	13×12	36.4	C
63	楕円形	30×28	8×6	34	B
64	楕円形	30×25	14×13	18.4	F
65	円形	35×31	10×10	47.3	C
66	円形	30×29	15×10	23.4	B
67	円形	29×28	30×28	24.3	I
68	円形	25×23	14×13	16.6	D
69	不明(楕円形)	24×(15)	15×(13)	11.4	I

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
70	円形	45×38	7×7	56	B
71	円形	25×25	12×8	24	D
72	不明(円形)	35×(20)	21×(18)	20.2	F
73	円形	43×38	6×5	67.1	F
74	円形	30×29	17×12	72	F
75	方形	31×30	12×4	21.9	I
76	不整形	49×40	15×10	40.1	E
77	円形	37×34	10×7	61.4	E
78	不明(方形)	(38)×30	17×15	66.6	E
79	方形	42×36	20×18	61.2	B
80	方形	22×20	12×11	21	D
81	方形	45×39	25×25	56.4	H
82	方形	55×40	20×15	89.1	H
83	方形	75×45	6×6	68.4	B
84	(円形)	37×35	23×20	27.5	B
85	方形	28×27	17×17	40.5	B
86	方形	42×32	21×18	58.1	C
87	方形	22×20	14×11	32	F
88	不明(方形)	48×(35)	14×(9)	117.3	B
89	不明	42×(42)	23×14	54.6	B
90	円形	37×30	15×7	41.2	B
91	不明(円形)	46×36	12×7	29.7	F
92	楕円形	60×46	10×5	62	H
93	不明	35×(32)	18×8	76.3	B
94	(楕円形)	73×(43)	25×14	96.2	E
95	方形	(48)×45	10×8	69.5	H
96	不明	(40)×40	19×(13)	82.6	F
97	不明	55×(40)	18×5	85.3	E
98	不明	45×(34)	(18)×13	75.3	F
99	方形	21×20	12×10	25.5	D
100	楕円形	28×15	18×12	44.3	D
101	楕円形	25×20	6×5	34.4	
102	不明	(92×38)	(33×19)	45.2	B
103	不整形	46×39	22×18	69.2	H
104	円形	56×53	36×32	54	F
105	楕円形	43×36	15×13	95.8	C
106	楕円形	50×43	18×15	99.7	E
107	楕円形	60×38	25×17	45.5	C
108	方形	42×32	19×17	64.1	D
109	不明	(29×15)	4×4	24.4	D
110	楕円形	45×37	13×9	76.2	B
111	方形	53×40	24×6	78	B
112	円形	30×26	12×10	25.2	D
113	円形	50×48	19×16	18.1	A
114	方形	27×25	15×15	43.4	E
115	(円形)	55×(45)	31×27	75.2	E
116	不明	(57×40)	29×13	58.6	F
117	不明	(41×23)	18×10	41.2	B
118	円形	38×37	26×23	53.7	B
119	方形	59×37	26×23	55.1	B
120	円形	42×40	29×27	56.9	B
121	(円形)	44×40	18×18	70.1	B
122	(方形)	(29)×24	11×4	52.5	B
123	方形	21×17	7×7	64	
124	(方形)	26×(20)	(16)×14	27.4	
125	不明	35×(26)	17×8	20.3	C
126	三角形	55×45	14×12	31	C
127	不明	40×(28)	21×10	20	F
128	円形	19×17	13×11	13.3	B
129	不明	40×28	15×10	41.4	C
130	不明	65×(20)	25×6	36.6	C
131	不明	21×(20)	13×9	21.5	F
132	円形	45×40	18×13	74.4	F
133	不明	34×(23)	20×(18)	14.5	B
134	不明	43×25	17×(15)	27.6	
135	不整形	45×20	10×6 10×7	33.4 13.5	E
136	方形	57×33	23×23	39.1	B
137	方形	30×24	13×8	35	D
138	(円形)	20×14	7×6	37	C

第27表　大井宿遺跡第16地点ピット一覧表②

（単位cm）

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
139	（円形）	28×27	12×10	32.2	B
140	楕円形	34×26	10×8	36.4	C
141	方形	45×47	27×24	47.5	D
142	方形	52×50	26×22	37.5	B
143	方形	45×43	27×23	64.1	
144	不明	(50)×48	25×24	34.9	D
145	方形	56×47	15×14	51.9	D
146	（円形）	46×46	26×24	48	B
147	方形	47×43	37×37	33.7	A
148	方形	40×35	31×25	59.6	D
149	（方形）	37×（37）	15×7	63.9	E
150	（方形）	31×28	13×5	51	B
151	方形	34×31	23×17	28.8	D
152	方形	35×31	18×13	24.8	C
153	不整形	71×50	11×9	85.8	C
154	楕円形	75×43	9×8	45.7	C
155	方形	48×45	32×27	42.2	G
156	方形	50×43	9×5	77.1	B
157	方形	64×62	40×35	58.8	B
158	方形	31×30	21×20	17.2	B
159	方形	90×75	45×42	66.7	B
160	（円形）	24×20	8×8	24.7	D
161	方形	43×42	28×12	27.9	E
162	方形	26×（23）	11×10	42.6	D
163	方形	55×50	33×29	48.9	B
164	不整形	88×62	50×25	51.5	D
165	楕円形	52×37	18×10	42	F
166	楕円形	57×45	29×26	49.3	F
167	方形	50×43	35×30	45	G
168	円形	38×36	11×10	72.3	F
169	（方形）	55×（51）	33×28	44.6	B
170	楕円形	65×47	36×34	51	E
171	楕円形	53×38	15×11	52.5	B
172	楕円形	45×33	20×14	51.7	D
173	方形	41×39	28×25	23.8	D
174	不整形	52×50	18×6	28.1	B
175	方形	39×37	12×12	57.2	C
176	方形	27×26	11×10	17.3	C
177	楕円形	68×50	40×13	35.9	D
178	方形	48×44	19×12	50.5	B
179	方形	32×29	14×10	14	C
180	（方形）	56×（45）	8×6	40.9	B
181	（方形）	48×40	21×17	33.6	B
182	方形	45×39	10×8	40.6	E
183	方形	40×38	15×14	41.8	F
184	不明	71×（51）	（35）×25	39.7	A
185	不明	53×（32）	29×（23）	38	E
186	円形	47×44	26×22	37.3	C
187	楕円形	75×60	39×27	60.3	D
188	不明	67×（44）	50×（25）	42.3	B・F
189	方形	46×34	27×16	33.1	D
190	不整形	90×69	24×13	50.8	F
191	楕円形	67×55	40×37	47.2	D
192	円形	31×29	10×10	56	F
193	方形	38×（25）	20×14	64.1	
194	不明	33×24	8×6	24	B
195	不明	35×31	25×23	33.7	D
196	（方形）	55×51	40×36	31.8	F
197	方形	60×46	11×6	50.5	C
198	（楕円形）	65×40	54×18	25.2	
199	（方形）	81×78	44×42	49.8	E
200	円形	34×33	9×8	28.8	F
201	（方形）	30×28	11×9	30.2	E
202	方形	34×34	16×12	30	E
203	方形	54×50	32×19	38.4	B
204	不明	55×54	15×7	72	E
205	（方形）	47×40	16×14	30.8	C
206	（円形）	67×60	21×17	53.2	G
207	（円形）	53×（24）	35×（17）	35.1	B
208	円形	51×43	18×15	60.5	G

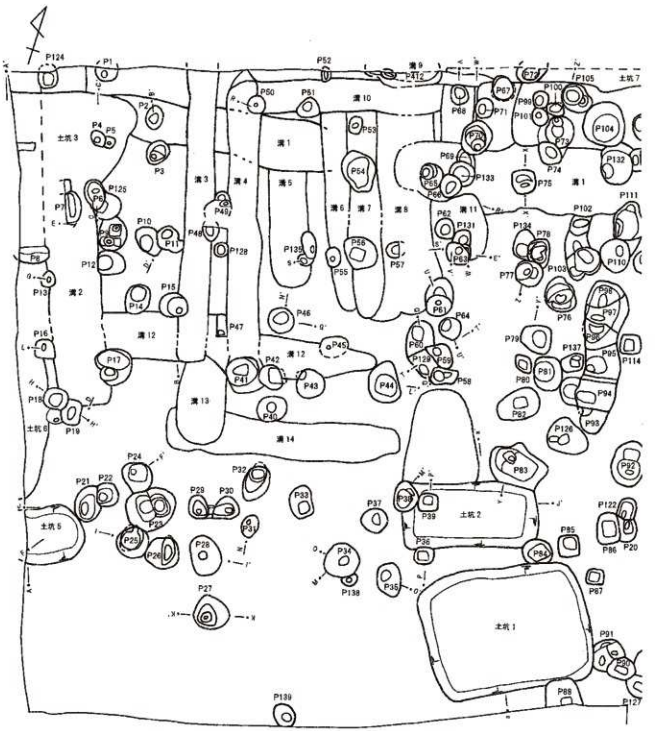
No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
209	方形	59×49	20×13	58.6	B
210	楕円形	47×46	40×30	11.1	B
211	方形	24×19	5×5	43.6	F
212	（方形）	62×51	29×20	55.5	D
213	方形	78×77	60×53	33.8	B・C
214	楕円形	55×30	15×13	57.4	F
215	方形	92×76	70×58	74.7	F
216	楕円形	67×48	24×18	38.9	B
217	楕円形	84×60	36×22	48.5	D
218	方形	80×67	53×42	77	C
219	不整形	51×41	28×21	47.2	B
220	隅丸方形	34×31	12×7	43.1	B
221	円形	50×36	13×11	38.8	D
222	方形	33×32	15×14	26.3	C
223	（円形）	45×35	30×21	41.2	D
224	（円形）	25×（22）	10×9	27.2	C
225	楕円形	43×（39）	22×17	45.9	D
226	円形	32×24	15×10	34.4	D
227	（楕円形）	38×34	13×11	77.7	D
228	方形	（33）×21	7×6	30.6	D
229	楕円形	47×36	8×7	55.1	D
230	不整形	67×40	10×6	55	D
231	方形	51×33	6×4	48.8	F
232	円形	28×27	18×16	26.3	C
233	方形	90×83	57×55	67.4	F
234	（方形）	30×20	15×14	43.6	F
235	方形	19×（12）	10×（9）	10.6	B
236	瓢箪形	76×53	20×16	49	D
237	不明	51×33	18×14	67.3	E
238	楕円形	83×（80）	（55）×49	51	E
239	円形	31×23	12×10	23	F
240	円形	23×21	7×5	7.7	F
241	円形	28×25	7×6	39.7	F
242	（円形）	45×40	23×22	30.2	F
243	（方形）	27×（18）	8×5	22.2	B
244	（方形）	36×（28）	28×（17）	29.2	B
245	方形	46×（32）	17×12	69.5	B
246	方形	30×24	17×14	16.7	F
247	方形	32×27	7×6	19.6	D
248	方形	24×24	12×10	38.9	F
249	方形	32×26	9×8	5.03	B
250	方形	28×27	18×15	38.4	D
251	方形	40×30	18×17	34.1	D
252	方形	30×29	10×4	45.6	C
253	方形	59×49	35×29	51.3	B
254	方形	41×35	26×24	70.8	H
255	不整形	43×（34）	15×12	46.8	B
256	不整形	52×40	36×19	29	D
257	方形	85×70	62×（22）	29.2	G
258	方形	40×36	25×20	38.7	F
259	方形	38×35	32×30	31.1	D
260	（方形）	（38）×31	（11）×10	20.1	B
261	不明	20×（16）	12×6	34.4	E
262	楕円形	（19×18）	10×8	14.1	F
263	不明	45×32	25×8	29.8	B
264	不明	（35×35）	（16）×10	43.5	E
265	方形	43×（37）	26×17	55.4	F
266	方形	35×28	20×10	16.9	E
267	円形	53×50	24×17	47.2	G
268	（楕円形）	28×23	11×10	25.9	C
269	方形	（47）×39	15×12	46.8	B
270	方形	47×39	12×11	23	B
271	方形	34×24	13×13	109.4	F
272	方形	25×25	20×10	45	D
273	方形	45×43	40×26	15.2	B
274	楕円形	42×36	22×18	66.2	F
275	方形	48×29	12×10	27	D
276	不明	25×23	10×7	45.2	F
277	円形	39×（25）	28×（13）	19.3	E
278	不明	45×43	23×21	48.2	B

第28表　大井宿遺跡第16地点ピット一覧表③

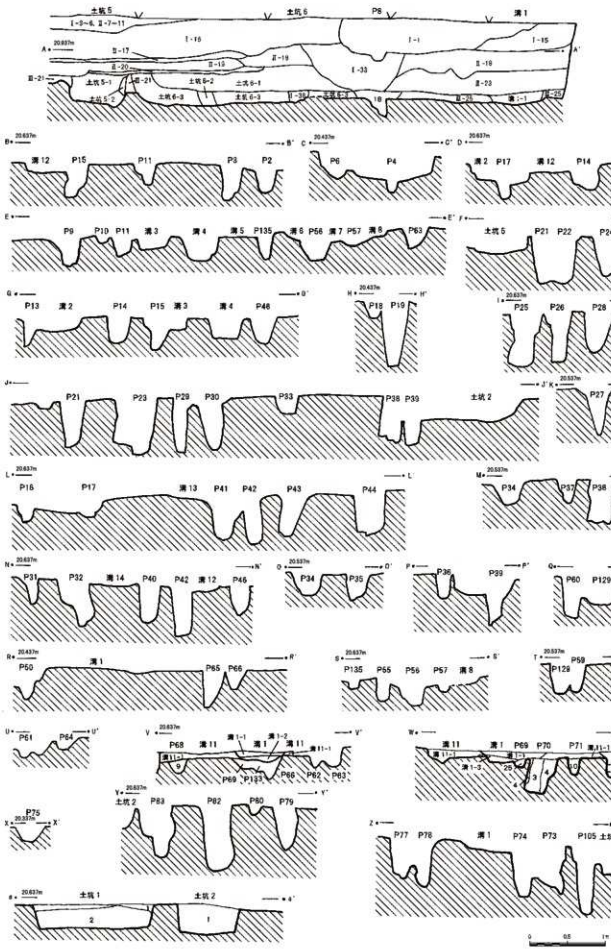
（単位cm）

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
279	不整系	49×(39)	19×18	38	
280	不明	78×51	13×13	48.5	G
281	不明	(34×27)	14×13	31.9	B
282	不明	(56×26)	11×9	41.6	
283	方形	43×30	11×10	48.2	G
284	方形	58×50	45×40	61.8	B
285	不明	22×21	11×10	17.8	
286	不明	(60×47)	(23)×22	59.8	
287	不明	(41)×35	16×9	80	C
288	(方形)	(48×20)	−	50.7	H
289	方形	50×42	13×12	65.8	H
290	方形	(42)×40	18×13	58.3	
291	(方形)	26×21	4×4	23.6	B
292	方形	34×(24)	14×7	34	B
293	(楕円形)	33×27	17×11	20.2	D
294	(方形)	(48)×43	20×20	51	B
295	方形	32×(25)	14×13	18.6	D
296	(円形)	46×31	18×15	58.7	D
297	方形	37×(30)	12×12	28.9	D
298	(方形)	29×27	19×14	93.4	F
299	不明	43×39	30×27	22.4	C
300	方形	30×(23)	12×7	46	D
301	方形	30×30	16×12	34.6	B
302	(方形)	20×18	7×4	40.2	
303	不明	(36)×35	(32)×24	32.3	D
304	円形	64×(35)	16×14	68.1	B
305	不明	57×57	30×20	56.5	B
306	方形	42×(20)	11×5	40.5	B
307	不整形	26×23	7×6	26.5	B
308	(方形)	45×34	10×9	38.7	F
309	円形	52×(33)	15×15	54.6	D
310	方形	21×21	14×10	45.1	D
311	方形	24×16	11×10	24.2	
312	不明	27×26	15×14	12.2	D
313	不整形	39×(26)	17×14	32.9	I
314	方形	31×28	13×12	50	B
315	方形	30×29	15×13	94.1	F
316	方形	33×29	15×13	48.1	D
317	不明	31×25	11×10	28.9	B
318	不明	(33×14)	(17×9)	44.7	F
319	方形	50×(25)	34×(14)	18.3	C
320	不明	29×25	13×9	35.7	D
321	不整形	25×15	8×8	15.8	H
322	不明	53×30	22×10	24.6	D
323	方形	62×(36)	14×12	74	B
324	不明	47×37	18×17	38.1	D
325	不明	52×50	27×25	43.4	B
326	(円形)	42×35	14×13	42.2	
327	不明	31×(30)	15×14	19.3	
328	不明	30×20	13×13	27	
329	不明	31×18	6×5	10.8	C
330	円形	40×35	11×9	52.5	C
331	方形	17×14	10×6	23.4	
332	不明	65×57	42×36	55.2	
333	不整形	24×16	12×(9)	20.6	
334	方形	68×45	12×10	74.5	B
335	方形	60×33	13×8	86.7	D
336	方形	27×20	18×13	10.1	F
337	方形	34×22	20×11	34.4	C
338	方形	38×25	15×10	30.3	B
339	不明	38×27	15×10	28	D
340	方形	40×25	18×(14)	59.3	A・B
341	不明	38×33	16×14	50.4	B
342	不明	50×41	18×17	39.4	B
343	不整形	(38×18)	23×18	23.8	B
344	(方形)	50×28	26×20	48.9	F
345	不明	79×69	17×17	69.6	B
346	不明	43×40	19×13	100.2	B・F
347	不明	48×34	24×21	47.5	B
348	不明	(39×15)	(19×8)	25.8	B

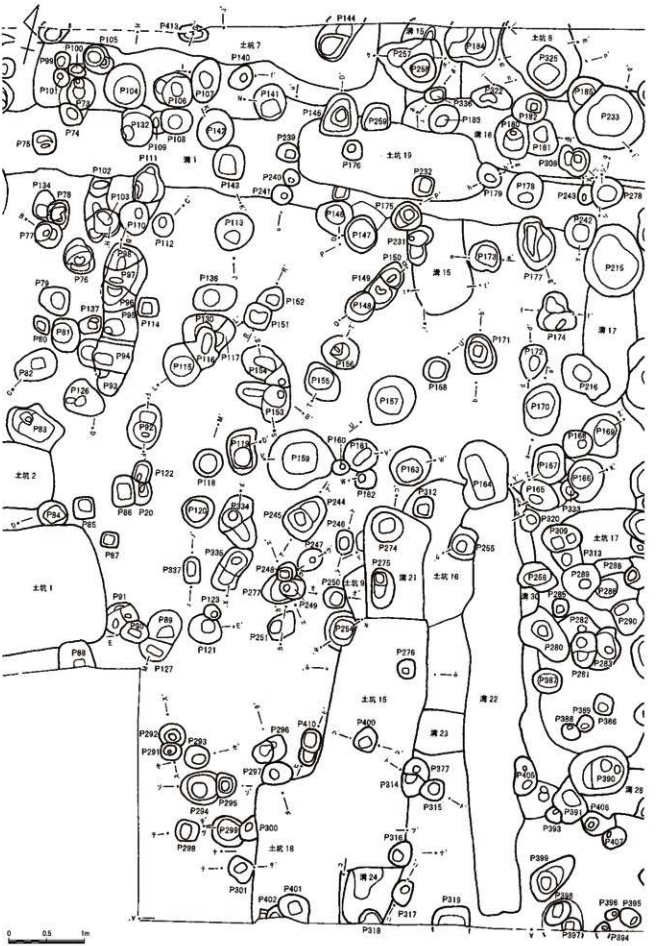
No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
349	方形	(53×14)	(12×6)	49.4	B
350	方形	34×31	17×13	35.2	B
351	方形	35×29	18×15	32.8	D
352	方形	53×52	34×33	51.3	B
353	方形	37×25	18×15	33.8	D
354	不整形	36×27	12×12	79.8	B
355	方形	50×40	15×15	81.1	B
356	方形	19×17	18×10	25.9	B
357	円形	45×35	8×7	64.8	B
358	円形	40×39	9×8	80.9	B
359	方形	43×38	14×13	95.7	F
360	方形	38×34	25×12	43.8	B
361	(方形)	25×18	14×9	10.1	B
362	(方形)	48×42	14×13	75.5	B
363	方形	35×(23)	−	42.5	B
364	不明	48×35	11×10	57.7	E
365	不明	30×28	12×10	43.8	D
366	不明	51×35	11×10	34.4	F
367	方形	(37×9)	14×(7)	7	B
368	不明	45×35	13×12	54	B
369	方形	(46)×37	11×7	76.5	H
370	方形	41×32	7×7	112.4	B
371	不明	28×23	13×9	44.8	F
372	方形	55×55	18×6	66.6	D
373	不明	23×23	12×10	17.8	C
374	不明	41×(33)	15×7	64.4	
375	不明	(35×26)	10×10	19.9	D
376	不整形	47×(46)	11×6	58.3	F
377	不整形	33×23	9×9	108.7	C
378	不明	39×26	9×5	46.6	B
379	不明	50×48	28×8	59.2	C
380	不明	23×23	10×8	55.4	E
381	不明	45×33	8×7	51.1	C
382	不明	53×39	6×4	97	E
383	不明	38×35	8×5	72.2	B
384	方形	42×35	30×25	39.5	D
385	方形	(35)×31	19×13	49.2	B
386	方形	26×25	10×9	38	H
387	方形	38×33	26×19	56	F
388	方形	25×23	9×5	35.2	F
389	方形	23×19	10×8	24.8	C
390	不明	77×62	16×13	71.2	B
391		64×43	25×19	62.4	D
392					欠番
393	不明	20×16	7×5	38.8	B
394	方形	20×(11)	8×4	23.6	D
395	方形	26×22	12×4	29.2	D
396	不明	18×15	6×4	23.8	D
397	楕円形	26×(18)	12×12	52.9	H
398	楕円形	40×25	19×11	54.8	E
399	方形	70×37	21×15	61.9	B
400	(楕円形)	30×27	17×13	35.1	I
401	不明	40×(34)	17×16	73.7	F
402	不明	20×(16)	12×6	40	D
403	(円形)	(35×32)	8×6	68.7	B
404	(楕円形)	(32)×30	10×7	29.9	B
405	不明	52×30	13×6 6×4	58.8 58.6	F
406	円形	43×(32)	7×5	107.2	B
407		31×(26)	8×3	28.8	C
408					欠番
409	方形	29×28	22×15	10.2	B
410	(円形)	46×25	19×16	34.4	F
411	不明	26×(19)	10×(5)	19	F
412	不明	(36×18)	(30×12)	15	断面図より計
413	(方形)	38×(12)	24×(8)	13	断面図より計
414	不明	86×72	57×42	38.6	
415		47×22	(23)×22	25.3	



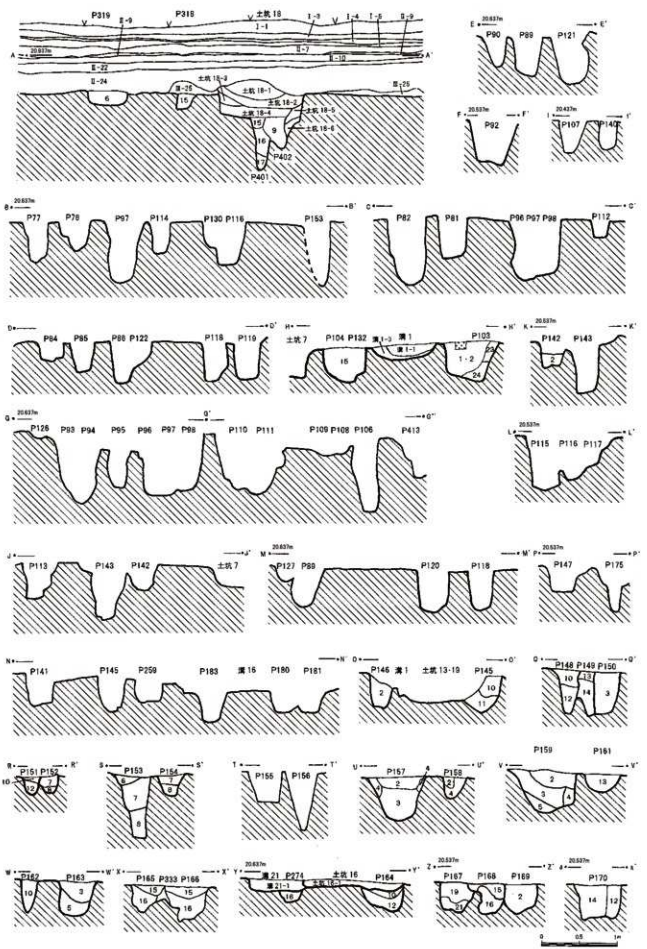
第60図　大井宿遺跡第16地点礎石（1/30）、土坑①・ピット①（1/50）



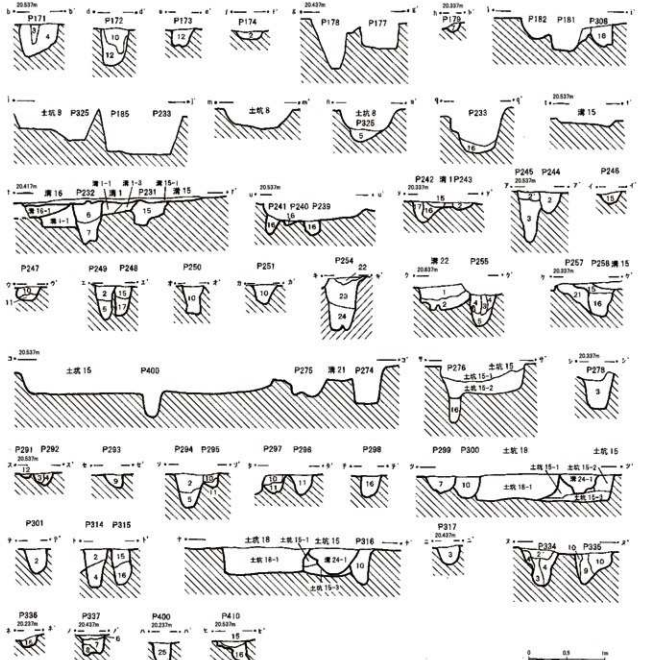
第61図　大井宿遺跡第16地点土坑①土層図・ピット①土層図（1/50）



第62図　大井宿遺跡第16地点土坑②・ピット②（1/50）



第63図　大井宿遺跡第16地点土坑②土層図・ピット②土層図（1/50）

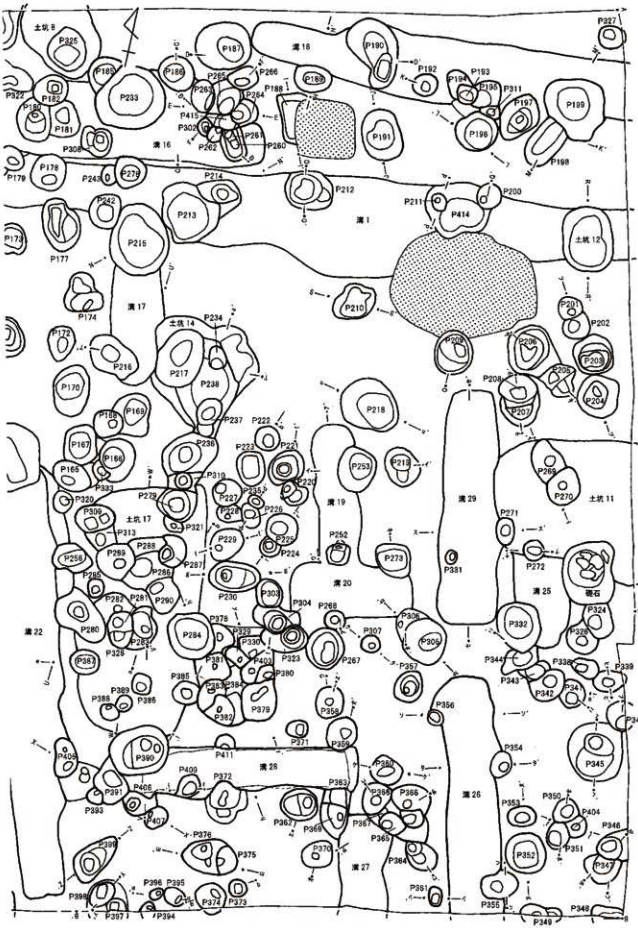


第64図　大井宿遺跡第16地点土坑②土層図2・ピット②土層図2（1/50）

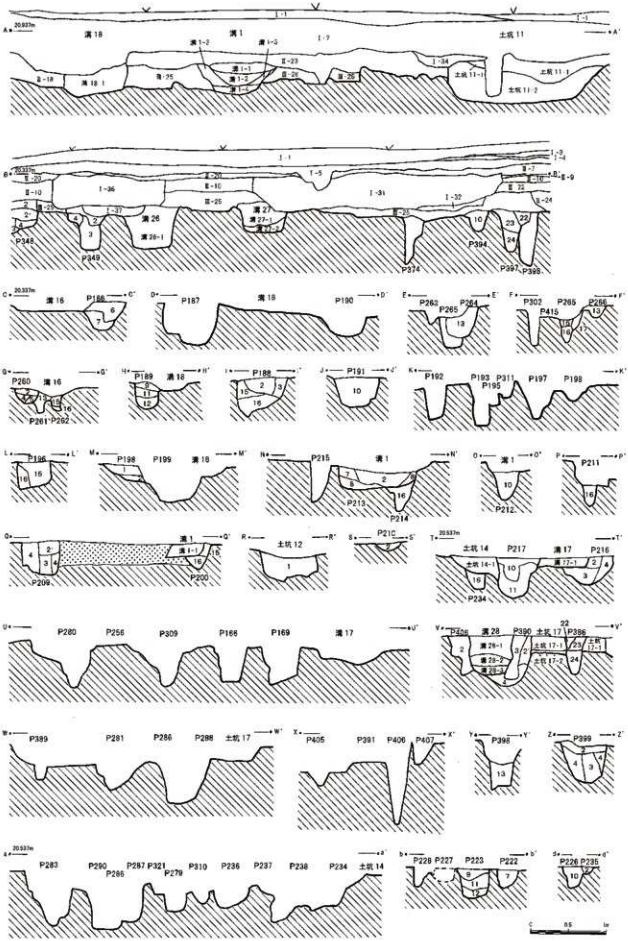
第29表　大井宿遺跡第16地点溝一覧表

（単位cm）

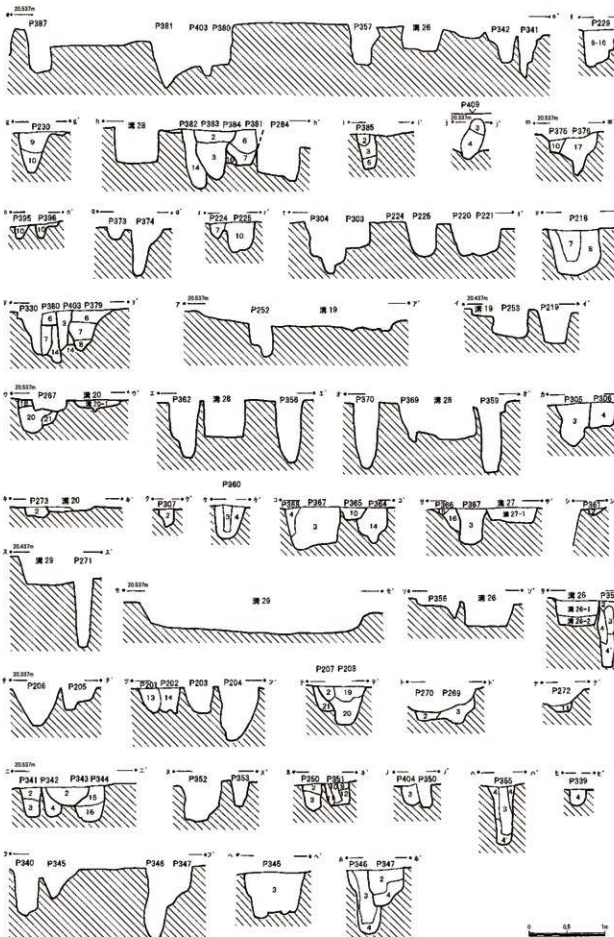
No.	断面形態	確認面径	底径	深さ	備考
1	浅い「U」字状	1,930×50～135	1,896×28～123	41.1	
2	「U」字状	(116)×70	(200)×60	21.8	
3	「U」字状	(382)×40	(376)×30	23.0	
4	「U」字状	410×40	(390)×30	32.1	
5	「U」字状	(153)×50	(143)×28	15.1	
6	「U」字状	(266)×(33)	(238×20)	12.0	
7	「U」字状	(175)×35～45	(164)×17～20	15.2	
8	「U」字状？	(265×45)	—	37.9	
9	不明	(98×143)	(15×133)	42.0	
10	「U」字状	(283)×45	(244)×34～37	21.8	
11	「U」字状	(230)×42	(250)×22	12.1	
12	「U」字状	(470)×42	—×(38)	13.3	
13	「U」字状	(124)×57	(116)×54	10.7	
14	浅い「U」字状	306×50	(286)×30	9.0	
15	浅い「U」字状	288×76	274×60	8.5	
16	浅い「U」字状	445×100	415×83	13.0	
17	浅い「U」字状	(150)×68	(140)×48	25.4	
18	浅い「U」字状	(505)×50～88	(494)×28～66	14.0	
19	「U」字状	(185)×50～55	(180)×40～45	24.7	
20	浅い「U」字状	160×70	148×58	11.8	
21	浅い「U」字状	(148)×78	(118)×68	14.2	
22	「U」字状	(550)×56～85	518×26～66	47.6	
23	浅い「U」字状	(60)×60	(60)×49	15.6	
24	浅い「U」字状	(75)×65	(40)×40	27.9	
25	浅い「U」字状	(120)×74	(98)×40	29.2	
26	「U」字状	(314)×60	310×42～55	46.6	
27	「U」字状	(125)×55	(108)×40	29.0	
28	「U」字状	(300)×52	(272)×48	49.1	
29	「U」字状	308×64～80	(272)×50～62	46.9	



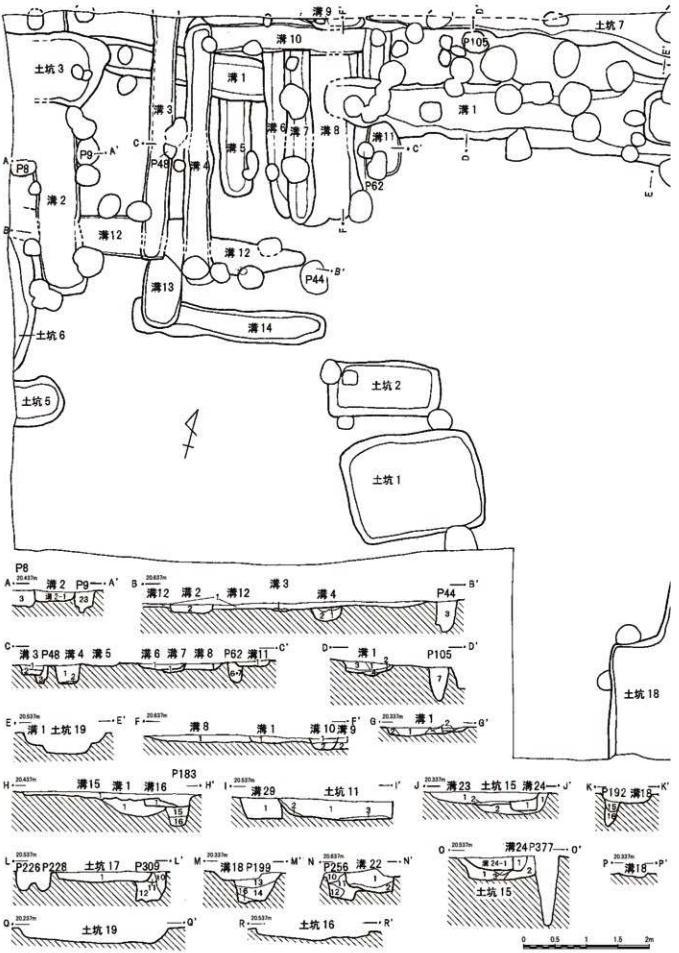
第65図　大井宿遺跡第16地点土坑③・ピット③（1/50）



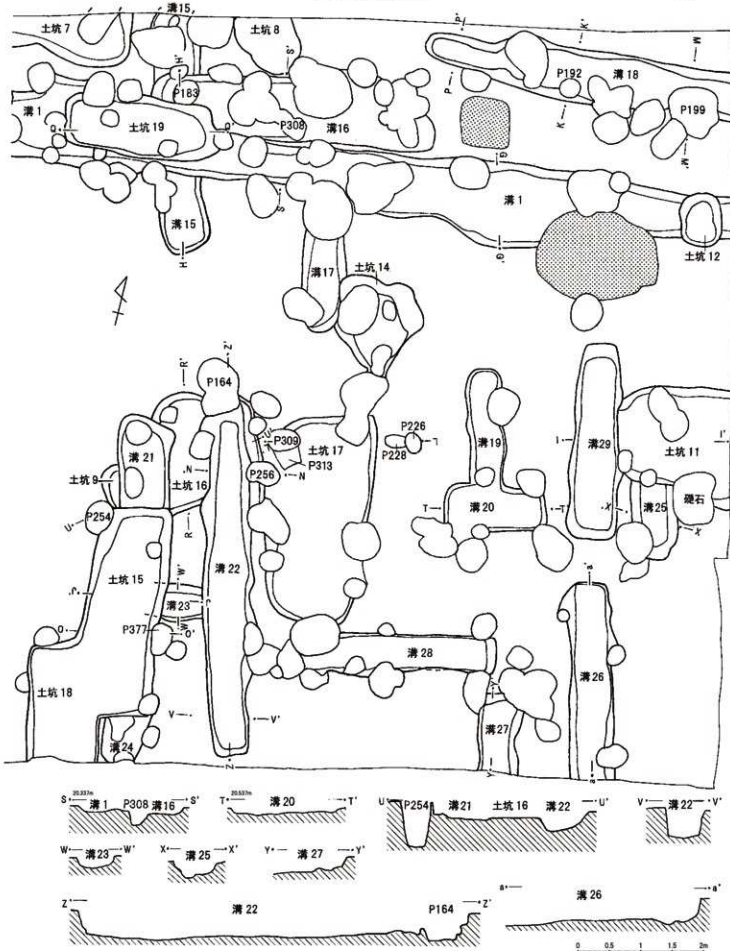
第66図　大井宿遺跡第16地点土坑③土層図・ピット③土層図（1/50）



第67図　大井宿遺跡第16地点土坑③土層図2・ピット③土層図2（1/50）



第68図　大井宿遺跡第16地点溝①（1/60）



第69図　大井宿遺跡第16地点溝②（1/60）

Ⅰ. 表土・撹乱
Ⅱ. 整地層
Ⅲ. 包含層・遺構掘込面又は下層より遺構掘込
Ⅰ-1. 灰白色砂礫　締り強、粘性弱、
Ⅰ-2. 黒褐色土　土質は多様。ローム土・灰色粘土・礫を多く含む、ビニール・油塊など現代遺物含む。
Ⅰ-3. 黒褐色土　締り強、粘性有、1cm 以下ローム粒・礫を少し含む
Ⅰ-4. 黄褐色土　締り強、粘性有、ローム土主体、5cm 以下礫を少し、最下部に灰色砂を薄く含む
Ⅰ-5. 暗褐色土　締り強、粘性有、5cm 以下礫を多く含む
Ⅰ-6. 灰色粘土　締り強、粘性強、
Ⅱ-7. 黒褐色土　締り強、粘性有、1cm 以下ロームブロックを少し、5mm 焼土を僅かに含む、部分的にローム土主体となる
Ⅱ-8. 黄褐色土　締り強、粘性有、ローム土主体
Ⅱ-9. 黒褐色土　締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒・焼土粒を少し含む
Ⅱ-10. 黒褐色土　締り強、粘性強、粘性の強いローム土
Ⅱ-11. 暗黄褐色土　締り強、粘性有、ローム土主体で、しみ状に黒褐色土をやや多く含む
Ⅰ-12. 黒褐色土　締り強、粘性有、ローム粒・炭化物を少し含む
Ⅰ-13. 褐灰色土　締り強、粘性有、ローム粒を少し含む
Ⅰ-14. 橙褐色土　締り強、粘性有、被熱して乾燥したようなローム土
Ⅰ-15. 黒褐色土　締り強、粘性有、締り強いが、やや関節が目立つ、硬質土ブロックや、部分的に橙褐色 2cm 以下ロームブロックを多く含む
Ⅰ-16. 橙褐色土　締り強、粘性弱、15 層に挟まれる、変色した 1cm 以下ロームブロック・粒が主体でボソボソしている
Ⅱ-17. 褐灰色土　締り強、粘性有、被熱したような橙褐色土を多く含む
Ⅱ-18. 黒褐色土　締り有、粘性有、ローム粒を少し含む
Ⅱ-19. 黒褐色土　締り強、粘性有、ローム粒・礫を少し含む、灰色味がある
Ⅱ-20. 黒褐色土　締り強、粘性有、2cm 以下ロームブロックを多く含む
Ⅱ-21. 黒色土　締り強、粘性有、1cm 以下ロームブロック・粒を少し含む
Ⅱ-22. 黒褐色土　締り強、粘性有、茶褐色みのある 1cm 以下ロームブロック・粒をやや多く含む
Ⅱ-23. 黒褐色土　締り有、粘性有、硬質の黒褐色土ブロックを多く含む
Ⅱ-24. 黄褐色土　締り強、粘性有、ローム土主体
Ⅲ-25. 黒褐色土　締り強、粘性有、部分的にロームブロック・粒をやや多く含む、やや関節が目立つ、（しみ状にロームブロックを少し含む、下部にソフトロームがやや多く混ざる）
Ⅲ-26. 暗褐色土　ソフトローム土をやや多く、ローム粒を少し含む
Ⅰ-27. 暗褐色土　締り有、粘性有、暗褐色土ベースに、炭化物・灰主体
Ⅰ-28. 暗褐色土　締り有、粘性有、3cm 以下ロームブロック・ローム粒を多く含む
Ⅰ-29. 黄褐色土＋黒褐色土　締り有、粘性有、上部はローム土主体、中位は 5mm 以下ローム粒をやや多く含む黒褐色土、下部は黄褐色シルト主体
Ⅰ-30. 黒褐色土　締り有、粘性有、3cm 以下ロームブロック・5cm 以下礫やや多く含む
Ⅰ-31. 黄褐色土　締り有、粘性有、ロームブロック主体、ややボソボソしている
Ⅰ-32. 黒褐色土　締り有、粘性有、2cm 以下茶褐色ロームブロックやや多く含む
Ⅰ-33. 黒褐色土　締り有、粘性有、1cm 焼土少し含む
Ⅰ-34. 黒褐色土　締り有、粘性有、ローム粒少し含む、色調は黒色味強い
Ⅰ-35. 暗褐色土　締り有、粘性有、ローム粒やや多く含む
Ⅰ-36. 黒褐色土　締り有、粘性有、5～10mm 茶褐色ロームブロック多く含む、ややボソボソしている
Ⅰ-37. 黒褐色土　締り有、粘性有、1cm 以下ロームブロック・粒少し含む
Ⅰ-38. 黒褐色土　締り有、粘性有、2cm 以下ロームブロック多く含む

ピット
1. 暗褐色土　締り強、粘性有、ローム粒・白色粘土粒少し含む
2. 黒褐色土　締り有、粘性有、3cm 以下硬質土ブロック・ハードロームブロック多く含む
2'. 暗褐色土　締り有、粘性有、ローム粒少し～やや多く含む
3. 黒褐色土　締り有、粘性弱、硬質土、ロームブロック・粒やや多く含む（柱痕状の堆積もある）
4. 暗褐色土　締り硬化、粘性有、ロームブロック・粒主体
4'. 黒褐色土　締り有、粘性有、ローム粒やや多く含む
5. 黒褐色土　締り有、粘性有、ロームブロックやや多く含む
6. 黒褐色土　締り有、粘性有、暗褐色ソフトローム多く含む
7. 黒褐色土　締り有、粘性有、1cm 以下ロームブロック・粒少し含む
8. 黒褐色土　締り有、粘性弱、ローム粒やや多く含む
9. 暗褐色土　締り有、粘性有、ロームブロック・粒を多く含む
10. 黒褐色土　締り有、粘性有、ソフトロームブロックをやや多く含む
11. 黒褐色土　締り硬化、粘性有、1cm 以下ロームブロック・粒多く含む、転圧受けている
12. 暗褐色土　締り有、粘性有、ソフトローム多く含む
13. 暗褐色土　締り有、粘性有、粘性の強いローム粒やや多く含む
14. 暗褐色土　締り有、粘性弱、1cm 以下ローム粒・ブロック・粒多く含む
15. 暗褐色土　締り有、粘性有、1cm 以下ロームブロック・粒少し～やや多く含む
16. 黒褐色土　締り有、粘性有、1cm 以下ロームブロック・粒少し～やや多く含む
17. 暗褐色土　締り有、粘性有、2cm 以下ロームブロック・粒やや多く含む
18. 黒褐色土　締り有、粘性弱、硬質土・ローム粒多く含む
19. 黒褐色土　締り硬化、粘性有、マーブル状にロームブロック・粒多く含む
20. 黒褐色土　締り硬化、粘性有、ロームブロック少し～やや多く含む
21. 黒褐色土　締り有、粘性有、ソフトローム主体、シミ状のローム土多く含む
22. 黒褐色土　締り有、粘性有、ローム粒・焼土少し含む
23. 黒褐色土　締り硬化、粘性有、5～10mm ロームブロック主体
24. 黒褐色土　締り有、粘性有、1cm 以下ロームブロック・粒少し含む
25. 黒褐色土　締り有、粘性有、1cm 以下ロームブロック・粒少し含む

溝 1
0. 灰色砂礫　締り強、粘性弱、5～80mm の円礫主体
1. 黒褐色土　締り有、粘性有、ロームブロック・粒（茶褐色）少し含む
2. 黒褐色土　締り有、粘性有、1cm 以下ロームブロック多く含む
3. 黒褐色土　締り有、粘性有、2cm 以下ロームブロックやや多く含む
4. 黒褐色土　締り有、粘性有、黒褐色土をベースにロームブロックが主体

溝 2
1. 黒褐色土　締り強、粘性有、硬質の暗褐色土ブロックを含む、1cm 以下ロームブロック・粒少し含む
2. 黒褐色土　締り有、粘性有、2mm 以下ローム粒少し含む

溝 3
1. 黒褐色土　締り有、粘性有、硬質の 2cm 以下暗褐色土ブロックやや多く含み、2 層より色調明るい、5mm 以下ローム粒やや多く含む
2. 黒褐色土　締り強、粘性有、ローム粒 5mm 以下やや多く含む

溝 4
1. 暗褐色土　締り有、粘性有、2cm 以下ロームブロック・粒多く含む
2. 黒褐色土　締り強、粘性やや弱、1cm 以下ローム土・ロームブロック・粒少し含む

溝 6
1. 黒褐色土　締り有、粘性弱、5mm 以下暗褐色土粒多く含む

溝 7
1. 暗褐色土　締り強、粘性有、1mm 以下ローム粒・焼土少し含む

溝 8
1. 暗褐色土　締り有、粘性有、ロームブロック・粒多く含む

溝 9
1. 黒褐色土　締り有、粘性有、ローム粒少し含む
2. 黒褐色土　締り有、粘性有、1 層より黒色味強い、ローム粒少し含む

溝 10
1. 黒褐色土　締り有、粘性有、ローム粒やや多く含む
2. 黒褐色土　締り有、粘性有、ローム粒少し含む

溝 11
1. 黒褐色土　締り有、粘性有、3mm 以下ローム粒・ロームブロック少し含む

溝 12
1. 黒褐色土　締り強、粘性有、色調やや明るく、5mm 以下ローム粒少し含む

溝 15
1. 黒褐色土　締り硬い、粘性有、1cm 以下ロームブロック・粒やや多く含む

溝 16
1. 暗褐色土　締り有、粘性有、5mm 以下ローム粒多く含む

溝 17
1. 黒褐色土　締り有、粘性有、ローム粒少し含む
2. 暗褐色土　締り有、粘性有、1cm 以下ロームブロック・粒少し含む

溝 18
1. 暗褐色土　締り有、粘性有、ロームブロック・粒多く含む

溝 19
1. 暗褐色土　締り強、粘性有、しみ状のソフトロームブロック・粒・1cm 以下黒色土粒やや多く含む

溝 20
1. 暗褐色土　締り硬い、粘性有、ローム粒やや多く、焼土少し含む

溝 21
1. 暗褐色土　締り有、粘性有、ロームブロック・粒やや多く含む

溝 22
1. 暗褐色土　締り有、粘性有、1cm 以下ロームブロック・粒やや多く含む
2. 黒褐色土　締り有、粘性有、ソフトローム土を多く含み、色調明るい、1cm 以下ロームブロック・粒やや多く含む

溝 23
1. 褐灰色土　締り有、粘性有、1cm 以下ロームブロック・粒少し含む
2. 黒褐色土　締り有、粘性有、ローム粒少し含む

溝 24
1. 黒褐色土　締り有、粘性有、1cm 以下ロームブロック・粒少し含む

溝 26
1. 暗褐色土　締り有、粘性有、ローム粒やや多く含む
2. 黒褐色土　締り有、粘性有、ローム粒少し含む

溝 27
1. 暗褐色土　締り有、粘性有、1cm 以下ソフトロームブロック・粒多く含み、色調やや灰色味がある

溝 28
1. 暗褐色土　締り有、粘性有、ローム粒多く、2cm 以下黒色土ブロック含む
2. 黒褐色土　締り有、粘性有、ローム粒多く色調明るい、1cm 以下ロームブロック少し含む

溝 28
1. 暗褐色土　締り有、粘性有、1cm 以下ロームブロック・粒やや多く含む
2. 暗褐色土　締り有、粘性有、1cm 以下ロームブロック・粒多く含む
3. 暗褐色土　締り有、粘性有、ローム粒少し含む、黒色味強い

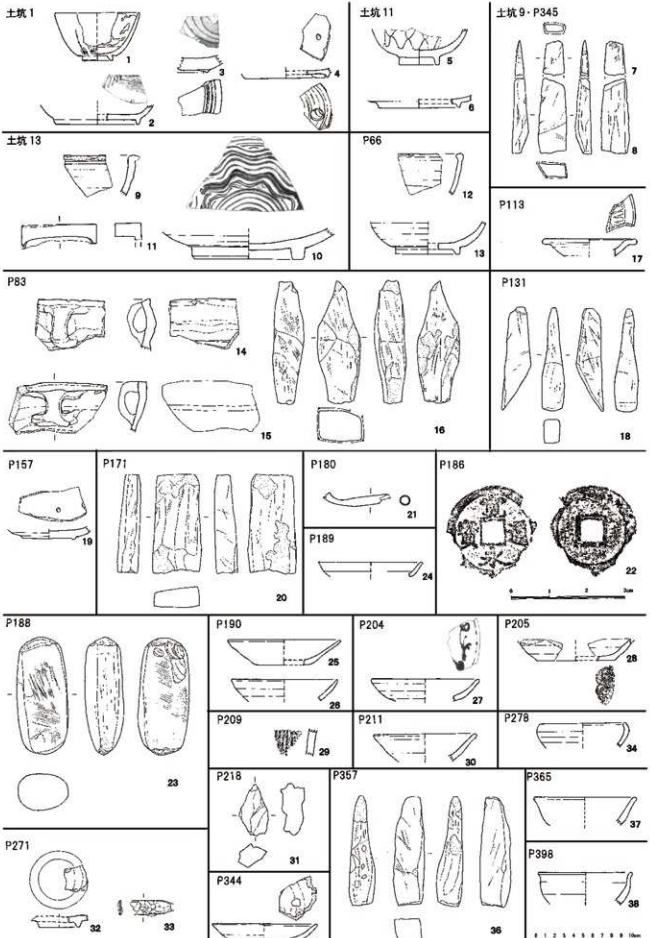
溝 29
1. 黒褐色土　締り強、粘性有、1cm 以下ロームブロック・粒少し含む

溝 30
1. 暗褐色土　締り強、粘性有、ローム粒やや多く、ロームブロック少し含む
2. 黒褐色土　締り有、粘性有、ローム粒やや多く含む

大井宿遺跡第16地点土層説明①

土坑1
a. 黒褐色土　締り強、5mm以下ローム粒やや多く含む
b. 黒褐色土　締り強、5mm以下ローム粒・ソフトローム土多く含む
1. 暗褐色土　締り強、1cm以下ロームブロック・粒やや多く含む
2. 礫層　9cm以下円礫主体、隙間を黒褐色土が埋める
土坑2
1. 礫層　8cm以下円礫主体、隙間を黒褐色土が埋める
土坑3
1. 黒褐色土　締り強、粘性有、5mm以下ローム粒少し含む
2. 黒褐色土　締り有、粘性有、1cm以下ロームブロック・粒やや多く含む
土坑9
1. 黄褐色土　締り強、粘性有、5cm以下ロームブロック主体
土坑11
1. 黒褐色土　締り強、粘性有、1cm以下ロームブロック・粒やや多く含む
2. 黒褐色土　締り強、粘性有、ローム粒少し含む
3. 黒褐色土　締り強、粘性有、2cm以下ロームブロック多く含む
土坑12
1. 黒褐色土　締り強、粘性有、2cm以下硬質土ブロック多く、1cm以下ロームブロック少し含む
土坑15
1. 黒褐色土　締り有、粘性有、ローム粒やや多く、3cm以下ロームブロック少し含む
2. 黒褐色土　締り有、粘性有、1cm以下ロームブロック・粒を斑状に多く含む
3. 黒褐色土　締り有、粘性有、粘性やや強く、ローム粒少し含む
土坑16
1. 暗褐色土　締り有、粘性有、1cm以下ロームブロック・粒・黒色土粒やや多く含む
土坑17
1. 暗褐色土　締り有、粘性有、1cm以下ロームブロック・粒やや多く含む
2. 黒褐色土　締り強、粘性有、1cm以下ロームブロック・粒少し含む
土坑18
1. 暗褐色土　締り有、粘性有、5mm以下ローム粒少し含む、ナ－ナ’では多い
2. 黒褐色土　締り強、粘性有、1cm以下ロームブロック多く含む
3. 暗褐色土　締り強、粘性有、ローム粒少し含む
4. 暗褐色土　締り強、粘性有、1cm以下ロームブロック・粒やや多く含む
4. 暗褐色土　締り強、粘性有、1cm以下ロームブロック・粒やや多く含む
5. 暗褐色土　締り強、粘性有、含有物は少ない
6. 暗褐色土　締り強、粘性有、1cm以下ロームブロック・粒やや多く含む
土坑19
1. 黒褐色土　締り有、粘性有、1cm以下ロームブロック・粒少し含む
2. 暗褐色土　締り有、粘性有、ソフトローム土主体
1号防空壕
1. 埋土　締り有、黒色土・ローム混合、草・ゴミ入る、前回の調査後
2. ローム塊　天井崩落土、ぐずぐず
3. ローム塊　天井崩落土、ブロック状で又層ぐらい硬い
SX15
1. 黒褐色土　締り有、粘性弱、ピットの3層に同じ
1号防空壕
1. 埋土　締り有、黒色土・ローム混合、草・ゴミ入る、前回の調査後
2. ローム塊　天井崩落土、ぐずぐず
3. ローム塊　天井崩落土、ブロック状で又層ぐらい硬い
4. 締り弱、ローム主体で黒色土混入、砂石少量
5. 締り有、10～30cm大コンクリ塊主体、ローム混入
6. 締り有、ローム主体、黒色土・砂石少量
7. ロームと黒色土・コンクリ塊の混合土、床面の堆積土
11. 黄褐色土　締り有、ややサクサクする、0.5～1mm赤色粒少量、黒色粒極少量
12. 黄褐色土　締り有、粘性弱、ややサクサクする、0.1mm黒色粒極少量
13. 黄褐色土　締り有、粘性弱、ややサクサクする、1～3mm小砂利極少量、0.5～1mm橙色粒極極少量
14. 黄褐色土　締り有、粘性無、サクサクする、1～10mm砂利少量
15. 灰黄褐色土　締り有、粘性無、サクサクする、5～20mm砂利少量、ややシルト質、1～3mm橙色粒少量
16. 砂礫層　締り有、硬くもろい
S-55 掘方
1.50mm以下ロームブロック主体　締り弱、粘性有、ややシミ状黒褐色土含む、掘方の埋戻し
2.50mm以下ロームブロック主体　締り強、粘性有、ほぼ純粋ロームに近い、掘方の埋戻し
3. 灰色砂礫　締り弱、粘性弱、土台下の砂利層、地山ロームに敷きつめる、礫は円礫

大井宿遺跡第16地点土層説明②



第70図　大井宿遺跡第16地点出土遺物①（1/1・1/4）

第 71 図　大井宿遺跡第 16 地点出土遺物②（1/1・1/4）

第 30 表　大井宿遺跡第 16 地点出土遺物観察表

（単位cm・g）

No.	出土遺構名	種別・器種	口径・長さ	底径・幅・内径	高さ・厚さ	重量	技法・文様・その他	推定産地	推定年代	備考
1	土坑 1	陶器 / 碗 / 小杉碗	9	3.2	5.1・0.5		轆轤成形 / 灰釉 / 鉄絵若松文	信楽	1780～1860 年代	口縁～底部片
2	土坑 1	磁器 / 皿 / 蛇の目凹型高台皿	—	—	—・0.6		轆轤成形 / 染付海浜文	肥前	1760～1820 年代	底部片
3	土坑 1	磁器 / 皿 / 蛇の目凹型高台皿	—	—	—・1.4		轆轤成形 / 染付	肥前	1760～1820 年代	底部片
4	土坑 1	陶器 / 皿 / 志野皿	—	—	—・0.7		轆轤成形 / 長石釉 / 見込・底裏にピン痕	瀬戸・美濃	1590～1660 年代	底部片
5	土坑 11	磁器 / 碗 / 厚手碗	—	4.3	—・0.9		轆轤成形 / 染付一重網目文	肥前	1690～1800 年代	胴下部～底部片
6	土坑 11	陶器 / 皿 / 志野皿	—	—	—・0.5		轆轤成形 / 長石釉	瀬戸・美濃	1590～1660 年代	底部破片
7	土坑 9	石製品 / 砥石	(3.5)	2.2	0.7	8.83	石質：火成岩 / 灰白色 / 表面黒褐色化	群馬県	近世以降	同一個体の可
8	P345	石製品 / 砥石	(8)	3	1.7	51.98	石質：火成岩 / 灰白色 / 表面黒褐色化	群馬県	近世以降	能性有り
9	土坑 13	陶器 / 鉢	—	—	—・0.7		轆轤成形 / 灰釉	瀬戸・美濃	—	口縁～胴上部片
10	土坑 13	陶器 / 鉢 / 刷毛目鉢	—	11.5	—・1.1		轆轤成形 / 白泥	肥前	1650～1710 年代	底部片
11	土坑 13	石製品 / 硯	(2.5)	8	2.9	67.2	石質：凝灰岩 / 灰白色 / 表面黒褐色化	—	近世以降	硯縁・墨地部残
12	土坑 13	陶器 / 鉢	—	—	—・0.4～0.7		轆轤成形 / 灰釉 / No.13 と同一個体か。	瀬戸・美濃	—	口縁～胴部片
13	土坑 13	陶器 / 鉢	—	(6.8)	—・0.5～0.7		轆轤成形 / 灰釉 / No.12 と同一個体か。	瀬戸・美濃	—	胴下部～底部片
14	P83	土器 / 焙烙	—	—	—・0.9～1.1		輪積み成形 / 外面に煤付着 / 胎土：瓦質	在地	16 世紀後半	内耳部片
15	P83	土器 / 焙烙	—	—	—・0.6～1.1		輪積み成形 / 外面に煤付着 / 胎土：瓦質	在地	16 世紀後半	内耳部片
16	P83	石製品 / 砥石	(12.9)	4.5	3.2	215.5	石質：火成岩 / 灰白色 / 表面黒褐色化	群馬県	近世以降	両端一部欠
17	P113	陶器 / 皿 / 折縁菊削文皿	—	—	0.6		轆轤成形 / 灰釉 / 丸ノミ削ぎ	瀬戸・美濃	1570～1600 年代	口縁～底部片
18	P131	石製品 / 砥石	10.2	2.7	2.5	73.88	石質：火成岩 / 灰白色 / 表面黒褐色化	群馬県	近世以降	完形
19	P157	陶器 / 皿 / 志野皿	—	(6.6)	—・0.7		轆轤成形 / 長石釉 / 見込にピン痕	瀬戸・美濃	1590～1660 年代	底部片
20	P171	石製品 / 砥石	(10.5)	5.2	2.3	212.93	石質：火成岩 / 灰白色 / 表面黒褐色化	群馬県	近世以降	先端欠
21	P180	金属製品 / 煙管雁首	長さ (7.0)、雁首径 1.0、火皿径 (9.1)			3.7	鍛造 / 材質：銅	—	18 世紀後半	火皿・小口欠損
22	P186	金属製品 / 銭貨 / 寛永通宝	外径 (2.4)・内径 1.9・孔径 0.5・厚さ 0.1			2.13	鋳造 / 穿径 6 mm / 古寛永 / 材質：銅	—	1630～1650 年代	周辺部一部欠
23	P188	石器 / 磨製石斧	12.3	5.3	4.1	490.8	石質：輝緑凝灰岩	—	縄文時代	ほぼ完形
24	P189	陶器 / 皿	—	—	—・0.5		轆轤成形 / 灰釉	瀬戸・美濃	16 世紀	口縁部片
25	P190	土器 / カワラケ	—	—	3.5～7.7		轆轤成形 / 胎土：土師質	在地	16 世紀	口縁～底部片
26	P190	土器 / カワラケ	—	—	3.5～5.8		轆轤成形 / 胎土：土師質	在地	—	口縁～胴部片
27	P204	陶器 / 皿 / 志野織部皿	—	—	—・0.6		轆轤成形 / 長石釉 / 鉄絵	瀬戸・美濃	1600～1660 年代	口縁～胴部片
28	P205	土器 / カワラケ	—	—	4.3～7.7		轆轤成形 / 底部に回転糸切痕（磨滅）/ 胎土：土師質	在地	16～17 世紀	胴下部～底部片
29	P209	土器 / 縄文土器	—	—	9.4		にぶい褐色 / Lr 撚糸文 / 加曽利 E I 式	在地	縄文時代中期	胴部片
30	P211	土器 / カワラケ	—	—	4.1～7.0		轆轤成形 / 胎土：土師質	在地	16 世紀	口縁～胴下部片
31	P218	石製品 / 火打石	5.5	3.1	2.3	40.55	石質：石英	—	近世以降	一部欠
32	P271	陶器 / 皿 / 志野皿	—	—	—・0.6		轆轤成形 / 長石釉 / 内面に無釉の輪台（りんだい）	瀬戸・美濃	1590～1660 年代	底部片
33	P271	金属製品 / 刀子	(4.32)	1.57	(2.8)	4.29	材質：鉄	—	—	先端部一部残
34	P278	土器 / 小型鉢（つぼつぼ）	口径 (9) 最大径 (9.6)		5.6		轆轤成形 / 胎土：土師質	在地	—	口縁～胴上部片
35	P344	陶器 / 皿 / 志野皿	(11.2)	(6.6)	(2.2・0.5)		轆轤成形 / 長石釉	瀬戸・美濃	1590～1660 年代	口縁～底部片
36	P357	石製品 / 砥石	11.6	3.3	2.7	129.22	石質：火成岩 / 灰白色 / 表面黒褐色化	群馬県	近世以降	ほぼ完形
37	P365	土器 / カワラケ	—	—	4.6～7.5		轆轤成形 / 胎土：土師質	在地	16 世紀	口縁～胴下部片
38	P398	陶器 / 碗 / 天目茶碗	—	—	0.3～0.8		轆轤成形 / 鉄釉	瀬戸・美濃	—	口縁～胴上部片
39	溝 4	土器 / 縄文土器	—	—	—・0.6		にぶい褐色 / 内外面とも沈線の区画内に細縄文を施文。加曽利 B 式。	在地	縄文時代後期	口縁上部片
40	溝 4	金属製品 / 銭貨	外径 (2.3)・内径 1.8・孔径 0.6・厚さ 0.1			2.13	材質：銅 / 鋳造 / 銭文判読不可・裏面外縁の段差なし	—	—	表面摩滅
41	溝 17	陶器 / 皿 / 志野皿	—	—	0.6～0.8		轆轤成形 / 長石釉	瀬戸・美濃	1590～1660 年代	底部片
42	遺構外	磁器 / 碗	8.3	3.1	4.8・0.6		轆轤成形 / ゴム版絵付松竹梅文 / 内面に青上絵「大井村役場新築記念・」銘 / 注記No. H2	瀬戸・美濃	1937	完形
43	遺構外	陶器 / 皿 / 折縁皿	(12.7)	(7.3)	2.6・0.6～0.8		轆轤成形 / 口縁内面灰釉 / 内面タール付着 / 注記No. H1	瀬戸・美濃	1570～1600 年代	口縁～底部片
44	遺構外	陶器 / 皿 / 丸皿	—	—	—・0.5		轆轤成形 / 灰釉 / 注記No. H8	瀬戸・美濃	1600～1700 年代	口縁部片
45	土坑 4	磁器 / 碗	—	—	—・1.2		轆轤成形 / 青磁釉 / 畳付は面取りされ、釉付着 / 注記No. 40	中国（龍泉）	—	底部片
46	遺構外	土器 / 焙烙	—	—	—・0.8～1.1		輪積み成形 / 胎土：瓦質 / 注記No. H3	在地	17 世紀以降	口縁～胴部片
47	遺構外	陶器 / 擂鉢	—	—	—・1.0～1.5		轆轤成形 / 鉄釉 / 底裏に右回転糸切痕 / 注記No. H5	瀬戸・美濃	—	底部片
48	遺構外	石製品 / 火打石	3.5	2.6	2.4	23.3	石質：石英 / 被熱のためか色調暗灰色	—	近世以降	一部欠
49	遺構外	石製品 / 砥石	(4.9)	1.5	1.3	14.8	石質：粘板岩 / 表面黒褐色化	—	近世以降	両端欠
50	遺構外	金属製品 / 銭貨 / 皇宋通宝	外径 (2.3)・内径 1.9・孔径 0.7・厚さ 0.1			1.68	材質：銅 / 鋳造 / 皇宋通寳（北宋）	北宋	初鋳 1038	周辺部欠

第18章　本村遺跡の調査

Ⅰ　遺跡の立地と環境

本村遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南西約800m、砂川堀の左岸で標高15～20mに位置する。遺跡内には旧砂川の流路であった埋没河川が幾筋も認められ、それに取り残されるように微高地が存在する。砂川堀は狭山丘陵外縁に湧水を成し、武蔵野台地上を南西から北東に流れて新河岸川に合流する。

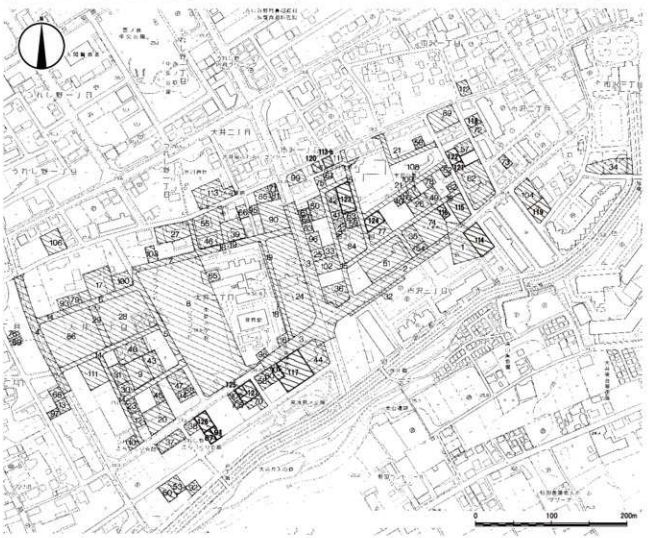
砂川堀の流域には多くの遺跡で、旧石器時代からの人々の活動の跡をみることが出来る。現在においても砂川の果たす役割は当時にも増して大きいものであるが、残念ながらその役割は大きく異なり、用水機能としての砂川から排水機能の砂川堀と言うのが現在の状況である。市内を流れる砂川堀も河川改修により、その姿を都市下水路に変え、往時を忍ばせる面影は残されていない。

周辺の遺跡では、砂川堀を挟んで縄文時代中期の大集落と奈良平安時代の製鉄関連遺跡である東台遺跡、旧石器時代の大井戸上遺跡と西台遺跡が位置する。左岸には旧石器時代～縄文時代の小田久保遺跡、旧石器時代～近世の大井氏館跡遺跡が位置する。本遺跡が中世から近世にかけての中心的な集落とするならば、大井氏館跡遺跡は近世川越街道整備以後の中心的な宿場および集落とみることができる。いずれにしても、町内における砂川堀流域の本村遺跡周辺は旧石器時代から現代にかけて良好な生活・住環境であったことがわかる。2012年12月現在127地点で調査を行い、旧石器時代の礫群・石器集中、縄文時代の落とし穴・炉穴、中世～近世の掘立柱建物跡・方形竪穴状遺構・井戸・溝・柵列・地下式壙・茶毘跡などを多数検出している。

Ⅱ　本村遺跡第121地点

（1）調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2009年3月30日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじ



第72図　本村遺跡の地形と調査区（1/5,000）

み野市教育委員会に提出された。

申請地は遺跡の東部に位置している。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2009年４月22日、幅約２×２ｍのグリッド３ヶ所を設定し、半分を重機による表土除去後、人力による表面精査を行った。その結果、グリッド１で現地表面から約1.6～2.5ｍの深さで地山ローム層を確認した。遺構・遺物は確認されず工事による掘削が遺跡に影響を与えないため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。なお旧石器時代の確認調査は行っていない。

Ⅲ　本村遺跡第122地点

（1）調査の概要

調査は宅地造成に伴うもので、原因者より2009年４月30日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。

申請地は遺跡の東部に位置している。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2009年５月25日から、幅約1.5ｍのトレンチ４本、幅約１ｍのトレンチ２本を設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行った。その結果、現地表面から約60㎝の深さで中世の地下式坑とみられる遺構を確認した。

開発計画が決定した後、建物等の配置を再確認し、工事による掘削が遺構に影響を与える場合は本調査等を行うこととした。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。なお旧石器時代の確認調査は行っていない。

（2）遺構と遺物

①遺構

トレンチ１・２で遺構らしきプランを確認した。

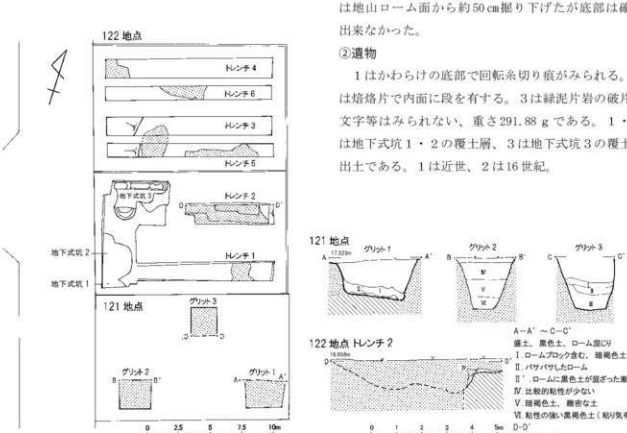
本地点南西の道路を挟んだ第52地点で地下式坑３基を検出しているため本地点では地下式坑としたが、一部を検出しただけであり、地下式坑ではない可能性も考えられる。

【地下式坑１・２】トレンチ１で「凸」状のプランを確認した。地山ローム面から約26㎝掘り下げたが底部は確認出来なかった。

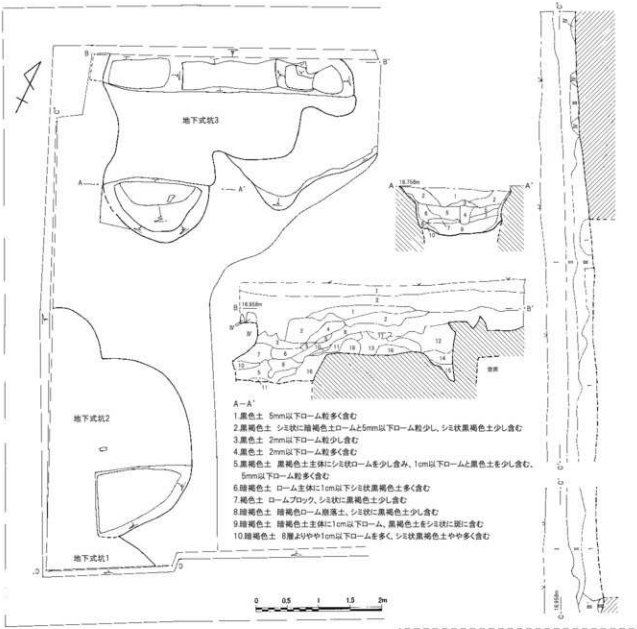
【地下式坑３】トレンチ２で「凸」状のプランを確認した。プランの南側では地山ローム面から約80㎝掘り下げたが底部は確認出来なかった。プランの北側では地山ローム面から約50㎝掘り下げたが底部は確認出来なかった。

②遺物

１はかわらけの底部で回転糸切り痕がみられる。２は焙烙片で内面に段を有する。３は緑泥片岩の破片で文字等はみられない、重さ291.88ｇである。１・２は地下式坑１・２の覆土層、３は地下式坑３の覆土層出土である。１は近世、２は16世紀。



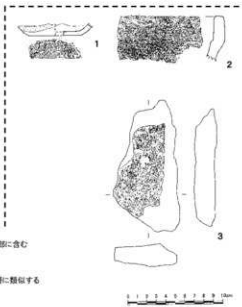
第73図　本村遺跡第121・122地点遺構配置図（1/300）、土層図（1/150）



A－A'
1.黒色土　5mm以下ローム粒多く含む
2.黒褐色土　シミ状に暗褐色土ロームと5mm以下ローム粒少し、シミ状黒褐色土少し含む
3.黒色土　2mm以下ローム粒少し含む
4.黒色土　2mm以下ローム粒多く含む
5.黒褐色土　黒褐色土主体にシミ状ロームを少し含み、1cm以下ロームと黒色土を少し含む、5mm以下ローム粒多く含む
6.暗褐色土　ローム主体に1cm以下シミ状黒褐色土多く含む
7.褐色土　ロームブロック、シミ状に黒褐色土少し含む
8.暗褐色土　暗褐色ローム崩落土、シミ状に黒褐色土少し含む
9.暗褐色土　暗褐色土主体に1cm以下ローム、黒褐色土をシミ状に斑に含む
10.暗褐色土　8層よりやや1cm以下ロームを多く、シミ状黒褐色土やや多く含む

B－B'
1.黒褐色土　締り強、粘性有、1mm以下ローム粒少し、同焼土・炭化物極少し含む
2.暗褐色土　締り強、粘性有、1cm以下ローム多量、5mm以下黒色土多く含む
3.暗褐色土　締り強、粘性有、主体に5mm以下ローム粒多く含む
4.黒褐色土　締り強、粘性有、黒褐色土主体に5mm以下ローム粒多く含む
5.褐色土　締り強、粘性有、ロームブロック
6.黒褐色土　締り強、粘性有、4層にほぼ同じ、ローム粒やや少ない
7.褐色土　締り強、粘性有、ローム主体にシミ状に黒褐色土少し含む
8.暗褐色土＋黒褐色土　締り強、粘性有、暗褐色土と黒褐色土が斑状に含む
9.暗褐色土　締り強、粘性有、ローム主体にシミ状に黒褐色土を少し含む、全体として8層の続きに見える
10.黒褐色土　締り強、粘性有、黒褐色土主体にシミ状に暗褐色土を少し、5mm以下ローム少し含む
11.黒褐色土＋暗褐色土　締り強、粘性有、黒褐色土と暗褐色土が斑状に含まれる
12.褐色土　締り強、粘性有、7層に同じ
13.暗褐色土＋黒褐色土　締り強、粘性有、5cm大ロームブロック、1cm以下ロームと、シミ状黒褐色土の混合
14.褐色土　締り弱、粘性有、ボロボロする2cm以下ロームブロック主体に同黒色土極少し含む
15.黒褐色土　締り弱、粘性有、5cm以下黒褐色土と暗褐色土の混合
16.褐色土　締り強、粘性有、地山ロームが陥没したものでほぼ地山を呈する

C－C'－C''
Ⅰ.暗褐色土　締り強、粘性有、盛土表土　3cm以下ロームブロック多く含み5mm大白色礫多く含む、レンズ状に黒色土を一部に含む
Ⅱ.黒褐色土　締り強、粘性有、1cm以下ローム粒多量、5mm以下炭化物やや多く含む(旧表土・耕作土)
Ⅲ.黒褐色土　締り強、粘性有、Ⅱ層より黒い、1cm大ローム少し、5mm以下ローム多く含む、3mm以下炭化物極少し含む
Ⅲ'.黒褐色土　締り強、粘性有、Ⅲ層よりlcm以下ローム、5mm以下ローム粒を含む割合が少ない、地下式坑1・2の覆土1層に類似する
Ⅳ.地山ローム
1.黒色土　締り強、粘性有、　mm以下ローム粒



第74図　本村遺跡第122地点地下式坑（1/60）、出土遺物（1/4）

第19章　西台遺跡の調査

Ⅰ　遺跡の立地と環境

西台遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南西約1.5㎞、砂川堀の右岸で標高26～30ｍの台地上に位置する。砂川堀は狭山丘陵外縁に湧水を成し、武蔵野台地上を南西から北東に流れて新河岸川に合流する。東台遺跡同様砂川堀との比高差は約７～８ｍで急崖をなし、左岸は緩やかな傾斜を成す。遺跡の範囲は東西340ｍ、南北110ｍ、遺跡面積約50,000㎡である。

周辺の遺跡は、砂川堀の対岸に縄文時代の遺跡である小田久保遺跡、同一崖線上の下流へ向かって大井戸上遺跡、東台遺跡と続く。

本遺跡は1992年の初調査以来、2012年12月現在８地点で試掘調査が行われている。1994年に行った第２地点の試掘調査では旧石器時代の礫群と石器群を広範囲に確認した。また、第３地点では木炭窯を検出し、東台遺跡との関連が注目される。

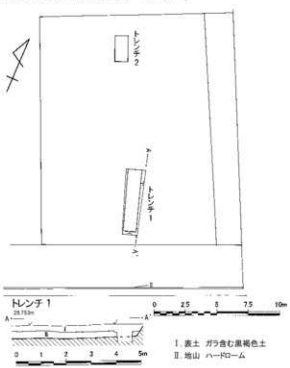
Ⅱ　西台遺跡第７地点

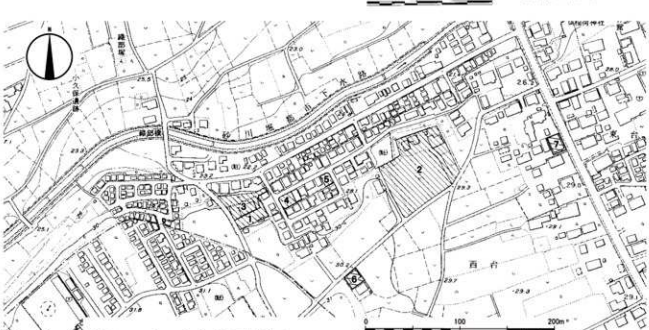
（1）調査の概要

調査は店舗兼用個人住宅建設に伴うもので、原因者より2010年２月22日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。

申請地は遺跡の東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。重機については申請者から建物解体時のものを提供していただいた。

試掘調査は2010年３月５日、幅約１ｍのトレンチ２ヶ所を設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行った。表土層が５～20㎝で浅いため、地山層を削平している可能性が高い。遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。なお旧石器時代の確認調査は行っていない。





第75図　西台遺跡の地形と調査区（1/4,000）第７地点調査区域図（1/300）、土層図（1/150）

第20章　東台遺跡の調査

Ⅰ　遺跡の立地と環境

東台遺跡は東武東上線ふじみ野駅の南約1㎞、砂川堀右岸の台地上に位置する。砂川堀は狭山丘陵外縁に湧水を成し、武蔵野台地上を南西から北東に流れて新河岸川に合流する。標高は24～26ｍで砂川堀との比高差は約5ｍで急崖を成し、左岸が緩やかな傾斜を成すのとは対照的である。

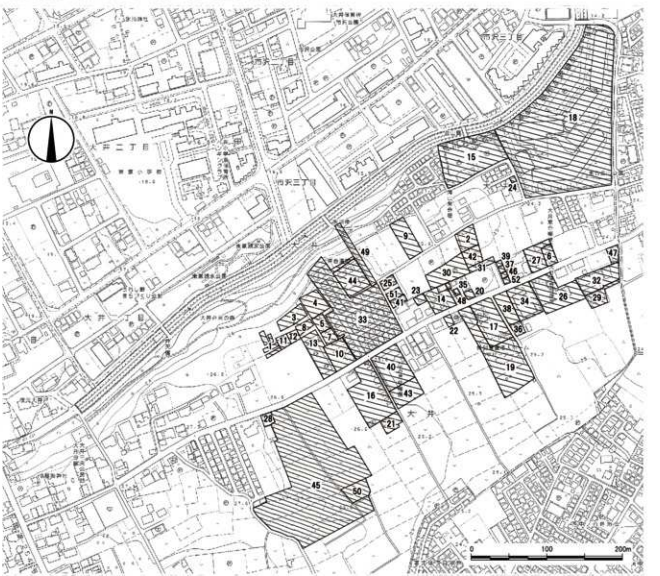
遺跡内には砂川堀に向かって小さな埋没谷が数本確認されている。遺跡の範囲は東西700ｍ、南北250ｍ、遺跡面積約170,000㎡、市内で最大規模の遺跡であり、約17％の30,000㎡を調査している。

旧石器時代の調査では、第18地点の調査で埋没谷に沿った崖沿いにⅥ・Ⅶ層～Ⅳ層下部のナイフ型石器を伴う礫群等が分布する。

縄文時代の調査では、早期1軒、後期6軒、中期144軒、不明20軒の住居跡等多数の遺構と遺物が確認されている（2012年12月現在）。特に中期の住居跡は双環状に配置しており武蔵野台地縁辺部における拠点集落の一つである。

奈良・平安時代には遺跡の北東部の第15・18地点で8世紀後半の製鉄炉や木炭窯など、県内でも有数の規模と古さを誇る製鉄関連遺跡を検出している。

周辺の遺跡は、砂川堀右岸の西約50ｍに大井戸上遺跡、西約300ｍに旧石器時代の西台遺跡が位置する。また、砂川堀を挟んだ左岸に旧石器時代～近世の本村遺跡と大井氏館跡遺跡が位置する。今後、旧石器時代では西台遺跡・本村遺跡との関係が、奈良・平安時代から中世にかけては本村遺跡、大井氏館跡遺跡との関係が注目される。



第76図　東台遺跡の地形と調査区（1/4,000）

第31表　東台遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 （ ）は試掘調査	面積 （㎡）	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	大井東台	1981.		町史編纂	遺構無し、縄文中期土器	
2	大井東台640-7	1981. 12. 14～1982. 2. 13	667	宅地造成	縄文中期住居跡12、旧石器時代石器	東Ⅲ
3	大井東台672	1982. 5. 19～6. 15	666	宅地造成	炉穴7、土坑2、柱穴群	東Ⅳ
4	大井東台671	1982. 6. 17～11. 18	587	農地転用	旧石器ユニット、縄文中期住居跡3、後期住居跡1、集石4、土坑14、溝	東Ⅳ
5	大井東台	1983. 7. 25～8. 9	195	町史編纂	縄文中期住居跡2、土坑1	東台遺跡
6	大井東台	1984. 1. 9～1. 12		宅地造成	縄文中期住居跡1	
7	大井東台670-2	1984. 5. 15～6. 13		共同住宅	縄文中期住居跡4、後期住居跡1	
8	大井東台672	1984. 8. 18～9. 21	345	町史編纂	縄文中期住居跡1、炉穴2、土坑14	東台遺跡Ⅱ
9	大井東台	1984. 10. 25～1985. 2. 15	1,000	駐車場	旧石器礫群、縄文中期住居跡22、後期住居跡1、炉穴、ピット群	町資Ⅰ
10	大井東台670-1	1985. 10. 1～11. 25	896	住宅	縄文中期住居跡5、土坑5	東Ⅵ
11	大井東台673	1986. 1. 14～3. 20	660	宅地造成	縄文中期住居跡2、集石土坑3、土坑1、ピット	東Ⅵ
12	大井東台673	1987. 5. 6～6. 26	330	転地返し	縄文早期住居跡1、土坑18、平安時代住居跡2、溝1	東Ⅶ
13	大井東台670-6	1988. 1. 14～2. 27	971	倉庫	縄文中期住居跡9、集石1、土坑9、ピット20	東Ⅷ
14	大井東台649-16他	1988. 1. 27～2. 24	735	住宅	縄文中期住居跡12、屋外埋甕1、集石土坑1、土坑8、ピット38	東Ⅸ
15	大井市沢577-1他	(1989. 10. 17～11. 10) 1989. 11. 17～1990. 8. 1	700	住宅	落とし穴1、木炭窯1、粘土採掘坑2、奈良・平安土器	東Ⅹ
16	大井713-4, 5	(1990. 8. 1～4)	3,048	資材置場	縄文中期住居跡1、土坑1	東Ⅺ
17	大井621-1	(1990. 9. 5～12) 1990. 10. 9～12. 27	1,470	診療所	縄文中期住居跡8、土坑30、ピット94、柵列	東Ⅺ
18	大井529-1, 588	(1991. 3. 11～5. 20) 1992. 2. 24～1994. 7. 5	20,000	共同住宅	旧石器礫群、石器集中17、落とし穴1、竪形製鉄炉7、木炭窯9、採掘坑4、土坑9、溝、柵列、道路跡、平安土器	東台製鉄遺跡
19	大井621	(1992. 5. 31～6. 7)	4,489	特養新設	縄文中期住居跡8	町Ⅰ
20	大井649-27	1992. 1. 30	5	個人住宅	縄文中期住居跡1	町Ⅲ
21	大井713-11, 12	1992. 3. 7～11	299	個人住宅	遺構無し、縄文土器片	町Ⅲ
22	大井651-6	(1994. 5. 10～11) 1994. 5. 30～7. 30	146	店舗	縄文中期住居跡6、土坑1	調13集
23	大井649-12, 13	(1995. 6. 23～27)	285	個人住宅	縄文中期住居跡2	町Ⅳ
24	大井634-20	(1995. 7. 6)	58	個人住宅	縄文時代集石、土坑	町Ⅳ
25	大井648-13, 14	1995. 10. 22～12. 16	296	個人住宅	縄文中期住居跡5、後期住居跡1、袋状土坑1、土坑10、ピット6	町Ⅳ
26	大井東台601-1, 4, 5	(1996. 11. 6～18) 1997. 1. 14～3. 18	2,248	共同住宅	縄文中期住居跡1、土坑3、落とし穴1、ピット24	調13集
27	大井600-1	(1997. 2. 19) 1997. 2. 19～3. 14	965	個人住宅	縄文中期住居跡1、炉穴1、土坑1、落とし穴1、ピット44	町Ⅵ
28	大井東台710-4	(1997. 3. 17～19)	231	個人住宅	遺構無し、縄文土器片	町Ⅵ
29	大井東台606-3	(1998. 2. 27～3. 3) 1998. 3. 4～5	500	個人住宅	縄文早期炉穴9、ピット2	町Ⅶ
30	大井640-1	(1998. 11. 4～12)	1,330	駐車場	縄文中期住居跡1、屋外炉、ピット	町Ⅷ
31	大井630-3, 640-8	(1999. 5. 7～21)	186	道路築造	縄文中期住居跡2	町Ⅸ
32	大井603-1	(2000. 8. 4～9)	92	製茶工場	ピット3	町Ⅹ
33	大井662-1	(2000. 8. 4～8) 2000. 8. 10～2001. 1. 25	7,076	分譲住宅	石器群4、礫群4、縄文中期住居跡30、後期住居跡4、掘立柱建物跡1、炉穴14、集石土坑4、他	町Ⅹ
34	大井東台624-2	(2002. 3. 12～25) 2002. 3. 26～5. 8	1,414	共同住宅	縄文中期住居跡5、土坑11、ピット16	町Ⅺ
35	大井東台649-31	(2001. 9. 6～8)	48	個人住宅	縄文中期住居跡1	町Ⅺ
36	大井東台614	(2001. 10. 15～11. 2)	272	倉庫	ピット5、土器片	町Ⅺ
37	大井東台626-12	2001. 10. 12～11. 5	100	個人住宅	縄文中期住居跡2、ピット1	町Ⅺ
38	大井東台614-3	(2002. 1. 28～2. 15)	787	駐車場	縄文中期住居跡1、竪穴状遺構1、集石土坑2、土坑2、ピット2	町Ⅺ
39	大井626-8	(2002. 6. 3～20)	100	個人住宅	ピット3、縄文土器片、石屑	町Ⅻ
40	大井661	(2003. 10. 6～11. 4)	1,875	幼稚園	土坑6、ピット10、柵列	町Ⅻ
41	大井東台648-4	(2004. 5. 11～14)	182	個人住宅	縄文中期住居跡3、集石1、土坑1、屋外ピット1	町Ⅻ
42	大井640-4	(2004. 9. 7～17)	515	教会	縄文中期住居跡2、落とし穴1、土坑3、ピット20	町Ⅻ
43	大井東台661-6	(2005. 1. 13)	964	駐車場	ピット4	町Ⅻ
44	大井東台664-15	2005. 12. 8～28	200	個人住宅	縄文中期住居跡1、後期住居跡2、土坑5、ピット9	市2
45	大井東台710-1, 711-1, 717-1, 717-2	(2006. 5. 31～9. 1) 2006. 9. 8～2007. 3. 7	7,971	東台小学校	縄文中期住居跡1、後期住居跡2、土坑5、ピット10	市3
46	大井東台626-11	(2006. 9. 4～6) 2006. 9. 15～28	100	個人住宅	縄文中期住居跡2、集石2、土坑1	市3
47	大井東台602-4, 602-5	(2006. 9. 19～20)	320	個人住宅	遺構・遺物無し	市3
48	大井東台649-21	(2007. 1. 16～26)	60	個人住宅	縄文中期住居跡3	市3
49	大井東台646, 647-1, 665	(2008. 1. 28～30, 2. 4～19) 2008. 1. 31～2. 1	174	東台小学校通学路築造	縄文時代中期～後期住居跡1検出・5軒を確認、屋外埋甕1、粘土採掘坑1、土坑1、ピット1、溝6	市4
50	大井東台716-1の一部	2008. 7. 14～22	646	東台小学校プール	遺構・遺物無し	市6
51	大井東台648-2	(2009. 3. 10～18) 2009. 3. 18～5. 7	296	個人住宅	縄文時代中期住居跡6、土坑4、ピット14、縄文土器、石器	市6
52	大井東台626-8, 14	2009. 5. 12～19	100	分譲住宅	縄文時代中期住居跡2確認	市8
53	大井東台603-1	(2011. 8. 8～18)	1,251	工場	土坑1	未報告
54	大井東台651-6・13・14	(2011. 9. 5～12)	309. 3	店舗	縄文時代住居1、縄文土器	未報告
55	大井東台694-2・3	(2011. 9. 20～22)	1,268	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
56	大井東台字市沢296-4	(2009. 5. 12～19)	59. 6	分譲住宅	遺構遺物なし	未報告

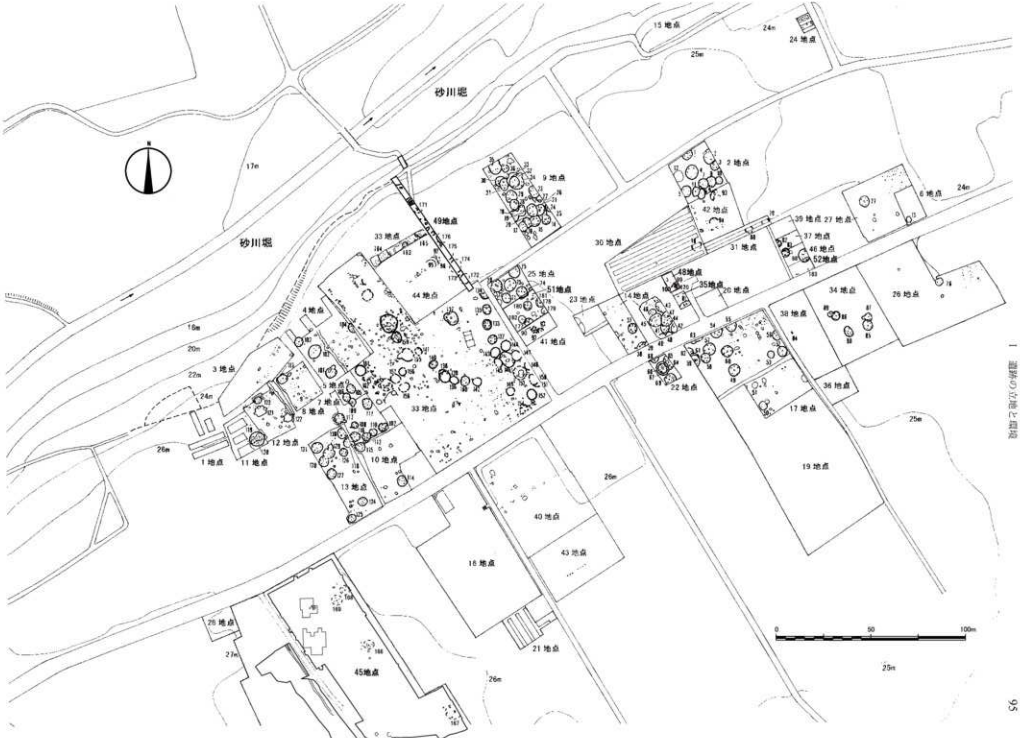
※東：大井町東部遺跡群、町：大井町町内遺跡群、町資：大井町史資料編Ⅰ、調査会報告：大井町遺跡調査会報告、市：ふじみ野市市内遺跡群

第32表　東台遺跡住居跡一覧表

住居番号	調査率	平面形（）は推定	規模	炉 地床	炉 埋設	炉 石囲	埋甕	拡張	壁溝	備考	時期	文献
1号	90%	(円形)	(550×?)			○		有	○	曽利系多い	加曽利EⅠ新	東Ⅲ
2号	完掘	(円形)	(400)	○						床まで削平	加曽利EⅠ古	東Ⅲ
3号	90%	隅丸方形	(?×510)	○	○	○			○	大木系有り	加曽利EⅠ新古段	東Ⅲ
4号	完掘	隅丸方形	760×750	②					○	拡張	加曽利EⅢ	東Ⅲ
5号	完掘	円形	460×470	○					○	床まで削平	加曽利EⅢ	東Ⅲ
6号	完掘	円形	420×430	○						床削平	加曽利EⅢ	東Ⅲ
7号	完掘	円形	510×525×25	②					○	曽利・連弧多い	加曽利EⅡ古	東Ⅲ
8号	完掘	隅丸方形	510×460×35	○				有	○	7住に切られる	加曽利EⅠ新	東Ⅲ
9号	50%	円形	約500	○						床削られる	加曽利EⅢ	東Ⅲ
10号	完掘	円形	410×400		○					攪乱	加曽利EⅠ新	東Ⅲ
11号	完掘	円形	410×420	○							加曽利EⅢ	東Ⅲ
12号	20%	円形									加曽利EⅢ	東Ⅲ
13号	完掘	円形	300×270	○							加曽利EⅢ	町資1
14号	完掘	円形張出	430×418	○			○		○		加曽利EⅠ新	町資1
15号	完掘	円形	514×520			○				連弧文多い	加曽利EⅡ古	町資1
16号	完掘	長円形	525×424		○					15住を切り、17号に切られる	加曽利EⅢ	町資1
17号	完掘	長円形・円形	478×422		○		○	有		曽利系多い	加曽利EⅡ新	町資1
18号	90%	円形	523	②				有		19住を切る	加曽利EⅠ新	町資1
19号	完掘	隅丸台	517	○	○			有		曽利系多い	加曽利EⅠ古	町資1
20号	完掘	長円形	658×583	○		○				21住を切る	加曽利EⅠ中	町資1
21号	完掘	隅丸台形	462×462			○					加曽利EⅠ新	町資1
22号	50%	円形？	切×292	○	○		○	有	○	23住を切る	加曽利EⅢ	町資1
23号	80%	長円形	622×約470	○				有	○	曽利系多い	勝坂Ⅲ末	町資1
24号		長円形	約110残外		○						加曽利EⅡ新	町資1
25号	完掘	長円形？	西南攪乱		○		○			24住に切られる	加曽利EⅢ	町資1
26号											勝坂	町資1
27号		長円形	部分発掘								時期不明	町資1
28号	完掘	長円形	473×450		○	○					加曽利EⅡ新	町資1
29号	完掘	？	切×563	○	②		○	有		28住に切られる	加曽利EⅠ新	町資1
30号	完掘	長円形？	切×532		○				○	31住に切られる	加曽利EⅢ	町資1
31号	完掘	長円形	618×472	○	○				○	曽利系多い	勝坂Ⅲ新	町資1
32号	完掘	長円形	573×525	○						34住と複合	加曽利EⅢ	町資1
33号	完掘	柄鏡形	?×520	○			②		○	32住に切られる	称名寺古	町資1
34号	完掘	隅丸方形	720×628		○				○	32住と複合	加曽利EⅠ	町資1
35号	90%	長円形	510×540	○	○	○	○				加曽利EⅡ古	町資1
36号	30%	円形	西半部不明	○		○	○			柄鏡形？	加曽利EⅣ	町資1
37号	完掘	長円形	530×430×15		○	○	○	有		入口部に段	勝坂Ⅱ古	東Ⅸ
38号	40%	隅丸方形	南半部未掘			○			○	39住を切る	加曽利EⅠ新	東Ⅸ
39号	10%	隅丸方形	大部分未掘	不明							加曽利EⅢ	東Ⅸ
40号	35%	隅丸方形	南半部未掘	○					○		加曽利EⅠ新	東Ⅸ
41号	完掘	楕円形	490×390×20	○						44住に切られる	勝坂Ⅲ新	東Ⅸ
42号	45%	不明	南部・東部未掘	○							加曽利EⅠ新	東Ⅸ
43号	60%	長円形	630×600×60	②				有			加曽利EⅢ	東Ⅸ
44号	完掘	隅丸方形	514×580×35	○		○		有	○	41・47住を切る	加曽利EⅠ新	東Ⅸ
45号	完掘	長楕円形	740×600×25	③		○	2回以上拡張			44住と接する	加曽利EⅢ	東Ⅸ
46号	完掘	楕円形	400×380×10	○						45住に切られる	加曽利E	東Ⅸ
47号	30%	円形	380×未測×25							44住に切られる	阿玉台Ⅲ	東Ⅸ
48号	20%	隅丸方形	南大部分未掘						○		加曽利EⅠ新	東Ⅸ
49号	完掘	円形	560×530×30		○	○					加曽利EⅢ	東Ⅺ
50号	完掘	長円形	420×380×30								阿玉台Ⅲ	東Ⅺ
51号	完掘	円形	330×310×30							柱穴無し	阿玉台Ⅲ	東Ⅺ
52号	完掘	円形	495×490×50	○	○			有			勝坂Ⅱ	東Ⅺ
53号	完掘	円形	340×310×30	○						8号土坑で壊れる	勝坂Ⅱ	東Ⅺ
54号	40%	円形	?×460×65	○	○		○	有	○		加曽利EⅠ古	東Ⅺ
55号	70%	(円形)	半径550	○	○			有			阿玉台Ⅲ	東Ⅺ
56号	60%	(円形)	(480)×半掘	○	○						加曽利EⅢ	東Ⅺ
57号	完掘	円形	600×600	○	○		②				加曽利EⅡ	
58号	完掘	楕円形	520×420		○				○		勝坂Ⅲ末	
59号	50%	(楕円形)	560×半掘								加曽利EⅠ新	
60号	完掘	円形	520×510		○		○	有			加曽利EⅠ新	
61号	50%	(円形)	1/2調査								加曽利EⅢ	
62号	25%	(楕円形)	1/4調査		○					北大部分未発掘	加曽利EⅠ古	
63号	45%		一部調査	未掘			②	有	○		加曽利EⅠ古	
64号	70%	(楕円形)	453×(600)×25			○				65・67住と複合	加曽利EⅢ	調13集
65号	50%	(楕円形)	562×不明×25	○				有	○	64住と複合、東半未発掘	加曽利EⅠ古	調13集
66号	完掘	(楕円形)	460×360×40			○	○		△		加曽利EⅠ新古段	調13集
67号	完掘	隅丸方形	667×590×72		○			有	○	拡張、64住と複合	加曽利EⅠ古	調13集
68号	20%	(楕円形)	380×不明×?	未掘						北大部分未発掘	不明	調13集
69号	75%	(楕円形)	580×不明×30			○		有	○	拡張、南部分未発掘	加曽利EⅢ	調13集
70号	90%	円形	570×(510)×30	○			○	有			加曽利EⅡ中段	町Ⅳ
71号	完掘	(楕円形)	440×410×16		○			有			勝坂Ⅱ新	町Ⅳ
72号	15	隅丸(長)方形	(480)×?	未掘					○	西大部分未発掘	加曽利EⅠ新	町Ⅳ
73号	完掘	楕円形	600×550×30	○			②	有		炉建有り、75住と重なる	加曽利EⅡ中段	町Ⅳ
74号	完掘	楕円形	612×514×40		○			有			勝坂Ⅲ古段	町Ⅳ
75号	70%	柄鏡形	(590)×?				○			73住・8号土坑と重なる	堀之内	町Ⅳ
76号	完掘	楕円形	391×366	○		○					加曽利EⅡ新	調13集
77号	完掘	隅丸六角形	595×490×24	○			○				加曽利EⅢ	町Ⅵ
78号	40%	不明	不明	○		○				床まで削平	加曽利EⅡ新段	町Ⅷ
79号	40%	不明	不明	未掘							不明	町Ⅸ
80号	20%	不明	不明	未掘							不明	町Ⅸ
81号	40%	不明	不明	○							不明	町Ⅺ
82号	65%	(円形)	(546)×?		○			有	○	異系統土器多し	加曽利EⅠ新古段	町Ⅺ
83号	30%	(楕円形)	410×310×35		○					覆土内に土坑	勝坂Ⅱ	町Ⅺ・市
84号	30%	(楕円形)	壁溝のみ検出	○						攪乱で炉のみ検出	不明	町Ⅺ
85号	完掘	楕円形	530×476	○							不明	調17集
86号	完掘	円形	464×492	○	○					曽利系多し	加曽利EⅡ古	調17集
87号	完掘	柄鏡形	415×552		○		②				加曽利EⅢ・EⅣ	調17集
88号	完掘	不明	(465×380)		○		○			床削平	加曽利EⅢ	調17集
89号	完掘	不明	(335×315)		○					削平	阿玉台Ⅱ古	調17集
90号	30%	不明	(390×90×10)	未掘								町Ⅻ
91号	25%	(円形)	(200×170)	○					○	[illegible]		町Ⅻ
92号	25%	(円形)	330×200×30	○					○		勝坂末	町Ⅻ
93号		不明	(700)	○					○	床面まで削平される		町Ⅻ

住居番号	調査率	平面形（）は推定	規模	炉 地床	炉 埋設	炉 石囲	埋甕	拡張	壁溝	備考	時期	文献
94号	33%	隅丸方形	570×180×10									町Ⅻ
95号	50%	(円形)	(504×423)							96・97住と複合		市2
96号		円形	(560×555)							95・97住と複合		市2
97号		不明	不明							95・96住と複合		市2
98号	90%	(隅丸方形)	670×630×35		○		△	有	○	覆土内に集石	加曽利EⅢ新	市3・8
99号	10%	(楕円形)	(?)×18	未掘					○	170住より新、100住より古	加曽利EⅡ	市3
100号	25%	(楕円形)	(?)×12	未掘						99・170住を埋める	加曽利EⅡ	市3
101号	完掘	円形	695×600		○						加曽利EⅠ新	東Ⅳ
102号	完掘	円形	480×460	○							堀之内1	東Ⅳ
103号	完掘	隅丸台形	700×615	②						有孔鍔付土器多い	加曽利EⅠ新	東Ⅳ
104号	50%	円形	500×500		○						加曽利EⅠ新古段	東Ⅳ
105号	完掘	楕円形	460×430		○		○			曽利系多い	加曽利EⅠ新	史30集
106号	完掘	円形	450×410			○					加曽利EⅢ古	史30集
107号	完掘	楕円形	380×390	②							加曽利EⅠ新	町資1
108号	完掘	長円形	395×325	○							加曽利EⅣ	町資1
109号		楕円形										
110号	完掘	円形	406×406	○						北関東系有り	加曽利EⅠ新	町資1
111号	完掘	隅丸長方形	486×437	②			○				加曽利EⅠ新	町資1
112号	完掘	円形	約420×408	○							加曽利EⅡ	町資1
113号	完掘	隅丸台形	450×460		○	○	○			曽利系多い	加曽利EⅠ新	東台Ⅱ
114号	完掘	長円形	510×450		○						勝坂末	東Ⅵ
115号	完掘	長円形	545×495	○							勝坂末・加曽利EⅠ	東Ⅵ
116号	完掘	長円形	575×520	○							加曽利EⅠ末	東Ⅵ
117号	完掘	柄鏡形？	(640)×590		○			有	○	入口有り	加曽利EⅣ	東Ⅵ
118号	80%	隅丸方形	650×610~630	○			○	有	○		加曽利EⅠ	東Ⅵ・Ⅷ
119号	完掘	円形	770×750							120号住居と重複	加曽利EⅡ	東Ⅵ・Ⅷ
120号	完掘	柄鏡形	390×(750)	上器・石囲炉			②	有	○	礫敷、埋設3	加曽利EⅣ	東Ⅵ・Ⅷ
121号	完掘	長方形	530×430					有	○	北カマド・東カマド	平安時代	東Ⅶ
122号	完掘	方形	400×370						○	[illegible]	平安時代	東Ⅶ
123号	完掘	円形	365×350					有			[illegible]	東Ⅶ
124号	完掘	正円形	465×455×7	○							加曽利EⅡ	東Ⅷ
125号	完掘	楕円形	420×370		○						阿玉台Ⅱ	東Ⅷ
126号	完掘	楕円形	465×420			○			○		加曽利EⅠ新	東Ⅷ
127号	完掘	長楕円形	365×495×10	②				有	○		加曽利EⅠ新	東Ⅷ
128号	完掘	隅丸方形	510×480	○	○	○		有	○	129住に切られる	加曽利EⅠ新	東Ⅷ
129号	完掘	隅丸方形	560×530	○					○	128住を切る	加曽利EⅡ	東Ⅷ
130号	70%	楕円形	540×510×20	○				有	○		加曽利EⅠ新	東Ⅷ
131号	完掘	不整円形	600×580			○					加曽利EⅠ	東Ⅷ
132号	完掘	隅丸方形	494×(480)	○				有	○	複合著しい	加曽利EⅠ新	調17集
133号	完掘	隅丸方形	580×520	○				有	○	円盤、耳栓	加曽利EⅠ新中段	調17集
134号	70%	隅丸方形	(434×344)		○			有	○		加曽利EⅠ古	調17集
135号	完掘	長円形	532×452	○							加曽利EⅡ	調17集
136号	完掘	楕円形	460×396			○		有	○		加曽利EⅠ新	調17集
137号	完掘	不整形	(836×829)	○				有			称名寺古	調17集
138号	完掘	不明	470×490	○	○			有		139住と複合	勝坂Ⅲ新	調17集
139号	完掘	柄鏡形	556×566	○			○			138住と複合、上製品	加曽利EⅣ	調17集
140号	完掘	隅丸方形	372×340		○				○		勝坂Ⅲ末	調17集
141号	完掘	(楕円形)	(336×512)	○	○					西側155住と複合	猪沢	調17集
142号	完掘	楕円形	414×396		○	○					加曽利E最古	調17集
143号	完掘	楕円形	446×340		○	○		有	○		加曽利EⅠ	調17集
144号	完掘	隅丸方形	520×556	○	○	○		2回有	○	複合か	加曽利EⅠ新古段	調17集
145号	完掘	楕円形	536×448		○			2回有	○	炉内北関東加曽利	加曽利EⅠ新古段	調17集
146号	完掘	(隅丸方形)	(526×454)	○				有			加曽利EⅠ新中段	調17集
147号	90%	楕円形	564×560		②	○		3回有	○		加曽利EⅠ新古段	調17集
148号	30%	不明	436×?	未掘				有	○		加曽利EⅠ新中段	調17集
149号	完掘	楕円形	388×410			○					加曽利EⅡ	調17集
150号	65%	(楕円形)	532×?	○				有	○	151住と複合 [illegible]	加曽利EⅢ新段	調17集
151号	40%	(隅丸方形)	(608×?)		○	○		有	○	150住と複合	加曽利EⅠ新新段	調17集
152号	完掘	(楕円形)	556×500	○	②	○		有	○	炉内上器	加曽利E最古	調17集
153号	完掘	(楕円形)	(616×544)		②			有			勝坂Ⅲ	調17集
154号	60%	(隅丸方形)	(364×544)	○				有			加曽利EⅢ古段	調17集
155号	完掘	柄鏡形	670×708	○			○	有		[illegible]	称名寺古	調17集
156号	完掘	楕円形	366×304					有			加曽利EⅠ新	調17集
157号	完掘	楕円形	530×526	○			○	有	○		加曽利EⅠ新新段	調17集
158号	完掘	楕円形	372×438	○	○			有			加曽利EⅠ新中段	調17集
159号	完掘	(柄鏡形？)	(686×530)								称名寺古	調17集
160号	完掘	(楕円形)	(488×484)								勝坂Ⅲ新	調17集
161号	完掘	隅丸方形	504×514	②				有	○	床面ミニチュア土器 [illegible]	加曽利EⅠ新・新段	調17集
162号	完掘	楕円形	不明	○			○伏			削平	加曽利EⅠ新・新段	調17集
163号	30%	(隅丸方形)	(216)×288								加曽利EⅡ	調17集
164号	60%	(円形)	(368×416)	○							加曽利EⅢ新段	調17集
165号	40%	不明	(350×496)	○							堀之内	調17集
166号	完掘	不明	(30?×28?)	○							不明	未報告
167号	70%	不明	(40?×?)	○							不明	未報告
168号	完掘	不明	(30?×30?)	○							不明	未報告
169号	完掘	不明	(28?×20?)	○							不明	未報告
170号	10%	不明	(?)×18								不明	市3
171号	50%	楕円形	(450)	○						部分発掘・保存	不明	市4
172号	トレンチ	不明	(510)	未検出						[illegible]	不明	市4
173号	トレンチ	不明	不明	未検出						[illegible]	不明	市4
174号	トレンチ	不明	(620)	未検出						[illegible]	不明	市4
175号	トレンチ	不明	(660)	未検出						未調査・保存	不明	市4
176号	トレンチ	不明	(460)	未検出						未調査・保存	不明	市4
177号		(楕円形)	(530)×405×25		○					[illegible]	勝坂末	市6
178号	50%	(円形)	600×(530)×40			○				181住より新	加曽利EⅡ	市6
179号	60%	(円形)	(510)×(520)×15			○					加曽利EⅡ	市6
180号	完掘	楕円形	582×540×42	○					○		勝坂末	市6
181号	50%	不明	不明						○	178住より旧	加曽利EⅡ	市6
182号	トレンチ	円形	418×382×23	○						[illegible]	勝坂Ⅲ	市6
183号	トレンチ	不明	330×128×?	未検出						未調査・保存	不明	市8

文献：東：大井町東部遺跡群、町：大井町町内遺跡群、町資：大井町史資料編1、調：大井町遺跡調査会報告、市：ふじみ野市市内遺跡群



第77図　東台遺跡の調査区と遺構分布図（1/2,000）

Ⅱ　東台遺跡第52地点

（1）調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2009年4月6日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の東部に位置している。隣接地の調査から本調査区に遺構が存在する可能性が高いため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2009年5月12日から、幅約1.5ｍのトレンチ2本を設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行った。その結果、現地表面から約55～60㎝の深さで縄文時代の住居跡を確認した。

申請者と再度協議の結果、現地表面に約20㎝の盛り土を行うため、30㎝以上の保護層が確保されることとなり、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、試掘調査を終了した。

（2）遺構と遺物

2006（平成18）年度に検出した98号住居跡の続きと、新たに183号住居跡を確認した。

①98号住居跡

【形状・規模】前回の調査では平面が隅丸の住居跡で、南北4.5ｍ×東西5.1ｍ、深さ35㎝、炉・周溝2本・主柱穴6本等を検出している。主柱穴の重複と周溝から住居の拡張や建替えと考えられる。

今回検出したのは、住居跡南側の一部で、2006年度に検出した部分との間には未検出の部分があり、さらに東側の一部は未検出である。時期は加曽利ＥⅡ式新相。

検出部の平面形は円形に近く、上端が東西4.82ｍ×南北1.4ｍ、床面が東西4.5ｍ×南北1.3ｍ、深さ30㎝である。

【柱穴】主柱穴はＰ9・10である。Ｐ9は確認面径28×(14)㎝、下端18×(10)㎝、深さ68.7㎝である。Ｐ10は確認面径67×63㎝、下端33×28㎝、深さ73㎝である

【周溝】周溝は2本検出した。内側の周溝は上幅17～22㎝×下幅8～12㎝、深さ10.4㎝、外側の周溝は上幅12～20㎝×下幅5～10㎝、深さ10～17㎝である。

【遺物出土状況】住居の覆土層から縄文土器片や石器が僅かに出土する。

【出土遺物】（第79図1～16）

1は深鉢形土器で、2006年度に出土したものに、今回出土した小片1点が接合した。頸部に2本の横位蛇行隆帯をめぐらし胴部に垂下する蛇行隆帯を貼り付ける。口縁部は半截竹管の内側を使い斜位の平行沈線列を、胴部は横位の浅い沈線文を施す。2は隆帯脇に2列の押引文を施す。3は口縁部で隆帯の区画内外にペン先状の刺突文、胴部は沈線文を施す。4は口縁部に3列の円形刺突文を施し、直下に沈線の連弧文を巡らす。5は地文ＲＬ縄文にキャタピラー文と波状角押文を施す。6は沈線文、7は低い隆帯の渦巻きと区画内に縄文施文、8は地文条線文に垂下隆帯貼り付け、9・11は地文条線文に沈線文、10は地文Ｌｒ燃糸文、12は地文条線文の底部、13は底部である。14は須恵器の碗で、轆轤成型である。1は阿玉台Ⅱ式、3・4・6・9・11は加曽利ＥⅡ新相の連弧文式か曽利式、5は阿玉台系、7は加曽利ＥⅡ～Ⅲ式、8は加曽利ＥⅠ式併行、10・12・13は中期に属する。15・16は黒曜石製の石鏃で覆土層出土。1は長さ1.83㎝、幅(1.3)㎝、厚さ0.245㎝、重さ0.39ｇである。2は長さ1.24㎝、幅(0.84)㎝、厚さ0.2㎝、重さ0.15ｇである。

②183号住居跡

【形状・規模】トレンチ2で円弧状に3.3×1.2ｍの範囲で広がる住居西側の一部を確認した。全体の形状や深さ等は不明である。試掘調査時、表土面からの深さは約55㎝であったが、その後約20㎝の盛土を行った。吸い込みの他、全体に撹乱がみられた。時期は縄文時代中期とみられる。

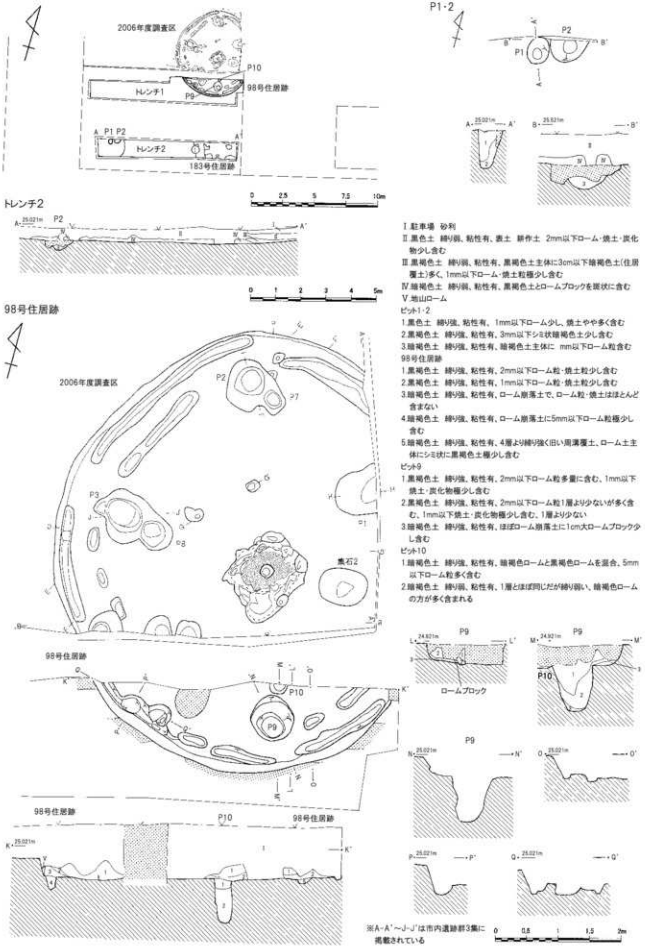
【遺物出土状況・出土遺物】（第79図17～29）

出土遺物は遺構のプラン確認時に出土したものである。17は無文口縁部で補修孔がある。頸部に横位沈線、胴部は地文ＬＲ縄文である。18・19は波状口縁部の突起部分である。20は隆帯の区画内に地文ＲＬ縄文と波状沈線文、21は無文、22は無文の頸部に横位隆帯、23は角押文と沈線文、24は幅広の爪形文、25は連鎖状隆帯の脇に沈線を、26は隆帯脇に爪形文、27～29は無文である。18・19・23・24・27は阿玉台Ⅱ～Ⅲ式、17は勝坂Ⅲ、20は加曽利ＥⅡ～Ⅲ、22は加曽利ＥⅠ新相である。

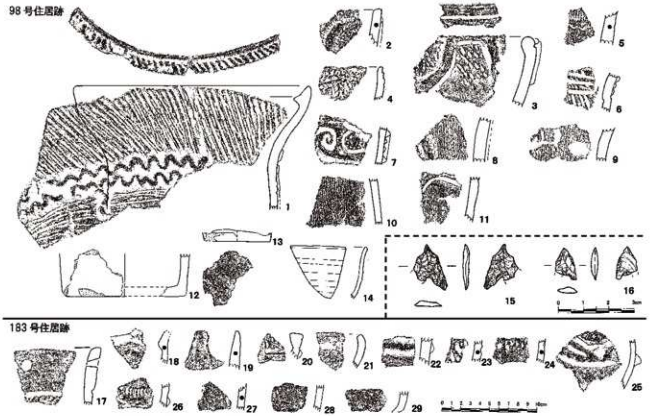
③ピット

ピット1は楕円形で確認面径45×35㎝、底径17×13㎝、深さ60.1㎝である。

ピット2の検出部は半円形で、確認面径60×(34)㎝、底径21×(20)㎝、深さ32.5㎝。ピット1・2ともに縄文時代である。



第78図　東台遺跡第52地点遺構配置図（1/300）、98号住居跡・ピット（1/60）



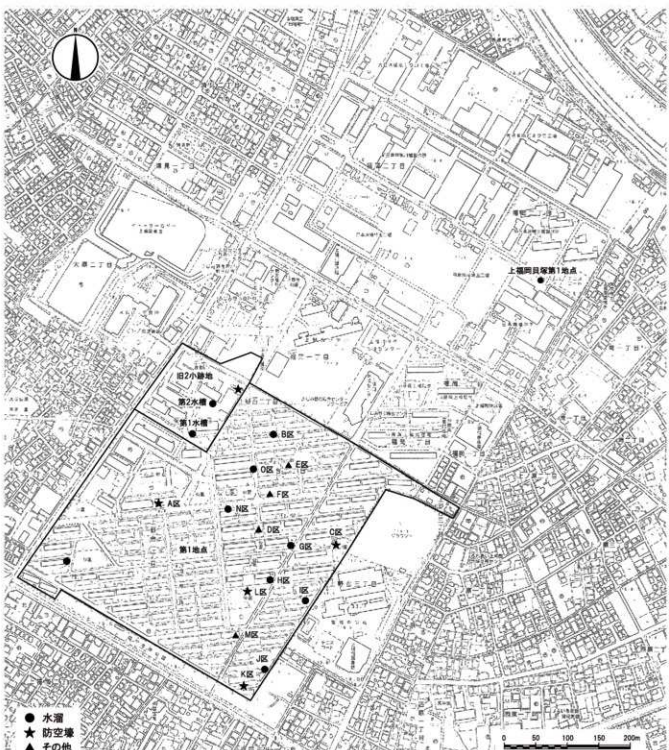
第 79 図　東台遺跡第 52 地点 98・183 号住居跡出土遺物（1/4・2/3）

第21章　造兵廠（火工廠）跡の調査

Ⅰ　立地と周辺の遺跡

東京第一陸軍造兵廠川越製造所跡（以下「造兵廠（火工廠）跡」）は、東武東上線上福岡駅の北東約400ｍに位置する。東西500～600ｍ、南北約1,100ｍの長方形に近い約168,000坪（550,000㎡以上）の広大な敷地であった。

造兵廠（火工廠）跡の位置する武蔵野台地縁辺は、南から北に標高19.5～16.5ｍと緩く傾斜する。中央部の東側には台地の縁辺部から埋没谷の抉りが入り、現在でも福岡中学校の校庭にその痕跡がみられる。また、工事以前には敷地の北端部で160×280ｍの卵形の窪地がみられた。台地裾部の荒川低地には、北から東に新河岸川が流れる。武蔵野段丘面と荒川低地の現比高差は約9～10ｍ、新河岸川の水面からでは約12ｍ



第80図　火工廠跡の地形と調査区（1/6,000）

の急崖を成す。東側にはかつて新河岸川に流れ込む小河川が東流していたが現在は暗渠の下水路となっている。

周辺の遺跡は、敷地の北東部に上福岡貝塚、権現山古墳群が含まれ、北側にはハケ遺跡、東側には滝遺跡が隣接する。考古学史に残る昭和12年の山内清男、関野克両先生による上福岡貝塚の発掘調査と調査成果に伴う研究報告の功績も、造兵廠（火工廠）の工事に伴うものであることはあまりにも有名である。

Ⅱ 造兵廠（火工廠）跡の概要

昭和11年の建設当初から昭和12年10月までは「陸軍造兵廠東京工廠福岡派出所」、昭和12年11月から昭和15年3月までは「陸軍造兵廠東京工廠火具製造所福岡工場」、昭和15年4月から昭和17年7月までは「東京第一陸軍造兵廠第三製造所福岡工場」、その後は昭和20年8月の終戦まで「東京第一陸軍造兵廠川越製造所」が正式名称である。地元では通称として「造兵廠」や「火工廠」と呼んでいたため、本書では「造兵廠（火工廠）跡」の名称を使用する。

造兵廠（火工廠）は大きく北から南に第1・2・3工場（終戦時は2工場制）に分けられていた。昭和12年12月の操業から昭和20年8月の終戦まで稼動し、昭和17年の「川越製造所構内配置図」には約600棟の建物が記載されている。最盛期の就業者数は約6,000～7,000人と言われているが、終戦時には4,694人であった。敷地内の就労者以外にも上福岡村内や近隣住民で荷物の運搬等を請け負う者もいた。操業時の製造品は弾丸類（弾薬筒、徹甲弾・曳光弾等）、火具類（点火具、雷管・信管等）、火薬類（起爆剤、雷汞・爆粉等）や信号弾・手榴弾、風船爆弾など様々で、また製造品の試験なども行っていた。

ふじみ野市内には造兵廠（火工廠）に関連する施設として、工場敷地外に川越製造所福岡第一宿舎（官舎）と川越製造所福岡第二宿舎（徴用工舎〔福岡村〕）、川越倉庫（大井倉庫〔大井村〕）などが存在した。

造兵廠（火工廠）の工場から国鉄南古谷駅に通じる軍用道路（現県道180号南古谷停車場線と同335号並木川崎線）が整備されたほか、東武東上線上福岡駅からの引き込み線も計画されたが実現に至らなかった。

昭和20年の終戦後、造兵廠（火工廠）跡地は大きく3つの土地利用がされた。北側の約4割は民間会社の大規模な工場群などが建ち、中央部の約2割強は市役所や小中学校などの公共用地、残る南側は大規模団地や公園などの住居空間として利用されてきた。

現在、造兵廠（火工廠）跡地の開発から約50年が過ぎ再開発が活発化し新たな転機を迎えている。

昭和32年福岡村郷土史刊行会による『福岡村史』の刊行、昭和45年川越市による『川越市史資料集聞き書き集』の刊行に伴う調査などが行われている。旧上福岡市では、昭和57年から平成4年まで上福岡歴史民俗資料館の展示資料調査及び平和事業に伴う調査を実施、平成5年から9年までは市史編纂事業の一環として調査・研究を行い概報の刊行と併せて特別展を開催、教育委員会では模型の製作や普及活動などを行ってきた。遺構、遺物に関する調査は第33表のとおりである。

第33表 造兵廠（火工廠）跡調査一覧表

地点名		所在地	調査・立会い期間	面積㎡（本調査面積）	調査原因	旧地点名・旧遺構名	【新遺構名・番号】確認された遺構と遺物	所収報告書
旧第2小学校跡		上福岡一丁目1番1号	2004.10.22	—	旧市立第2小学校解体、上野台団地建替	旧第2小学校跡第1水槽	水溜1基	
		上福岡一丁目1番1号	2004.10.22	—		旧第2小学校跡第2水槽	水溜1基	
		上福岡一丁目1番1号	2004.12.1	—		旧第2小学校跡防空壕	防空壕1基、陶器製手榴弾11点、ガラス瓶1点他	
上福岡貝塚第1地点		福岡2-1500-23・63	2007.4.26～5.17、5.21～6.12	(124)	変電所増築		【水溜】1基、【不発弾火焚】1基、【防爆土塁跡】1基、【1号住居跡・2号住居跡】縄文前期住居跡2軒(貝層有)、【炉穴】縄文時代1基、【堀跡】中近世1本、水溜・直径390cm深さ190cm厚さ5cm	市内遺跡群4
造兵廠（火工廠）跡第1地点	A区	上福岡一丁目	2005.3.15	—	上野台団地建替（第1ブロック先行区）	旧火工廠防空壕	【防空壕1】防空壕1基	
	B区	上福岡二丁目	2009.6.5	—	上野台団地建替（第1ブロック後工区、第2ブロック）	99号棟下地中障害物	【水溜4】1基、解体済みで破片のみ確認。規模（直径350cm×深さ150cm、厚さ25cm・底の厚さ15cm）	本書
	C区	上福岡三丁目	2009.6.17、6.20～21	25		防空壕	【防空壕1】1基	
	D区	上福岡二丁目	2009.6.22	—		ヒューム管	【ヒューム管】	
	E区	上福岡二丁目	2009.6.25～26	70		穴蔵、弾丸廃棄土坑	【穴蔵】1基、【土坑】1基、土坑から弾丸多数出土	
	F区	上福岡二丁目	2009.7.2～3	—		排水桝(雨水・下水桝)	【排水桝】1基	
	G区	上福岡二丁目	2009.7.7～9	25		水溜A	【水溜5】1基、スコップ痕有、直堀の流し込み成型、直径1cm以下の鉄筋僅かに有、直径360cm	
	H区	上福岡二丁目		25		水溜B	【水溜2】1基	
	I区	上福岡三丁目		25		水溜C	【水溜6】1基、下部直掘り流し込み成型、上部木枠流し込み成型、鉄筋なし、直径360cm、厚さ25～35cm	
	J区	上福岡三丁目		25		水溜D	【水溜7】1基、鉄筋なし、直径360cm厚さ10～22cm	
	K区	上福岡三丁目	2009.7.8～9	8		防空壕(144号棟付近)	【防空壕2】1基	
	L区	上福岡二丁目	2009.7.8～8.3	105		2号防空壕	【防空壕3】1基	
	M区	上福岡一丁目	2009.8.6～7	42		3号防空壕(配水管)	【ヒューム管】直径70cm・内径80cm高さ105cm厚さ5cm	
	N区	上福岡二丁目	2010.1.26	25		水溜(86号棟下)	【水溜3】1基、直径350cm深さ201cm厚さ28cm	
	O区	上福岡二丁目	2010.1.26～7	25		水溜(83号棟下)	【水溜1】1基、直径350cm、厚さ33～35cm	

Ⅲ　造兵廠（火工廠）跡第１地点

（１）調査の概要

調査は上野台団地建て替えに伴うもので、原因者より2009年６月５日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。

申請地は遺跡範囲には該当していないが、面積が1,000㎡を超えることと、当該地が造兵廠（火工廠）跡であるため、当時の遺構や遺物が存在する可能性があるため、2009年６月５日に生涯学習課と独立行政法人都市再生機構埼玉地域支社（以下「ＵＲ」）、工事担当の施工業者などの事前打ち合わせ会議を実施した。

協議の結果、過去の防空壕や水溜などの調査から遺物などが出土する可能性が高いため、既存の建物解体や造成工事に伴い、工事の立会いや試掘調査を行うこととした。

ＵＲでは昭和30年代の上野台団地の建造に伴い、造兵廠（火工廠）跡の施設や建物の配置図（以下　ＵＲ火工廠図面）を作成していたため、この図を参考に解体や造成工事に前後して随時、工事の立会い及び試掘調査を第33表のとおり実施した。重機については全てＵＲのご好意により提供を受けた。可能な限り遺構の実測および写真撮影の記録を行い、併せて現地で出土遺物（銃弾など危険物）の分類と集計などを行った。また銃弾など危険物については、教育委員会、東入間警察署、陸上自衛隊、ＵＲと協議し処理を行った。

（２）遺構と遺物

確認された遺構は防空壕３基、水溜７基、穴蔵１基、土坑１基、ヒューム管（排水管）、排水桝などである。

①防空壕（Ｃ・Ｋ・Ｌ区）

防空壕は３基を確認検出した。防空壕１・３は上野台団地内の公園部分で確認されたため、比較的保存状態が良好であった。

【防空壕１】市立福岡中学校北側の旧公園部分に位置する。昭和17年構内配置図では、窪地の南西部にあたり他の施設は見当たらない。

ＵＲ火工廠図面では「コ」の字型であるが、残存部の平面形状は「Ｌ」字型である。断面形は蒲鉾型で、屈曲部分の壁に台形状の「祠状施設」を有する。底面は砂礫層の上にローム土で貼床状を呈する。側壁や天井部には幅10～15㎝の剣先状スコップと幅20㎝のマンガ状の３本の工具痕がみられる。南北部分は天井の崩落も少なく、流れ込んだ土砂が約50㎝堆積していた。東西部分は天井の崩落とコンクリート塊が底面から堆積していた。残存部の規模は東西7.8ｍ×南北10.6ｍ、床面の幅1.4～1.8ｍ、中段幅1.6～2.1ｍ、天井の高さは1.9ｍである。

祠施設は屈曲部の奥壁に底面から約50㎝の高さに設けられている。幅60～70㎝、高さ104㎝、奥行き55㎝である。

【防空壕２】造兵廠（火工廠）跡の南端に位置し、昭和17年構内配置図では885信管装着室や677「ソ」号室信管装着室付近にあたる。

防空壕２は南北に約６ｍ離れて２ヶ所が残存し、双方の底面の標高が14.8～14.9ｍで近似するため、同一の遺構とした。南北が「Ｌ」字状に繋がるとすると東西約14ｍ、南北約20ｍとなる。

北側は断面が蒲鉾型の一部が残存する。北側残存部の規模は長さ40㎝、床面の幅１ｍ、中段幅1.1ｍ、天井の高さは1.35ｍである。

南側の天井部は全て崩落しており断面形態は確認できなかった。南側残存部の規模は東西3.5ｍ×南北1.4ｍ、床面の幅1.35ｍで残存高は24㎝である。

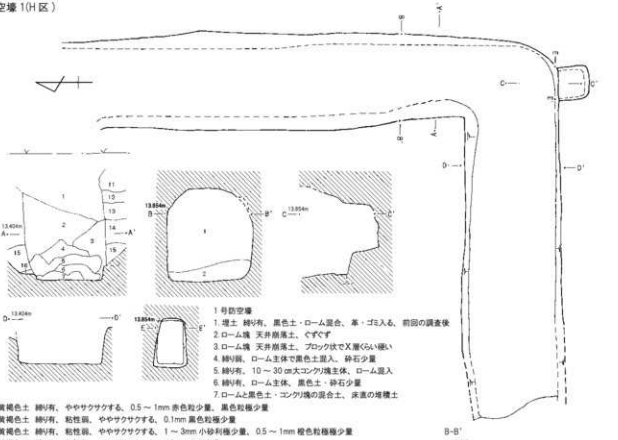
【防空壕３】造兵廠（火工廠）跡の中央部南寄りに位置し、昭和17年構内配置図では655「カ」号室管業室付近にあたる。主体部は約１ｍの土砂が流れ込んでいたが天井部の崩落はほとんど見られなかった。

主体部の平面形状はほぼ直線状であるが、隣接する確認面径135×40㎝の長方形の土坑（竪坑）を避けるように湾曲する。

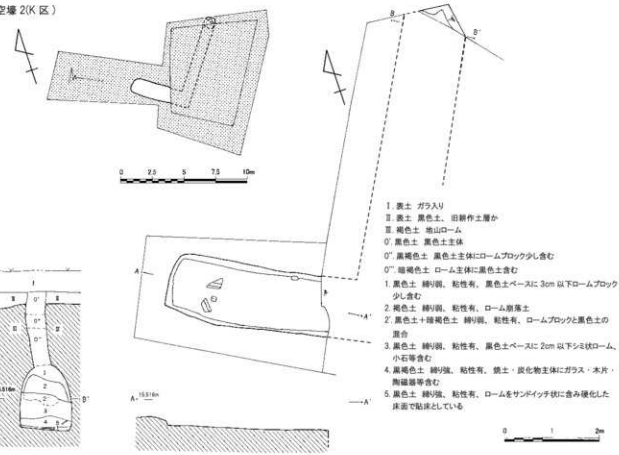
主体部の断面形は蒲鉾型で、北側の入り口部分の奥壁に「祠状施設」を有する。底面は砂礫層の上に厚さ約５㎝の灰色の砂礫を敷き詰める。内部の側壁や天井部は、工具痕はほとんど残らないほど丁寧に成型されている。残存部の規模は主体部で南北8.8ｍ、床面の幅1.6ｍ、中段幅0.9～1.75ｍ、天井の高さは1.75ｍである。

南北の両端には出入り口用の階段がある。階段はローム層を成型し、南側階段は３段が残存、北側階段は10段が残存する。北側階段はローム層より上層では表土層の攪乱で確認できなかった。階段の規模は、踏面幅80～85㎝×奥行き20～30㎝、蹴上げ（高さ）21～29㎝である。

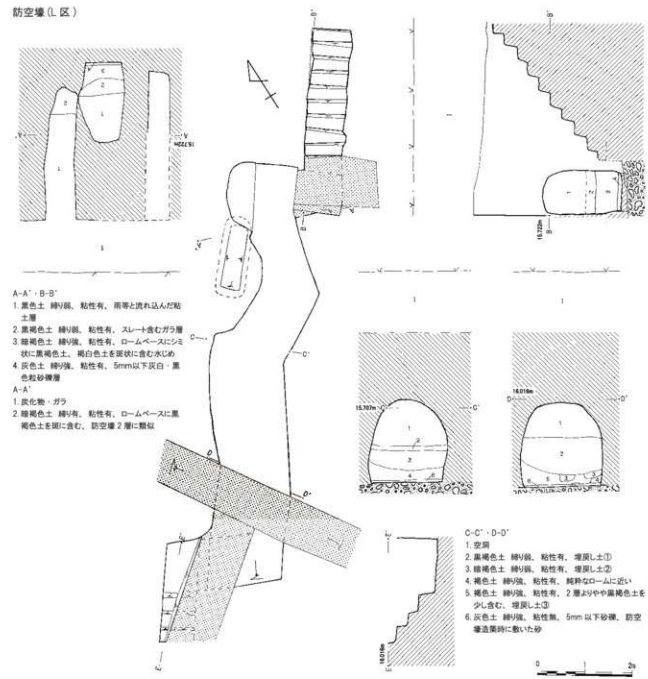
防空壕 1(H 区)



防空壕 2(K 区)



第 81 図　火工廠跡防空壕 1・2（1/300・1/80）、土層図（1/80）



第82図　火工廠跡防空壕３（1/80）、土層図（1/80）

②水溜（B・G・H・I・J・N・O区）

水溜は7基を確認、３基（H・N・O区）は実測（N区は断面のみ）と写真撮影の記録を行った。残りの４基については現地で規模の計測と写真撮影、遺物の採集を行った。H区の水溜２はこれまでに確認された水溜と形態的に異なるが、昭和17年構内配置図などでも他の水溜と同様に記されているため、今回も水溜とした。詳細については第35表のとおりである。

③穴蔵・土坑（E区）

【穴蔵】造兵廠（火工廠）跡の中央部南寄りに位置し、昭和17年構内配置図では587「ハ」号室爆薬填実室付近にあたる。平面形態は横穴の室部が「卄」字状に延び、断面が長方形を呈す。竪穴部分は不明である。室部は東西7.42ｍ×南北4.28ｍに広がり、規模は幅60～65㎝高さ110～115㎝である。

【土坑】穴蔵の北側に隣接し、昭和17年構内配置図では587「ハ」号室爆薬填実室付近にあたる。

平面形態は長方形を呈し、底部中央部の楕円形範囲63×45㎝が赤褐色に硬化する。土坑の規模は確認面径(155)×78㎝、底径(145)×63㎝、深さ75㎝である。

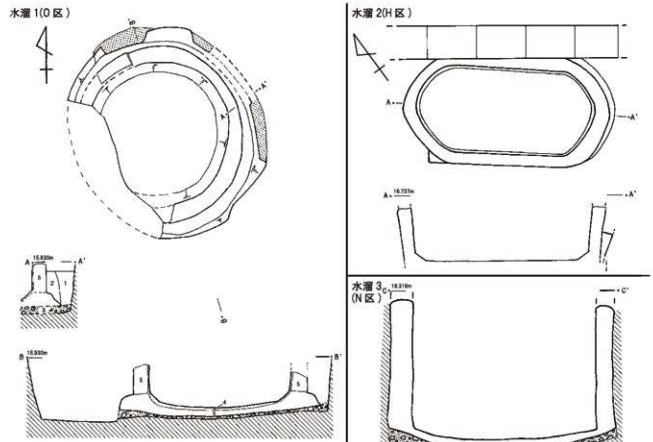
土坑からは銃弾14,398点が出土した。一部は表土掘削時に散逸したものがあるため、この数よりは増える。

④ヒューム管（M区）

造兵廠（火工廠）跡の南部に位置し、昭和17年構内配置図では666「コ」号室弾丸完成室南東部付近にあたる。水溜または防空壕の存在が想定されたが、確認されたのはコンクリート製のヒューム管（遠心力鉄筋コンクリート管）のみである。長さ155㎝で厚さ5㎝、ソケット部内径70㎝・外径80㎝、スピゴット部内径60㎝・外径70㎝。形態的には、現在のＪＩＳＡ規格ではＢ形管と呼ばれるものに近い。

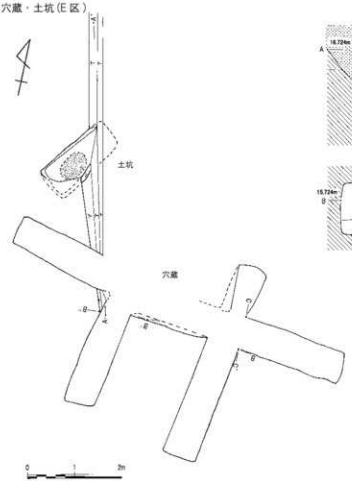
第34表　造兵廠（火工廠）跡水溜一覧表

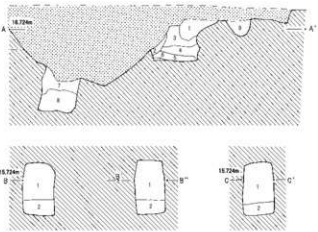
No.	遺構名（旧名称）	地点名	形態・規模・技法・主な出土遺物・その他	所収報告書
1	水溜（第1水槽）	旧第2小学校跡C地点	円筒形、ほぼ完形か、内側は滑らかに調整、地面を素掘りし直接コンクリートを流し込み成型か、内寸深さ245㎝、外寸高さ270㎝、双隈跡・九六式歩兵銃・銃弾他。	未報告
2	水溜（第2水槽）	旧第2小学校跡B地点	口径小さく底部張り円筒形、ほぼ完形、内側は滑らかに調整、外側は上部が滑らかに調整し下半部は未調整で粗雑、上部のみ型枠成型か、外寸径335～338㎝、深さ300㎝、厚さ18.5㎝、銃弾他。	
3	水溜	上福岡貝塚第1地点	円筒形、完形で上部に回状の窪みあり。内側は滑らかに調整、外側側面は木型の型枠痕有り、型枠成型、太さ約1㎝の鉄筋使用。外寸直径280㎝、深さ198㎝、厚さ25㎝、一部を切り取り保存、遺物不明。	市内遺跡群4
4	水溜1（S55、83号機地下障害物、水溜）	造兵廠（火工廠）跡第1地点O区	円筒形、下半～底部残存（底部に基礎）、内側は滑らかに調整、外側側面は木型の型枠痕（幅13.5～15㎝）有り、型枠成型、外寸は直径360㎝、高さ（115㎝）厚さ33～35㎝、底部基礎直径445㎝、高さ40㎝（型枠痕なし）。	本書
5	水溜2（水溜B）	造兵廠（火工廠）跡第1地点H区	平面楕円形、コンクリート製ヒューム管が密着、内側は滑らかに調整、外側の下半部分が厚く型枠状の痕が残る。鉄筋なし。形態は他の水溜と異なる。外寸径440×230㎝、内寸深さ（115）㎝、上部の厚さ200～300㎝、下半の厚さ350～500㎝、金属製品。	
6	水溜3（S39、86号機地下障害物、水溜）	造兵廠（火工廠）跡第1地点N区	円筒形、ほぼ完形、内側は滑らかに調整、外側側面にスコップの回凸痕有、地面を素掘りし直接コンクリート流し込み成型か、鉄筋なし。直径346㎝、高さ240㎝、深さ223㎝、厚さ28㎝。	
7	水溜4（99号機下地中障害物・水溜）	造兵廠（火工廠）跡第1地点B区	解体済みで破片のみ確認、内側は滑らかに調整、外側側面は木型の型枠痕有り、型枠成型、太さ約1㎝の鉄筋使用、規模は解体業者計測（外寸直径350㎝×深さ150㎝、厚さ25㎝・底の厚さ15㎝）。	
8	水溜5（水溜A）	造兵廠（火工廠）跡第1地点G区	円筒形、底部から下半残存、内側は滑らかに調整、外側側面はスコップの回凸痕（15×20㎝）有、地面を素掘りし直接コンクリート流し込み成型か、太さ1㎝以下の鉄筋使用、外寸直径360㎝、厚さ30㎝。	
9	水溜6（水溜C）	造兵廠（火工廠）跡第1地点I区	円筒形、底部一部残存、内側は滑らかに調整、外側側面は型枠痕（幅約12.45㎝）有り、型枠成型、鉄筋なし、外寸直径360㎝、厚さ25～35㎝、ガラス瓶、金属製品他。	
10	水溜7（水溜D）	造兵廠（火工廠）跡第1地点J区	円筒形、底部から下半残存、内側は滑らかに調整、外側側面はスコップの回凸痕有り、地面を素掘し直接コンクリート流し込み成型か、鉄筋なし、外寸直径360㎝、厚さ10～22㎝、陶器製品、金属、金属製品他。	



第83図　火工廠跡水溜１・２・３（1/80）

穴蔵・土坑（E 区）

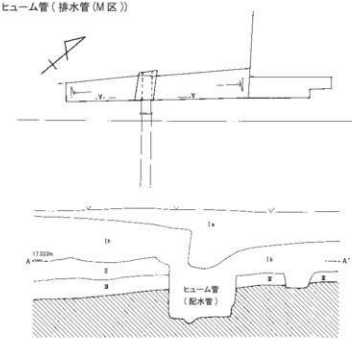




A–A'
1. 黒褐色土　締り強、粘性有、ロームと黒褐色土の混合で焼けたスレートガラス、ゴミ含む
2. 暗褐色土　締り強、粘性有、ローム崩落土、何も含まない
3. 暗褐色土＋黒褐色土　締り強、粘性有、ロームと黒褐色土混合、ゴミ等を一切含まない、弾丸少し含む
4. 暗褐色土　締り強、粘性有、ロームブロック主体で黒褐色土少し含む、弾丸少し含む
5. 弾層　締り強、粘性有、弾のみで土（混合土）をほとんど含まない、純粋弾は5～10cmの厚さに積る
6. 暗褐色土　締り強、粘性有、ローム崩落土（2 層にほぼ同じ）
7. 暗褐色土　崩落ローム、何も含まない、純粋ローム
8. 黒褐色土　締り弱、粘性有、炭化物、磁器含む、上層に 10cm以上の炭化物多く含む
9. 褐灰色土　シルト質、流れ込み、炭化材・鉄製品含む、崩落したロームブロック含む

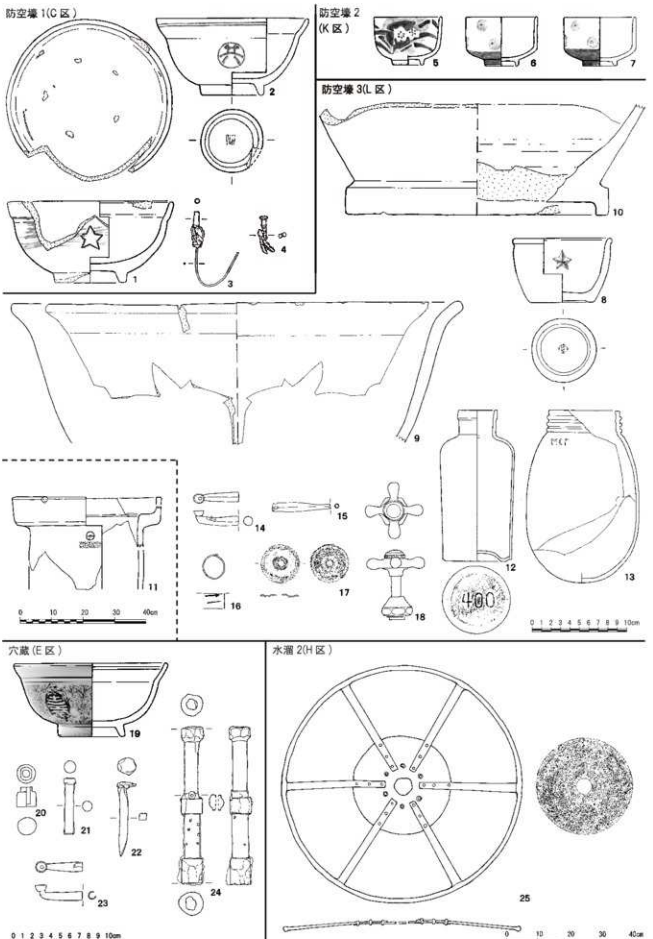
B–B'・C–C'
1. 空洞
2. 黒色土　締り弱、粘性有、黒褐色土主体に 5mm以上ローム多く含む、イモ穴

ヒューム管（排水管(M 区)）

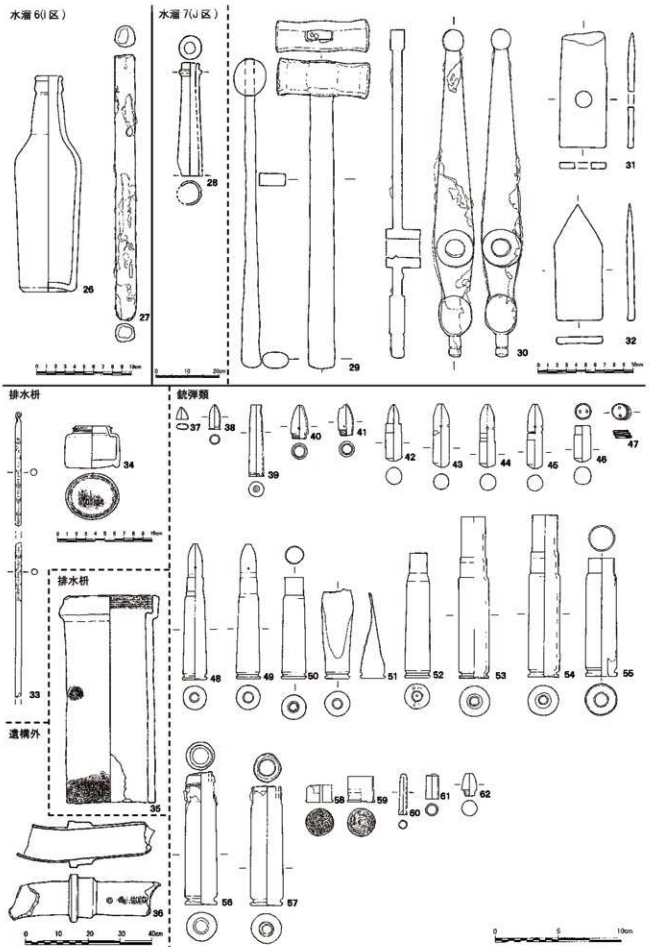


Ⅰa. 褐色土　ローム盛土　表土　締り強、粘性有
Ⅰb. 黒褐色土　盛土　ロームブロック・コンクリートブロック・ゴミ・ガラ含む
Ⅱ　黒褐色土　締り強、粘性有、自然堆積、ローム粒等ほとんど含まない
Ⅲ　黒色土　締り強、粘性有、自然堆積、ローム粒等ほとんど含まない、Ⅱ層より黒が強い、下層ではロームとの境が漸移的ハッキリしない

第84図　火工廠跡穴蔵・土坑（1/80）、ヒューム管（1/300・1/80）



第85図　火工廠跡出土遺物①（1/4・1/12）



第86図　火工廠跡出土遺物②（1/4・1/3・1/12）

⑤排水桝（D区）

造兵廠（火工廠）跡の南部に位置し、昭和17年構内配置図では611照明弾填実室の北側道路付近にあたる。

鉄筋コンクリート製の立方体で上面125×130㎝、底面145×145㎝、高さ220㎝である。上部に59×59㎝の出入り口があり、蓋が設置されていたと考えられる。内面側壁には鉄製の梯子を設置し、側面にコンクリート製ヒューム管と陶器製の管を接続、別の側面にも陶器製の管を接続する。

⑥出土遺物

遺物は防空壕１～３、穴蔵、水溜２・６・７、土坑、排水桝などから出土する。終戦後に投げ込まれたものや流れ込んだもので用途不明な物が多い。

土坑からは14,398点（陸上自衛隊集計）の機関銃弾がまとまって出土した。重機の掘削時に散逸したものを含めると総数はさらに増える。出土した銃弾類は、第37表のとおりである。先端部が変形したものもみられる。機関銃弾、薬莢類については集計後に東入間警察署を通して陸上自衛隊にて処分を行った。遺物の詳細については第36表のとおりである。

第35表　造兵廠（火工廠）跡第１地点出土遺物観察表

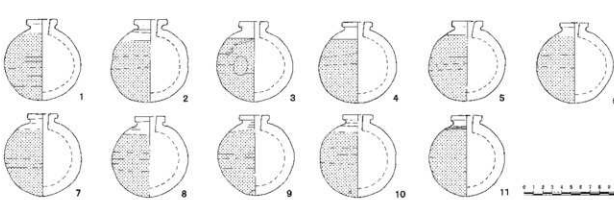
No.	出土遺構名	種別・器種	単位㎝・g 口径・長さ	底径・幅・内径	高さ・厚さ	重量	技法・文様・その他	推定産地	推定年代	残存・備考
		銃弾類	径（㎜）		長さ（㎜）	重量				
1	防空壕1	陶器／碗	17.6	(7.5)	8.7・0.6～1.4	66.1	轆轤成型／胎土にぶい黄橙色／見込み目跡5ヶ所と細かい傷有り／透明釉に白色釉，畳付け無釉☆刻印有り，窯名判読不可	―	1930～40年代	口縁部・底部一部欠
2	防空壕1	磁器／碗	16.2	6.7	8.1・0.4～0.7	319.9	透明釉にクロムで口縁直下に二重線と「肖」文字，底部に統制番号「岐1,963」有り，畳付け無釉	―	1930～40年代	1/2欠
3	防空壕1	金属製品	0.5・(13.4)	0.4	0.1	5.1	材質：銅，円筒形先端に針金接合，白色物質付着	―	1930～40年代	一部残
4	防空壕1	金属製品／ネジ釘	0.4・2.6	―	0.7	4.96	材質：鉄	―	―	完形
5	防空壕2	磁器／碗	7.2	3.1	5.1	90.7	轆轤成型／コバルト染付け＋赤褐色釉，草花文	―	―	完形
6	防空壕2	磁器／碗	7.6	3.6	5.2	106.6	轆轤成型／体部上半は染付け丸文，体部下半は黒色釉，№6・7は同文様・同じ規格	―	―	完形
7	防空壕2	磁器／碗	7.6	3.6	5.2	106.4	轆轤成型／体部上半は染付け丸文，体部下半は黒色釉，№6・7は同文様・同じ規格	―	―	口縁部一部欠
8	防空壕3	磁器／碗	10.4	6.6	6.8	291.7	型打成型／透明釉，内側側面に青色釉染付け「☆」文，底裏窯銘「名陶」，畳付け無釉	―	1930～40年代	完形
9	防空壕3	陶器／鉢	(48)	―・(27)	―・1.1～1.4	―	轆轤成型／胎土黄灰色／内外面鉄釉／口唇部4～5㎝間隔に1㎝大の重ね焼き痕（目跡）有り／9・10は同一個体の可能性有り	―	1930～40年代	口縁部片
10	防空壕3	陶器／鉢	―	―・(27)	―・0.9～3	―	轆轤成型／胎土黄灰色／内外面・畳付け無釉	―	1930～40年代	底部片
11	防空壕3	陶器／ヒューム管	ソケット部外径47.5・内径43.5，長さ(29)			―	胎土：灰白／スピゴット部の外径36.4×内径31.5㎝／側面に「(35)」刻印と判読不明の染付け印有り	―	1930～40年代	ソケット部残
12	防空壕3	ガラス／ビン	口径3.76，最大径7.47，底径7.17，高さ15.8，厚さ0.3			194.6	底裏に「400」印刻有り	―	1930～40年代	口縁一部欠
13	防空壕3	ガラス／照明具	7.5	11.95	18.2	―	「MOMSS」か「MCMSS」の印刻有り	―	1930～40年代	一部欠
14	防空壕3	金属製品／煙管雁首	長さ4.8，羅宇径1.0，火皿径1.0，厚さ0.1			7.91	鍛造／材質：銅	―	―	完形
15	防空壕3	金属製品／煙管吸口	長さ6.2，羅宇径1.0，吸口径0.5，厚さ0.1			4.45	鍛造／材質：銅	―	―	完形
16	防空壕3	金属製品	2.6	2.4	1.6・0.1	7.91	材質：銅	―	―	完形
17	防空壕3	金属製品	4.0	0.6	0.14	7.29	材質：銅，円形で中央部に孔	―	―	上面破損
18	防空壕3	金属製品／蛇口	0.95	0.54	7.3	175.27	材質：真鍮，陶器	―	―	完形
19	穴蔵	磁器／碗	16.3	7.0	7.7	474.5	透明釉に「壽」文字6ヶ所と樹木文，内外面口唇直下に二重線，畳付け無釉	―	―	ほぼ完形
20	穴蔵	金属製品	1.2×1.5	2.0	2.0	36.4	材質：鉄	―	―	底部破損
21	穴蔵	金属製品	12.2	10.0	59.0	3.35	材質：鉄	―	―	完形
22	穴蔵	金属製品／大釘	頭部径1.9×1.7・長さ7.7・厚さ0.7～0.8			35.83	材質：鉄	―	―	完形
23	穴蔵	金属製品／煙管雁首	長さ5.0，羅宇径0.9，火皿径1.1，厚さ0.1			4.45	鍛造／材質：銅	―	―	完形
24	穴蔵	金属製品	外径1.4・1.6・2.2，内径0.9，長さ16.4			131.17	材質：鉄，表面にきらきら光る物質を付着	―	―	端部欠損
25	水溜2	金属製品	74.6	4.8～5.0	3.3・7・1.5	6.5	材質：鉄／中心の孔は6角形か	―	―	完形
26	水溜6	ガラス／ビン	口径2.9，最大径6.28，底径6.0，高さ23.5，厚さ0.46			421.2	薄い緑色	―	―	完形
27	水溜6	金属製品	2.2	1.41	(27.9)・0.5	328.1	材質：鉄／鉄製パイプか	―	―	両端欠損
28	水溜7	陶器	5.5・35.3	10・3.6～5.6	1.1	1,144	胎土：橙色，内外面緑色釉（クロム），端部釉薬剥げ落ちる	―	―	ほぼ完形
29	水溜7	金属製品／金槌	33	2.4～2.8	1～2.1	745.8	材質：鉄・木／頭部9.68×3.92×3.4㎝，穴径3.4×3.9㎝	―	―	完形
30	水溜7	金属製品	34.1	4.3	1.0	917.1	材質：鉄／孔径2.0㎝	―	―	完形
31	水溜7	金属製品	12.2	4.9	0.7	217	材質：鉄／孔径1.7㎝	―	―	先端他欠損
32	水溜7	金属製品	12.2	5.0	0.7	242	材質：鉄	―	―	完形
33	排水桝	ガラス／水温系	(28.5)	0.6	0.6	21.3	「M　TOKYO　1/1C」100℃まで計測可	―	―	先端他欠損
34	排水桝	ガラス／ビン	口径4.0・底径5.8・高さ4.5・厚さ0.4			83.11	黒色／底裏に「Rubinu」銘有り	―	―	完形
35	排水桝	陶器／ヒューム管	ソケット部の外径32.5，内径28，長さ66			20,000	胎土：赤橙色で白色粒多く含む／内外面黒褐色釉／スピゴット部の外径28×内径23.5㎝／側面に「ミカワ　管工」刻印有り	―	1930～40年代	一部欠
36	不明	金属製品／配水管	10.5	10	0.5	9.95	材質：鉄／「ハ火100」の刻印	―	1930年代	変形有り
37	防空壕1	金属製品／銃弾類	5.45～9.1		10.22	0.74	8.8㎜銃弾先端	―	1930～40年代	完形
38	不明	金属製品／銃弾類	8.88		20.07	2.37	8.8㎜銃弾B類	―	1930～40年代	完形
39	不明	金属製品／銃弾類	9.03～12.13		56.43	12.20	薬莢部	―	1930～40年代	完形
40	穴蔵	金属製品／銃弾類	13.4		26.75	11.38	12.7㎜銃弾B類	―	1930～40年代	完形
41	土坑	金属製品／銃弾類	12.7		26.07	11.42	12.7㎜銃弾B類，先端部変形	―	1930～40年代	完形
42	不明	金属製品／銃弾類	8.94～13.25		44.54	25.03	8.8㎜銃弾A類	―	1930～40年代	完形
43	穴蔵	金属製品／銃弾類	12.72		51.03	32.57	12.7㎜銃弾A類	―	1930～40年代	完形
44	土坑	金属製品／銃弾類	12.70		51.24	32.89	12.7㎜銃弾A類	―	1930～40年代	完形
45	土坑	金属製品／銃弾類	12.73		53.00	33.11	12.7㎜銃弾A類，接合部がずれているもの	―	1930～40年代	完形
46	穴蔵	金属製品／銃弾類	12.70～13.17		29.72	117.4	12.7㎜銃弾C類	―	1930～40年代	完形
47	土坑	金属製品／銃弾類	13.25		0.6	7.08	12.7㎜銃弾部品／円形の孔2ヶ所有り	―	1930～40年代	完形
48	排水桝	金属製品／銃弾類	12.7～19.4		107.5	80.58	12.7㎜銃弾	―	1930～40年代	完形
49	排水桝	金属製品／銃弾類	12.84～19.50		107.52	80.25	12.7㎜銃弾	―	1930～40年代	完形
50	排水桝	金属製品／銃弾類	14.02～19.67		80.51	38.06	12.7㎜銃弾薬莢部	―	1930～40年代	完形
51	排水桝	金属製品／銃弾類	(20.12)		(70.99)	38.62	12.7㎜銃弾薬莢部	―	1930～40年代	1/3欠損
52	排水桝	金属製品／銃弾類	13.65		99.11	54.24	12.7㎜銃弾薬莢部	―	1930～40年代	完形
53	水溜7	金属製品／銃弾類	19.70～24.95		128.35	172.58	20㎜銃弾薬莢部	―	1930～40年代	完形
54	水溜7	金属製品／銃弾類	19.90～25.18		128.63	173.26	20㎜銃弾薬莢部	―	1930～40年代	完形
55	排水桝	金属製品／銃弾類	20.9～25.10		94.1	84.48	20㎜銃弾薬莢部	―	1930～40年代	完形
56	防空壕2	金属製品／銃弾類	21.6～25.2		94.22	130.38	20㎜銃弾薬莢部	―	1930～40年代	完形
57	防空壕2	金属製品／銃弾類	21.97～25.10		10.48	142.24	20㎜銃弾薬莢部	―	1930～40年代	完形
58	防空壕	金属製品／銃弾類	22.15		(1.399)	5.02	「REMINGTON 12 GA EXPRESS」刻印有り	USA	1930～40年代	一部欠
59	水溜7	金属製品／銃弾類	20.30		21.34	4.74	「WESTERN SUPER-X №12 MADE IN USA」刻印有り	USA	1930～40年代	完形
60	防空壕1	金属製品／銃弾類	5.0～7.14		33.13	1.62	材質：銅／先端に黄色物質付着	―	1930～40年代	完形
61	不明	金属製品／銃弾類	9.72		18.49	5.33	材質：鉄	―	1930～40年代	完形（腐食）
62	不明	非金属製品／銃弾類	11.98		17.77	1.60	材質不明，端部にネジ山有り	―	1930～40年代	完形

第36表　造兵廠（火工廠）跡第１地点出土銃弾類一覧表　（単位ｇ）

出土遺構名	種別・型式	個数	重量	材質	残存状況・分類・備考
土坑	12.7㎜銃弾（Ａ類）	156	5,201	鋼	良好・第86図43～45の類
	12.7㎜銃弾（Ｂ類）	4,697	55,910	鋼	良好・Ａ類の先端部を本類とする第86図40・41の類
	12.7㎜銃弾（Ｃ類）	3,752	61,190	鋼	良好・Ａ類の後端部を本類とする第86図46の類
	12.7㎜銃弾（Ｄ類）	752	3,680	鉄	錆有り不良・第86図61の類
	8.8㎜銃弾（Ａ類）	111	2,711	鋼	良好・第86図42の類
	8.8㎜銃弾（Ｂ類）	150	418	鋼	良好・Ａ類の先端部を本類とする第86図38の類
	銃弾の部品	不明	6,750	鋼	錆と塊で個数計測不可（直径13㎜厚さ0.6㎜の円盤に直径2㎜の小穿孔２有り）・第86図47と同類
	銃弾類の塊	不明	6,750	鋼・鉄	各種銃弾類が錆で固着しており種別確認と個数計測不可
穴蔵	12.7㎜銃弾（Ａ類）	2	65.23	鋼	良好・第86図43～45と同類
	12.7㎜銃弾（Ｂ類）	11	128.39	鋼	良好・Ａ類の先端部を本類とする第86図40・41の類
	12.7㎜銃弾（Ｃ類）	6	117.46	鋼	良好・Ａ類の後端部を本類とする第86図46の類

第37表　造兵廠（火工廠）跡旧第２小学校跡防空壕出土手榴弾観察表　（単位cm・ｇ・cc）

No.	種別・型式	口径	最大径	口縁穴径	高さ	最大径の高さ	頭部分径	底部厚さ	口縁部厚さ	重さ	容量	胎土・釉薬	残存・技法・備考
1	磁器・四式陶製手榴弾	3.32	8.10	1.50	8.56	3.6	2.63	0.9	0.75	353.05	115	白・光沢弱い極暗褐色釉	完形、丸底、胴部以下に施釉、底に3点ピンホール痕有り、他の10点の陶製手榴弾に比べ胎土がやや褐色で釉薬の光沢も弱い
2	磁器・四式陶製手榴弾	3.40	8.05	1.51	8.96	4.30	2.46	1.0	0.85	359.90	120	白・光沢の強い暗褐色	完形、丸底、体部に接合痕有り、胴部以下に施釉、頭部無釉部に円形重ね焼き痕（直径4.4cm、幅1mm）有り、底に3点ピンホール痕有り
3	磁器・四式陶製手榴弾	3.24	8.07	1.49	8.46	3.9	2.79	1.0	0.75	354.27	115	白・光沢の強い黒褐色釉	完形、丸底、胴部以下に施釉、頭部無釉部に僅かな円形重ね焼き痕と胴部に施釉前の圧痕有り、底に3点ピンホール痕有り
4	磁器・四式陶製手榴弾	3.23	8.11	1.48	8.44	4.0	2.67	1.0	0.75	331.18	130	白・光沢の強い暗オリーブ色釉	完形、丸底、胴部以下に施釉、頭部無釉部に僅かな円形重ね焼き痕（直径4.4cm、幅0.88～0.9mm）有り、底に3点ピンホール痕有り
5	磁器・四式陶製手榴弾	3.27	8.08	1.51	8.57	3.7	2.68	0.9	0.85	362.22	115	白・光沢の強い黒褐色釉	完形、丸底、胴部以下に施釉、頭部無釉部に僅かな円形重ね焼き痕有り、底に3点ピンホール痕有り
6	磁器・四式陶製手榴弾	3.20	8.08	1.46	8.54	4.0	2.75	0.95	0.9	355.13	120	白・光沢の強い黒褐色釉	完形、丸底、体部に接合痕有り、胴部以下に施釉、頭部無釉部に僅かな円形重ね焼き痕有り、底に3点ピンホール痕有り
7	磁器・四式陶製手榴弾	3.24	8.07	1.54	8.65	4.00	2.63	1.05	0.90	341.50	130	白・光沢の強い黒褐色釉	完形、丸底、体部に接合痕有り、胴部以下に施釉、頭部無釉部に僅かな円形重ね焼き痕有り、底に3点ピンホール痕有り
8	磁器・四式陶製手榴弾	3.18	8.04	1.49	8.47	4.00	2.75	1.0	0.90	327.47	130	白・光沢の強い黒褐色釉	完形、丸底、胴部以下に施釉、頭部無釉部に僅かな円形重ね焼き痕有り、底に3点ピンホール痕有り
9	磁器・四式陶製手榴弾	3.22	8.18	1.45	8.46	4.00	2.61	1.05	0.80	361.87	110	白・光沢の強い黒褐色釉	完形、丸底、胴部以下に施釉、頭部無釉部に僅かな円形重ね焼き痕（直径4.3～4.4cm、幅1mm）有り、底に3点ピンホール痕有り
10	磁器・四式陶製手榴弾	3.30	8.17	1.53	8.79	4.10	2.63	0.9	1.05	319.31	138	白・光沢の強い褐色釉	完形、丸底、体部に接合痕有り、胴部以下に施釉、頭部無釉部に円形重ね焼き痕（直径4.4cm、幅1mm）有り、底に3点ピンホール痕有り
11	磁器・四式陶製手榴弾	3.29	8.09	1.50	8.53	4.10	2.86	1.0	0.90	356.66	115	白・光沢の強い暗オリーブ色釉	完形、丸底、胴部以下に施釉、頭部無釉部に円形重ね焼き痕（直径4.4cm、幅1.75mm）有り、底に3点ピンホール痕有り



第87図　旧第２小学校跡防空壕出土手榴弾（1/4）

第22章　2009年度の調査について

2009（平成21）年度の埋蔵文化財調査は、34件の試掘調査のうち7件（うち1件は個人住宅兼共同住宅）が個人住宅建設に伴う本調査、8件（うち1件は個人住宅兼共同住宅）が民間開発に伴う本調査に移行した。その他、28件の工事立会を行った。本調査14件のうち、畑や更地または駐車場からの開発が9件、既存建物の建替えに伴う開発が5件であった。

開発の内容は、宅地造成や共同住宅、分譲住宅など相続に伴う開発が近年は増えている。また、再開発も個人住宅の建替など、様々な開発に及んでいる。

以下、本年度に行った調査のうち、時代別に主な遺構と遺物について概観する。なお、民間開発に伴う本調査を実施した松山遺跡第49地点、長宮遺跡第30地点・第32地点、江川南遺跡第24地点、駒林遺跡第9地点、神明後遺跡第39地点については、市内遺跡群7（2012.3）で本調査の報告を行っているため、本書においては試掘調査に至る経過と概要のみを記述したが、本章ではそれらを含めて概観する。

【旧石器時代】江川南遺跡第24地点で本調査を実施し、立川ロームのⅣ層より石器集中1ヶ所と礫群4ヶ所を検出した。隣接する第23地点に続くもので、遺跡全体では東西約150ｍ×南北約100ｍの範囲に遺構と遺物が確認される。また、川崎遺跡第31地点ｊ21号住居跡覆土層からナイフ形石器1点が出土した。

【縄文時代】早期後葉の打越式土器が川崎遺跡第31地点から市内で初めて出土した。ふじみ野市周辺では、打越期の住居跡は富士見市打越遺跡で37軒、同市宮廻遺跡や氷川前遺跡で各1軒などが確認されているが相対的に遺構遺物共に少なく、武蔵野台地北部において今後の資料の増加を期待したい。

中期では、過去に人面把手付土器が採取された北野遺跡で、住居跡1軒と土坑などが初めて検出され、遺跡の属性を知る上でも重要である。東台遺跡第52地点では確認済みの住居跡の続きを検出した。江川東遺跡第16地点と駒林遺跡第9地点では集石土坑を各1基と土坑や遺物、小田久保遺跡第8地点でも土坑5基と遺物などを確認した。また、ハケ遺跡や江川南遺跡、西ノ原遺跡でも土器や石器が出土した。

中期末から後期初頭の住居跡は川崎遺跡第31地点で加曽利ＥⅣ式期1軒と称名寺1式期1軒、神明後遺跡第37地点で称名寺1式期新相の大安寺式の土器が出土する住居跡1軒を検出した。称名寺1式期の住居跡は共に柄鏡形住居である。

【古代】松山遺跡第49地点では8世紀後半の竪穴式住居跡内から鍛冶炉を検出した。須恵器の他、羽口や椀形鍛冶滓、流動滓、鍛造剥片、粒状滓、鉄粒などが出土した。調査地点は、市内の大規模製鉄遺跡である東台遺跡とは直線で約2.3㎞と立地的にも近く、生産遺跡と消費地である周辺村落との関係が注目される。川崎遺跡第31地点では9世紀代の住居跡を2軒検出した。北野遺跡と滝遺跡でも竈を伴う住居跡各1軒を確認したが、試掘調査のため時期などの詳細は不明である。北野遺跡では古代の住居跡の確認は初めてで、縄文時代中期の住居跡と併せて集落の変遷や土地利用を考える上で貴重である。

【中世】長宮遺跡第30地点では溝の周辺から井戸7基、土坑9基、ピット8基を検出し、井戸からは板碑や石臼などが出土したが、周辺部には建物跡などの遺構は確認されておらず、市内の同じ中世村落である本村遺跡と似たような状況が考えられる。第32地点では3本の溝と土坑20基、ピット142基や陶器とかわらけなどが出土した。また江川南遺跡第24地点では亀久保堀跡の続きと、神明後遺跡第38・39地点でも古代から中世と考えられる断面が逆台形の溝を検出した。

【近世・近代】大井宿遺跡第16地点では礫石、土坑、溝とピット413基を検出した。遺物は16世紀から19世紀代半ばの陶磁器などで、大井宿の初源から近代にかけての変遷を研究する上で貴重である。滝遺跡第15地点の土坑と遺物は19世紀代で、先述の長宮遺跡第30地点の井戸からも近世の遺物が出土している。

近現代では、造兵廠（火工廠）に伴う遺構と遺物が確認され、火工廠建設の進捗と共に施工が粗雑になり、構造物や排水管などに使用される鉄の量が減って行く状況が確認された。火工廠の伝承や文献史料、写真資料などの資料を検証し、また太平洋戦争開戦から終戦までの社会や経済状況を研究する上でも貴重である。当時の施設や遺構で現存するものは、防爆壁の一部と建物数棟のみで、当時を知る人々も少なくなりつつあり記憶も薄れていく中、今後も火工廠に関係する資料の収集を続けると共に、残された施設の保存などの検討も必要である。

附編　遺跡調査一覧

第38表　北野遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 （ ）は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	北野2-2110-1の一部、2112-1	(2006.4.7)	408 (44)	分譲住宅	遺構遺物なし	市3
2	北野1-3119-11	(2006.8.4)	131	個人住宅	遺構遺物なし	18教要、市3
3	北野1-3061-4	(2006.4.28)	148	個人住宅	保護層有、遺構遺物なし	市3
4	北野2-8-3	(2006.8.24)	58	個人住宅	遺構遺物なし	18教要
92-1	大原2-2079-1	(1992.6.19～22)	617	駐車場	溝2、縄文時代中期土器片、土師器片	埋15
92-2	北野2-1809-1	(1992.8.6)	138	個人住宅	遺構遺物なし	埋15
99-1	北野2-1797-5	(1999.7.2)	157.4	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	埋22
99-2	北野2-1787-1	(1999.8.9～12)	179.1	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	埋22
02	北野1-3058-1、3114-1の一部	(2002.11.28～29)	100	公園歩道	遺構遺物なし	埋25
03-1	北野1-3058-1、3114-1の一部	(2003.7.1～11)	1,484	公園	遺構遺物なし	埋26
03-2	大原2-2081-6	(2003.8.8～11)	350	宅地造成	土坑1、縄文土器片	埋26
04	北野2-1827-1～3	(2004.4.16・19)	435	共同住宅	遺構遺物なし	埋27
05	北野1-3129-3・20	(2005.12.2)	101	個人住宅	遺構遺物なし	17教要
16	大原1-2070-1、2071-1	(2009.4.8～10)	296 (1,888)	宅地造成	ピット3、中期初頭土器・石器	市8
17	大原1-2079-1・6	(2009.10.13～17)	122.5 (412)	共同住宅	土坑2、阿玉台Ⅳ土器	市8
18	北野2-1828-2・12、1829-1・2	(2009.3.9～18)	178 (507.9)	分譲住宅	縄文住居跡1（J1住）、奈良平安住居跡（H1住）、土坑3、ピット8	市8
19	北野2-1821-1・2、1820-4	(2010.12.1～2)	476.3	共同住宅	遺構遺物なし	未報告
20	北野2-1835-11	(2011.8.11)	61.3 (4)	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
21	北野1-3117-3、3118-1	(2011.12.8～20)	830	宅地造成	堀、土器片	未報告
22	北野2-1788-8の一部	(2012.2.6～8)	48 (207.1)	個人住宅	遺構なし、須恵器片・陶磁器片	未報告
23	北野1-3111-4	(2012.8.28)	140.8	個人住宅	盛土あり	未報告
24	北野1-3063-1	(2012.9.13・14)	335	建売住宅	土坑1、風倒木痕1？	未報告
25	北野2-1833-3	(2012.12.10)	142.7	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
26	北野2-1795-3	(2012.12.14)	117	個人住宅	遺構遺物なし	未報告

※埋：上福岡市教育委員会埋蔵文化財の調査報告書、教要：上福岡市・ふじみ野市教育要覧、市：ふじみ野市市内遺跡群報告書

第39表　富士見台横穴墓群遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 （ ）は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
63試	中央2-11	(1988.8.17～18)	4,818	集合住宅	遺構遺物なし	埋11
92試	新田2-1-25	(1992.11.18～12.1)	1,113	共同住宅	遺構遺物なし	埋15
98試	富士見台590、591-8	(1998.9.2)	361.9	個人住宅	遺構遺物なし	埋21
第1次	富士見台588-1、589	1979.7.7～31	486	小規模開発	横穴墓2基、人歯牙	埋Ⅱ
第2次	富士見台594-1	(1982.5.24～28)	288	小規模開発	遺構遺物なし	埋Ⅴ
第3次	富士見台607-2	(1987.1.20～21)	297	範囲確認調査	遺構遺物なし	埋Ⅸ
7	富士見台610-7	(2009.8.26)	(4.5) 92.8	個人住宅	遺構遺物なし	市8

※埋：上福岡市教育委員会埋蔵文化財の調査報告書、教要：上福岡市・ふじみ野市教育要覧、市：ふじみ野市市内遺跡群報告書

第40表　大井宿遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 （ ）は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	大井1－2－22, 23	(1999.8.9)	110	店舗	近代（焼土層）	町Ⅸ
2	大井1-6-1	(2000.3.14～3.28)	786	店舗	近世（溝1・土坑49・ピット）	町Ⅸ
3	大井1-6-8	(2000.7.7～7.13)	605	高齢者介護施設	中近世（溝）	町Ⅹ
4	大井1-6-25	(2000.8.28～8.30)	122	個人住宅	近世以降（溝・土坑）	町Ⅹ
5	大井1-5-9	(2000.10.24～10.25)	781	駐車場	近世以降（溝・土坑他）	町Ⅹ
6	大井1052-1, 2, 1071	(2000.11.28～12.15)	2,300	長屋住宅	近世以降（溝・土坑他）	町Ⅹ
7	大井1-2-16	(2002.4.15～4.16)	257	事務所	近世以降（溝・土坑他）	町Ⅻ
8	大井1-6-7	(2004.4.20)	282	個人住宅	なし	町Ⅻ
9	大井1-3-14, 15	(2003.2.26～4.3) 2004.7.30～9.3	1,617	宅地造成	近世・近代（穴蔵1・土坑20・溝14・集石8・礎石1・井戸2・埋桶1・ピット）	大調21
10	大井1-3-16	(2004.9.21～10.6)	341	分譲住宅	近世以降（溝・土坑他）	町Ⅻ
11	大井1-5-5, 11	(2004.12.10～20) 2005.1.6～29	970	共同住宅	近世・近代（穴蔵1・井戸1・大溝1・溝5・土坑11・土蔵跡1・ピット）	大調21
12	大井1-6-22	(2006.6.13～6.16)	2,664	事務所兼店舗	縄文（ピット）近世以降（溝・土坑・井戸他）	市3
13	大井1-3-32	(2006.8.21) 2006.8.22～30	151	個人住宅	近世以降（土坑8・ピット57）	市3
14	大井1-2-19, 20	(2007.3.27～3.29)	944	コンテナボックス	近世以降（土坑・井戸・建物跡・ピット他）	市3
15	大井1-5-3	(2007.8.1～8.10)	429	個人住宅	近世以降（大溝1・土坑4・ピット16）	市4
16	大井1-5-11	(2009.3.15～18) 2009.3.19～4.30	500.3	共同住宅	近世以降（土坑16、礎石1、溝29、ピット413、陶磁器他）	市8

※町：大井町町内遺跡群、大調：大井町遺跡調査会報告、市：ふじみ野市市内遺跡群

第41表　長宮遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ( )は試掘調査	面積 (㎡)	調査 原因	確認された遺構と遺物	所収 報告書
1次	長宮2-1-23	1977. 10. 3～30	1,000	保育園	溝3、土坑48、柱穴	川崎遺跡(第3次)・長宮遺跡
2次	長宮2-1-27	1978. 4. 25～5. 15	235	民間宅地	溝2、土坑1、石磨臼、板碑、礎石、古銭、陶器、馬骨	埋(Ⅰ)
3次	長宮2-5-11	1978. 7. 24～30	111	民間宅地	土坑1	埋(Ⅰ)
4次	長宮1-1-14	1978. 10. 6～9	37		住居跡1、土師器、須恵器、鉄製品	埋(Ⅰ)
5次	長宮2-5-2	1979. 4. 16～20	110		縄文前期住居跡1、縄文土器片	埋(Ⅱ)(Ⅲ)
6次	中丸1-4-13	1980. 4. 21～30	515		遺構なし、中世以降陶器片	埋(Ⅲ)
7次	中丸1-3-6	1980. 5. 13～31	869		溝、井戸跡、縄文土器、中世以降陶器片	埋(Ⅲ)
8次	長宮2-1-10～13	1980. 9. 8～10. 8	1,900	宅地造成	中世溝、井戸、土坑、板碑、礎石、陶磁器、古銭、馬歯	遺調1集
9次	長宮1-4-10	1980. 9. 21～30	200		遺構なし、中世以降陶器片	埋(Ⅲ)
10次	長宮2-3-4	1980. 12. 5～15	485		溝、土坑他、縄文前期土器・石器、中世以降古銭・陶器	埋(Ⅲ)
11次	長宮2-2-10	1980. 12. 16～22	117		溝、縄文土器片、中世以降陶器	埋(Ⅲ)
12次	長宮1-2-7	1981. 5. 26～30	160	個人住宅	溝1、中世陶器片、縄文土器片	埋(Ⅳ)
13次	長宮1-2-13	1981. 6. 3～11	251	個人住宅	遺構なし、中世陶器片	埋(Ⅳ)
82試	長宮1-2-12		1,000	歴史民俗資料館	溝2	57年教要、58年遺報告?
14次	長宮2-2-1	1985. 9. 24～27	156	個人住宅	溝1	埋(Ⅷ)
15次	西原2-5-8	1985. 10. 22～31	116	個人住宅	なし	埋(Ⅷ)
85試	長宮1-2-11	(1986. 3. 6～15)	400	学童保育	溝2	60年教要
16次	長宮1-4-7	1986. 6. 9～17	173	個人住宅	縄文土器片	埋(Ⅸ)
17次	中丸1-3-11	1987. 6. 19～30	504	個人住宅	縄文前期土器散布	埋(Ⅹ)
88試	長宮1-3-8	(1988. 9. 13～16)	657	住宅建設	なし	埋(11)
89試(1)	長宮1-3-9	(1989. 9. 20～30)	448	住宅建設	なし	埋(12)
89試(2)	長宮2-5-19	(1989. 11. 14～24)	1,778	住宅建設	なし	埋(12)
90試	長宮2-5-4	(1990. 11. 27～30)	919	共同住宅	なし	埋(13)
18次	長宮2-5-3	1992. 10. 6～12. 2	925	共同住宅	縄文住居跡1、中近世土坑2、溝5	埋(15)
19次	長宮1-2-21, 35	1993. 12. 17～1994. 1. 22	467	駐車場	古墳末期住居跡1	埋(15)
93試	長宮2-4-2の一部	(1994. 2. 10～28)	1,502	共同住宅	溝2、土坑1、中世後期板碑	5年教要
94試	西原2-5-1	(1994. 7. 25～8. 2)	314	心身障害者デイケア施設	断面逆形溝1	埋(17)
20次	長宮2-1-22の一部	1995. 4. 10～5. 9	170	個人住宅	中近世溝4	埋(18)
21次	長宮2-1-63, 65	(1995. 6. 19～8. 8)	361	個人住宅	中近世溝1、井戸7	埋(18)
95試(1)	長宮2-1-20外	(1995. 8. 9～28)	421	市道敷設	なし	埋(18)
95試(2)	上ノ原3-1-6外4筆	(1995. 10. 4～12)	1,528	共同住宅	溝1	埋(18)
95試(3)	長宮2-1-60	(1995. 10. 23～25)	269	駐車場	中近世溝1、井戸4	埋(18)
22次	長宮2-1-60	1995. 10. 27～11. 9	269	駐車場	中近世井戸跡4、溝1、陶器、板碑破片、かわらけ。	遺調6集
95試(4)	長宮1-3-13	(1995. 12. 12～25)	120	駐車場	なし	埋(18)
96試(1)	長宮1-2-16	(1996. 7. 12～18)	349	宅地造成	なし	埋(19)
96試(2)	中丸2-2-9他3筆	(1996. 11. 7)	568	宅地造成	なし	埋(19)
96試(3)	長宮1-2-4	(1997. 1. 14～21)	794	共同住宅	古墳～奈良住居跡1	埋(19)
96試(4)	長宮2-2-4	(1997. 2. 24)	205	社務所改築	なし	8年教要
97試(1)	長宮2-3-3	(1997. 4. 8～9)	611	農地天地返し	溝1(時期不明)	埋(20)
97試(2)	長宮2-1-2	(1997. 4. 9～11)	289	個人住宅	土坑1(時期不明)	埋(20)
97試(3)	長宮1-2-36, 37	(1997. 6. 4～5)	423	駐車場	溝1	埋(20)
97試(4)	西原2-5-6	(1997. 8. 15～21)	753	駐車場	中近世竪穴状遺構1	埋(20)
98試	中丸1-2-4	(1998. 11. 24～27)	1,014	宅地造成	なし	埋(21)
99試	中丸1-3-12	(1999. 11. 8～16)	98	個人住宅	溝1、縄文前期集石2	埋(22)
00試(1)	中丸1-4-7	(2000. 7. 4～11)	932	宅地造成(土地分譲)	縄文前期(関山期)住居跡5、土坑13	埋(23)
00試(2)	西原2-4-8, 10	(2000. 7. 17～24)	1,081	宅地造成(土地分譲)	なし	埋(23)
00試(3)	長宮2-1-17	(2000. 8. 21～23)	687	共同住宅	なし	埋(23)
00試(4)	長宮1-3-3A, 4A	(2001. 1. 17～23)	1,119	宅地造成(土地分譲)	近世以降土坑1	埋(23)
23次	中丸1-4-7	2001. 7. 18～26	137	個人住宅	土坑6(縄文早期後葉1、縄文前期4、近世以降1)	埋(24)
01試(1)	長宮2-1-3	(2001. 4. 20～24)	330	個人住宅	なし	埋(24)
01試(2)	西原2-4-7	(2001. 5. 25)	634	共同住宅	なし	埋(24)
01試(3)	中丸1-1-3	(2001. 8. 7～24)	513	共同住宅	道路状遺構1、縄文前期土坑1	埋(24)
01試(4)	長宮2-8-6	(2001. 11. 6)	130	個人住宅	なし	13年教要
02試(1)	長宮1-3-2～5	(2002. 6. 5～11)	3,536	宅地造成(土地分譲)	住居跡2【盛土保存】	埋(25)
02試(2)	長宮1-4-3	(2002. 6. 20～7. 2)	575	確認調査	住居跡2、溝2	埋(25)
02試(3)	中丸1-1-5	(2002. 9. 3～11)	622	宅地造成(土地分譲)	道路状遺構1	埋(25)
02試(4)	長宮1-3-31	(2002. 9. 20～25)	362	地区計画道路	溝1	埋(25)
24次	長宮1-4-3	2003. 1. 30～2. 14	72	個人住宅	住居跡2	14年教要
02試(5)	長宮2-5-6	(2003. 3. 10～12)	827	宅地造成	住居跡1【盛土保存】	14年教要
03試(1)	長宮2-5-30, 32	(2003. 9. 16)	197	区画道路	なし	埋(26)
03試(2)	長宮2-4-7	(2003. 12. 16～18)	1,123	宅地造成	井戸跡1	埋(26)
04試(1)	中丸1-1-11	(2004. 11. 26)	488	宅地造成	なし	埋(27)
04試(2)	長宮1-2-15	(2004. 12. 7～9)	466	農地改良	なし	埋(27)
25	中丸1-4-8	(2007. 2. 15～16)	1,161	個人住宅	ピット3、縄文土器・石器他	市内3
26	西原2-5-2の一部	(2007. 3. 28)	594	個人住宅	縄文土器片	市内3
27	長宮2-1-4	(2007. 5. 30～31)	175	個人住宅	溝、保存措置	市内4
28	長宮2-1-8	(2007. 5. 31～6. 5) 2007. 6. 6～22	188	個人住宅	中近世井戸5、土坑10、ピット13他、縄文土器・石器、中近世陶磁器他	市内4
工事立会	西原2-5-31	2007. 10. 15	120	個人住宅		市内4
29	長宮2-4-6の一部	(2007. 11. 20～12. 3) 12. 4～5	618	共同住宅	土坑1、井戸2、堀跡1、溝5、ピット10、縄文土器、中近世土器他	市内4
30	長宮2-4-6	(2009. 9. 28～11. 2) 11. 4～12. 8	1362. 1	老人福祉施設	中近世土坑、井戸、ピット8、溝2、縄文土器・石器、中近世陶磁器他	市内7, 8
31	欠番					
32	長宮2-1-18	(2010. 1. 15～25) 2011. 2. 4～26	271	分譲住宅	中近世土坑20、ピット142、溝3、縄文土器、中近世陶磁器他	市内7, 8
33	中丸1-3-2	(2011. 5. 19～5. 31)	534	分譲住宅	堀跡1	未報告
34	中丸2-2-2, 46	(2011. 6. 27～7. 16) 2011. 11. 2～12. 1	914	分譲住宅	縄文時代早期炉穴、前期(関山)住居跡1、近世溝、縄文土器他	未報告
35	上ノ原3-1-4	(2011. 9. 9～27)	1157. 88	共同住宅	縄文時代焼土跡1	未報告
36	長宮2-4-3	(2011. 10. 4～17) 10. 21～11. 14	981	個人住宅	中近世井戸15、土坑5、溝15、ピット多数、板碑他	未報告
37	上ノ原3-6-6	(2011. 11. 8)	105	個人住宅	なし	未報告
38	長宮1-4-27	(2011. 11. 24～25)	101	分譲住宅	なし	未報告
39	長宮2-3-23	(2012. 2. 1)	130. 54	個人住宅	なし	未報告
40	西原2-5-7の一部	(2012. 4. 16)	201	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	未報告
41	福岡字丸堀988-1～3, 989-2～5, 990-3	(2012. 4. 17～5. 31) 6. 11～7. 23	1,132. 62	分譲住宅	炉穴1、焼土面1、落とし穴1、土坑12、ピット33、溝1、縄文前期土器片・石器、近世陶磁器等	未報告

※埋：上福岡市教育委員会埋蔵文化財の調査報告書、上遺調：上福岡市遺跡調査会報告書、教要：上福

第42表　江川南遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ( )は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	亀久保121-1	1977. 8. 30～9. 30	64	町史編纂事業	縄文中期：住居跡1軒(1号)	大井町史料7集
2	東久保1-120-3	(1991. 5. 28～5. 31) 1991. 6. 1～	580	共同住宅	旧石器：礫群3，縄文土器片、中世：堀跡	東XI
3	鎧ヶ舞1-110-5	(1992. 3. 25)	646	資材置場	鎧ヶ舞遺跡第3地点として報告 遺構・遺物無し	町内I
4	亀久保192	(1995. 8. 28～9. 21)	825	車庫建設	縄文中期：住居跡1軒(2号)・土器・石器，近世以降：土坑24基，井戸1基，焼土跡1，近世以降：陶磁器	町内V
5	東久保1-194・195の一部	(1996. 8. 5～8. 8) 1996. 8. 20～8. 29	2,092	店　舗	縄文：ピット10，溝4本，中世：堀跡	町VI・調査14集
6	亀久保(旧地蔵院遺跡第1地点)	(1985. 10. 17～11. 8)	837	町史編纂	縄文中期：土坑4基，近世以降：池状遺構1，竪穴遺構1，溝3本，肥前系磁器，灯明皿，古銭，煙管出土	町V
	亀久保3-193	(2003. 4. 16～4. 24)	929	店　舗	平成15年3月調査、2号住居の続き検出	町VII
7	亀久保196-1　他	1996. 11. 19～2. 13	1,322	区画整理道路	縄文：落し穴2基，中世：堀跡，近世以降：溝，ピット2	調査14集
8	東久保7街区1画地	(1997. 10. 13～10. 15)	50	墓地移転	縄文：落し穴1基，ピット4，かわらけ片1点	町VII
9	東久保1街区2・3画地	(1998. 10. 6～10. 9)	875	共同住宅	遺構遺物無し	町VII
10	東久保2街区9・10画地	(1999. 5. 24～. 5. 26)	133	個人住宅	遺構遺物無し	町IX
11	東久保1-122-2・4	(1999. 9. 20～9. 27) 1999. 9. 28～10. 15	465	共同住宅	旧石器：石器ブロック4，礫群5，中世：堀跡，土壙1，旧石器コンテナ2箱，土器片コンテナ2箱，銭貨	町IX
12	東久保2街区4・5画地	(1999. 10. 26～10. 28)	104	個人住宅	遺構無し，縄文：無文土器片1点	町IX
13	東久保3街区21画地	(2000. 6. 7) 2000. 6. 8～6. 21	123	個人住宅	縄文：集石土坑3，土坑1	町X
14	東久保1街区1画地	(2000. 7. 5～7. 10) 2000. 7. 10～7. 18	461	店　舗	縄文：ピット20，近世以降：柵列1、溝1，土坑1，ピット3	町X
15	東久保2街区1画地	(2000. 12. 8～12. 26) 2001. 1. 10～1. 19	2,375	共同住宅	中世：堀跡1，溝3，柵列1本，ピット，旧石器：黒曜石剥片，縄文：土坑1，ピット，縄文土器片，近世：陶磁器片	町X・調査14集
16	東久保1街区	(2002. 9. 24～10. 4)	3,752	給油所	遺構遺物無し	町VII
17	東久保196-1(1街区20～23画地)	(2002. 10. 29～11. 11)	474	宅地分譲	ピット6，溝2，堀跡，旧石器，土器片、石器	町VII
18	東久保285-51，52　他	(2003. 7. 11～7. 16)	240	共同住宅	遺構遺物無し	町VII
19	東久保1-185-1	(2003. 9. 18～10. 8) 2003. 10. 10～11. 14	1,129	店　舗	旧石器：礫群，土坑22，ピット69，堀跡，溝，旧石器：石器群3	町VII
20	東久保1-183-5	(2005. 8. 1～8. 11) 2005. 8. 18～9. 10	951	分譲住宅	縄文中期住居2軒(3号，4号)，集石土坑5，ピット1，溝6	調査18集
21	東久保1-29-1	(2006. 10. 10)	99	個人住宅	遺構遺物無し	市3
22	東久保132-11	(2006. 10. 11～11. 6) 2006. 11. 7～11. 9	206	分譲住宅	旧石器礫群5	市3
23	東久保1-121-1	(2007. 1. 24～2. 1) 2007. 2. 19～3. 16	1,011	分譲住宅	旧石器礫群6，縄文中期住居跡2軒(1・5号)、集石土坑2，土坑2，ピット30，溝4	市3
24	東久保1-122-5	(2009. 12. 4～10) 2009. 12. 14～28	178	分譲住宅	旧石器礫群4，石器集中1，縄文時代集石土坑1，堀跡、ナイフ形石器他，縄文土器・石器	市7・8
25	東久保183-8・13	(2012. 7. 4)	252. 88		遺構遺物無し	未報告

※東：大井町東部遺跡群、町：大井町町内遺跡群、調査：大井町遺跡調査会報告、市：ふじみ野市市内遺

第43表　江川東遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ( )は試掘調査	面積(㎡) カッコ開発面積	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	東久保1-145-14	(1994. 3. 24～3. 25)	52	個人住宅	溝状遺構、縄文土器・石器、須恵器	町III
2	大字東久保1-162-34	1995. 1. 20～2. 6	191	個人住宅	近世土坑17，ピット18，フレーク，須恵器，陶磁器	町IV
4	大字亀久保138-4	(1996. 1. 24～1. 29)	246	個人住宅	ピット3，溝2，遺物なし	町V
5	東久保1-155-6	(1998. 6. 1～6. 9)	164	土地分譲	ピット	町VII
6	東久保1-168-7	(2001. 7. 17)	15(71)	個人住宅	遺構遺物なし	町XI
7	東久保1-160-47	(2004. 1. 4)	88	個人住宅	遺構遺物なし	町VII
8	東久保1-150他	(2004. 3. 25～4. 8)	6, 137	共同住宅	土坑1，溝，風倒木痕1	町VII
9	東久保1-146-1, 147-1	(2004. 5. 11～19) 2004. 5. 10～25	464	保育園	ピット40，溝2，縄文土器，駐車場部分現状保存	町VII/調査14集
10	東久保1-174-1, 36	(2005. 10. 13～24)	267(881)	分譲住宅	土坑1，遺物なし	市2
11	東久保1-162-1, 14	(2006. 11. 9～15)	200(674)	分譲住宅	遺構検出	市3
12	東久保1-27-3	(2006. 11. 10)	6(72)	宅地造成	遺構遺物なし	市3
13	東久保1-155-4	(2006. 8. 11)	24(114)	個人住宅	遺構遺物なし	市3
14	東久保1-174-38	(2007. 5. 25～29)	30(67)	個人住宅	遺構遺物なし	市4
15	東久保1-136-5	(2007. 9. 11～13)	91(344)	公民館分館	遺構遺物なし	市4
16	東久保1-176-13～16	(2009. 9. 14～15) 2009. 9. 16～18	63(148)	個人住宅	縄文時代集石土坑1	市8
17	東久保1-177-1	(2009. 12. 10～18)	156(556)	旭下道跡調査	遺構遺物なし	市8
18	東久保1-176-9	(2011. 11. 28)	(72)	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
19	東久保1-146-6	(2012. 7. 21)	(74. 2)	個人住宅	遺構遺物なし	未報告

※東：大井町東部遺跡群、町：大井町町内遺跡群、調査：大井町遺跡調査会報告、市：ふじみ野市市内遺跡群

第44表　東久保遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ( ) は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	亀久保字東久保285-1他	(1976. 6. 29～7. 27)	10,000	亀久保小学校	縄文時代集石土坑6、土坑3、井戸2、溝2、縄文土器・石器	大井町文化財報告第7集東久保遺跡
2	亀久保293-1他	1994. 12. 19～1995. 3. 23 (1995. 5. 18～5. 22)	2,472	区画整理道路	中近世の溝5、ピット4、土坑2、縄文土器片	調14集
3	亀久保284-1	(1996. 11. 15)	25	水道管埋設	溝1	町Ⅵ・調14集
4	亀久保364-1	(1996. 5. 20～5. 29)	270	宇宙医療所	溝2、穂列1、遺物なし	町Ⅵ・調14集
5	亀久保366	(1996. 11. 22～1997. 3. 5	3,314	区画整理道路	土坑3、中世の堀跡1、溝2、ピット1、土器・石器	調14集
6	亀久保271-1	<A区>1997. 1. 20～2. 13 <B区>1997. 2. 24～3. 19 <C区>1997. 7. 24～7. 25 <D区>1997. 8. 6	2,309 168	区画整理道路	縄文時代落とし穴2、集石土坑1、土坑1、ピット5、溝8、縄文土器・石器	調14集
7	(亀久保堀跡遺跡第1地点に変更)					調14集
8	東久保18街区12画地	(1997. 7. 29～8. 2)	305	個人住宅	縄文時代土坑2、ピット2	町Ⅵ
9	亀久保279、280	(1997. 8. 18～8. 28) 1998. 3. 1～5. 18	2,117	共同住宅	縄文時代集石土坑5、土坑13、ピット7、近世以降の溝3、旧石器時代石器、縄文時代土器・石器	町Ⅵ・調14集
10	東久保19街区C	(1997. 9. 2～10. 1)	1,067	分譲住宅	縄文時代集石土坑1、近世以降の溝1、縄文土器片	町Ⅵ
11	東久保	1998. 7. 13～8. 6, 1999. 3. 11～3. 12	588	区画整理道路	中世以降の柵列1、ピット3、溝1、縄文土器・石器	調14集
12	東久保	1999. 1. 19～1. 21	282	区画整理道路	縄文時代集石土坑1、ピット10、近世以降の溝2	調14集
13	東久保381-5他	1999. 3. 19～5. 20 1999. 11. 2	360 162	区画整理道路 個人住宅	遺構遺物なし	調査14集 町Ⅸ
14	東久保18街区3画地	(1999. 6. 29～7. 16) 1999. 7. 19～7. 29	823	共同住宅	溝2、穂列1、縄文土器片、瓦質陶器片	町Ⅸ・調14集
15	東久保5街区14～16画地	(1999. 8. 2)	178	個人住宅	遺構遺物なし	町Ⅸ
16	東久保15街区1～5、32画地	(1999. 10. 1～10. 6)	334	個人住宅	遺構遺物なし	町Ⅸ
17	東久保381-5	(1999. 6. 14～6. 15)	168	個人住宅	遺構遺物なし	町Ⅸ
18	東久保27街区2画地	(1999. 11. 30～12. 15)	14,989	小学校グランド	柵列	町Ⅸ
19	東久保3街区9、10画地	(1999. 12. 20～12. 21)	108	店舗併用住宅	遺構遺物なし	町Ⅸ
20	東久保4街区9画地	(2000. 2. 28～3. 3)	478	個人住宅	遺構遺物なし	町Ⅸ
21	東久保18街区14画地	(2000. 3. 23～3. 28)	114	個人住宅	遺構遺物なし	町Ⅸ
22	東久保15街区29画地	(2000. 3. 22～3. 23)	150	個人住宅	遺構遺物なし	町Ⅸ
23	東久保	2000. 3. 13～3. 16, 2000. 3. 27～4. 6	280	区画整理道路	縄文時代土坑1、焼土跡1	調14集
24	東久保14街区	2000. 1. 19	390	区画整理道路	遺構遺物なし	調14集
25	東久保18街区13画地	(2000. 4. 13～4. 14)	135	個人住宅	遺構遺物なし	町Ⅹ
26	東久保31街区9画地	(2000. 4. 14)	1,107	砂利敷駐車場	溝、ピット、縄文土器片他	町Ⅹ
27	東久保26街区	2000. 5. 17～6. 8	560	区画整理道路	縄文時代ピット15、近世土坑1、穂列1、溝2	調14集
28	東久保14街区8画地	(2000. 6. 29～7. 4)	130	個人住宅	遺構遺物なし	町Ⅹ
29	東久保4街区18、20画地	(2000. 6. 30～7. 4)	218	個人住宅	溝2	町Ⅹ
30	東久保294番2	2000. 7. 4	48	区画整理道路	埋炎遺構、遺物なし	調14集
31	東久保15街区26画地	(2000. 6. 7)	126	個人住宅	遺構遺物なし	町Ⅹ
32	東久保277、381番地他	2000. 7. 12～8. 4 2001. 7. 16～11. 30	265 590	区画整理道路	旧石器時代石器製作跡2、縄文時代土坑2、ピット12、時期不明の溝・穂列各1、ナイフ形石器他	調14集
33	東久保15街区24画地	(2000. 8. 2～8. 3)	128	個人住宅	遺構遺物なし	町Ⅹ
34	東久保18街区14画地	(2000. 8. 29～8. 30)	110	個人住宅	ピット4	町Ⅹ
35	東久保23街区3、4画地	(2000. 12. 7～12. 9)	139	個人住宅	溝1、ピット1	町Ⅹ
36	東久保15街区21、22画地	(2001. 1. 19～1. 25)	135	個人住宅	遺構遺物なし	町Ⅹ
37	東久保15街区13、33画地	(2000. 12. 11)	149	個人住宅	遺構遺物なし	町Ⅹ
38	東久保284-1、285-1	2000. 12. 13～12. 15	501	区画整理道路	縄文時代ピット1、遺物なし	調14集
39	東久保4街区8、9画地	(2001. 3. 22～3. 27)	317	個人住宅	縄文時代落とし穴	町Ⅹ
40	東久保270-3、270-4	2001. 3. 23、2001. 6. 1	128	区画整理道路	遺構遺物無し	調14集
41	東久保4街区6、7画地	(2001. 5. 28～5. 29)	112	個人住宅	近世以降の溝1、遺物なし	町Ⅺ
42	東久保19街区10画地	(2001. 4. 18～4. 21)	864	駐車場	近世以降の溝1、遺物なし	町Ⅺ
43	東久保15街区14、15画地	(2001. 5. 22～5. 25)	142	個人住宅	遺構遺物なし	町Ⅺ
44	東久保19街区9、11、12画地	(2001. 5. 10～6. 29)	757	倉庫	縄文時代落とし穴、風倒木痕、ピット5、溝2、縄文土器・石器他	町Ⅺ
45	亀久保258-21	(2001. 6. 1)	100	個人住宅	遺構遺物なし	町Ⅺ
46	東久保17街区3、4画地	(2001. 6. 4～6. 6)	135	個人住宅	溝1、縄文土器片2、磁器片1	町Ⅺ
47	東久保31街区6、13画地	(2001. 10. 11～10. 26)	1,203	店舗	縄文時代落とし穴1、溝1	町Ⅺ
48	東久保18街区9、10画地	(2001. 12. 12～12. 25)	518	分譲住宅	遺構遺物なし	町Ⅺ
49	東久保13街区7画地	(2002. 2. 12～2. 13)	100	分譲住宅	遺構遺物なし	町Ⅺ
50	東久保3街区22画地	(2002. 9. 24)	102	個人住宅	遺構遺物なし	町Ⅻ
51	東久保18街区11画地	(2002. 12. 3)	155	個人住宅	遺構遺物なし	町Ⅻ
52	東久保4街区3画地	(2003. 2. 6～2. 7)	64	個人住宅	溝、井戸	町Ⅻ
53	東久保4街区10画地	(2003. 5. 7～5. 22)	408	共同住宅	ピット1	町Ⅻ
54	亀久保字東久保272（19街区1画地）	(2003. 5. 9～5. 22)	798	共同住宅	溝3、ピット4、落とし穴1	町Ⅻ
55	亀久保字東久保488（18街区1画地）	(2003. 6. 9～6. 12)	165	個人住宅	遺構遺物なし	町Ⅻ
56	亀久保字東久保15街区12画地	(2003. 7. 31～8. 1)	165	個人住宅	遺構遺物なし	町Ⅻ
57	亀久保258-26（4街区14画地）	(2003. 9. 29～10. 1)	133	個人住宅	遺構遺物なし	町Ⅻ
58	ふじみ野2-22-2	(2004. 1. 13～4. 14)	558	分譲住宅	溝2	町Ⅻ
59	ふじみ野2-25-7～9	(2004. 6. 29) 2004. 7. 12～7. 23	1,804	店舗	土坑4、ピット9、溝2	町Ⅻ・調14集
60	ふじみ野2-26-16	(2004. 7. 22～7. 24)	337	個人住宅	ピット1	町Ⅻ
61	東久保26街区	2004. 9. 29～11. 26	2,576	区画整理道路	縄文時代土坑7、ピット8、溝6、（調査区内の一部は墨江地点で調査済）	調14集
62	ふじみ野2-2-5-16	(2004. 10. 12～10. 15)	220	宅地造成	溝3	町Ⅻ
63	ふじみ野2-5-10、12	(2006. 2. 1)	165	個人住宅	遺構遺物なし	市2
64	ふじみ野2-18-6の一部	(2006. 10. 12～10. 20) 2006. 10. 24～26	437	共同住宅	近世の穂列1、溝4	市3
65	ふじみ野2-22-2、5～7	(2008. 1. 18～28)	260	小学校増築	遺構遺物なし	市4
66	ふじみ野2-19-4、19-5	(2008. 5. 22～6. 11)	862	分譲住宅建設	溝3	市6
67	ふじみ野2-25-10・11	(2009. 11. 9)	492	個人住宅	遺構遺物なし	市8
68	ふじみ野2-18-3	(2010. 11. 22～26) 2010. 12. 29～12. 8	791	分譲住宅建設	縄文時代集石1、近世以降溝跡2、穂列1、本調査	未報告

※東：大井町東部遺跡群、町：大井町町内遺跡群、調：大井町遺跡調査会報告、市：ふじみ野市市内遺跡群

第45表　駒林遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 （）は試掘調査	面積(㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1次	駒林字南原353,354	1986.8.13～25	1,536	範囲確認	平安土器散布他	埋(IX)
92試(1)	大字駒林字南原341	(1992.9.16～18)	987.6	共同住宅	遺構遺物無し	埋(15)
95試(1)	駒林字新田前271-2	(1995.11.8～24)	231	個人住宅	溝1	埋(18)
96試(1)	駒林本町153-3,4	(1996.6.10～13)	231	個人住宅	遺構遺物無し	埋(19)
97試(1)	駒林字新田前266-2	(1997.5.8～12)	132	個人住宅	溝1(時期不明)	埋(20)
97試(2)	駒林字新田前223	(1997.5.9～15)	991.55	宅地造成	溝1(時期不明)	埋(20)
97試(3)	駒林字新田前291-1,2	(1997.10.6～17)	991	診療所	溝1(時期不明)	埋(20)
98試(1)	駒林字新田前312	(1998.8.10)	234	個人住宅	遺構遺物無し	埋(21)
99試(1)	駒林字南原424-2の一部,20の一部,23	(1999.4.9)	330.38	個人住宅	遺構遺物無し	埋(22)
99試(2)	駒林字南原394-2	(1999.5.25)	125.91	個人住宅	遺構遺物無し	埋(22)
99試(3)	駒林字南原420-1	(1999.7.1)	1,322	礼拝堂(遠場)	溝1(時期不明)	埋(22)
00試(1)	駒林字南原344-2	(2000.1.18～20)	785.79	共同住宅	溝1(時期不明)	埋(22)
02試(1)	駒林字新田前238,240～242-1の一部	(2002.6.3～21)	650	区画整理	溝8、土坑7、地下式坑1	埋(25)
02試(2)	駒林字新田前243～245	(2002.8.9～30)	275	区画整理	溝1、遺物無し	埋(25)
02試(3)	駒林字新田前262-1,263,264の一部	(2002.8.30～9.19)	1,120	区画整理	土坑1、遺物無し	埋(25)
02試(4)	駒林字新田前280～282-2,290,292-1～298	(2002.11.11～27)	1,150	区画整理	溝4、遺物無し	埋(25)
03試(1)	駒林字新田前263,273,275(字新田前)試掘調査	(2003.5.16～21)	558	区画整理	溝1	埋(26)
03試(2)	駒林字南原364外41筆の一部(字南原)試掘調査	(2003.4.25～12.22)	7,278.5	区画整理	遺構遺物無し	埋(26)
03試(3)	駒林字南原409,410の一部(字南原)試掘調査(区6-10号線予定地東端)	(2004.1.21)	292		遺構遺物無し	15年教要
04試(1)	駒林字新田前281	(2006.1.7～24)	1,487	範囲確認	溝1	埋(27)
1	駒林土地区画整理事業地内20街区5,8,9	2006.7.13～28	646	共同住宅	堀跡、茶毘跡検出	市3
2	駒林土地区画整理事業地内17街区7,8の一部	2006.11.21～29	421	専用住宅	堀跡検出	市3
3	駒林土地区画整理事業地内21街区3,4の一部	2006.11.30～12.18	1,916	店舗	近世遺構建設	市3
4	駒林8地区7街区3,4	2007.6.11～13	1,866	共同住宅	調文：土坑1	市4
5	大字駒林字新田前256(仮換地指定30街区2)	(2008.4.9～16) 2008.5.30～6.28	509	分譲住宅	調文：集石3、中近世：地下式坑1、竪穴状遺構25、溝4、柵列、ピット	市5,6
6	大字駒林字新田前248-2(仮換地1街区27符号1)	(2008.8.27)	257	個人住宅	遺構・遺物無し	市6
7	駒林土地区画整理事業地内28街区5画地	(2009.2.3) 2009.2.4,5	152	個人住宅	時期不詳の堀・溝跡2	市6
8	大字駒林字新田前245-5	(2009.6.8)	132	個人住宅	遺構遺物無し	市8
9	大字駒林字新田前284	(2009.7.22～30) 2009.7.30～8.5	892	共同住宅	調文：集石土坑1、土坑2、ピット9、溝1	市8
10	大字駒林字新田前288-1の一部	(2010.2.17,18)	400	個人住宅	遺構遺物無し	市8
11	駒林区画整理事業27街区2,10画地,11画地の一部	(2010.4.12～21)	689	個人住宅	遺構遺物無し	未報告
12	駒林字新田前258-2(28街区12画地)	(2010.7.14)	115	個人住宅	中世～近世：溝確認	未報告
13	新駒林3-722-1,3,4	(2010.7.27～29)	927	共同住宅	近世の土坑2、ピット11	未報告
14	駒林字新田前285～287、288-2,3(22街区内)	(2010.9.1～8)	2,000	公園工事	遺構遺物無し	未報告
15	大字駒林字新田前266-3(24街区12符号)	(2011.2.16,17) 2011.2.17	115	個人住宅	時期不詳の土坑1	未報告

※埋：上福岡市教育委員会埋蔵文化財の調査報告書、教要：上福岡市教育要覧、市：ふじみ野市市内遺跡群報告書

第46表 西ノ原遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ( )は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1		1971			住居跡1, 土坑3, 集石土坑1	町資1
2	西ノ原83	1978.12.6～12.26	270	宅地造成	住居跡1, 溝2, 旧石器, 縄文土器 1979「西ノ原遺跡」	西ノ原遺跡
3		1979.3		宅地造成	土器片のみ出土	
4	西ノ原125-1	1979.7.2～7.9	668	宅地造成	遺構なし, 縄文中期土器	東I
5		1979.8.1～8.14		町史編纂事業	住居跡1, 土坑1, 早期炉穴2, 縄文中期土器「大井町史料7集」	町史料7集
6	西ノ原170-2	1980.6.19～6.27	450	宅地造成	土坑2, 柱穴2, 堀之内II式土器他	東II
7	西ノ原96-1	1980.10.1～10.29	563	宅地造成	旧石器礫群2, 縄文土坑1	東II
8	西ノ原95-2,3	1980.10.30～11.14	661	宅地造成	縄文集石土坑7, 土坑1, 溝2, 縄文中期土器	東II
9	西ノ原93-1,98-1	1981.6.1～6.23	600		柱穴6, 溝2, 石器, 土器	東III
10	西ノ原180-2	1981.11.4～11.13	400	個人住宅	柱穴11	東III
11	西ノ原143-4	1983.5.23～5.27	198	宅地造成	縄文土坑1, 縄文中期土器	東V
12	西ノ原122-3	1983.7.6～8.11	330		縄文中期住居2, 縄文土坑39	東V
13	西ノ原114-6	1983.9.13～10.18	350		縄文中期住居1, 縄文土坑16, 集石1, 溝1	東V
14	西ノ原143	1983.10.24～11.7	240		縄文中期住居2, 縄文土坑3, 集石1, 溝1	東V
15				共同住宅	縄文土坑2, ピット6	
16					遺構なし	
17	西ノ原135-3	1985.5.13～5.22	165	宅地造成	縄文土坑2, 溝1	東VI
18	西ノ原141-2	1985.7.26～8.5	569	宅地造成	縄文中期住居1, 縄文土坑1, ピット群	東VI
19	西ノ原135-1	1986.7.8～7.21	230	住宅建設	縄文中期住居1, 縄文土坑1, 屋外埋甕2	東VII
20	西ノ原135-1	1986.11～1987.4	3,553	区画道路	縄文早期炉穴4, 中期住居跡12, 竪穴状遺構, 屋外埋甕2, 落とし穴3, 土坑40	調査6集
21	西ノ原95-1	1986.12.11～1987.1.9	417	住宅	竪穴状遺構1	東VII
22		1987	480	資材置場	縄文中期住居跡2, 縄文土坑11, ピット2	東VIII
23		1987.7～8	1,024	区画道路	土坑2	調査6集
24		1987			縄文中期住居2確認, 未検出	
25		1988.1～2	781	区画道路	遺構なし	調査6集
26		1988.3～4	1,649	区画道路	旧石器礫群, 縄文中期住居跡3, 土坑9, ピット, 屋外埋甕1	調査6集
27		1988.10	942	区画道路	縄文中期住居跡5, 縄文土坑2, 炉穴1, 集石土坑1	調査6集
28		1988.11		区画道路	遺構なし	調査6集
29		1988.12		区画道路		調査6集
30		1989.2～3		区画道路	土坑1	調査6集
31	西ノ原115-1	1989.11.4～11.11	21	下水管埋設	遺構なし	東IX
32	西ノ原122	1989.1.10～1.19	21	区画道路	縄文中期住居跡1, 屋外埋甕3	東IX
33	西ノ原153-2	1989.1.10～1.19	21	区画道路	縄文中期住居跡1	東IX
34	西ノ原171	1989.1.24～1.31	21	区画道路	縄文中期住居跡1	東IX
35		1989.2～3	4,000	区画道路	縄文中期住居跡1, 土坑1	調査6集
36		1989.3～4		区画道路	縄文中期住居跡4, 縄文土坑5, 落とし穴2 井戸1	調査6集
37		1989.5～8	200	区画道路		
38	西ノ原142-2	1989.8.29～9.12	74	個人住宅	縄文中期住居跡1, 土坑3	東X
39	西ノ原142-2	1989.8.29～9.12	94	個人住宅	土坑2, 溝2	東X
40		1989.9.18～10.16, 1989.10.19～11.4	980	消防訓練場	縄文中期住居跡4, 土坑4, 集石土坑1, ピット28	東X
41		1989.9～10	476	区画道路	縄文中期住居跡4, 土坑1	調査6集
42		1991.12～1992.7		区画道路	屋外埋甕2, 土坑19	調査6集
43	苗間153-3	1990.6.26～7.9	272	個人住宅	縄文中期住居跡4, 土坑3	東XI
44		1990.6～8	3,224	区画道路	屋外埋甕, 炉穴3, 落とし穴2, 土坑16, 集石土坑1	調査6集
45		1991.2		区画道路		
46	苗間83-2	1991.4.9～4.10	199	個人住宅	遺構なし, 土器片のみ	町I
47	苗間136-2	1991.7.15～7.26	141	個人住宅	遺構なし, 石鏃, 土器片のみ	町I
48		1991.9～10	2,610	区画道路	縄文中期住居跡, 土坑3	調査6集
49		1991.12～1992.1		区画道路	縄文中期住居跡12, 集石土坑1, 土坑8	調査6集
50		1991.11～12		区画道路	縄文中期住居跡15, 屋外埋甕1, 土坑3	調査6集
51	苗間153-2	1991.2.4～2.12	1,190	モデルルーム	縄文中期住居跡2, 掘立柱跡, 土坑2, ピット5	町I
52	苗間122	1991.2.10～2.20	984	ガソリンスタンド	縄文中期住居跡14, 集石土坑7, 土坑5, 野外炉1, ピット19	調査5集
53	西ノ原133-2	1992.6	261	分譲住宅		
54		1992.5～7		区画道路	集石土坑1, 土坑1	調査6集
55	西ノ原135-5他	1992.5.21～6.23	211	駐車場	縄文中期住居跡2, 炉穴5, 土坑1	調査5集
56	西ノ原133-2	1992.6.23～6.26	261	分譲住宅	集石土坑1, 土坑3, ピット6, 溝1	町II
57	西ノ原143-3,4	1992.7.6～9.1	174	個人住宅	縄文中期住居跡2, 土坑1	町II
58	西ノ原137-2	1992.9.8	146	個人住宅	遺構なし, 縄文土器若干	町II
59	西ノ原135-1	1992.10.6～11.12	494	個人住宅	縄文中期住居跡3, 炉穴11, 屋外埋甕1, 土坑1, ピット12	町II
60	西ノ原136-2	1992.12.10～12.25	253	個人住宅	縄文中期住居跡2, 炉穴4, 土坑1, ピット34, 落とし穴1	町II
61	西ノ原	1993.2	2,240	区画整理	早期竪穴状遺構1, 落とし穴3, 土坑2, 炉穴	調査6集
62						
63	西ノ原162-3,169	1993.4.13～4.22	147	共同住宅	中(近世)ピット群, 遺物なし	町III
64	西ノ原94-1	1993.4.27～4.28	327	共同住宅	近世・近代溝, 前期土器	町III
65	西ノ原145-1	1993.6.7～6.11	615	共同住宅	縄文中期土坑3, 平安時代住居跡1, 土師器, 須恵器	町III
66	西ノ原133-2	1993.6.30～7.19	474	共同住宅	近代溝, 縄文土器	町III
67	西ノ原139-2	1994.1.20～1.21	308	倉庫	縄文中期土坑, ピット, 近代溝	町III
68	西ノ原91-2,6	1994.3.22～3.25	285	店舗住宅	遺構遺物なし	町III
69	苗間106	(1994.4.8～4.27), 1994.5.16～10.24	1,821	店舗	縄文中期住居跡28, 土坑6, ピット11, 溝1	調査11集
70	苗間136	1994.5	551	店舗	屋外埋甕4, 土坑14	調査6集
71	苗間112	1994.6～7	309	個人住宅	落とし穴1	
72	苗間112-109	1994.11.2～11.28	321	個人住宅	縄文中期住居跡3, 土坑2, 溝2	町IV
73	苗間92-1	1994.3.27～3.29	274	個人住宅	遺構遺物なし	町IV
74	苗間163	(1994.4.21～5.13)	169	事務所	ピット6	町V
75	苗間122	(1995.5.16～5.23), 1995.6.2～9.23	379	事務所	縄文中期住居跡17, 集石土坑1, 土坑4, 集石2, ピット9, 溝1	調査11集
76	苗間151-2他	(1995.4.20～4.27)	468	倉庫	ピット1, 溝1	町V
77	苗間143-2	(1995.5.24～5.25), 1995.6.1～7.28	347	店舗	縄文中期住居跡1, 土坑18, 溝4, ピット58	調査11集
78	苗間22-3-2	(1995.6.28～8.8)	45	貯水槽	縄文中期住居跡3	町V
79	苗間162-2他	(1995.6.29～7.24)	135	個人住宅	遺構遺物なし	町V
80	苗間83-2	(1995.7.19～7.25)	319	駐車場	遺構遺物なし	町V
81	苗間169	(1995.8.2～8.7)	223	店舗付住宅	溝1, 遺物なし	町V
82	苗間168	(1995.8.1～8.5)	249	事務所	遺構遺物なし	町V
83	苗間136-2	1995.8.23～10.21	190	個人住宅	縄文中期住居跡2, 集石土坑2, 土坑2, ピット22	町V
84	苗間108,109	(1995.11.30～12.9)	135	個人住宅	土坑1, ピット5	町V
85	苗間181-3	(1996.1.9～1.26)	654	パチンコ店	遺構遺物なし	町V
86	苗間113-2,93-1	(1996.4.19), 1996.4.22～5.15	698	個人住宅	土坑6, ピット26, 溝2	町VI
87	苗間182-1	(1996.6.14～6.17)	344	学習塾	遺構遺物なし	町VI
88	苗間西ノ原182-3,189-2,202-1	(1996.7.16～7.22), 1996.8.1～8.8	745	共同住宅	土坑3, ピット29, 柵列1, 落とし穴1, 銭	調査11集
89	苗間西ノ原112	(1996.7.17～7.18)	143	個人住宅	溝, 土器片のみ	町VI
90	苗間西ノ原142-2	(1996.7.3), 1996.8.7～8.30	177	個人住宅	縄文中期住居跡2, 炉穴2, 土坑1, ピット9	町VI
91	苗間169	(1996.8.1～8.5)	477	店舗	遺構遺物なし	町VI
92	苗間192-2	(1996.10.23～10.28)	684	[illegible]	遺構遺物なし	町VI
93	苗間215	(1996.10.22～10.23)	141	分譲住宅	遺構なし, 土器片のみ	町VI
94	苗間145-2	(1996.11～11.12)	165	個人住宅	遺構なし, 土器片のみ	町VI
95	苗間154	(1996.11.14～11.19)	283	商業ビル	炉1	町VI
96	苗間441	(1996.12.17～12.20), 1997.1.9～1.14	333	個人住宅	縄文中期住居跡2, 炉穴2, 土坑1, ピット3	町VI
97	苗間97-2	(1996.12.19～12.20)	141	分譲住宅	遺構遺物なし	町VI
98	苗間171-2	(1997.1.6)	206	個人住宅	盛土保存	町VI
99	苗間97-1	(1997.1.20～1.24)	396	個人住宅	土坑1, 落とし穴1, ピット12, 溝1	町VI
100	苗間150-2	(1997.4.5～4.12)	447	共同住宅	土坑2, ピット3	町VII
101	苗間183-1,3	(1997.7.22～7.25)	187	モデルハウス	遺構遺物なし	町VII
102	大井苗間22街区5画地	(1997.10.9～10.20)	179	個人住宅	ピット2, 溝2	町VII
103						
104	苗間22街区2画地	(1997.10.6～10.8)	223	個人住宅	焼土, 溝2	町VII
105	苗間125-2,126-2	(1998.1.13～2.12)	565	共同住宅	縄文中期住居跡1, 炉穴1, 溝9	町VII
106	苗間112	(1998.1.28～2.4)	135	個人住宅	ピット1	町VII
107	苗間112	(1998.2.9～2.13)	135	個人住宅	ピット4, 溝1	町VII
108	苗間91-1,92-1,99-1	(1998.3.3), 1998.3.4～3.17	413	個人住宅	縄文住居跡1, 土坑1, 近世溝3	町VII
109	苗間83-4,429	(1998.3.11～3.18)	429	店舗付共同住宅	遺構遺物なし	町VII
110	苗間146-2	(1998.4.20～5.28)	385	郵便局	落とし穴1, 集石1, 礫群1	町VIII
111	大井苗間25街区8画地	(1998.10.23～10.27)	354	個人住宅	ピット1, 近世の溝1, 道1	町VIII
112	大井苗間25街区8画地	(1999.2.9)	144	個人住宅	近世の溝のみ	町VIII
113	大井苗間57,58街区	(1999.11.4・5～1999.12・14), 2000.1.6～3.13	2,817	店舗	旧石器時代のユニット, 中期住居6, 炉穴2, 土坑, ピット, 近世溝	町IX
114	西ノ原194-1	(1999.8.4～8.12)	676	駐車場	落とし穴1, ピット2	町IX
115	大井苗間22街区3画地	(1999.9.27～9.29)	135	事務所	遺構遺物なし	町IX
116	大井苗間36街区11画地	(1999.12.2～12.3)	119	個人住宅	遺構遺物なし	町IX
117	大井苗間199-2	(1999.12.2～12.4)	131	店舗併用住宅	遺構遺物なし	町IX
118	大井苗間36街区11画地	(2000.4.3～4.12)	548	店舗住宅	遺構無し, 縄文中期土器片	町X
119	大井苗間36街区4画地	2000.11.15～12.6	221	倉庫	縄文中期住居3, 土坑1, 近世溝1	町X
120	大井苗間30街区4画地	(2001.5.7～5.15)	1,120	共同住宅	遺構無し, 縄文中期土器片	町XI
121	旭1-15	2002.2.7～3.8	803	個人住宅	縄文中期住居2, 土坑2, ピット35, 近世溝4	町XI
122	大井苗間11街区8画地	(2002.3.9～3.19), 2002.6.21～7.22	393	共同住宅	縄文中期住居4, 溝3	町XI
123	大井苗間36街区11画地	(2002.9.3～9.9)	252	共同住宅	根切溝のみ	町XII
124	苗間137-2	(2002.10.2～10.6), 2002.10.8～10.11	524	個人住宅	縄文中期住居1, 土坑2, 溝2	町XII
125	旭1-8-2	(2003.2.14～2.19)	182	個人住宅	ピット5	町XIII
126	旭1-13-6・7	(2004.2.23～2.25)	153	個人住宅	遺構遺物なし	町XIII
127	旭1-13-4・19	(2004.5.24～5.25)	327	個人住宅	土坑1	町XIII
128	旭1-16-9・10	(2004.6.14～7.15), 2004.7.16～9.29	614	店舗	縄文中期住居17, 集石5, 土坑10, ピット17	町XIII
129	旭1-11-5	(2004.9.30～10.7)	235	共同住宅	縄文中期住居跡1	町XIII
130	旭1-5-8	(2004.10.14～10.15)	116	個人住宅	遺構遺物なし	町XIII
131	旭1-5-13	(2004.10.22)	97	店付個人住宅	遺構遺物なし	町XIII
132	苗間1-15-17	(2005.7.28～8.2), 2005.8.3～8.11	272	店舗併用共同住宅	縄文中期住居跡3, 炉穴7, 土坑1	調査18集
133	旭1-8-8	(2005.10.11～10.12)	176	個人住宅	遺構無し, 土器片	市2
134	旭1-13-8	(2005.10.6～10.11)	348	店舗	道跡1	市2
135	うれし野1-5-2	(2006.3.14～4.20), 2006.5.29～6.19	3,341	店舗併用共同住宅	縄文中期住居跡1, 炉穴1	市3
		(2007.11.5～12)	257		土坑1, ピット3	市4
136	苗間1-13-22,23	(2006.6.23)	630	学生寮	遺構遺物なし	市3
137	うれし野2-17-5,6,7	(2006.8.3～7)	661	共同住宅	遺構遺物なし	市3
138	旭1-4-7,4-8	(2006.11.21～22)	247	個人住宅	遺構遺物なし	市3
139	うれし野1-4-4,5,6	(2007.2.1)	474	共同住宅	遺構遺物なし	市3
140	旭1-16-14の一部	(2007.5.7～10)	487	学習塾	遺構遺物なし	市4
141	市沢1-8-8	(2007.5.8～9)	735	店舗兼事務所	土坑1, ピット1	市4
142	うれし野1-6-2	(2008.4.4～4.7)	290	寄宿舎(24戸)	遺構遺物なし	市6
143	うれし野2-17-3	(2009.3.23)	287	寄宿舎(25戸)	遺構遺物なし	市6
144	旭1-8-11	(2009.9.18～25)	155	店舗兼事務所	遺構遺物なし	市8
145	うれし野2-4-1,10	(2010.7.23～8.25)	4,938	[illegible]	近世以降の溝5	未報告
146	旭1-16-3	(2010.10.8～13)	246	分譲住宅	遺構遺物なし	未報告
147	旭1-16-8の一部	2010.12.8～2011.1.18	135	個人住宅	縄文中期住居跡1, 集石土坑1, 土坑1, ピット50, 近世以降溝2	未報告
148	旭1-16-8の一部	2011.1.19～2.1	211	個人住宅	縄文中期住居跡1, 土坑3, ピット20, 近世以降溝2	未報告
149	うれし野2-4-7	(2011.2.7～2.10)	625	[illegible]	近世以降の溝1	未報告
150	旭1-14-5-6	(2012.1.23～2.16) 2012.2.2～3.1	497	宅地造成	縄文中期住居跡12, 集石土坑2, 土坑2, ピット36, 縄文土器・石器	未報告
	旭1-14-19	2012.6.26～27	107	個人住宅	縄文中期住居跡1, 縄文土器・石器	未報告
151	旭1-14-1	(2012.1.23～27)	467	宅地造成	溝5, 縄文土器片	未報告
152	苗間1-12-3	(2012.1.27～30)	224	宅地造成	遺構遺物なし	未報告
	旭1-6-20一部,1-6-21	(2012.5.28～31)	951	共同住宅	縄文中期住居跡1, 縄文土器・石器	未報告

注 東：大井町東部遺跡群, 町：大井町町内遺跡群, 町資：大井町史資料編1, 調査：大井町遺跡調査会報告, 市：ふじみ野市市内遺跡群

第47表　中沢前遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間（）は試掘調査	面積（㎡）	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	苗間184-1, 189-3	1990. 8. 28～10. 18	1, 155	道路築造	土坑4・ピット13	調査6集
2	苗間221-3	(1991. 3. 14～3. 18)	1, 333	個人住宅	縄文前期土器	町Ⅰ
3	苗間字西ノ原189-3	(1992. 10. 1～10. 2)	272	個人住宅	なし	町Ⅱ
4	苗間字西ノ原201-2	(1992. 11. 13～11. 20)	168	個人住宅	土坑1	町Ⅱ
5	苗間184-1	(1993. 2. 13～2. 18)	732	駐車場	遺構遺物なし	町Ⅱ
6	苗間202-1	(1993. 4. 23～4. 26)	506	個人住宅	土坑1・縄文前期土器	町Ⅲ
7	苗間202-1、-3	(1993. 11. 26～11. 29)	687	駐車場	遺構遺物なし	町Ⅲ
8	苗間206-2	(1993. 2. 3～2. 4)	137	事務所	根切溝	町Ⅲ
9	苗間190	(1995. 8. 23～8. 24)	222	個人住宅	土坑1	町Ⅴ
10	苗間185-1	未調査	174			
11	苗間191-1	(1996. 11. 12)	155	個人住宅	遺構遺物なし	町Ⅵ
12	苗間221	(1996. 12. 18～12. 20)	1, 323	個人住宅	縄文落とし穴1、縄文土器片	町Ⅵ
13	苗間1-7-5の一部	未調査				
14	苗間1-10-4	(1997. 2. 26～3. 2)	310	店舗	遺構遺物なし	町Ⅶ
15	苗間1-9-1	(1998. 7. 13)	109	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	町Ⅶ
16	苗間1-11-4、5	(1999. 3. 11～3. 15)	482	共同住宅	遺構遺物なし	町Ⅶ
17	苗間1-6-2	(1999. 3. 11～3. 15)	165	個人住宅	遺構遺物なし	町Ⅶ
18	苗間1-12	(1999. 7. 21～7. 28)	110	店舗併用共同住宅	遺構遺物なし	町Ⅸ
19	苗間1-6-1・9	(1999. 7. 23～7. 30)	360	共同住宅	縄文土坑1	町Ⅸ
20	苗間1-7-1	(1999. 11. 25～30)	231	駐車場	溝13、ピットなど	町Ⅸ
20	苗間1-7-1	(2003. 2. 3～5) 2003. 4. 7～6. 3	978	高齢者介護施設	旧石器（石器群Ⅰ）、縄文（落とし穴1・集石1・土坑4）、近世以降（地下室2・溝9・遺状遺構41・畝列2・土坑4・ピット165）、旧石器、縄文土器、近世、近現代遺物	調査21集
21	苗間1-6-4、5	(1999. 11. 29～11. 30)	19	個人住宅	なし	町Ⅸ
22	うれし野2-15-15	(2000. 5. 25～5. 26)	20	個人住宅	遺構遺物なし	町Ⅹ
23	苗間1-11-1	(2001. 5. 11～5. 15)	85	個人住宅	旧石器礫群	町Ⅺ
24	苗間1-11-4	(2003. 2. 7～2. 13)	185	個人住宅	境界溝	町Ⅻ
25	苗間1-10-8	(2004. 6. 4～6. 10)	809	共同住宅	土坑1、ピット1	町Ⅻ
26	苗間1-11-13	(2005. 11. 30～12. 1)	54	分譲住宅	遺構遺物なし	市2
27	苗間1-11-4	(2010. 2. 9～10)	170. 2	個人住宅	遺構遺物なし	市8
28	うれし野2-8-1	(2011. 6. 8～14)	1, 016	共同住宅	遺構遺物なし	未報告
29	苗間1-8-3～7	(2012. 10. 1～5)	389	店舗	土坑3、ピット9、縄文土器片	未報告

※東：大井町東部遺跡群、町：大井町町内遺跡群、調査：大井町遺跡調査会報告、市：ふじみ野市市内遺跡群

第48表　西台遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間（）は試掘調査	面積（㎡）	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	大井894-2	(1991. 7. 24～25)	1, 600	資材置場	遺構遺物なし	町Ⅰ
2	大井897-1・2	(1994. 4. 4～12)	6, 149	遊技場建設	旧石器時代礫群、縄文時代集石土坑	町Ⅳ
3	大井字西台925-1	(2003. 6. 16～30)	137	個人住宅	木炭窯1、ピット他	町Ⅻ
	大井字西台925-2・9		144	個人住宅	遺構遺物なし	
	大井字西台925-10・13		141	個人住宅	遺構遺物なし	
4	大井字西台894-14、911-56	(2004. 1. 15～16)	164	個人住宅	遺構遺物なし	町Ⅻ
5	大井字西台911-51	(2004. 6. 17)	139	個人住宅	ピット状の遺構確認	町Ⅻ
6	大井字西台891-5	(2005. 6. 24～28)	68（283）	分譲住宅	遺構遺物なし	市2
7	大井字西台854-1の一部	(2009. 3. 5)	7（246. 2）	個人住宅兼店舗	遺構遺物なし	市8
8	大井字西台909-5	(2012. 5. 31)	65. 3	個人住宅	遺構遺物なし	未報告

※町：大井町町内遺跡群、市：ふじみ野市市内遺跡群

第49表　神明後遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ( ) は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	苗間281-1	1993. 5. 6～11	615	共同住宅	遺構なし、平安時代須恵器片、陶器片	町Ⅲ
2	苗間295-2, 299-3	1993. 5. 12～20	1, 688	道路築造	落とし穴1、平安住居跡1軒 (H1号)、縄文土坑1、中・近世掘建柱建物跡、地下式壙1、井戸、堀	町Ⅲ
3	苗間309-12	(1995. 3. 24～29) 1995. 4. 3～5. 19	200	分譲住宅	縄文住居跡1軒 (2号)、伏甕2、埋甕1、土坑2、ピット34他	町Ⅵ
4	苗間302	(1996. 6. 17～19)	703	物置	遺構なし、縄文土器片	町Ⅵ
5	苗間神明後395-5	(1997. 3. 15) 1997. 3. 15～4. 2	80	個人住宅	縄文住居跡1軒 (3号)、土坑5、溝、他縄文中期後半～後期初頭土器	町Ⅵ
6	苗間255, 227-2	(1997. 9. 29～30)	150	個人住宅	土坑1、土器片・石器片	町Ⅶ
7	苗間260	(1998. 6. 1～2)	1, 460	個人住宅	近世地下室1,	町Ⅷ
8	苗間235-1	(1998. 7. 13～24)	458	共同住宅	縄文土器片	町Ⅷ
9	苗間310-1	(1998. 9. 1～11) 1998. 9. 14～10. 15	219	共同住宅	縄文住居跡4軒、集石土坑1、落とし穴1、縄文土坑2、近世土坑1、井戸2、地下室1、ピット33	町Ⅷ
10	苗間298-1	(1999. 9. 16)	44	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	町Ⅸ
11	苗間366	(1999. 10. 21) 1999. 10. 22～26	239	個人住宅	土坑17、ピット7	町Ⅸ
12	苗間282-2・5	(2000. 3. 6)	211	共同住宅	遺構遺物無し	町Ⅸ
13	苗間302-1	(2000. 4. 17～19)	694	個人住宅	土坑12、ピット	町Ⅹ
14	苗間252-2	(2000. 8. 18～23)	357	共同住宅	土坑1、近世掘建柱建物跡1棟、溝2、井戸1、柵列、ピット38	町Ⅹ
15	苗間293-15	(2001. 4. 11) 2001. 4. 12～13	163	個人住宅	集石土坑1 (阿玉台期)	町Ⅺ
16	苗間309-14	(2001. 7. 23～24) 2001. 7. 25～9. 3	165	個人住宅	縄文屋外埋甕4、土坑13、溝2、地下式壙1、地下室1、竪穴状遺構1、ピット38	町Ⅺ
17	苗間369-1	(2002. 3. 28)	581	個人住宅	近世溝	町Ⅺ
18	苗間304-1, 303-6	(2002. 5. 15～25) 2002. 5. 27～6. 21	672	分譲住宅	縄文中期住居跡5 (8～12号)、土坑、古代・中世堀跡	町Ⅻ
19	苗間264-4	(2002. 9. 18～20)	216	個人住宅	根切溝、溝4	町Ⅻ
20	苗間293-11	(2003. 1. 14～15)	143	個人住宅	中・近世溝2、ピット2	町Ⅻ
21	苗間283-1	(2003. 1. 10～30)	674	土地造成	ピット7、井戸1、近世地下室2、土坑1	町Ⅻ
22	苗間235-2・3	(2003. 7. 8～29)	430	分譲住宅	井戸1、土坑10、ピット38、江戸後期陶磁器	町Ⅻ
23	苗間253	(2004. 4. 9)	62	個人住宅	地下室1、銭貨	町Ⅻ
24	苗間神明後293-4・10	(2004. 9. 30～10. 7)	148	個人住宅	遺構・遺物無し	町Ⅻ
25	苗間295-1	(2004. 9. 30～10. 7)	660	店舗併用住宅	遺構・遺物無し	町Ⅻ
26	苗間神明後301, 303-3～5・7, 304-1	(2005. 6. 1～8) 2005. 6. 15～30	689	分譲住宅	縄文中期住居跡1 (13号)、中世地下式壙、近世土坑5、溝	調査18集
27	苗間248-2, 249-1	(2005. 7. 20～25) 2005. 7. 27～29	385	共同住宅	縄文中期住居跡1 (14号)	調査18集
28	苗間神明後306-1	(2006. 5. 8～31) 2006. 6. 29～10. 5	2, 171	宅地造成	縄文中期住居跡11 (15～25号)、集石23、土坑5、落とし穴1、炉穴3、ピット、溝4、古代・中世堀跡1	市3
29	苗間神明後303-21・24	(2006. 5. 8～11) 2006. 5. 12～19	136	個人住宅	ピット1、古代・中世堀跡1	市3
30	苗間神明後303-1	(2006. 5. 8～19) 2006. 12. 14～19	101	個人住宅	ピット12	市3
31	苗間神明後284	(2007. 8. 3～7)	499	個人住宅	土坑2	市4
32	苗間神明後247-2	(2008. 3. 13)	136	個人住宅	近・現代撹乱	市4
33a	苗間240-2	(2008. 4. 25～5. 16)	298	個人住宅	落とし穴1、中世以降溝6、井戸2、土坑38、ピット16	市6
33b	苗間240-2	(2008. 4. 25～5. 16)	357	分譲住宅		市6
34	苗間字神明後283-1, 284-1の一部	(2008. 4. 30～5. 15) 2008. 5. 16～28	1, 693	個人住宅	縄文中期住居跡1 (26号)、落とし穴1、集石3、ピット	市5
35	苗間字神明後293-6・20	(2008. 8. 1)	247	個人住宅	遺構・遺物無し	市6
36	苗間字神明後293-3	(2008. 9. 2)	165	個人住宅	ピット1	市6
37	苗間258-1の一部	(2009. 4. 13) 2009. 4. 15～30	120	個人住宅	縄文後期住居跡1	市8
38	苗間字神明後293-1, 292-13	(2009. 7. 6～7) 2009. 7. 8～16	265	個人住宅	中近世溝1	市8
39	苗間字神明後264-1	(2009. 8. 5～12) 2009. 8. 24～9. 1	378	共同住宅	中～近世溝2、ピット28、落とし穴1	市7
40	苗間309-1	(2009. 11. 9～16) 2009. 12. 18～2010. 1. 15	156	個人住宅	縄文集石土坑1、中世地下式坑2、井戸1、竪穴状遺構1、土坑9	市8
41	苗間字神明後298-1, 299-1の一部	(2010. 5. 25～31) 2010. 6. 15～7. 21	486	共同住宅	縄文時代集石土坑1、中世の掘立柱建物跡、方形竪穴状遺構16、溝5、木炭窯1、ピット214、本調査 (140㎡)	未報告
42	苗間神明前380-3	(2010. 6. 1～2)	312	宅地造成	遺構・遺物無し (隣接地)	未報告
43	苗間292-14	(2010. 10. 20～22) 2010. 10. 22	107	個人住宅	中世～近世期ピット7、本調査	未報告
44	苗間神明後367-1, 368-1の一部	(2011. 7. 8) 2011. 7. 11～13	1535. 8	個人住宅	落とし穴1、土器・陶器片	未報告
45	苗間神明後235-9	(2011. 12. 5)	200	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
46	苗間神明後235-6	(2012. 4. 9～10)	233	個人住宅	縄文土坑1、土器片	未報告
47	苗間神明後227-2	(2012. 4. 24) 2012. 4. 25～5. 8	340	個人住宅	縄文時代集石土坑3、縄文土器片	未報告
48	苗間神明後315-1の一部	(2012. 5. 7) 2012. 5. 8～14	171	個人住宅	井戸2、溝、土坑、ピット、板碑、カワラケ、近世陶磁器、石臼片	未報告

※町：大井町町内遺跡群、調査：大井町遺跡調査会報告、市：ふじみ野市市内遺跡群